

解説：パレットの操作

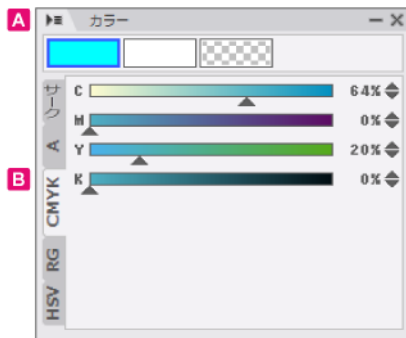
本章では、IllustStudio のパレット・リブ・ドックの操作方法とこれらのカスタマイズ方法について紹介します。

パレットとは

パレットとは、IllustStudio の各種操作を設定するための画面です。

パレットの画面

各パレットに共通する項目について説明します。

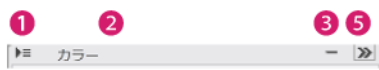


A. タイトルバー

パレットの名称が表示されている部分です。ドックの [パレット選択表示] やツールバーからパレットをポップアップ表示した場合は表示されません。



単独表示時



ドック格納時

① メニュー表示

各パレットに応じたパレットの設定メニューを表示します。詳細については、各パレットの説明ページを参照してください。

② パレットの名称

パレットの名称を表示します。

③ 表示・非表示

パレットの設定画面の表示・非表示を切り替えます。



パレットの横幅によっては、タイトルバーに [表示・非表示] が表示されません。タイトルバーをダブルクリックすると、設定画面の表示・非表示を切り替えられます。

④ 閉じる

パレットを閉じます。ドックに格納されている場合は表示されません。

⑤ ポップアップ表示

パレットの設定画面をポップアップ表示します。

B. パレットの設定画面

パレットで設定する項目が表示されている画面です。各パレットにより表示される内容は異なります。



① リブ

パレットの設定項目をカテゴリごとにまとめています。リブ単位で表示をカスタマイズできます。

② 設定項目

各リブ内にある設定をするための項目です。パレットにより表示される内容は異なります。

パレットの種類

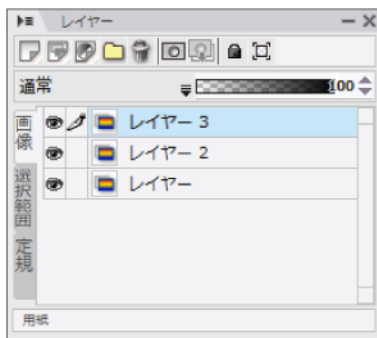
パレットは、大きく分けて次の種類があります。

ツール系パレット	各ツールの選択や設定をするためのパレットです。ツール系パレットには、[ツール]パレット・[ツールセット]パレット・[ツールプレビュー]パレット・[ツールスタイル]パレット・[ツールオプション]パレットがあります。
レイヤー系パレット	レイヤーの選択や設定をするためのパレットです。レイヤー系パレットには、[レイヤー]パレット・[レイヤープロパティ]パレットがあります。
カラー系パレット	色の選択や設定をするためのパレットです。カラー系パレットには、[カラー]パレット・[カラーセット]パレット・[カラーガイド]パレットがあります。
補助系パレット	操作の補助をするためのパレットです。キャンバスの表示切り替えや操作履歴の管理などを設定できます。補助系パレットには、[ナビゲータ]パレット・[サブビュー]パレット・[素材]パレット・[履歴]パレット・[アクション]パレットがあります。

パレットの表示方法

パレットには、さまざまな表示方法があります。ここでは簡単に表示方法について紹介します。

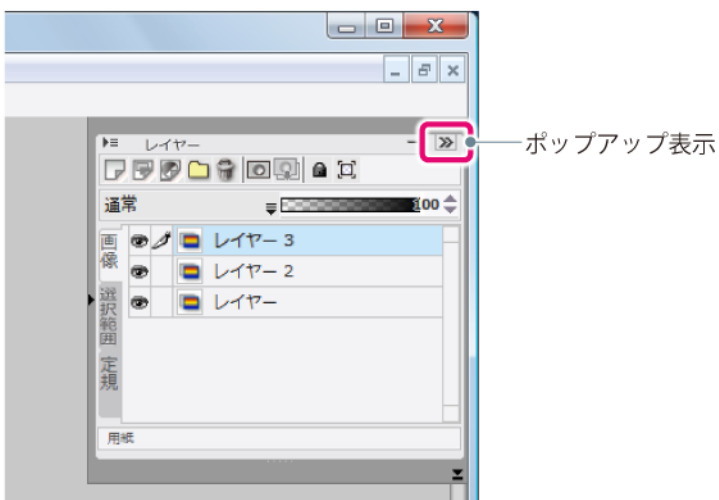
単独表示



単独のウィンドウとしてパレットを表示する方法です。パレットは、つねに IllustStudio の画面の最前面に表示されます。複数のパレットが重なって表示されている場合は、アクティブなパレットが前面に表示されます。

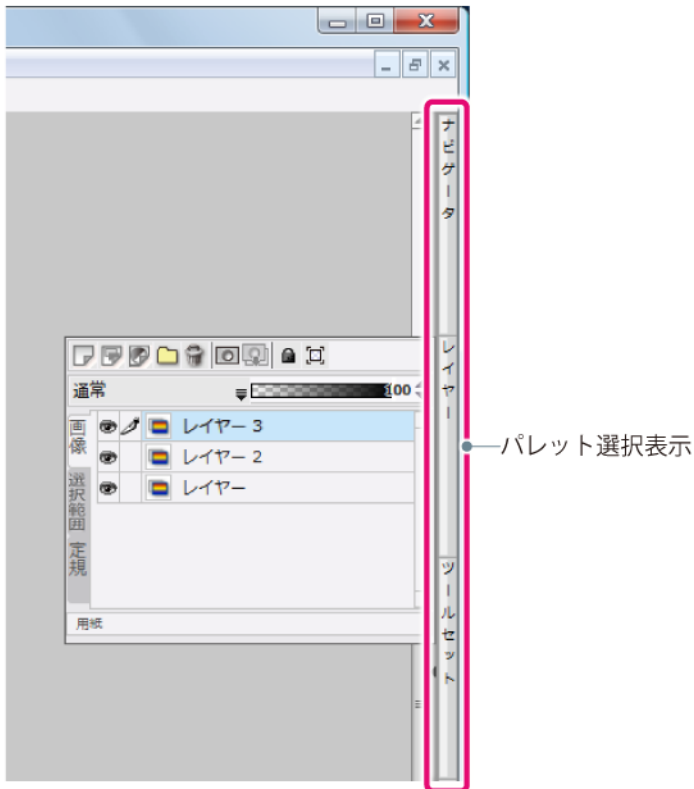
また、メインウィンドウの位置を移動しても、パレットの位置は移動しません。移動するには、パレットのタイトルバーをドラッグして移動します。

ドッキング表示



メインウィンドウ左右にあるドックに格納されている状態で表示する方法です。パレットのタイトルバーの右端に [ポップアップ表示] が表示され、パレットの設定項目をポップアップ表示できます。パレットは最小化できますが、非表示にはできません。

ポップアップ表示



ツールバーのアイコンやドックなどから、パレットをポップアップ表示する方法です。タイトルバーが表示されないため、パレットによっては、[メニュー表示]の設定項目が設定できない場合があります。

ポップアップは次の方法で表示できます。同じ操作を繰り返すとポップアップが閉じます。

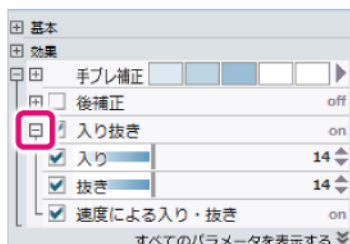
- ツールバーの[パレットポップアップカテゴリ]のアイコンをクリックして表示
- ドックの非表示時に表示される[パレット選択表示]をクリックして表示
- [ポップアップ表示]をクリックして表示
- [ツール]パレットのアイコンを長押しして[ツールセット]パレットを表示
- [ツール]パレットをダブルクリックして、[ツールセット]パレットまたは[ツールオプション]パレットを表示

パレットの設定項目の操作

パレットの設定項目画面を操作する方法について説明します。主に [ツールセット] パレット・[ツールオプション] パレット・[ツールスタイル] パレット・[レイヤープロパティ] パレットなどで使用します。その他の操作方法については、各パレットの紹介ページを参照してください。

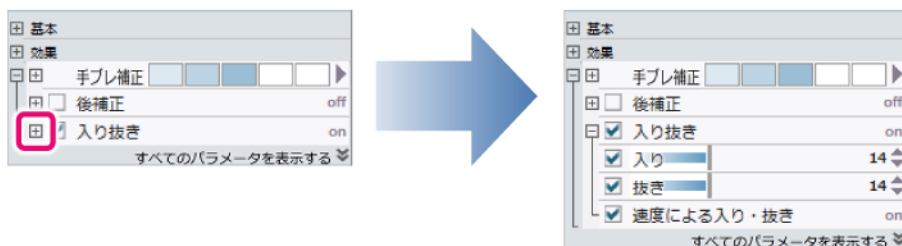
詳細設定項目の表示・非表示

パレットによっては、詳細な設定項目の表示・非表示が切り替えられます。切り替えられる項目には、項目名の左に [詳細設定項目の表示・非表示] アイコン ([+]) が表示されています。ここでは、表示・非表示を切り替える方法について説明します。



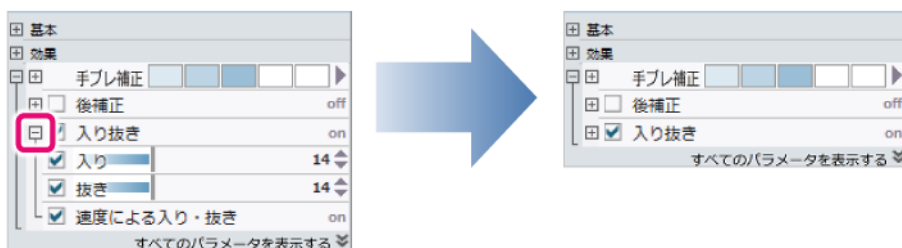
詳細設定項目の表示

パレットの項目名の左にある [詳細設定項目の表示・非表示] アイコン ([+]) をクリックします。クリックするとアイコンが [-] に変わり、詳細な設定項目が表示されます。非表示になっている項目がある場合、アイコンが [+] になっています。



詳細設定項目の非表示

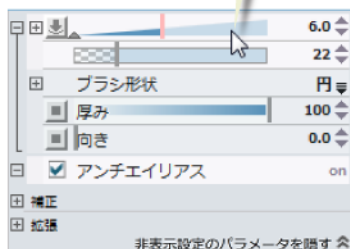
パレットの項目名の左にある [-] をクリックします。クリックするとアイコンが [+] に変わり、詳細な設定項目が非表示になります。非表示にできる項目がある場合、アイコンが [-] になっています。



マウスホイールによる数値コントロール

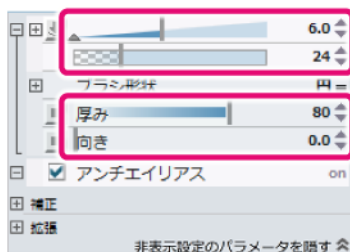
マウスカーソルの下にパレットの数値コントロールがある場合は、マウスホイールで数値を変更できます。

パレットの数値コントロールがある場合は、マウスホイールで数値を変更できます。



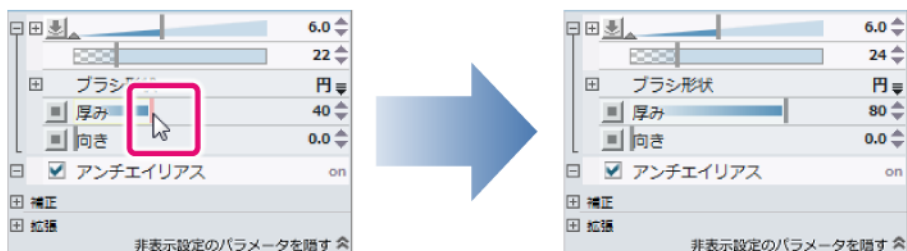
スライダー

スライダーで値を設定する方法について説明します。



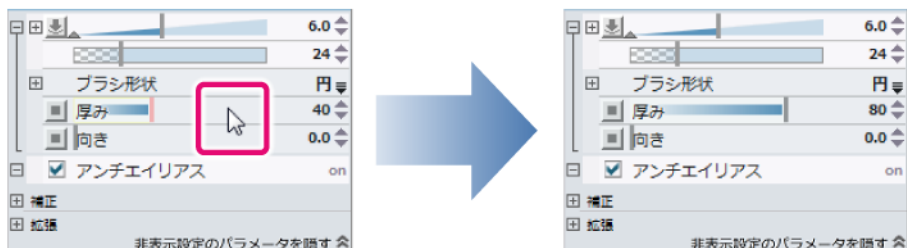
ドラッグで設定する

スライダーの縦線をドラッグします。左にドラッグするほど値が小さく、右にドラッグするほど値が大きくなります。



クリックで設定する

スライダー上をクリックします。クリックした位置にスライダーの縦線が移動し、値が変更されます。





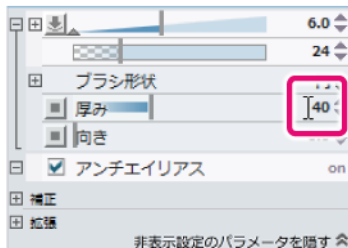
IllustStudio のスライダーは項目名と重なっています。項目名をクリックすると、スライダーの値が変更される場合があります。

値を入力する

スライダー右横にある数字をクリックすると入力欄が表示されます。入力欄に値を入力すると、値が変更されます。

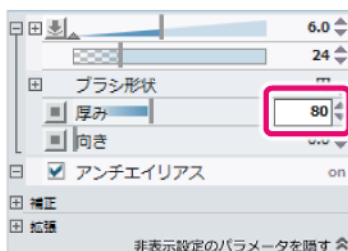
1 入力欄を有効にする

スライダー右横の数字をクリックします。入力欄を表示し、数値を入力できるようにします。



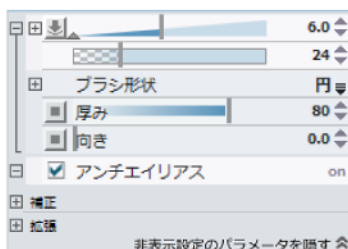
2 値を入力する

入力欄にカーソルが表示されたら、数値を入力します。



3 値を確定する

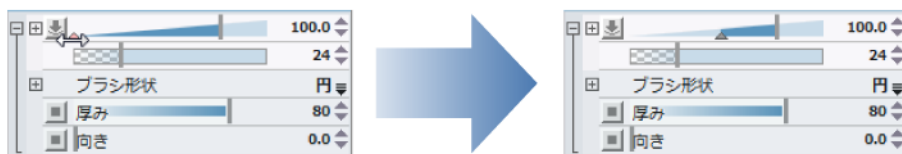
[Enter] キーを押して、値を確定します。



入力欄の横にある、上下の三角形のアイコンをクリックしても、入力欄の値を変更できます。上の三角形をクリックすると値が大きくなり、下の三角形をクリックすると値が小さくなります。

最小値を設定する

項目によっては、通常のスライダー以外に三角形のスライダーが表示されている場合があります。これは項目の最小値を設定するためのスライダーです。通常のスライダー操作で最大値を設定後、三角形のスライダーを左右にドラッグして、最小値を設定します。



- 最小値のスライダーで設定した値は、入力欄などに表示されません。実際に描画しながら効果を試すことをおすすめします。
- 最小値は通常のスライダーで設定した値まで設定できます。それ以上の値には設定できません。

インジケータ表示に切り替える

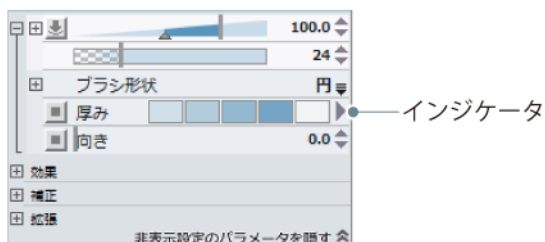
スライダーはインジケータ表示に切り替えて設定できます。スライダー上で右クリックして表示されたメニューから、[インジケータに切り替え]を選択すると、インジケータ表示に切り替わります。



インジケータを使用した設定方法については、『解説：パレットの操作』→『パレットの設定項目の操作』→『[インジケータ](#)』を参照してください。

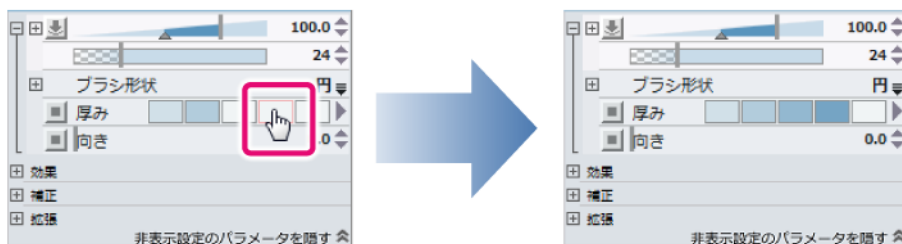
インジケータ

インジケータで値を設定する方法について説明します。



クリックで設定する

インジケータには、5つのバーがあり、バーをクリックすると値を設定します。各バーには、あらかじめ値が登録されており、クリックしたバーの値に設定されます。



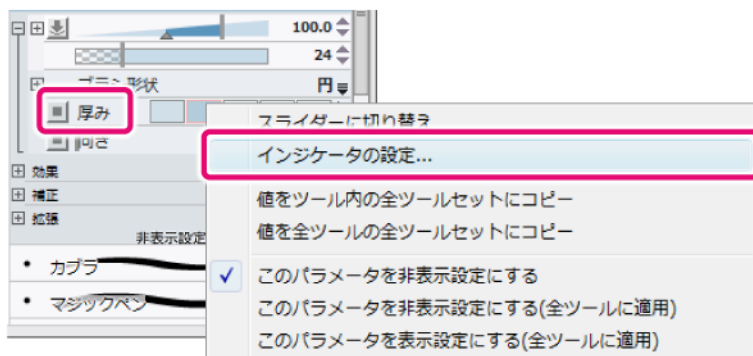
インジケータ表示時は、設定中の値が表示されません。インジケータ右横にある三角形のアイコンをクリックすると、現在設定中の値が表示されます。

バーに値を登録する

インジケータの各バーの値を任意の値に変更し、登録できます。よく使用する値を登録すると便利です。

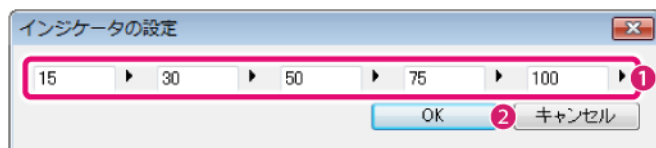
1 登録画面を表示する

インジケータ上で右クリックして表示されたメニューから「インジケータの設定」を選択します。



2 インジケータの値を登録する

「インジケータの設定」ダイアログが表示されたら、各バーの値を登録します。



- ① インジケータの各バーの値を入力する欄に、値を入力します。入力欄右横にある三角形のアイコンをクリックすると、スライダーで値を設定できます。
- ② [OK] をクリックすると、入力した値が登録されます。



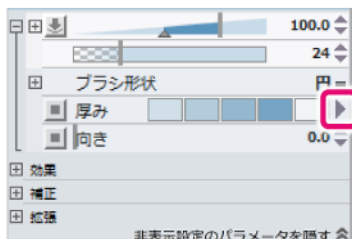
「インジケータの設定」ダイアログの設定をする場合、必ず、左ほど小さい値、右ほど大きい値にしてください。

スライダーで設定する

インジケータ右横にある三角形のアイコンをクリックすると、スライダーが表示されます。インジケータでは設定できない細かい値を設定したい場合に便利です。

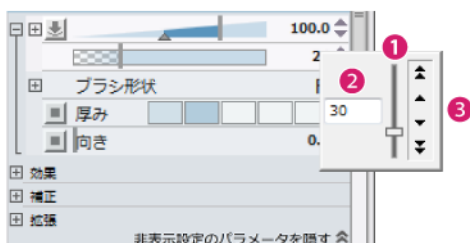
1 スライダーを表示する

インジケータ右横にある三角形のアイコンをクリックし、スライダーを表示します。



2 スライダーで設定する

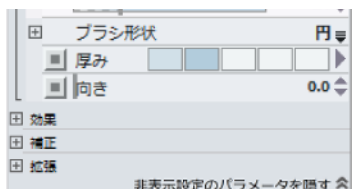
スライダーが表示されたら、次の方法で値を設定します。



- ① スライダーを上下にドラッグします。上にドラッグするほど値が大きくなり、下にドラッグするほど値が小さくなります。
- ② 数値が入力欄に表示されるので、確認します。
- ③ 細かい数値を調整したい場合は、スライダー右横にある三角形のアイコンをクリックします。

3 スライダーを閉じる

設定が終了したら、スライダー表示の外をクリックし、スライダーを閉じます。



スライダーの入力欄に値を入力しても、値を変更できます。

スライダー表示に切り替える

インジケータはスライダー表示に切り替えて設定できます。インジケータ上で右クリックして表示されたメニューから、[スライダーに切り替え]を選択すると、スライダー表示に切り替わります。

スライダーを使用した設定方法については、『解説：パレットの操作』→『パレットの設定項目の操作』→『スライダー』を参照してください。



チェックボックス

チェックボックスを設定する方法について説明します。



チェックボックスのオン・オフを切り替える

設定項目の左横にある四角形のチェックボックスをクリックすると設定できます。クリックするごとにオンとオフを切り替えられます。項目の右端に [on]・[off] と表示され、現在の設定状況を確認できます。



チェックボックスでスライダーを表示する

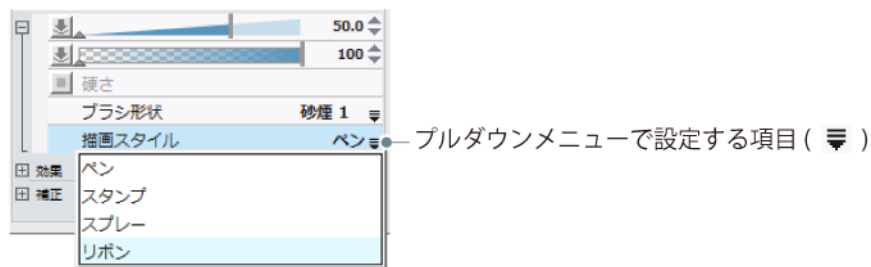
設定項目の左横にある四角形のチェックボックスをクリックしてオンに設定すると、スライダーまたはインジケータが表示される場合があります。スライダーの設定方法については『解説：パレットの操作』→『パレットの設定項目の操作』→『スライダー』または『インジケータ』を参照してください。



チェックボックス以外の部分をクリックすると、値が変更されます。

ブルダウンメニュー

ブルダウンメニューから項目を選択して設定する方法について説明します。

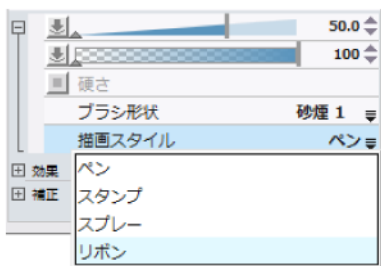


項目を選択する

ブルダウンメニューを表示して、項目を選択する方法について説明します。

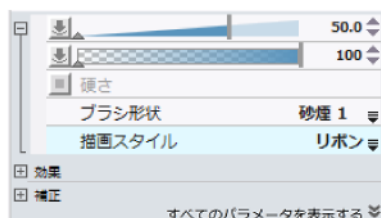
1 ブルダウンを表示する

項目名をクリックし、表示されるリストから項目を選択します。



2 設定が完了する

選択した項目が表示され、設定が完了します。



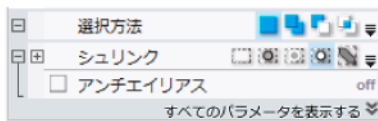
アイコンボタン表示に切り替える

ブルダウンメニューで、各項目の左側にアイコンが表示されているものについては、アイコンボタン表示に切り替えられます。ブルダウンメニュー上で右クリックして表示されたメニューから、[アイコンボタン表示に切り替え] を選択すると、アイコンボタン表示に切り替わります。



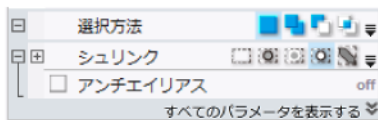
アイコンボタン

アイコンボタンから項目を選択して設定する方法について説明します。



項目を選択する

選択する項目のアイコンボタンをクリックします。



プルダウンメニューに切り替える

アイコンボタンは、プルダウンメニューに切り替えられます。アイコンボタン上で右クリックして表示されたメニューから、[項目名表示に切り替え] を選択すると、項目名が表示され、プルダウンメニューに切り替わります。



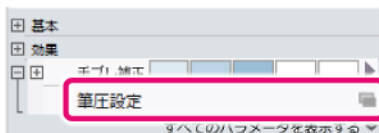
ダイアログ表示

パレットからダイアログを表示して設定する方法について説明します。ダイアログで設定する項目には、右端に四角が二つ重なったアイコンが表示されています。



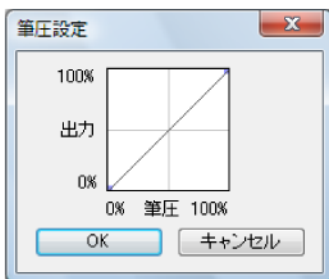
1 ダイアログを表示する

項目名をクリックします。



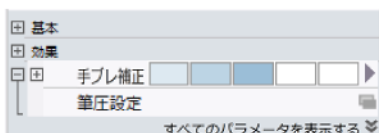
2 ダイアログを設定する

ダイアログが表示されたら、ダイアログの項目を設定して [OK] をクリックします。



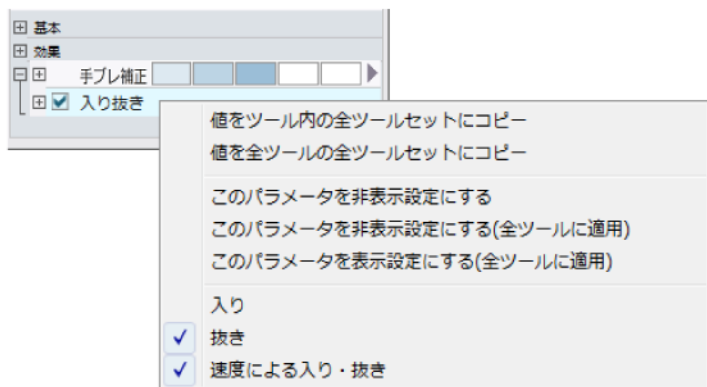
3 設定が完了する

ダイアログが閉じ、パレットに戻ったら設定は完了です。パレットに変化はありません。



右クリックメニュー

パレットの項目上で右クリックして表示されるメニューから、パレットを設定する方法について説明します。



スライダーに切り替え / インジケータに切り替え

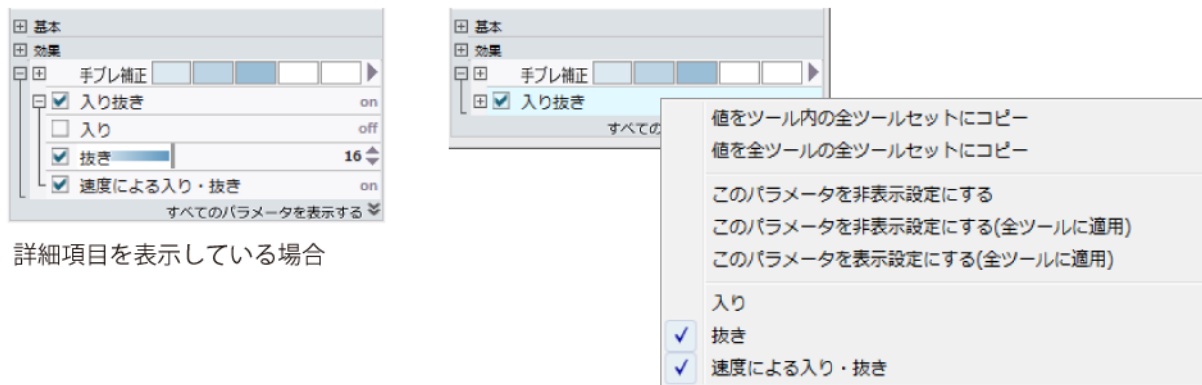
スライダーとインジケータの表示を切り替えられます。詳細は『解説：パレットの操作』→『パレットの設定項目の操作』→『[スライダー](#)』または『解説：パレットの操作』→『パレットの設定項目の操作』→『[インジケータ](#)』を参照してください。

アイコン表示に切り替え / 項目名表示に切り替え

アイコン表示とプルダウンメニュー（項目名表示）の表示を切り替えられます。詳細は『解説：パレットの操作』→『パレットの設定項目の操作』→『[プルダウンメニュー](#)』または『解説：パレットの操作』→『パレットの設定項目の操作』→『[アイコンボタン](#)』を参照してください。

非表示の項目の設定

詳細を非表示にしている項目を右クリックすると、非表示にしている詳細な項目がメニューに表示され、設定できます。ただし、パレット上でグレー表示になっている項目や値を入力する項目は設定できません。



詳細項目を表示している場合

詳細項目を非表示にしている場合

値をツール内の全ツールセットにコピー

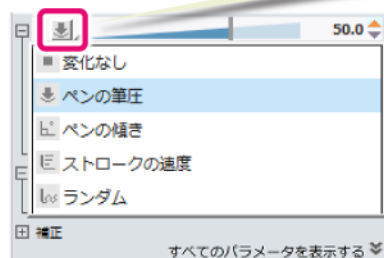
右クリックした項目の値を、選択中のツールに登録されているすべてのツールセットに適用します。ただし、該当する項目が設定できない場合は適用されません。

値を全ツールの全ツールセットにコピー

右クリックした項目の値を、すべてのツールに登録されているすべてのツールセットに適用します。ただし、該当する項目がない場合は適用されません。

影響元の設定

[ツールオプション] の項目名の左にアイコンボタンが表示されている場合があります。これは該当する項目に影響するタブレットの機能などを設定します。ボタンをクリックして表示されるメニューから、設定を変更できます。



ボタンをクリックすると、
メニューが表示されます。

パレットのリブ操作

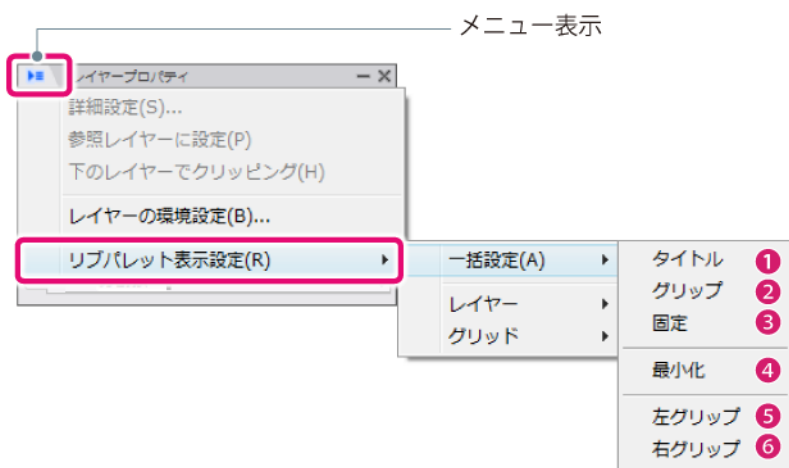
パレットのリブを調整することで、パレットの表示項目をカスタマイズできます。

リブパレット表示設定

リブの表示を変更する方法について説明します。

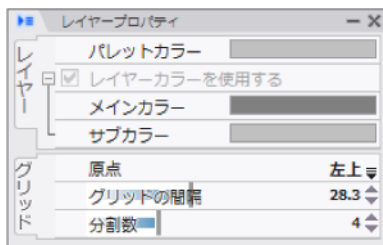
リブの表示方法を設定する

パレット内のリブの表示方法を一括で設定します。各パレットの[メニュー表示]で表示されるメニュー→[リブパレット表示設定]で表示方法をカスタマイズできます。すべてのリブの表示を一括で設定するには、[一括設定]を選択して表示方法を選択します。



① タイトル

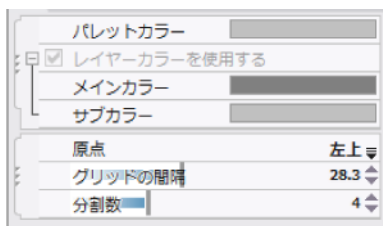
リブにタイトルを表示する設定です。



リブをタイトル表示にした場合、リブのサイズを変更できます。[環境設定]ダイアログの[パレット・ドック]の[リブのサイズ]で設定します。[環境設定]ダイアログは、[ファイル]メニュー→[環境設定]の順に選択すると表示できます。[環境設定]ダイアログについては、『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『パレット・ドック』を参照してください。

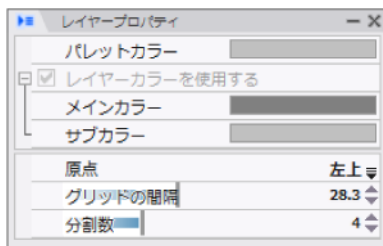
② グリップ

リブにタイトルを表示しない設定です。タイトルを表示しない分、リブを省スペース化します。



③ 固定

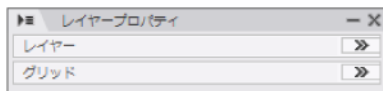
リブを表示しない設定です。リブ内の項目の表示位置が固定します。リブをタブ化している場合、設定が適用されません。



リブのタブ化表示については、『解説：パレットの操作』→『パレットのリブ操作』→『[リブをタブ化する](#)』を参照してください。

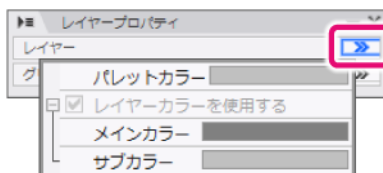
④ 最小化

リブを最小化し、タイトルだけ表示する設定です。



リブ内の項目を設定する

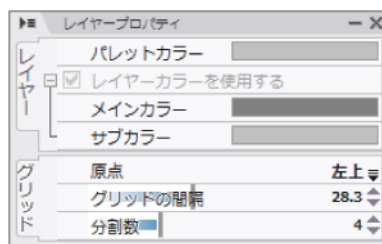
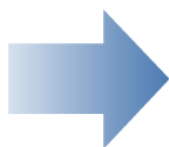
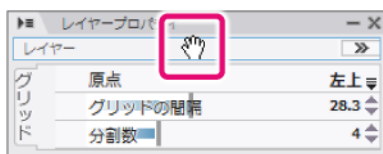
右端の [>>] アイコンをクリックすると、リブ内の項目が表示され、設定できます。



パレットによっては、右端に [>>] アイコンが表示されない場合があります。その場合は元の表示に戻して操作してください。

リブの表示を元に戻す

最小化したリブをダブルクリックします。ダブルクリックしたリブだけ元に戻ります。すべてのリブを元に戻す場合は、リブごとにダブルクリックします。

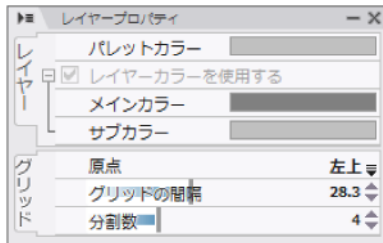




最小化したリブを右クリックして表示されるメニューからリブ名を選択し、[最小化]を選択してチェックマークをはずすと、元の表示に戻ります。

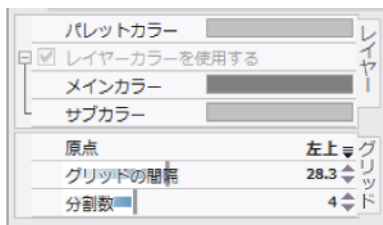
⑤ 左グリップ

リブのタイトルまたはグリップを左側に表示します。



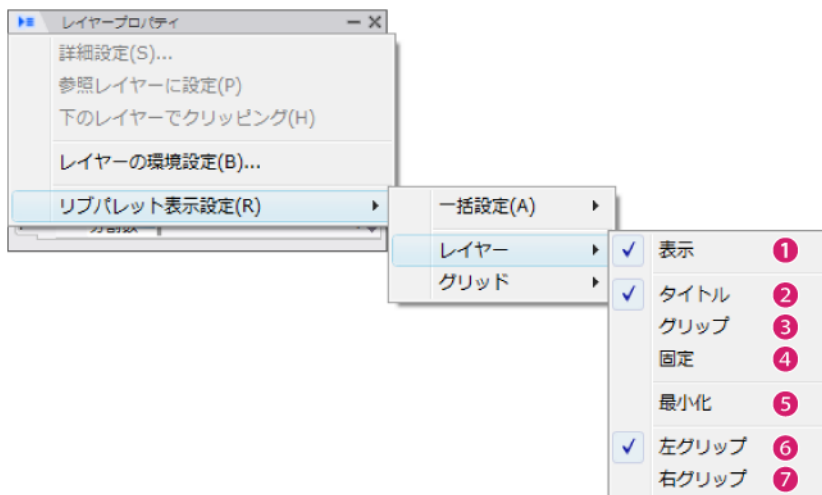
⑥ 右グリップ

リブのタイトルまたはグリップを右側に表示します。



リブごとに表示方法を設定する

リブごとの表示方法を設定します。各パレットの[メニュー表示]で表示されるメニュー→[リブパレット表示設定]で表示方法をカスタマイズできます。リブごとの表示を設定するには、設定したいリブ名を選択して表示方法を選択します。



リブのグリップを右クリックすると表示されるメニューからも、リブごとに表示方法を設定できます。



タブ化されたリブの場合は、メニュー上で重なったリブ名を併記しています。[リブパレット表示設定]では、タブ化されたリブをまとめて設定します。リブごとに表示を設定したい場合は、タブ化を解除してください。また、タブ化されたリブは、一部の表示設定ができない場合があります。

① 表示

クリックすると、選択したリブの表示・非表示を切り替えられます。チェックマークがついている場合はリブが表示されます。

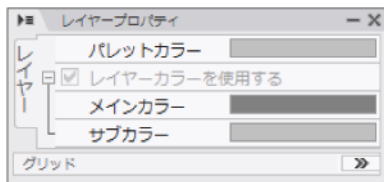


!重要

【ツールオプション】では、ツールを切り替えても、非表示に設定した項目は表示されません。

② タイトル

リブにタイトルを表示する設定です。選択したリブがタブ化している場合は、タブ化したリブすべてに設定が適用されます。

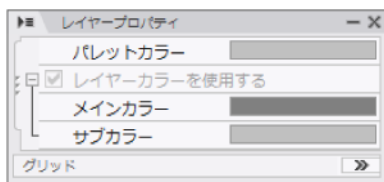


メモ

リブをタイトル表示にした場合、リブのサイズを変更できます。[環境設定] ダイアログの [パレット・ドック] の [リブのサイズ] で設定します。[環境設定] ダイアログは、[ファイル] メニュー→ [環境設定] の順に選択すると表示できます。[環境設定] ダイアログについては、『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『パレット・ドック』を参照してください。

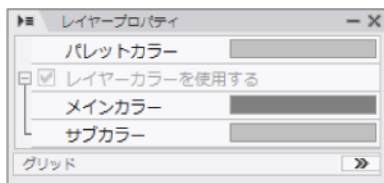
③ グリップ

リブにタイトルを表示しない設定です。タイトルを表示しない分、リブの横幅を省スペース化します。選択したリブがタブ化している場合は、タブ化したリブすべてに設定が適用されます。



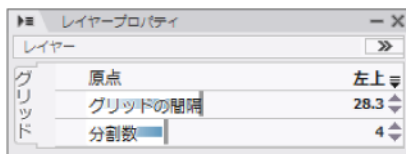
④ 固定

リブを表示しない設定です。リブ内の項目の表示位置が固定します。

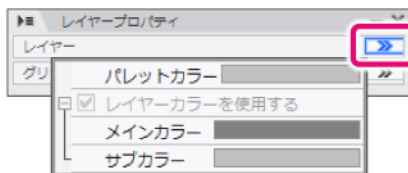


⑤ 最小化

リブを最小化し、タイトルだけ表示する設定です。

リブ内の項目を設定する

右端の [>>] アイコンをクリックすると、リブ内の項目が表示され、設定できます。



パレットによっては、右端に [>>] アイコンが表示されない場合があります。その場合は元の表示に戻して操作してください。

リブの表示を元に戻す

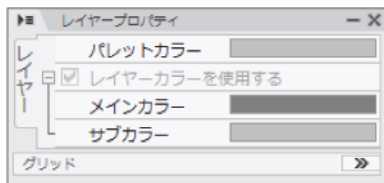
最小化したリブをダブルクリックします。



最小化したリブを右クリックして表示されるメニューからリブ名を選択し、[最小化] を選択してチェックマークをはずすと、元の表示に戻ります。

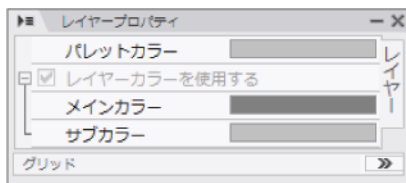
⑥ 左グリップ

リブのタイトルまたはグリップを左側に表示します。



⑦ 右グリップ

リブのタイトルまたはグリップを右側に表示します。



リブのタイトルまたはグリップ・最小化したリブを右クリックすると、リブ名が表示されたメニューが表示されます。変更したいリブ名を選択すると、表示方法を設定できます。設定できる内容は [メニュー表示] ボタンで選択した場合と同様です。パレット内の 1 か所だけでも、タイトル表示かグリップ表示になっていれば、設定できます。

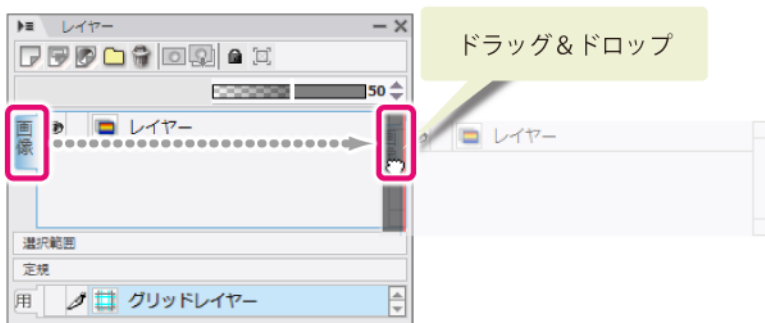
ドラッグ&ドロップでグリップ位置を移動する

リブのグリップ位置を左右にドラッグ&ドロップすると、グリップ位置を移動できます。

ここでは、左側に表示されているグリップを右側に移動します。

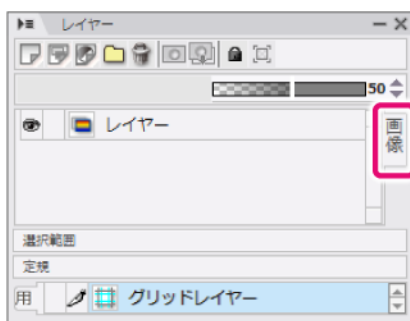
1 リブのグリップ位置を移動する

移動したいリブを選択します。グリップにマウスカーソルを合わせ、右端にドラッグ&ドロップします。移動先に赤い線が表示されたら、マウスのボタンを離します。



2 移動が完了する

リブのグリップが右側に表示されたら、グリップ位置の移動は完了です。



タブ化されたリブのグリップ位置を移動する場合、タブ化されたリブをまとめて移動します。リブごとの移動はできません。

リブの表示順序を変更する

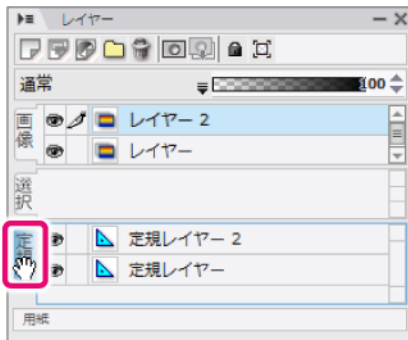
パレット内でリブの表示順序を変更する方法について説明します。



リブの表示順序を変更するには、タイトル表示またはグリッ表示にしておく必要があります。

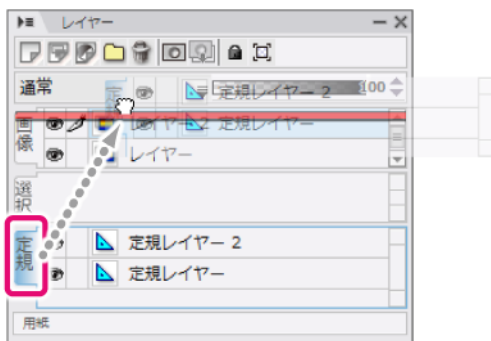
1 リブを選択する

移動したいリブのタイトルまたはグリッにマウスカーソルを合わせます。



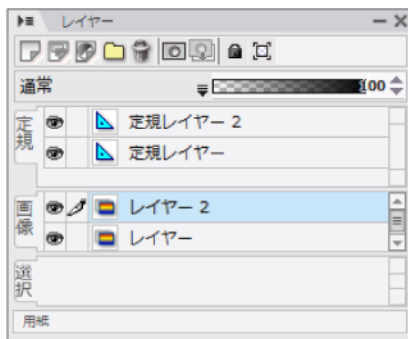
2 リブを移動する

リブを移動したい位置までドラッグ&ドロップします。移動先に赤い線が表示されたら、マウスのボタンを離します。



3 移動が完了する

リブの移動が完了します。



リブをタブ化する

パレット内でリブをタブのように重ねて表示する方法について説明します。

!重要

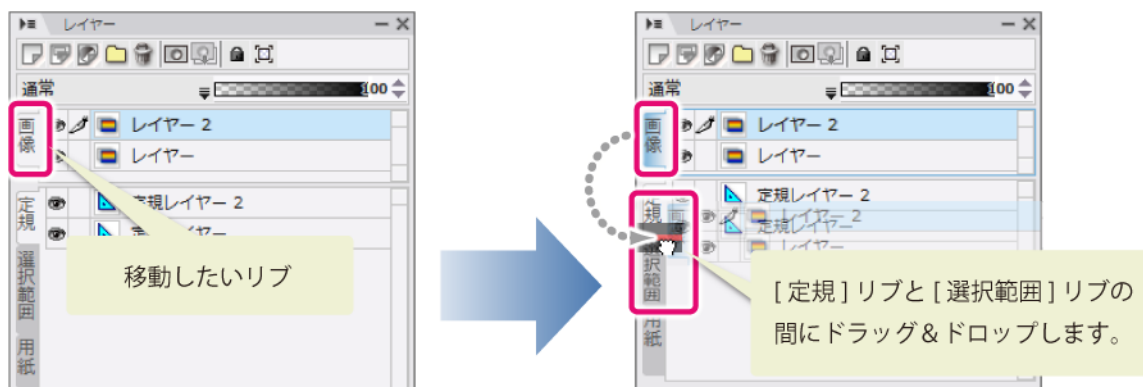
- リブをタブ化するには、タイトル表示またはグリップ表示にしておく必要があります。
- リブをタブ化すると、リブの表示方法で「固定化」に設定できなくなります。

リブをタブ化する

リブをタブのように重ねて表示できます。この状態を「タブ化」といいます。

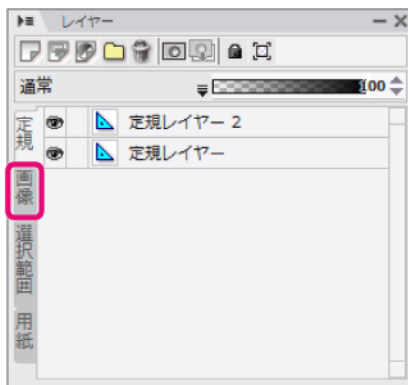
1 リブを移動する

移動したいリブのグリップにマウスカースルを合わせ、タブ化したいリブにドラッグ&ドロップします。移動できる位置に赤い線が表示されます。移動したい位置を指定し、マウスのボタンを離します。



2 タブ化が完了する

タブ化したリブが指定した位置に表示されたら完了です。

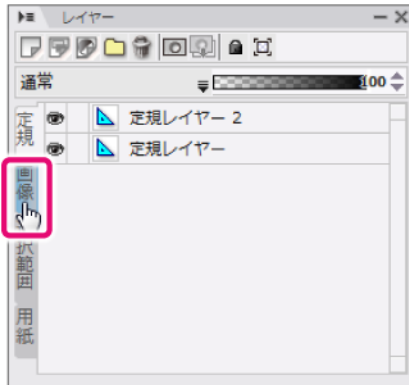


タブ化したリブを設定する

タブ化すると、リブが重なって表示されます。下に重なったリブを設定する方法について説明します。

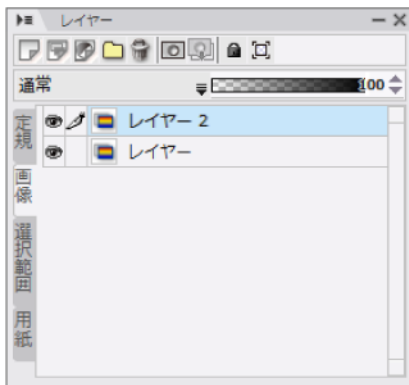
1 リブを選択する

設定したいリブの、タイトルまたはグリップをクリックします。



2 リブが切り替わる

パレットの表示が選択したリブの設定項目に切り替わり、設定できる状態になります。

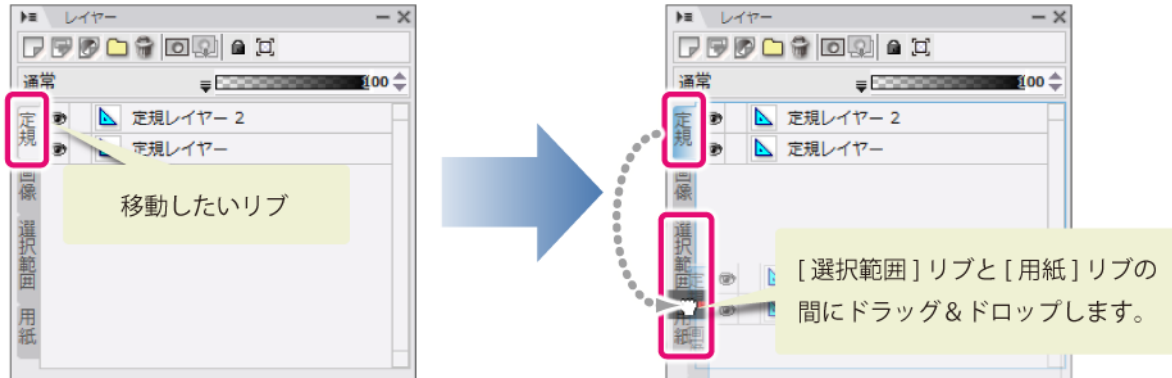


タブ化したリブを移動する

タブ化したリブの表示順序は、ドラッグ&ドロップで移動できます。

1 リブを移動する

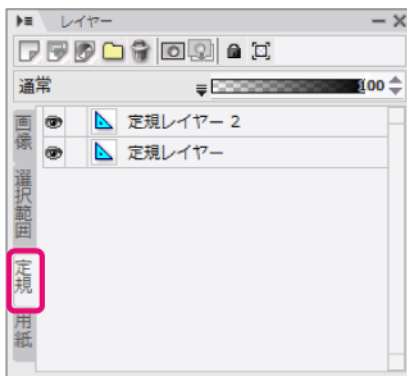
移動したいリブのグリップにマウスカーソルを合わせ、移動したい位置にドラッグ&ドロップします。移動できる位置に赤い線が表示されます。移動したい位置を指定し、マウスのボタンを離します。



リブの移動は、選択中のリブ以外でもドラッグ&ドロップで操作できます。

2 移動が完了する

リブが指定した位置に表示されたら、リブの移動は完了です。

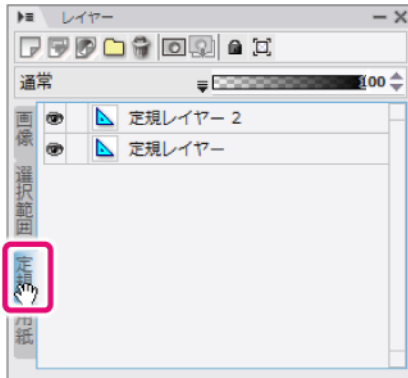


リブのタブ化を解除する

リブのタブ化を解除します。

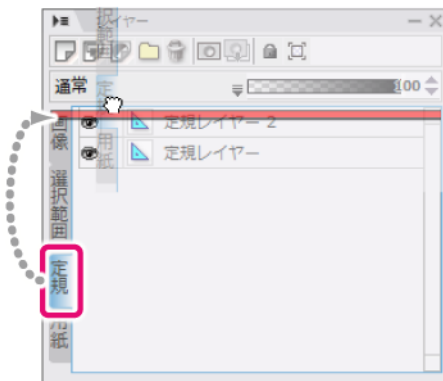
1 リブを選択する

タブ化を解除したいリブにマウスカーソルを合わせます。



2 リブを移動する

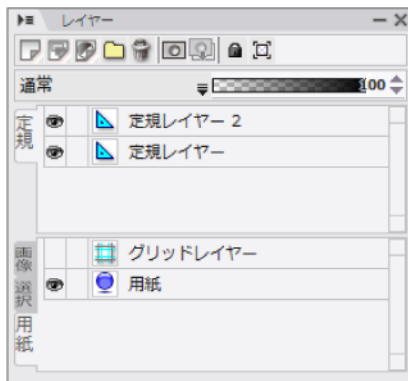
リブを表示したい位置にドラッグ&ドロップします。移動先に赤い線が表示されたら、マウスのボタンを離します。



リブのタブ化の解除は、選択中のリブ以外でもドラッグ&ドロップで操作できます。

3 タブ化の解除が完了する

リブのタブ化が解除され、通常の表示に戻ります。



パレットのドック操作

ドックとはパレットを格納する領域のことです。ドックはメインウィンドウの左右に作成できます。

パレットをドックに格納する

単独表示のパレットをドックに格納する方法について説明します。



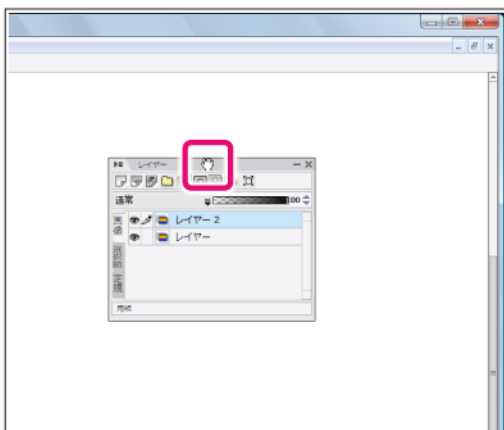
ツールバーからポップアップ表示したパレットは、ドックに格納できません。単独表示に切り替えてから、格納してください。

ドックを新規作成する

左右にドックがない場合は、ドックを新しく作成します。

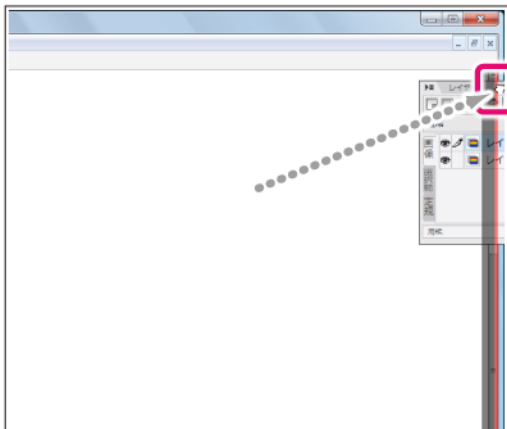
1 パレットを選択する

ドックに格納したいパレットのタイトルバーにマウスカースルを合わせます。



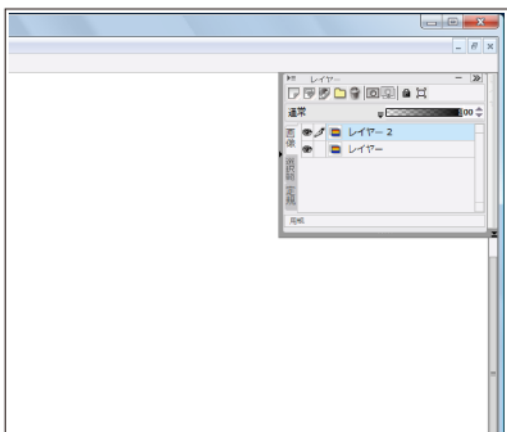
2 パレットを移動する

パレットをメインウィンドウの左右いずれかの端にドラッグ&ドロップします。赤い線が表示されたら、マウスのボタンを離します。



3 ドックの作成が完了する

ドックの作成が完了し、パレットが格納されます。

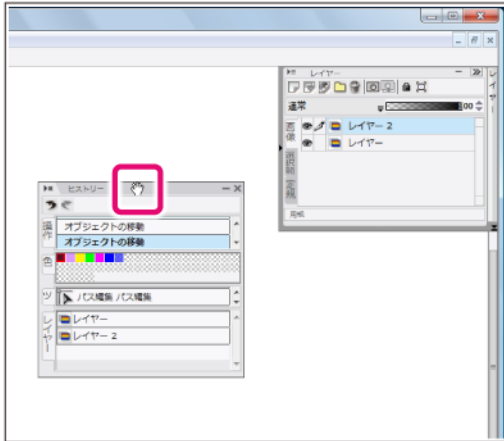


ドックにパレットを格納する

ドックの好きな位置にパレットを格納します。

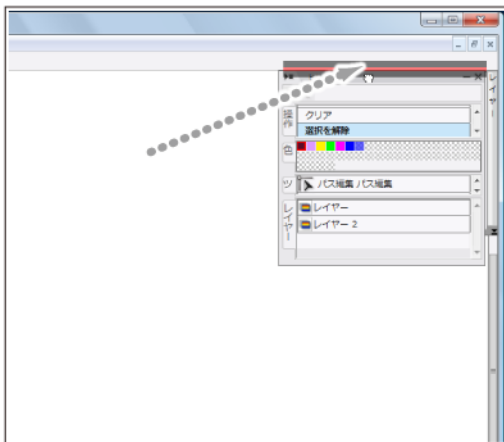
1 パレットを選択する

ドックに格納したいパレットのタイトルバーにマウスカースルを合わせます。



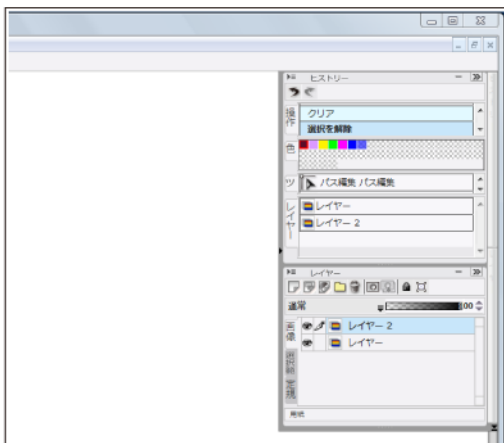
2 パレットを移動する

パレットをドックの移動したい場所にドラッグ&ドロップします。赤い線が表示されたら、マウスのボタンを離します。

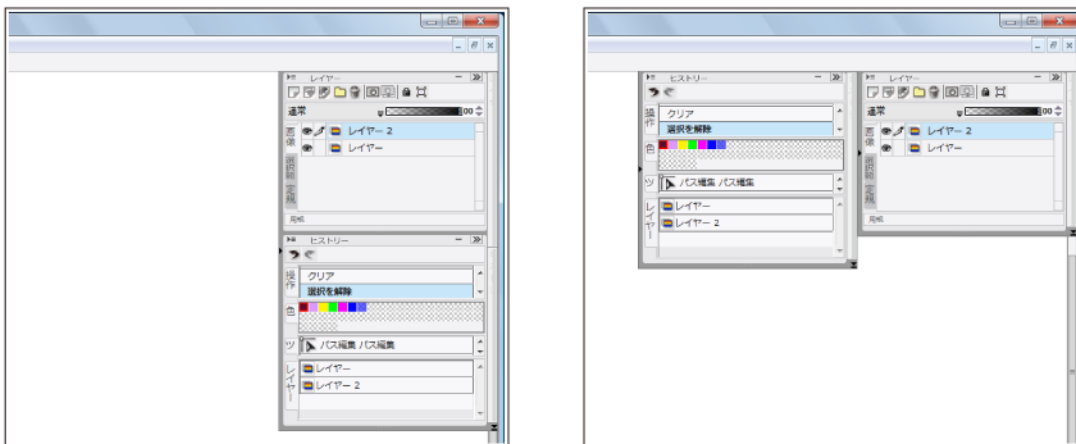


3 パレットの追加が完了する

パレットがドックに格納されます。



この例では上に追加していますが、パレットはドラッグ&ドロップする位置に応じて自由に格納できます。



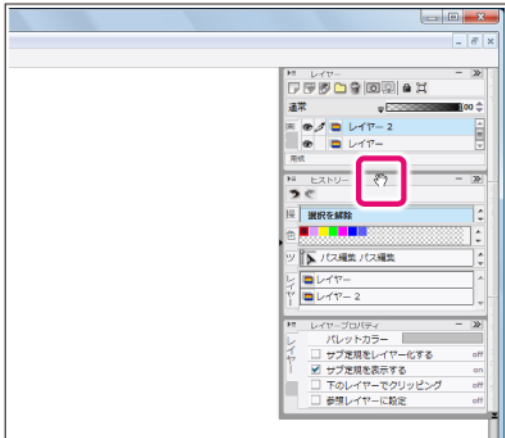
ドックより幅の広いパレットを追加で格納した場合、パレットの幅に合わせてドックの幅が変更されます。ドックの幅を変更したくない場合は、[ウィンドウ]メニュー→[ドック幅を固定]を設定すると、幅が固定されます。なお、パレットを横に配置した場合は、別のドックとして表示されるため、追加したパレットの幅に合わせて、ドックの幅が変更されます。

ドックに格納したパレットを単独表示にする

ドックに格納したパレットを単独表示に切り替える方法を説明します。

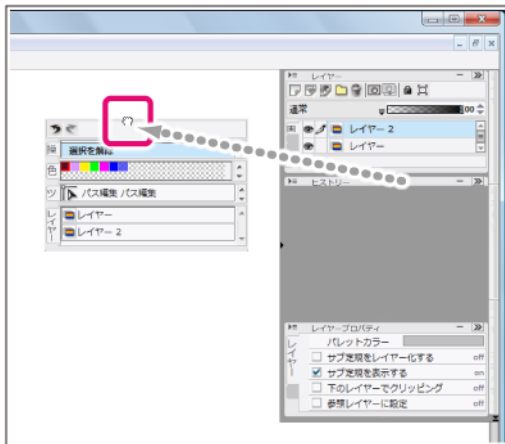
1 パレットを選択する

単独表示にしたいパレットのタイトルバーにマウスカーソルを合わせます。



2 パレットを移動する

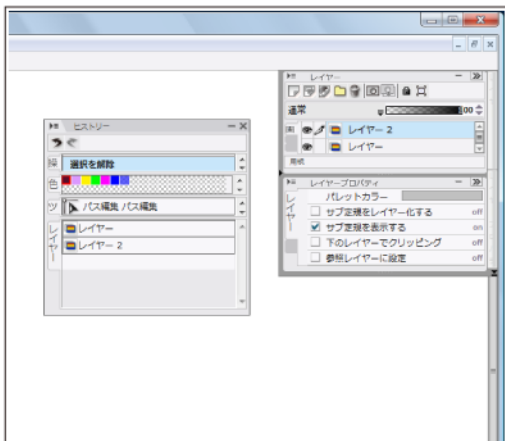
パレットをドックの外にドラッグ&ドロップします。



- 赤い線が表示されている場所でドロップすると、ドックに格納されたままになります。
- ドックの外であれば、メインウィンドウの内側または外側のどちらにドラッグ&ドロップしても、単独表示にできます。

3 単独表示に切り替わる

パレットが単独表示に切り替わります。



ドック内のパレット表示を変更する

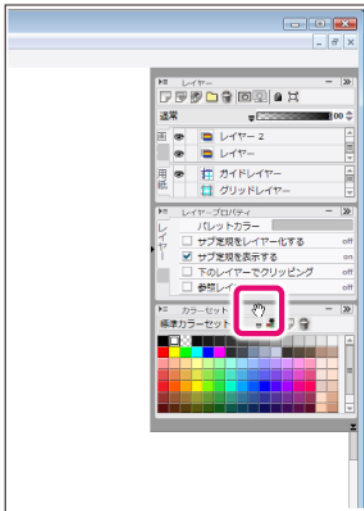
ドック内のパレットの表示を変更する方法について説明します。

ドック内のパレットを移動する

ドック内のパレットを移動し、表示順序を入れ替えます。

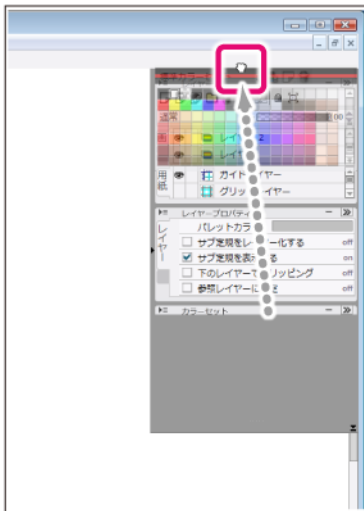
1 パレットを選択する

移動したいパレットのタイトルバーにマウスカーソルを合わせます。



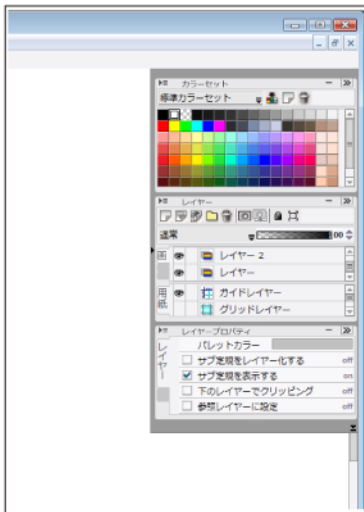
2 パレットを移動する

パレットをドックの移動したい場所にドラッグ&ドロップします。赤い線が表示されたら、マウスのボタンを離します。

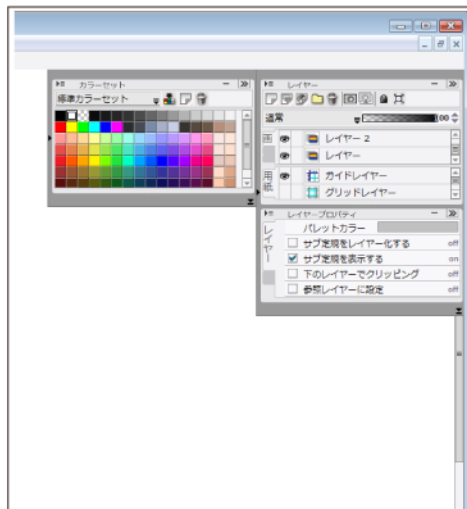
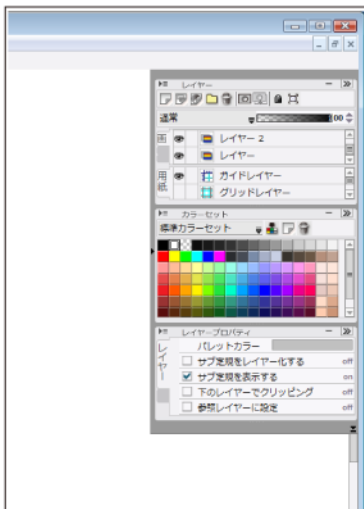


3 パレットの移動が完了する

パレットが移動し、表示順序が入れ替わります。



この例では上に追加していますが、パレットはドラッグ&ドロップする位置に応じて、自由に移動できます。

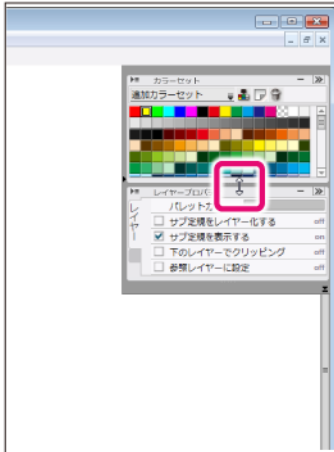


ドック内のパレットの高さを変更する

ドック内に格納されているパレットの高さを変更します。

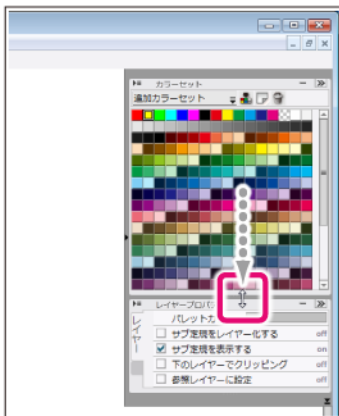
1 パレットを選択する

高さを変更したいパレットの下にマウスカースルを合わせます。



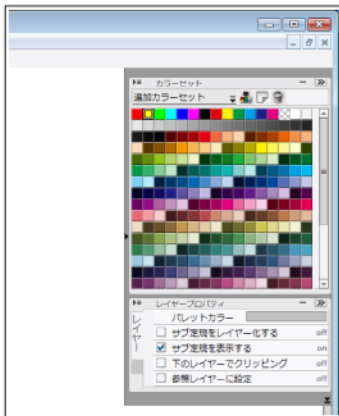
2 パレットの高さを変更する

パレットを上下いずれかにドラッグ&ドロップします。ここでは下にドラッグします。



3 パレットの高さの変更が完了する

ドラッグした位置までパレットの下が移動し、パレットの高さを変更されます。

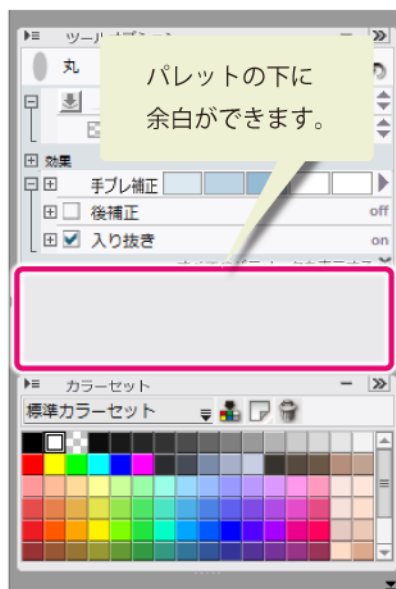
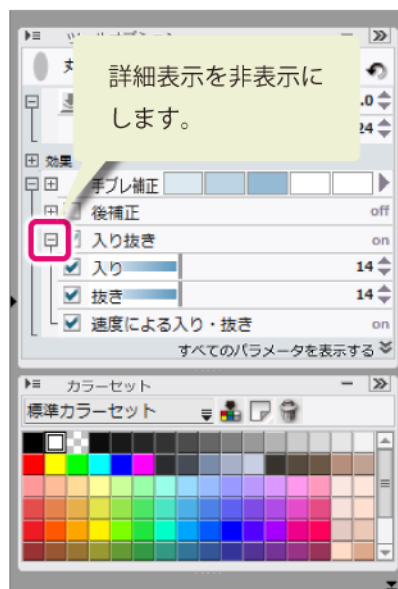


ドック内のパレットの高さを自動調整する

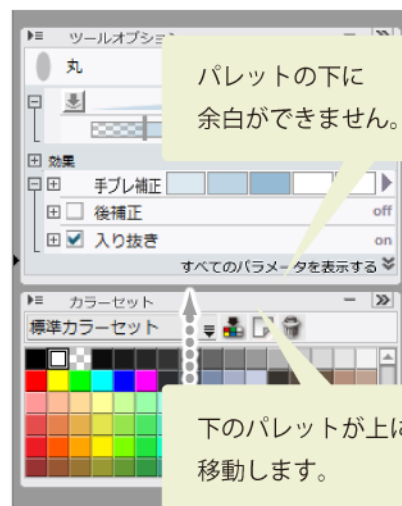
[環境設定] ダイアログの [パレット・ドック] → [操作時にパレットの高さを自動調整する] がオンの場合は、ドックに格納されているパレットの高さが変更されたときに、自動的にパレットの位置が調整されます。



[環境設定] ダイアログの設定方法については、『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『パレット・ドック』を参照してください。



オフに設定した場合



オンに設定した場合

ドック内のパレットの幅を変更する

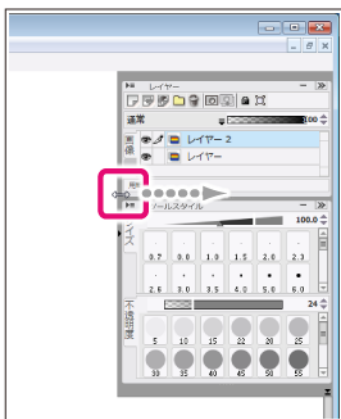
パレットの幅を変更するには、ドックの幅を変更します。



- パレットの幅を変更する場合、ドック全体の幅を変更するため、格納されているすべてのパレットの幅が変更されます。ドック内の特定のパレットだけを変更できません。
- ドック幅を固定するように設定している場合、パレットの幅は変更できません。ドックの幅を固定する設定について、詳しくは『メニュー』→『ウィンドウメニュー』→『**ドック幅を固定**』を参照してください。

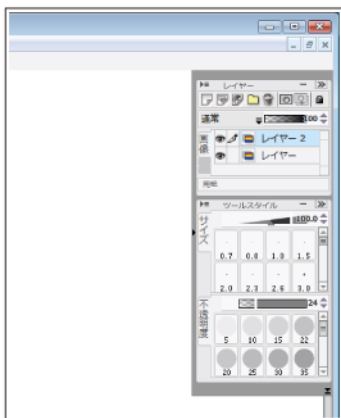
1 ドックの幅を変更する

ドックのキャンバス方向の端にマウスカーソルを合わせ、ドックを左右にいずれかにドラッグします。キャンバス方向にドラッグすると幅が広く、反対方向にドラッグすると幅が狭くなります。



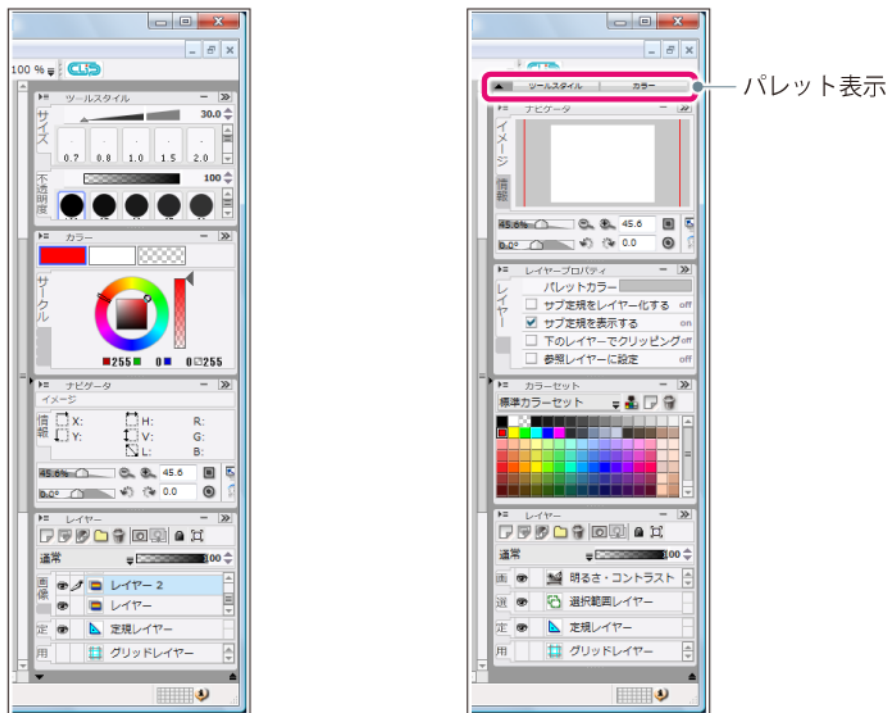
2 ドックの幅の変更が完了する

ドラッグした位置までドックの端が移動し、ドックの幅が変更されます。



非表示のパレットを選択して表示する

パレットがドックの範囲に収まらない場合、パレットが切れて表示されたり、非表示になったりします。すべて表示できないパレットは、ドックの上下にボタンとして表示されます。このボタンを「パレット表示」と言います。「パレット表示」にはパレット名が表示されており、上にある場合は該当するパレットの上端を、下にある場合は該当するパレットの下端を表示するよう、ドック内をスクロールします。



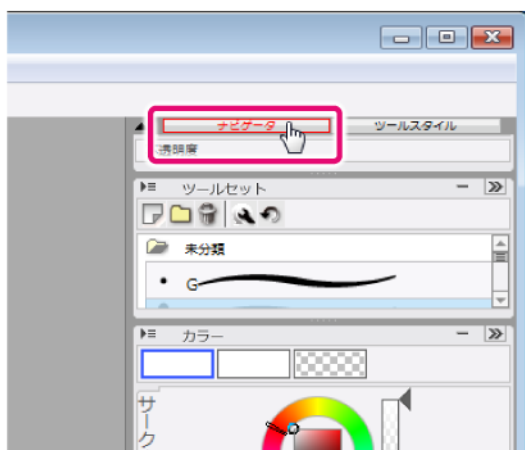
!重要

「環境設定」ダイアログの「パレット・ドック」で「ドックの脇にボタンを表示する」チェックボックスをオンにすると、「パレット表示」は表示されません。ドックの脇にパレット名が書かれた「パレット選択表示」が表示されます。「環境設定」ダイアログは、「ファイル」メニュー→「環境設定」の順に選択すると表示できます。
「環境設定」ダイアログについては、『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『パレット・ドック』を参照してください。

ここでは、ドックに「ナビゲータ」パレット、「ツールスタイル」パレットの順に表示されていた部分が、非表示になった場合を例に説明します。

1 表示するパレットを選択する

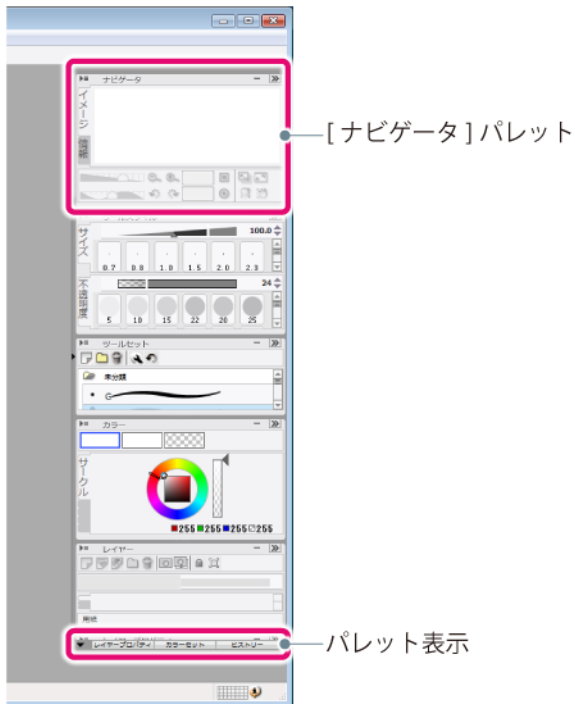
表示したいパレット名の「パレット表示」をクリックします。ここでは「ナビゲータ」をクリックします。



2 パレットの上端の表示が完了する

非表示になっていた[ナビゲータ]パレットが表示されます。

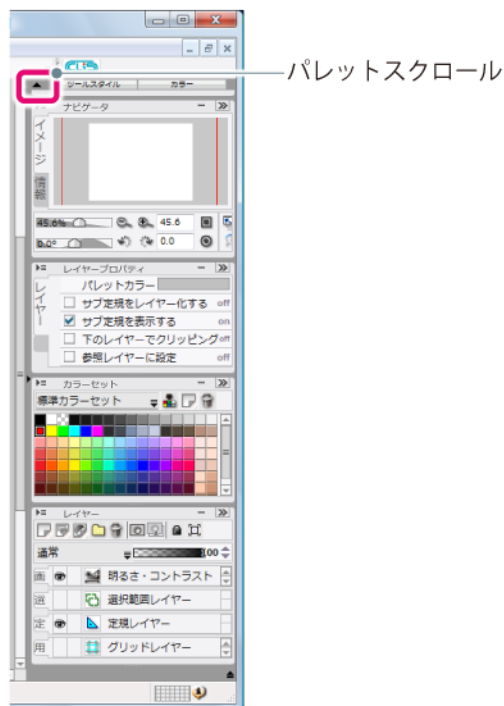
その分、ドックの下に表示している[レイヤープロパティ]・[カラーセット]・[ヒストリー]が各パレットが非表示になり、下側に「レイヤープロパティ」・「カラーセット」・「ヒストリー」と書かれた[パレット表示]が表示されます。



下側の[パレット表示]をクリックすると、非表示になっていたパレットの下端が表示されます。

非表示のパレットを 1 つずつ表示する

パレットがドックの範囲に収まらない場合、パレットが切れて表示されたり、非表示になったりします。すべて表示できないパレットがある場合、ドックの上下にドック内をスクロールするボタン [パレットスクロール] が表示されます。[パレットスクロール] をクリックすると、パレットの端を 1 つずつ表示するようにドック内をスクロールします。上にある場合は該当するパレットの上端を、下にある場合は該当するパレットの下端を表示します。



一部のパレットが非表示の状態

!重要

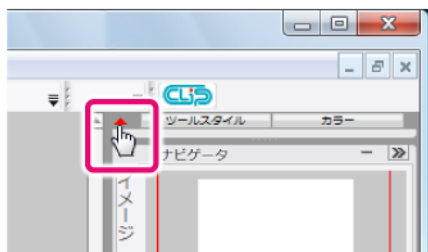
[環境設定] ダイアログの [パレット・ドック] で [ドックの脇にボタンを表示する] チェックボックスをオンにすると、[パレットスクロール] は表示されません。ドックの脇にパレット名が書かれた [パレット選択表示] が表示されます。[環境設定] ダイアログは、[ファイル] メニュー → [環境設定] の順に選択すると表示できます。

[環境設定] ダイアログについては、『環境設定』 → 『環境設定ダイアログ』 → 『パレット・ドック』を参照してください。

ここでは、ドックに [ツールスタイル] パレット、[カラー] パレットの順に表示されていた部分が、非表示になった場合を例に説明します。

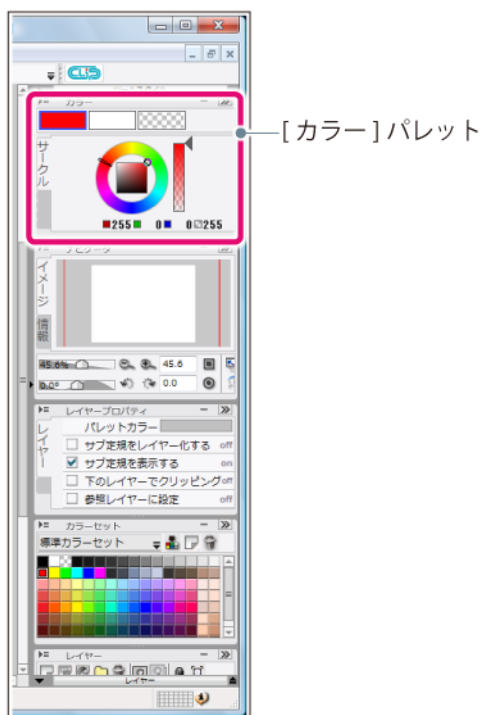
1 スクロール表示する

ドックの上に表示された [パレットスクロール] をクリックします。



2 パレットのスクロール表示が完了する

非表示になっていた[カラー]パレットが表示されます。



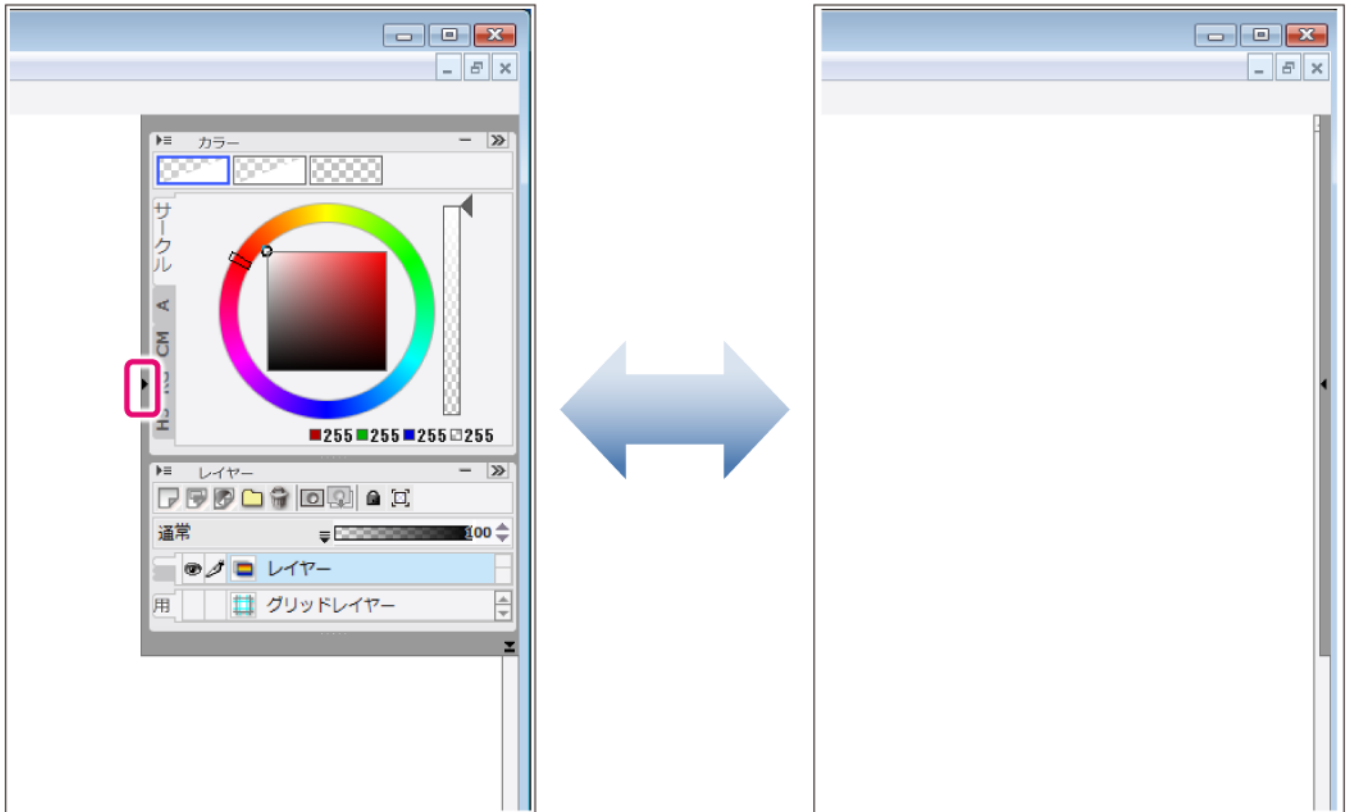
再度[パレットスクロール]をクリックすると、その上の[ツールスタイル]パレットが表示されます。

ドックの表示を切り替える

ドックの表示を切り替えて、ドックに格納されているパレットの表示を変更する方法について説明します。

ドックの表示・非表示を切り替える

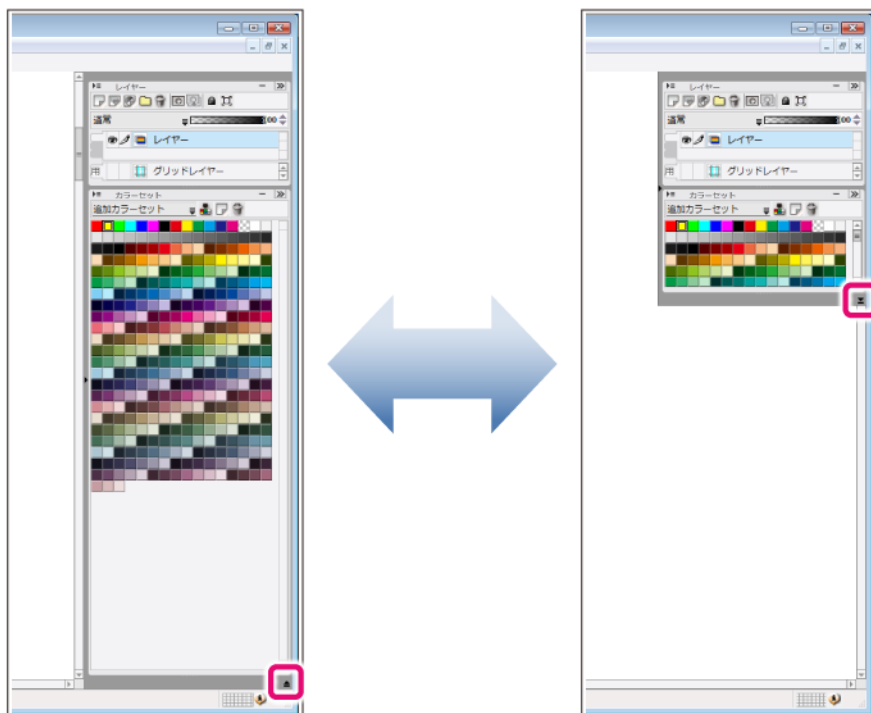
ドックの表示・非表示を切り替えると、ドックに格納されているパレットの表示・非表示を一括で切り替えられます。左右いずれかの [ドックの表示・非表示] をクリックします。再度 [ドックの表示・非表示] をクリックすると元に戻せます。



[ドックの表示・非表示] のサイズは変更できます。[環境設定] ダイアログの [パレット・ドック] の [ドックの表示・非表示ボタンのサイズ] で設定します。[環境設定] ダイアログは、[ファイル] メニュー → [環境設定] の順に選択すると表示できます。[環境設定] ダイアログについては、『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『パレット・ドック』を参照してください。

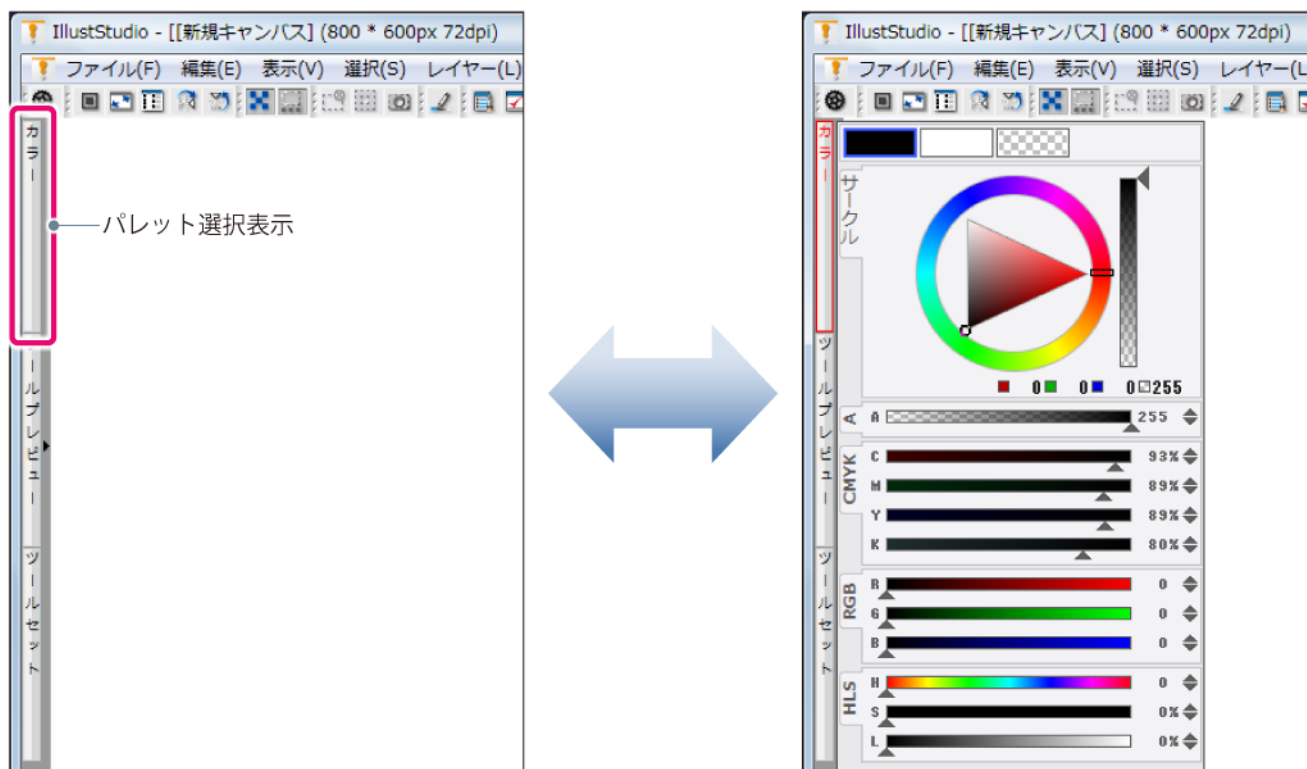
ドックをフィット表示にする

ドックの高さを、メインウィンドウの高さとドック内のパレットの高さのいずれかにフィットするよう切り替えられます。ドックの下にある [ドックのフィット] をクリックします。再度 [ドックのフィット] をクリックすると元に戻せます。



非表示のドックからパレットを表示する

非表示のドックからパレットを表示できます。ドックのフレームに表示されている [パレット選択表示] から、表示したいパレット名をクリックすると、パレットがポップアップ表示されます。再度パレット名をクリックすると、ポップアップ表示が解除されます。



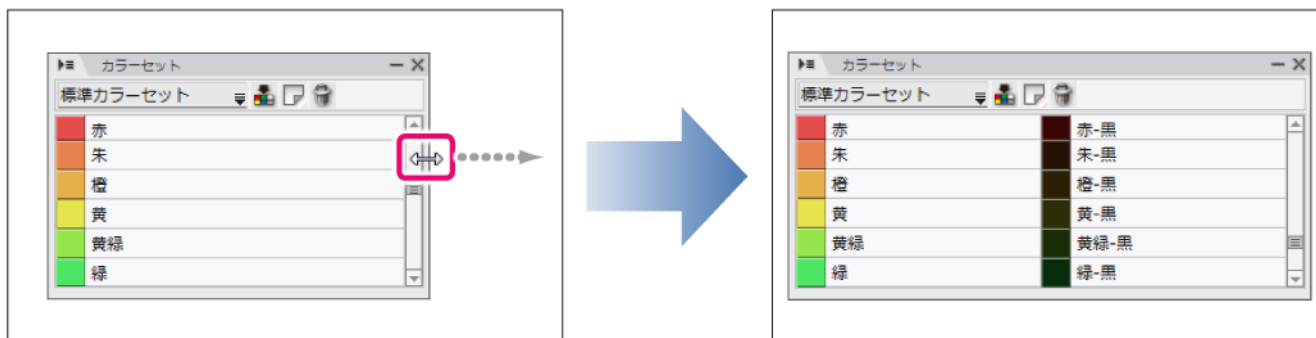
- [パレット選択表示] は、[環境設定] ダイアログの [パレット・ドック] で [ドックの脇にボタンを表示する] をオンにすると表示されます。[環境設定] ダイアログは、[ファイル] メニュー → [環境設定] の順に選択すると表示できます。詳しくは『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『パレット・ドック』を参照してください。
- [環境設定] ダイアログの [パレット・ドック] の [パレットのポップアップをキャンバスのクリックで解除する] をオンにすると、キャンバスをクリックすることでポップアップ表示を解除できます。[環境設定] ダイアログについては、『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『パレット・ドック』を参照してください。

パレットの形状変更

ここでは、単独表示の場合を例にして、パレットやリブのサイズを変更する方法について説明します。

パレットのサイズを変更する

パレットによっては、サイズを変更して使用できます。原則どのパレットでも変更する方法は同様です。ただし、パレットによっては、変更後の形状が異なる場合があります。単純に項目のサイズが変更されるものもあれば、高さや幅に応じて、項目を振り分けるように変更されるものもあります。



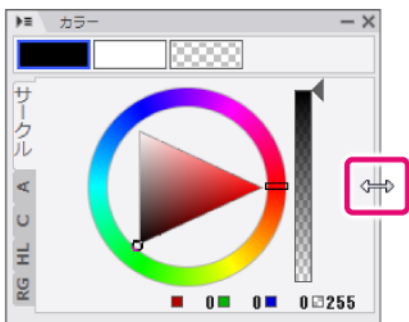
例：[ツールセット] パレットの場合、高さや幅に応じて項目が振り分けられます。

パレットの幅を変更する

パレットの幅を変更します。

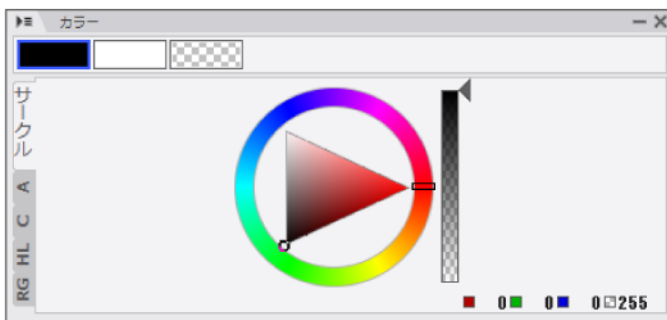
1 パレットの幅を変更する

パレットの横端にマウスカーソルを合わせ、左右いずれかにドラッグします。パレットの内側にドラッグすると幅が狭く、パレットの外側にドラッグすると幅が広がります。



2 パレットの幅の変更が完了する

ドラッグした位置までパレットの端が移動し、パレットの幅が変更されます。



外側にドラッグした場合



内側にドラッグした場合

パレットの高さを変更する

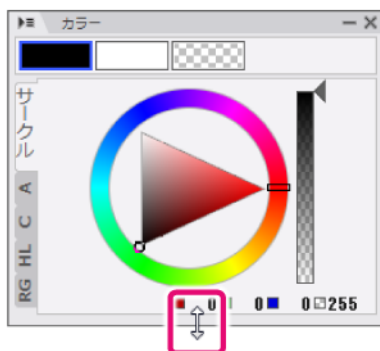
パレットの高さを変更します。



- パレットによっては、高さを変更できない場合があります。
- 複数のリブで構成されているパレットの高さを変更する場合、リブの仕様によって変更結果が変わります。リブの高さを調整したい場合は、『解説：パレットの操作』→『パレットの形状変更』→『[リブのサイズを変更する](#)』を参照してください。

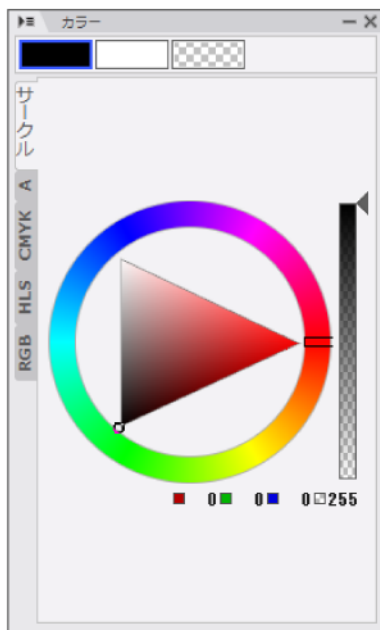
1 パレットの高さを変更する

パレットの上端または下端にマウスカースルを合わせ、上下いずれかにドラッグします。パレットの内側にドラッグすると高さが低く、パレットの外側にドラッグすると高さが高くなります。

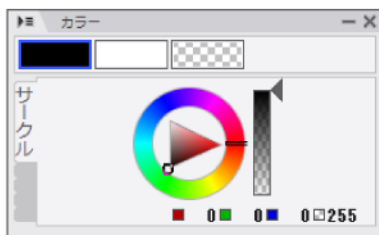


2 パレットの高さの変更が完了する

ドラッグした位置までパレットの端が移動し、パレットの高さを変更されます。



外側にドラッグした場合



内側にドラッグした場合



高さが変更できるパレットの場合、パレットの角にマウスカースルを合わせて斜めにドラッグすると、幅と高さをまとめて変更できます。

リブのサイズを変更する

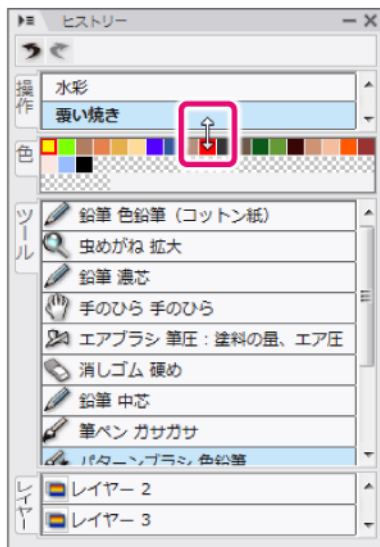
パレットによっては、リブごとに高さを変更できます。リブの高さを変更すると、同時にパレットの高さを変更されます。



リブによっては、高さが変更できない場合があります。

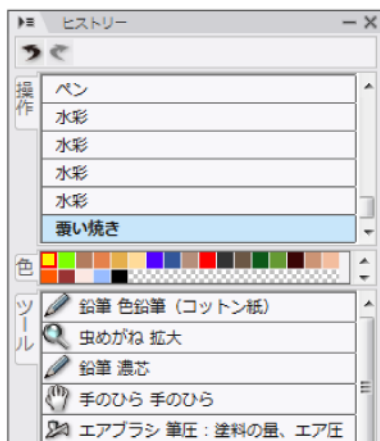
1 リブの高さを変更する

サイズを変更したいリブの下端にマウスカーソルを合わせ、上下いずれかにドラッグします。リブの内側にドラッグすると高さが低く、リブの外側にドラッグすると高さが高くなります。ここでは、リブの外側にドラッグしてみます。

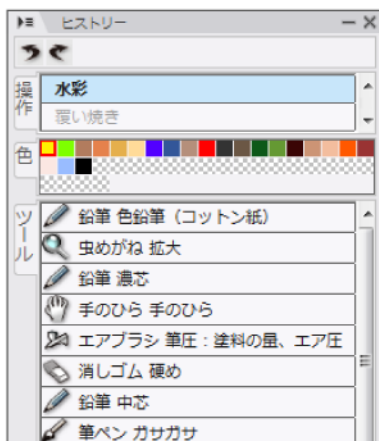


2 リブの高さの変更が完了する

ドラッグした位置までリブの下端が移動し、リブの高さを変更されます。



外側にドラッグした場合



内側にドラッグした場合

ブラシ形状のプレビュー

下記操作を行ったときに、[キャンバス] ウィンドウ上にブラシ形状のプレビューを表示します。実際に描画される大きさ・形状を確認できます。

[ツールスタイル] パレット	[サイズ] にマウスカーソルを合わせたとき。
	[プリセット] にマウスカーソルを合わせたとき。
[ツールプレビュー] パレット	[ツールプレビュー] パレットにマウスカーソルを合わせたとき。
[ツールセット] パレットの [ツールオプション] または [ツールオプション] パレット	[基本] の [サイズ] にマウスカーソルを合わせたとき。
	[パターンブラシ] ツール選択時に、[基本] の [散布] にマウスカーソルを合わせたとき。
	[形状] の [厚み] にマウスカーソルを合わせたとき。
	[形状] の [向き] にマウスカーソルを合わせたとき。
	[線つまみ] ツール選択時に、[基本] の [効果範囲] にマウスカーソルを合わせたとき。



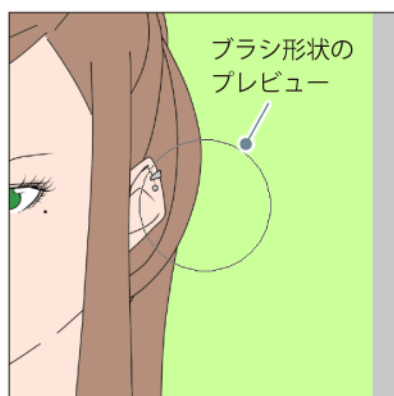
[サイズ] を調整中



[厚み] を調整中



[向き] を調整中









[散布] を調整中

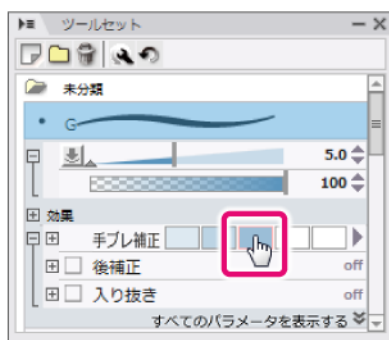


[効果範囲] を調整中

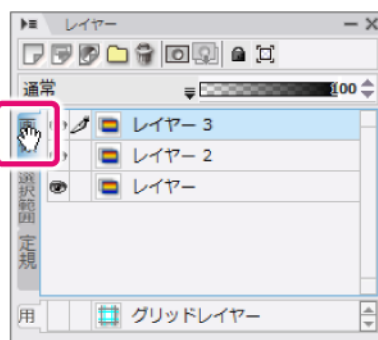
マウスカースルの形状

パレット上でマウスカースルを動かしたときに、マウスカースルの形状が変わります。

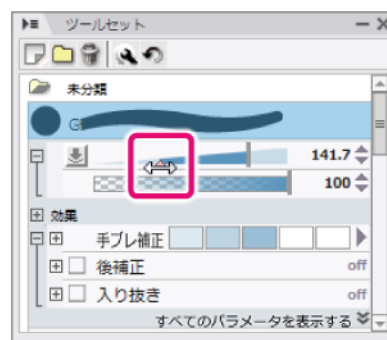
形状	内容	例
	ボタン、プルダウンメニューにマウスカースルを合わせると、この形状に変わります。また、クリックできるリブ（例：[ツール]パレットのリブ、重なっているリブ）のグリップも、この形状に変わります。	[ツールオプション]の[影響元]
	ドラッグで移動できる項目にマウスカースルを合わせると、この形状に変わります。	リブのグリップ
	スライダーの[最小値]にマウスカースルを合わせると、この形状に変わります。	[ツールオプション]の[ブラシサイズ]
	色を指定する項目にマウスカースルを合わせると、この形状に変わります。	[カラーパレット]の[サークル]リブ
	クリックやドラッグで形状を変更できる場合に、この形状に変わります。	[ツールプレビュー]パレット
	上記の項目以外の場合に、この形状に変わります。	-



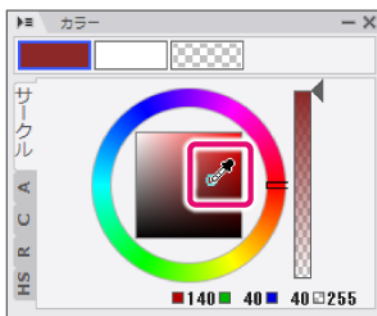
例：ボタン



例：リブのグリップ



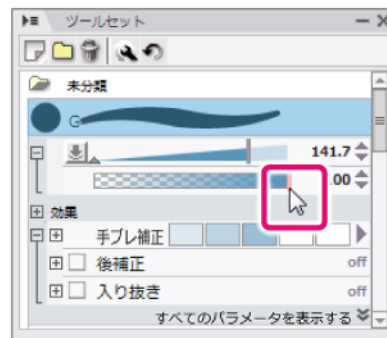
例：[ブラシサイズ]の最小値



例：[カラーサークル]



例：[ツールプレビュー]



例：その他の場合

ツール系パレット

本章では、ツール系のパレットの機能について紹介します。

- ・[ツール]パレット
- ・[ツールセット]パレット
- ・[ツールプレビュー]パレット
- ・[ツールスタイル]パレット
- ・[ツールオプション]パレット

また、[ツール]パレットにある、描画系ツールの共通設定についても説明します。

ツールパレット

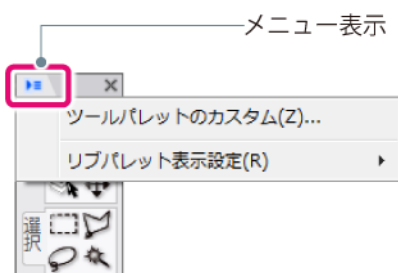
[パレット]メニュー→[ツール]を選択すると、表示されます。各種ツールがボタンになって並んでおり、ボタンをクリックすると、ツールを使用できます。



[ツール]パレットの各種ツールの機能については、『[ツール一覧](#)』を参照してください。

ツールパレットのメニュー

[ツール]パレットの左上にある[メニュー表示]をクリックすると、表示されるメニューです。[ツール]パレットの表示方法を設定できます。



ツールパレットのカスタム

[ツールパレットのカスタム]ダイアログを表示し、[ツール]パレットに登録する項目やリブをカスタマイズできます。詳しくは『メニュー』→『ファイルメニュー』→『[カスタマイズ→ツールパレットのカスタム](#)』を参照してください。

リブパレット表示設定

リブの表示方法を変更します。パレットのリブを調整することで、パレットの表示項目をカスタマイズできます。

詳しくは『解説：パレットの操作』→『パレットのリブ操作』→『[リブパレット表示設定](#)』を参照してください。

ツールパレットのカスタム

[ツール] パレットに表示する項目や表示順序などを、ドラッグ操作で変更できます。

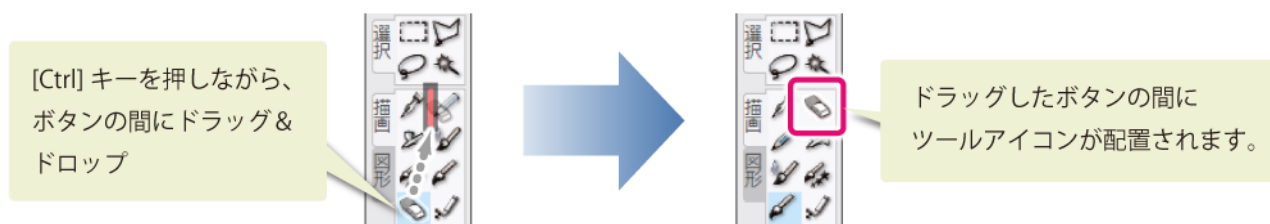
レイアウトの変更

[Ctrl] キーを押しながらツールアイコンをドラッグ&ドロップすると、[ツール] パレットのレイアウトを変更できます。

レイアウトの変更方法は、下記の通りです。

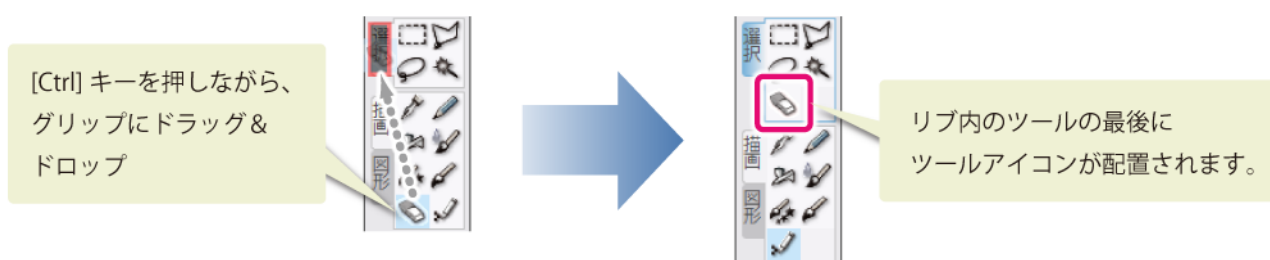
ボタンの間にドラッグ&ドロップした場合

[Ctrl] キーを押しながらツールを選択し、ボタンの間にドラッグ&ドロップすると、ボタンの間にツールが配置されます。



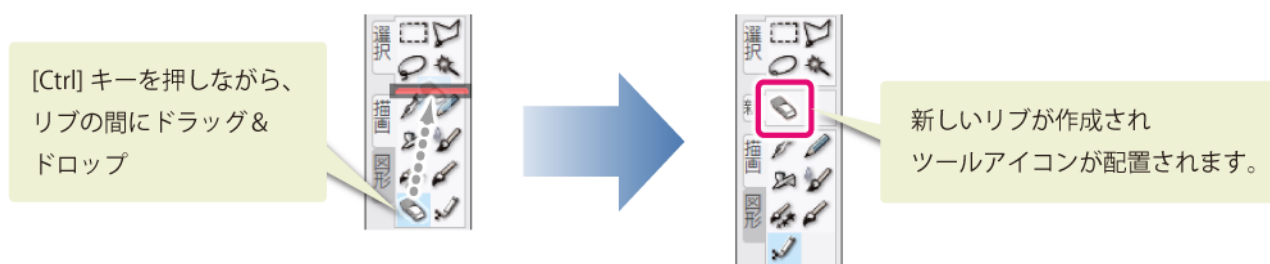
グリップにドラッグ&ドロップした場合

[Ctrl] キーを押しながらツールを選択し、グリップにドラッグ&ドロップすると、リブ内の一番後ろの位置にツールが配置されます。



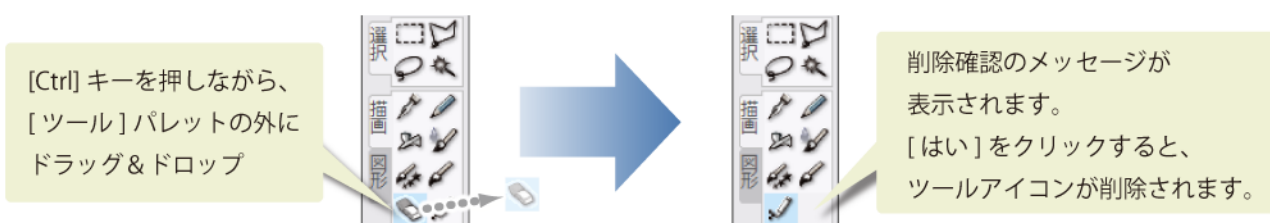
リブの間にドラッグ&ドロップした場合

[Ctrl] キーを押しながらツールを選択し、リブの間にドラッグ&ドロップすると、新しいリブが作成されツールが配置されます。



ツールパレットの外にドラッグ&ドロップした場合

[Ctrl] キーを押しながらツールを選択し、[ツール] パレットの外にドラッグ&ドロップすると、ツール削除を確認するメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、ツールが[ツール] パレットから削除されます。



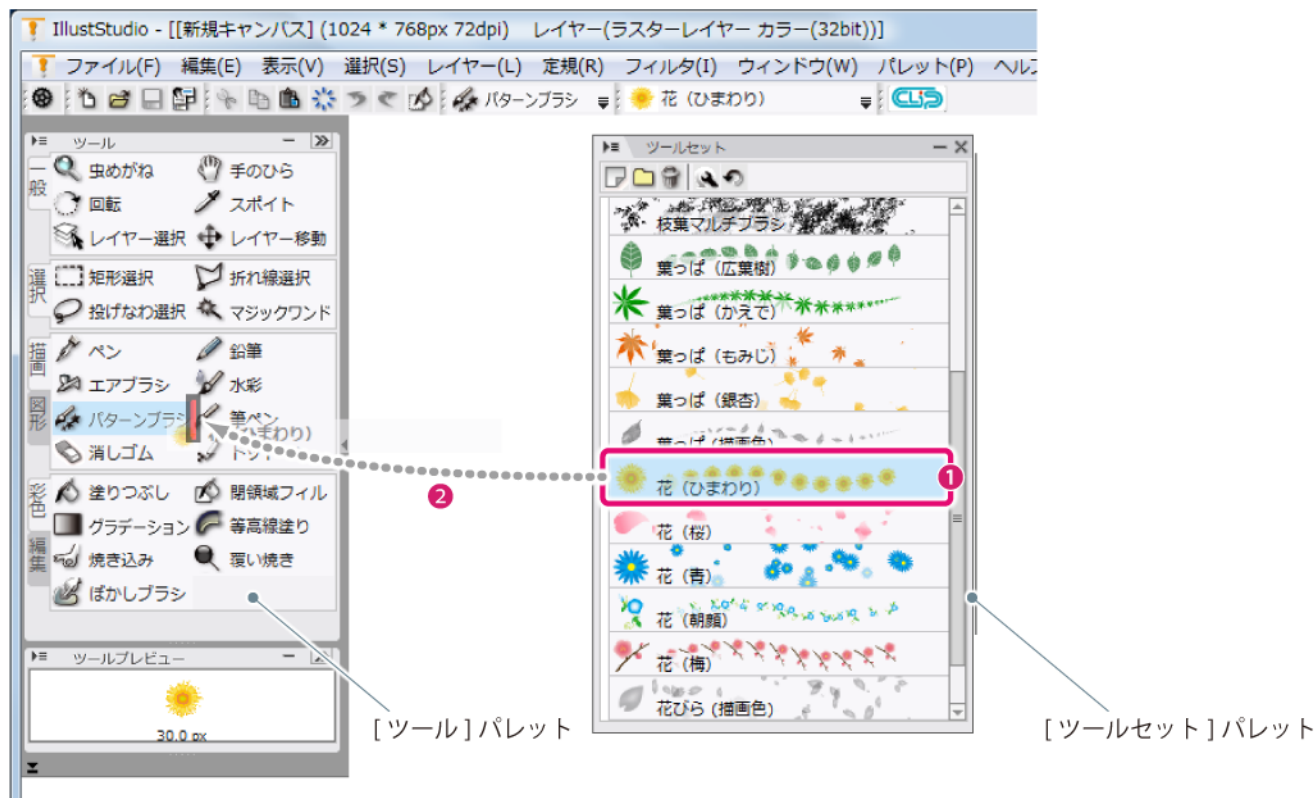
ツールセットをツールパレットへ追加

[ツールセット] パレットの [ツールセット] を、[ツール] パレットへ追加できます。追加方法は次の通りです。

1 [ツールセット] パレットを開く

[ツールセット] パレットを開きます。

2 [ツールセット] を [ツール] パレットへドラッグ&ドロップする



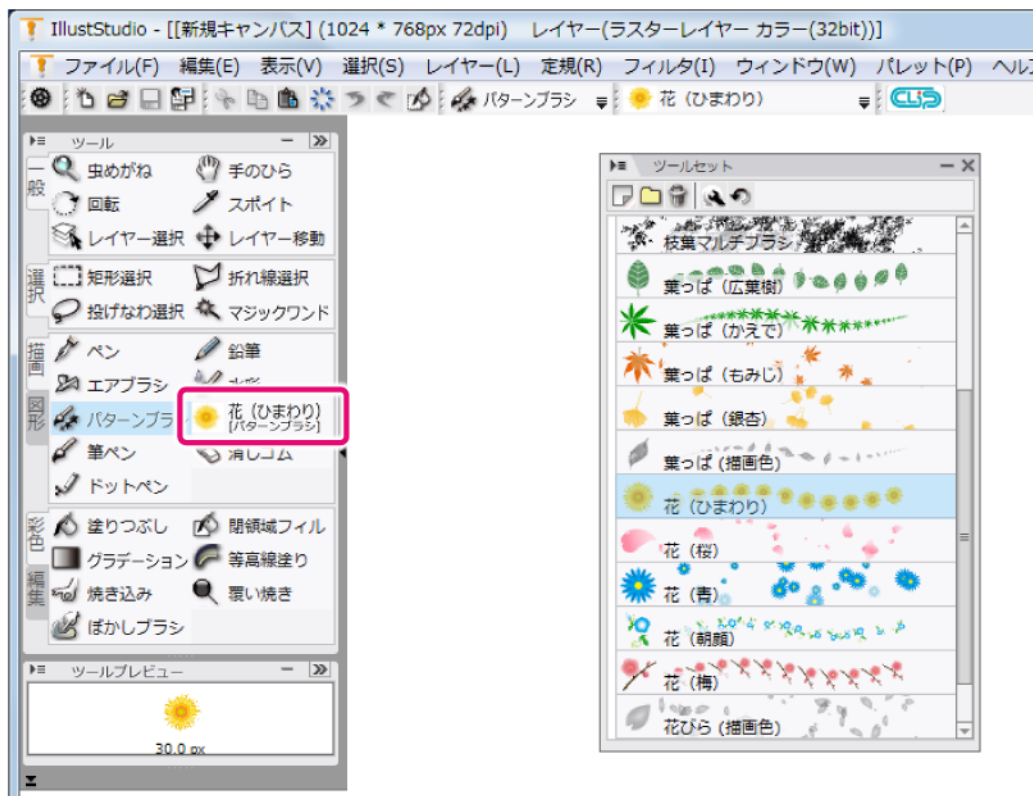
- ① [ツールセット] パレットで、[Ctrl] キーを押しながら [ツールセット] を選択します。
- ② 選択した [ツールセット] を、[ツール] パレットへドラッグ&ドロップします。



ドラッグ&ドロップする位置は、[ツール] パレットのレイアウトを変更する場合と同じです。詳細は『ツール系パレット』→『ツールパレット』→『ツールパレットのカスタム』→『レイアウトの変更』を参照してください。

3 [ツール] パレットへ [ツールセット] が追加される

選択した [ツールセット] が、[ツール] パレットへ追加されます。

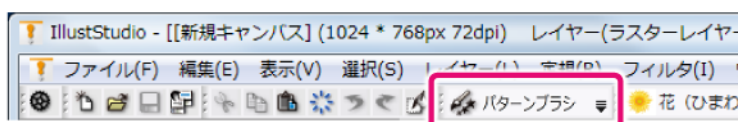


ツール一覧リスト・カレントツールセットからツールを追加

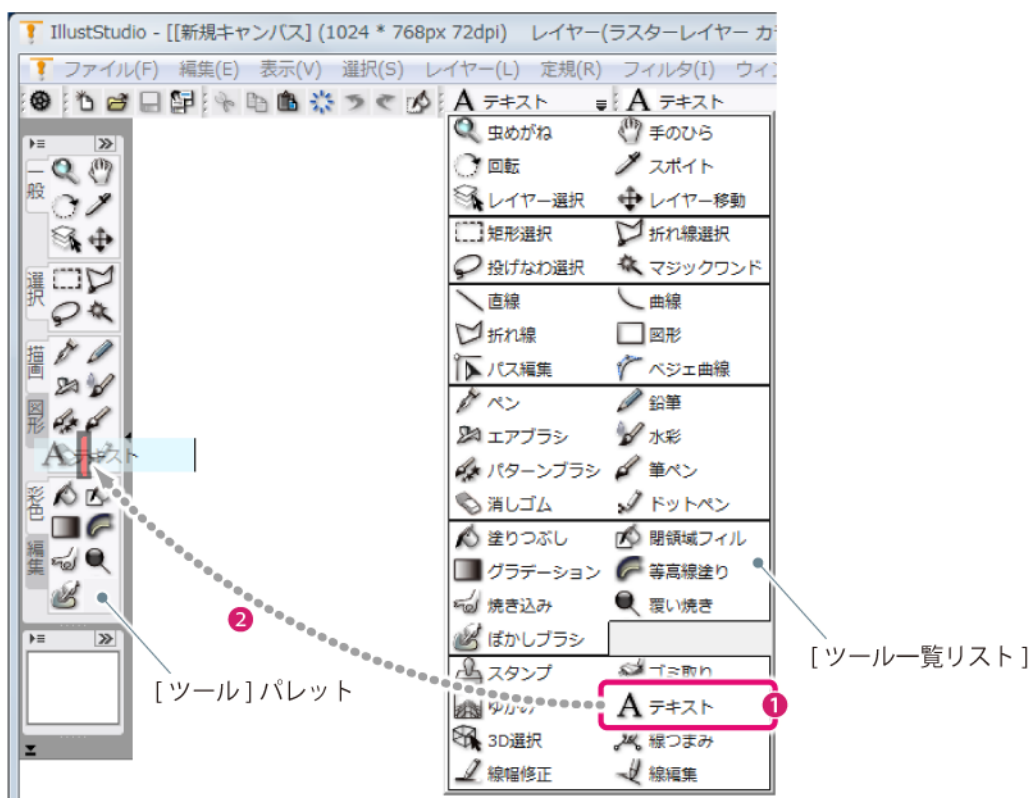
[ツールバー] の [ツール一覧リスト]・[カレントツールセット] から、[ツール] パレットへ [ツール] を追加できます。ここでは、[ツール一覧リスト] から [ツール] パレットへ、[ツール] を追加する方法を説明します。

1 [ツール一覧リスト] を開く

[ツールバー] の [カレントツール] をクリックし、[ツール一覧リスト] を表示します。



2 [ツール] を [ツール] パレットヘドラッグ&ドロップする



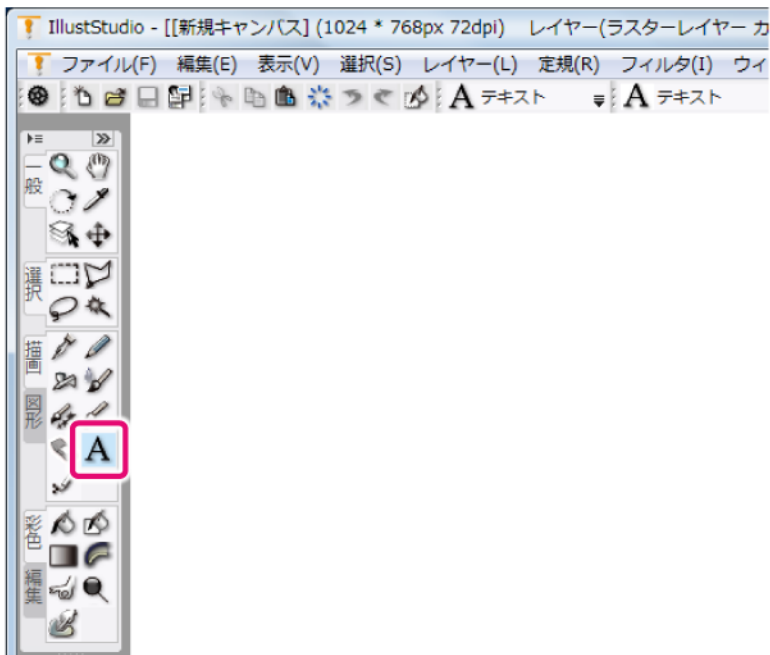
- ① [ツール一覧リスト] で、[Ctrl] キーを押しながらツールを選択します。
- ② 選択した [ツール] を、[ツール] パレットヘドラッグ&ドロップします。



ドラッグ&ドロップする位置は、[ツール] パレットのレイアウトを変更する場合と同じです。詳細は『ツール系パレット』→『ツールパレット』→『ツールパレットのカスタム』→『[レイアウトの変更](#)』を参照してください。

3 [ツール] パレットへ [ツール] が追加される

選択した [ツール] が、[ツール] パレットへ追加されます。

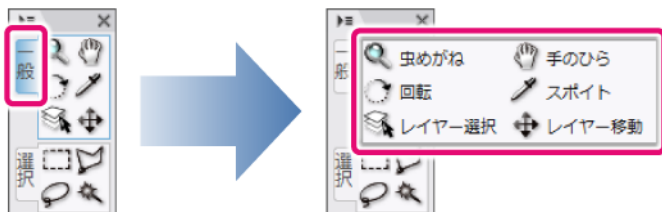


ツールパレットの操作

[ツール] パレット特有の操作方法について説明します。

アイコン表示時にツール名を確認して選択する

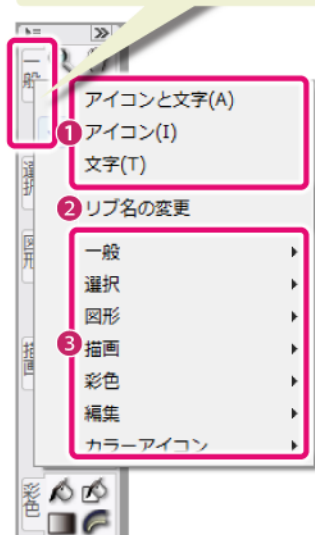
アイコン表示時に、ツール名を確認してから選択したい場合は、リブのグリップ部分をクリックします。リブに登録されているツールの一覧がアイコンと文字の両方で表示され、そこからツールを選択できます。



リップのグリップを右クリックすると表示されるメニュー

リップのグリップを右クリックすると表示されるメニューから、リップの表示方法などを設定できます。

右クリックしてメニューを表示します。



① リップ表示

ツールの表示方法を設定します。表示方法は下記から選択します。

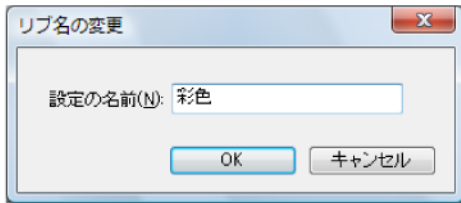
アイコンと文字	<p>リップ内の各ツールの表示が、アイコンと文字になります。</p> 
アイコン	<p>リップ内の各ツールの表示が、アイコンだけになります。</p> 
文字	<p>リップ内の各ツールの表示が、文字だけになります。</p> 

② リブ名の変更

[リブ名の変更] ダイアログを表示し、[リブ] で選択した項目名を変更します。

リブ名の変更ダイアログ

[設定の名前] に新しい名前を入力し、[OK] をクリックすると、[リブ] で選択した項目名が変更されます。



③ リブパレット表示設定

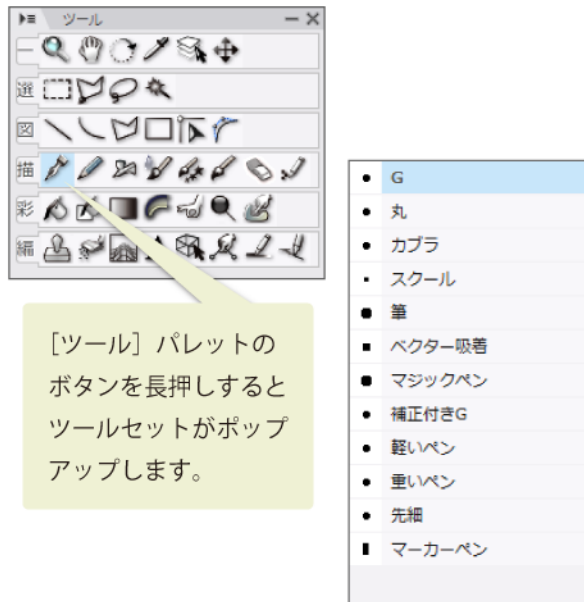
リブごとの表示方法を設定します。設定項目の詳細は、『解説：パレットの操作』→『パレットのリブ操作』→『リブパレット表示設定』→『[リブごとに表示方法を設定する](#)』を参照してください。

他のパレットのポップアップ表示

[ツール] パレットのボタンで下記の操作を行うと、他のパレットがポップアップ表示します。

[ツールセット] パレットのポップアップ表示

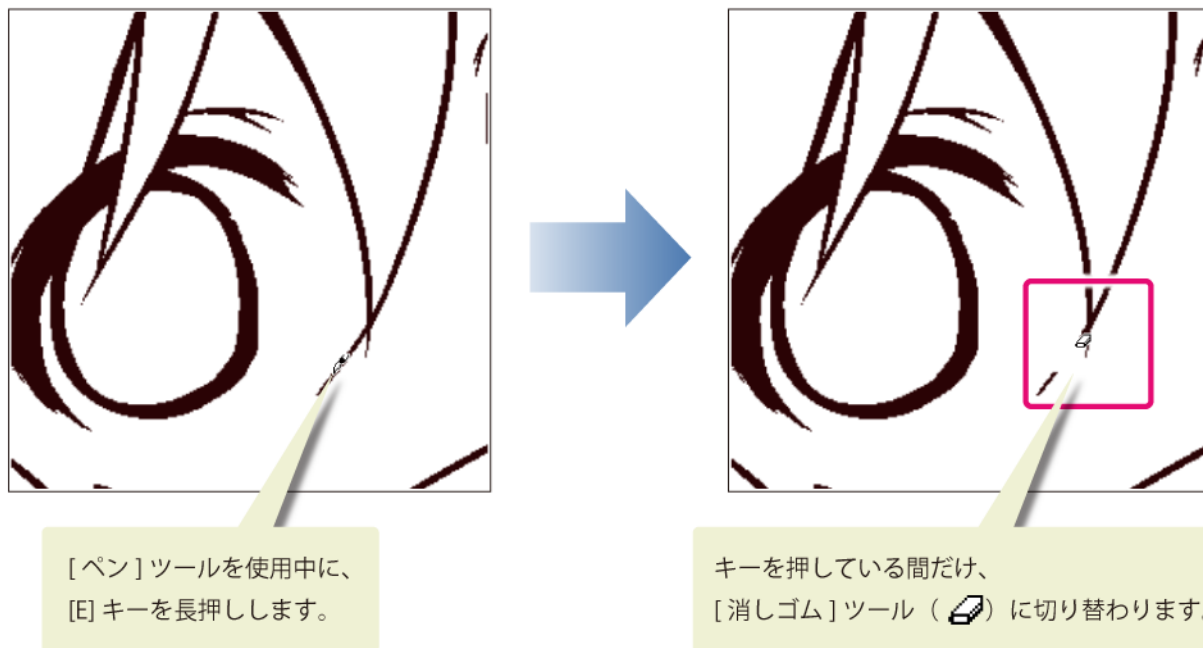
[ツール] パレットのボタンを長押し、またはダブルクリックすると、[ツールセット] パレットがポップアップ表示します。



- ポップアップ表示を解除するには、[ツール] パレットのボタンをクリックするか、ウィンドウ内の何も無い所をクリックします。
- [ツールオプション] を分離している場合は、ダブルクリックで [ツールオプション] がポップアップ表示します。

ツールの一時切り替え（ツールシフト）

【ツール】パレットのツールまたはツールセットに割り当てられているショートカットキーを長押ししたときに、キーを押している間だけツールやツールセットが切り替わります。



ツールシフトの使用例：【ペン】ツールを使用中に、一時的に【消しゴム】ツールへ切り替える場合



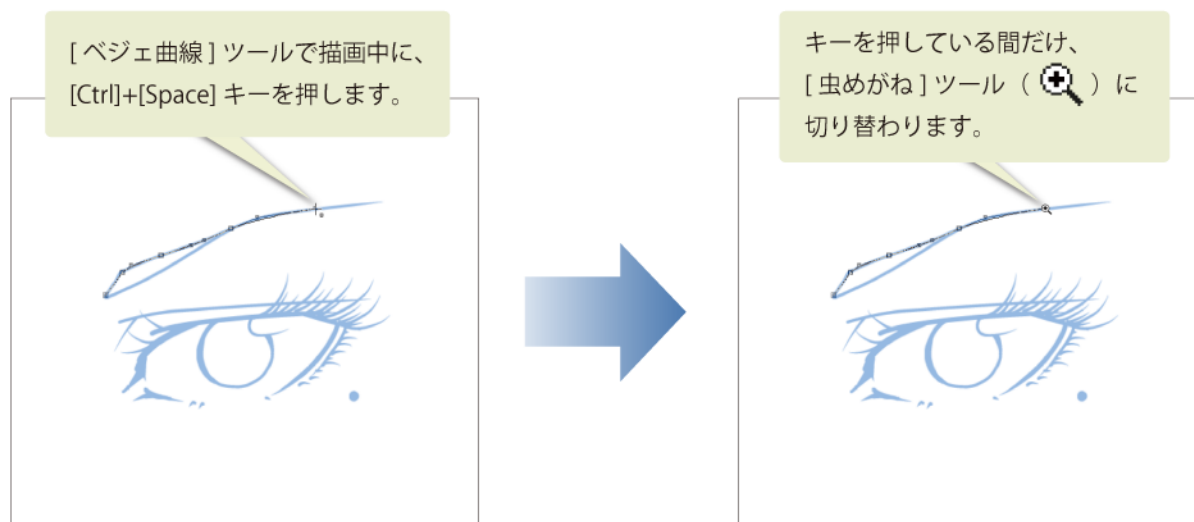
- 【環境設定】ダイアログで、ツールシフトの有効・無効、ツールシフトに切り替わるまでの時間を設定できます。詳細は『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『ツール』を参照してください。
- 複数のツールやツールセットに、同じショートカットキーを割り当てた場合、選択中のツールやツールセットに応じて、切り替わるツールやツールセットが異なります。詳細は『メニュー』→『ファイルメニュー』→『カスタマイズ→ショートカット設定』→『複数のツールやツールセットに同じショートカットキーを割り当てた場合』を参照してください。

ツール使用中のキー操作

ツール使用中にツールやレイヤーの設定を切り替えられます。

〔虫めがね〕ツールへの切り替え

描画や範囲選択などの途中にキーを押すと、キーを押している間だけ〔虫めがね〕ツールへ切り替わります。画面を拡大・縮小しながら作業できます。



使用例：〔ベジェ曲線〕ツール使用中の〔虫めがね〕ツールへの切り替え

描画や範囲選択などの途中に下記のキー操作を行うと、〔虫めがね〕ツールに切り替わります。

操作	動作
描画や範囲選択などの途中に、[Ctrl]+[Space] キーを押します。	キーを押している間だけ、〔虫めがね〕ツール（拡大）へ切り替わります。
描画や範囲選択などの途中に、[Ctrl]+[Alt]+[Space] キーを押します。	キーを押している間だけ、〔虫めがね〕ツール（縮小）へ切り替わります。

〔虫めがね〕ツールへ切り替わるツール	〔折れ線〕 〔折れ線選択〕 〔ベジェ曲線〕 〔閉領域フィル〕（※） 〔ゴミ取り〕（※） 〔線幅修正〕（※） 〔線編集〕（※）
--------------------	----------------------------------------------------------------------------------

※〔ツールオプション〕→〔基本〕→〔選択形状〕が〔折れ線〕の場合、〔虫めがね〕ツールに切り替わります。

[パス編集] ツールへの切り替え

下記ツールを使用中に [Ctrl] キーを押した場合は、キーを押している間だけ、[パス編集] ツールに切り替わります。

[Ctrl] キーを押したときに [パス編集] ツールに切り替わるツール	[直線]・[曲線]・[折れ線]・[図形]・[ベジェ曲線] [ペン]・[鉛筆]・[エアブラシ]・[水彩]・[パターンブラシ]・[筆ペン]・[消しゴム]・[ドットペン] [塗りつぶし]・[閉領域フィル]・[グラデーション]・[等高線塗り]・[焼き込み]・[覆い焼き]・[ぼかしブラシ] [スタンプ]・[ゴミ取り]・[ゆがみ]・[テキスト]・[線つまみ]・[線幅修正]・[線編集]
--------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参照レイヤーの切り替え

下記ツールを使用中に [Shift] キーを押した場合は、[参照レイヤー] を参照します。

[Shift] キーを押したときに参照レイヤーに切り替わるツール	[塗りつぶし] [閉領域フィル] [等高線塗り] [ゴミ取り]
----------------------------------	------------------------------------------

中央から開始

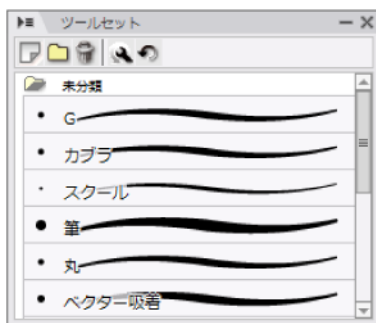
[図形] ツール・[グラデーション] ツールで、[Shift] キーを押しながら描画すると、始点を中心に描画します。



[グラデーション] ツールは、[タイプ] が [楕円]・[円] の場合だけ、始点を中心に描画します。[タイプ] が [直線] の場合は、グラデーションの方向指定が 45 度刻みになります。

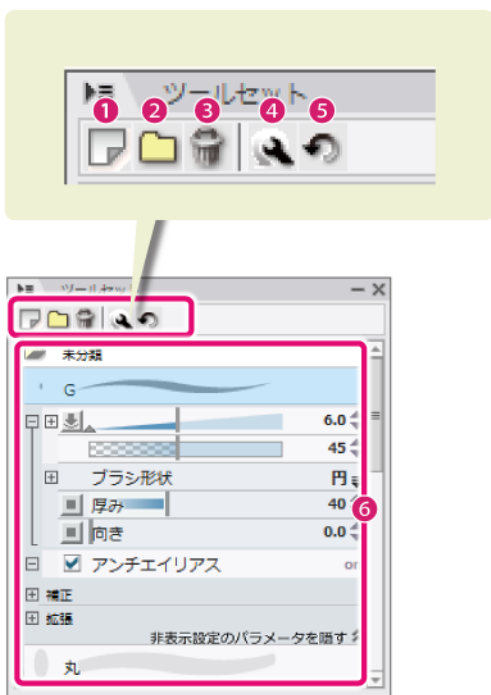
ツールセットパレット

[パレット]メニュー→[ツールセット]を選択すると、表示されます。各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。



ツールセットパレットの機能

[ツールセット]パレットの機能について紹介します。



① 新規ツールセット作成

[新規ツールセット]ダイアログが表示され、現在の[ツールオプション]の設定を新しいツールセットとして追加します。

② 新規フォルダ作成

[ツールセット]パレットの一番下に、[新規フォルダ]を追加します。

③ ツールセット削除

選択中のツールセットを削除します。

④ ロック

[ツールオプション]で設定中の値を、選択中のツールセットに保存します。ロック中は、[ツールオプション]の設定は変更できますが、再度同じツールセットを選択すると、[設定をロック]に設定したときの状態に戻ります。

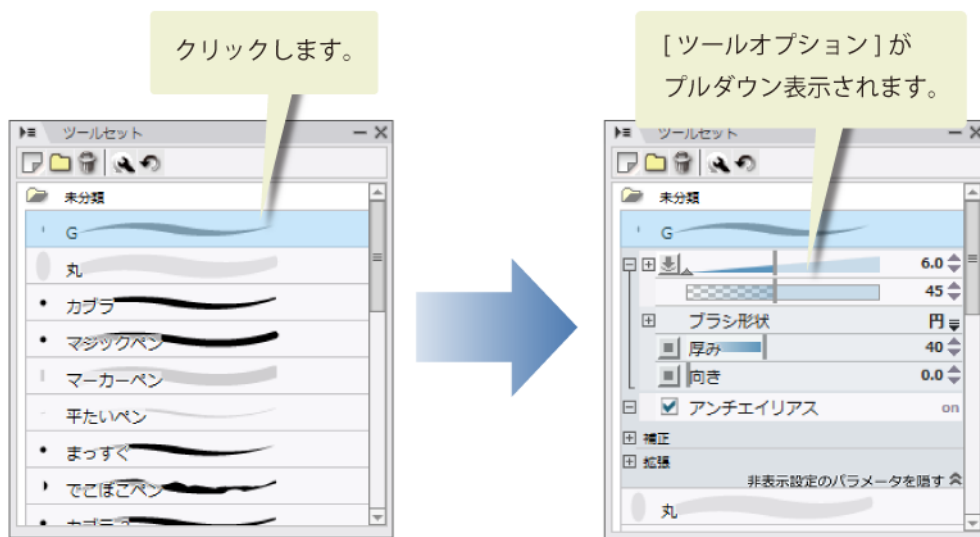
⑤ 初期設定に戻す

[ツールオプション] の設定を解除して、選択中のツールセットを初期設定に戻します。

⑥ ツールセット、ツールオプション

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。

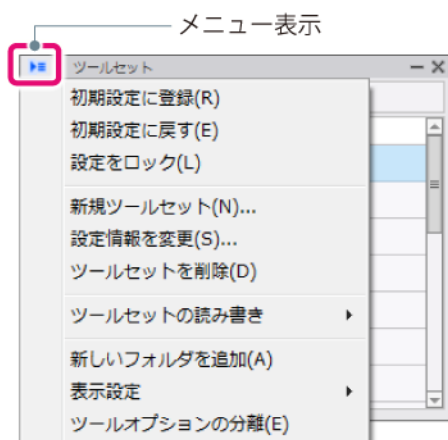
また、選択中のツールセットをクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールセットの詳細な設定が行えます。



- [ツールオプション] の設定項目は、選択したツールに応じて異なります。ツール固有の項目については、『[ツール一覧](#)』を参照してください。
- [ツールオプション] をパレットとして表示できます。[ツールオプション] パレットの表示方法については、『[メニュー](#)』 → 『[パレットメニュー](#)』 → 『[ツールオプションの分離](#)』 および 『[ツールオプション](#)』 を参照してください。

ツールセットパレットのメニュー

[ツールセット] パレットの左上にある [メニュー表示] をクリックすると、表示されるメニューです。[ツールセット] パレットの表示方法のほか、フォルダの作成、ツールセットの新規追加や設定変更、[ツールオプション] の分離などを設定できます。



初期設定に登録

[ツールスタイル] で設定中の値を、選択中のツールセットの初期設定として上書き登録します。

初期設定に戻す

[ツールスタイル] パレットの設定を解除して、選択中のツールセットを初期設定に戻します。

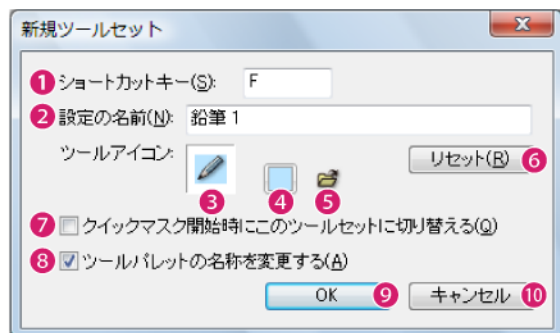
設定をロック

[ツールセット] パレットで設定中の値を選択中のツールセットに保存します。ロック中は、[ツールスタイル] パレットの設定は変更できますが、再度同じツールセットを選択すると、[設定をロック] に設定したときの状態に戻ります。

新規ツールセット

[新規ツールセット] ダイアログが表示され、現在の [ツールスタイル] パレットの設定を新しいツールセットとして追加します。

新規ツールセットダイアログ



① ショートカットキー

キーを押すと、[ツールセット] にショートカット（ショートカットキー）を割り当てられます。



[Delete] キーまたは [Back Space] キーを押すと、割り当てたショートカットをクリアできます。

② 設定の名前

ツールセットの名称を入力します。

③ ツールアイコン

[ツール] パレットで選択したツールのアイコンが表示されます。

④ ツールアイコンの背景色

ツールアイコンの背景色をプレビュー表示します。クリックすると、[色の設定] ダイアログが表示され、ツールアイコンの背景色を設定できます。

⑤ ファイルの読み込み

アイコンの画像にしたい画像ファイルを読み込みます。[ファイルを開く] ダイアログが表示され、アイコンの画像ファイルを選択できます。自作の画像も使用できます。読み込める画像ファイルは、BMP・JPEG・PNG・Photoshop・TIFF・Targa です。

⑥ リセット

ツールアイコンの設定をリセットできます。

⑦ クイックマスク開始時にこのツールセットに切り替える

チェックボックスをオンにすると、クイックマスク使用時にこのツールセットに自動で切り替わります。



- [クイックマスク開始時にこのツールセットに切り替える] を使用してツールを切り替えた場合は、クイックマスクをオフにしたときに、自動的にクイックマスクを使用する前のツールセットに切り替わります。
- [クイックマスク開始時にこのツールセットに切り替える] は全ツールに対して1つだけ設定できます。他のツールセットでこの設定をオンにすると、いままでオンになっていたツールセットの設定はオフになります。

⑧ ツールパレットの名称を変更する

チェックボックスをオンにすると、ツールセットの名称を変更した場合に、[ツール] パレットに登録されている同じツールセットも連動して名称が変更されます。

⑨ OK

ツールセットを新規作成し、[新規ツールセット] ダイアログを閉じます。

⑩ キャンセル

設定を保存せずに、[新規ツールセット] ダイアログを閉じます。

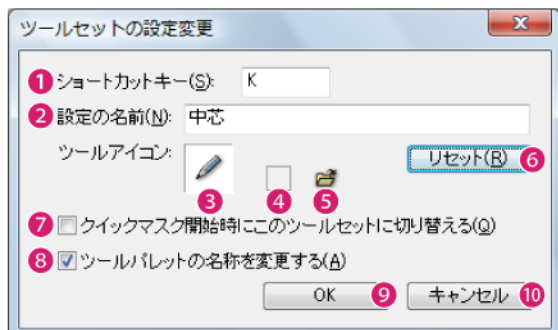
設定情報を変更

[ツールセットの設定変更] ダイアログが表示され、選択中のツールセットの名称やアイコンなどの設定を変更します。



[ツールセット] パレットの任意の項目をダブルクリックしても、[ツールセットの設定変更] ダイアログを表示できます。

ツールセットの設定変更ダイアログ



① ショートカットキー

キーを押すと、[ツールセット] にショートカット (ショートカットキー) を割り当てられます。



[Delete] キーまたは [Back Space] キーを押すと、割り当てたショートカットをクリアできます。

② 設定の名前

ツールセットの名称を入力します。

③ ツールアイコン

[ツール] パレットで選択したツールのアイコンが表示されます。

④ アイコンの背景色

ツールアイコンの背景色をプレビュー表示します。クリックすると、[色の設定] ダイアログが表示され、ツールアイコンの背景色を設定できます。

⑤ ファイルの読み込み

アイコンの画像にしたい画像ファイルを読み込みます。[ファイルを開く] ダイアログが表示され、アイコンの画像ファイルを選択できます。自作の画像も使用できます。読み込める画像ファイルは、BMP・JPEG・PNG・Photoshop・TIFF・Targa です。

⑥ リセット

ツールアイコンの設定をリセットできます。

⑦ クイックマスク開始時にこのツールセットに切り替える

チェックボックスをオンにすると、クイックマスク使用時にこのツールセットに自動で切り替わります。



- [クイックマスク開始時にこのツールセットに切り替える] を使用してツールを切り替えた場合は、クイックマスクをオフにしたときに、自動的にクイックマスクを使用する前のツールセットに切り替わります。
- [クイックマスク開始時にこのツールセットに切り替える] は全ツールに対して 1 つだけ設定できます。他のツールセットでこの設定をオンにすると、いままでオンになっていたツールセットの設定はオフになります。

⑧ ツールパレットの名称を変更する

チェックボックスをオンにすると、ツールセットの名称を変更した場合に、[ツール] パレットに登録されている同じツールセットも連動して名称が変更されます。

⑨ OK

ツールセットを新規作成し、[ツールセットの設定変更] ダイアログを閉じます。

⑩ キャンセル

設定を保存せずに、[ツールセットの設定変更] ダイアログを閉じます。

ツールセットを削除

選択中のツールセットを削除します。

ツールセットの読み書き

ツールセットの読み込み・書き出しを行います。

ツールセットの読み込み

ツールセットファイル（拡張子 :tos）を読み込み、ツールセットを追加します。[ツールセットの読み込み] ダイアログで、[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら複数のツールセットファイルを選択すると、複数のツールセットをまとめて読み込みます。ツールセットは、最大 1000 個まで登録できます。

ツールセットの書き出し

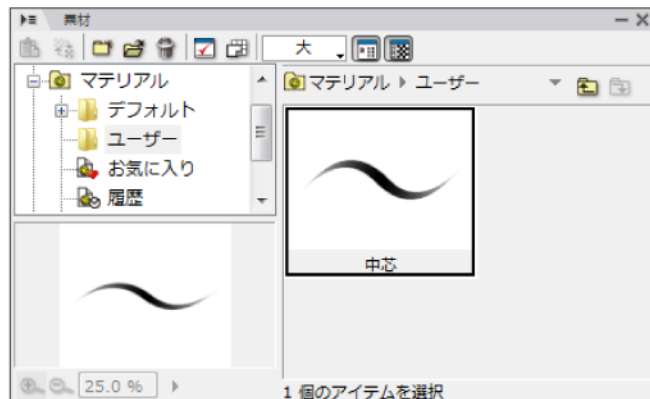
選択中のツールセットをツールセットファイル（拡張子 :tos）として書き出します。

現在のツールセットをすべて書き出し

[ツールセット]パレットに表示中のすべてのツールセットを、ツールセットファイル（拡張子:tos）として書き出します。

ツールセットを素材パレットに登録

選択中のツールセットを[素材]パレットに登録します。ツールセットは、[素材]パレットの[マテリアル]→[ユーザー]に登録されます。



[素材]パレットに保存された[ツールセット]を読み込むには、[素材]パレットのツールセットファイルのアイコンをダブルクリックし、[素材プロパティ]ダイアログの[設定の読み込み]をクリックすると、[ツールセット]パレットに登録されます。



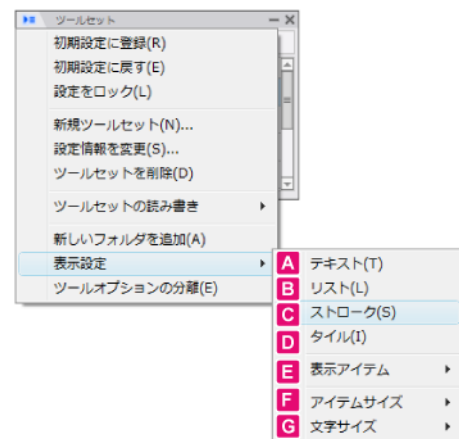
[素材プロパティ]ダイアログについて、詳しくは『補助系パレット』→『素材パレット』→『[素材プロパティダイアログ：マテリアル](#)』を参照してください。

新しいフォルダを追加

[ツールセット]パレットの一番下に、[新規フォルダ]を追加します。

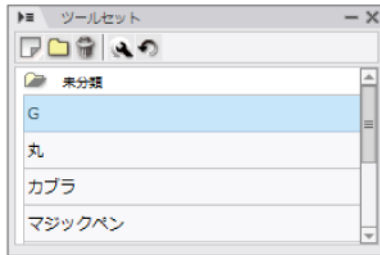
表示設定

ツールセットの各ボタンの表示方法を設定します。



A. テキスト

ツールセットのボタンを、テキストで表示します。



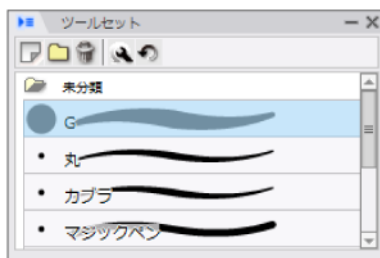
B. リスト

ツールセットのボタンを、横長の長方形で表示します。



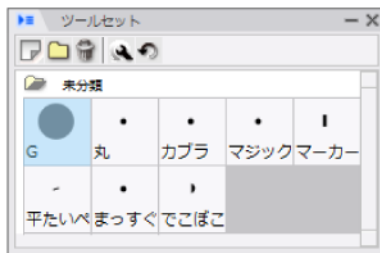
C. ストローク

ツールセットのボタンを、ストロークで表示します。ストロークは、ペンやブラシのように描画するツールだけ表示できます。その他の場合は、テキストが表示されます。



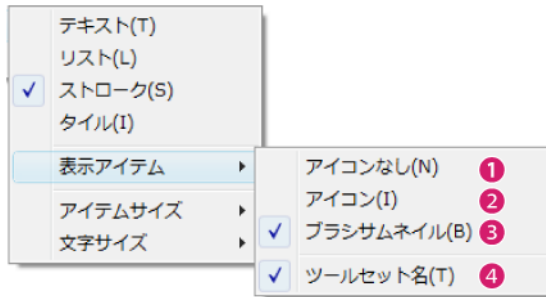
D. タイル

ツールセットのボタンを、タイル型で表示します。



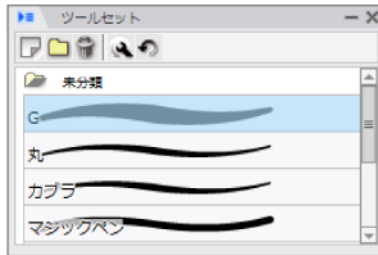
E. 表示アイテム

ボタンの先頭部分の表示アイテムと、ツールセット名の表示を設定します。



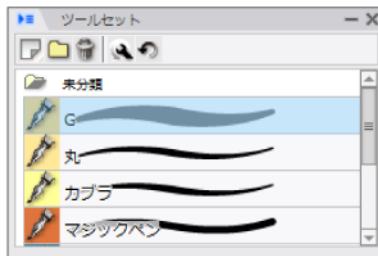
① アイコンなし

ボタンの先頭部分にアイテムを表示しません。



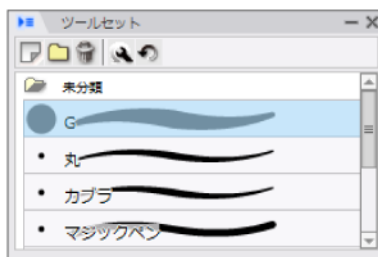
② アイコン

ボタンの先頭部分にツールアイコンを表示します。



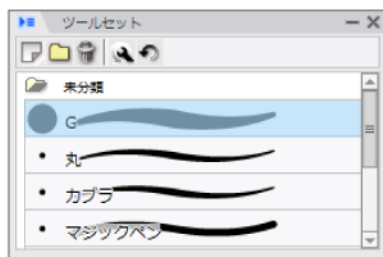
③ ブラシサムネイル

ボタンの先頭部分にブラシサムネイルを表示します。

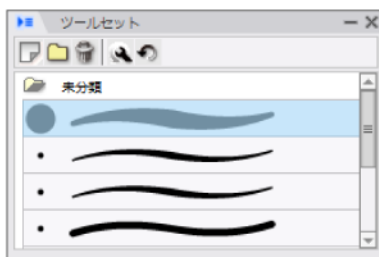


④ ツールセット名

ツールセット名の表示・非表示を切り替えます。



[ツールセット名] がオンの場合



[ツールセット名] がオフの場合

F. アイテムサイズ

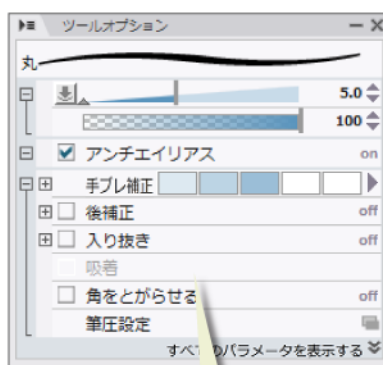
ツールセットのサイズを設定します。[小]・[標準]・[大]から選択できます。

G. 文字サイズ

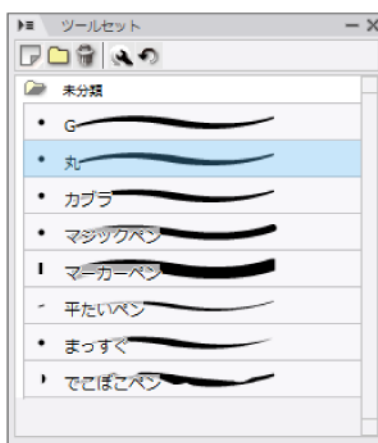
ツールセット名の文字サイズを設定します。[小]・[標準]から選択できます。

ツールオプションの分離

[ツールセット] パレット内の [ツールオプション] を、[ツールオプション] パレットとして表示できます。



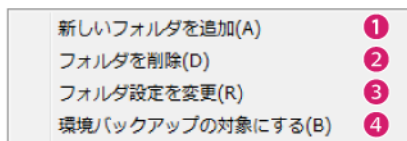
[ツールオプション] が、
[ツールオプション] パレットとして
表示されます。



- 再度、[ツールオプションの分離] を選択してチェックマークをはずすと、[ツールセット] パレット内に [ツールオプション] を表示できます。
- [ツールオプション] を分離後は、[ツールセット] パレットの [ツールオプション] はプルダウン表示されません。
- [ツールオプション] を分離後は、[パレット] メニュー→[ツールオプション] を選択すると、[ツールオプション] パレットの表示・非表示を切り替えられます。
- [ツールオプション] を分離後に、[ツールオプション] パレットをドックに格納した場合、[ツールオプションの分離] は使用できません。再度、[ツールセット] パレットに [ツールオプション] を表示したい場合、[ツールオプション] パレットをドックの外に出してください。

フォルダの上で右クリックすると表示されるメニュー

[ツールセット] パレットのフォルダの上で右クリックした場合は、下記のメニューが表示されます。



① 新しいフォルダを追加

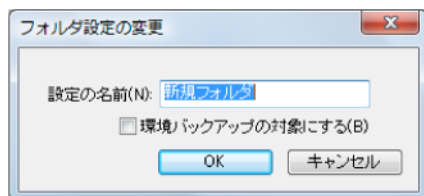
[ツールセット] パレットの一番下に、[新規フォルダ] を追加します。

② フォルダを削除

[ツールセット] パレットから、選択したフォルダを削除します。

③ フォルダ設定を変更

[フォルダ設定の変更] ダイアログを表示し、選択したフォルダの名前を変更できます。環境バックアップを行うときに書き出す対象にしたい場合は、[環境バックアップの対象にする] のチェックをオンにします。



④ 環境バックアップの対象にする

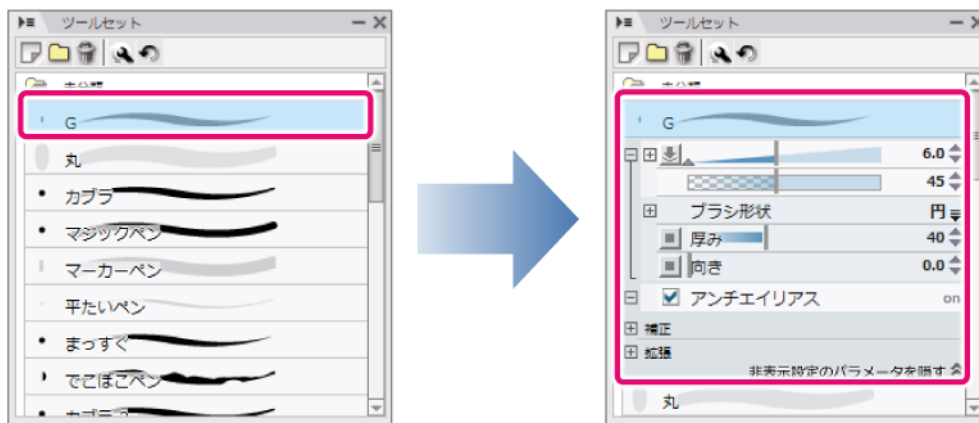
環境バックアップを行うときに、選択したフォルダを書き出す対象にするかどうか切り替えられます。書き出す対象にしたい場合は、[環境バックアップの対象にする] のチェックをオンにします。

ツールセットパレットの操作

[ツールセット] パレット特有の操作方法について説明します。

ツールオプションの開閉

ツールセットをクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。

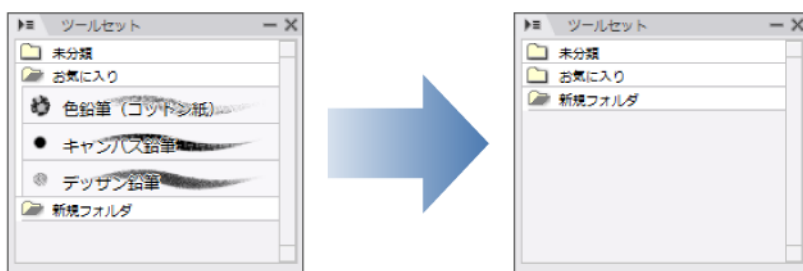


フォルダ機能

フォルダごとにツールセットを整理できます。

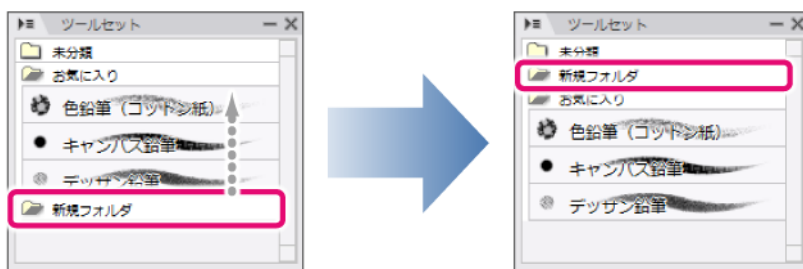
フォルダの開閉

フォルダをクリックすると、フォルダの開閉が切り替わります。



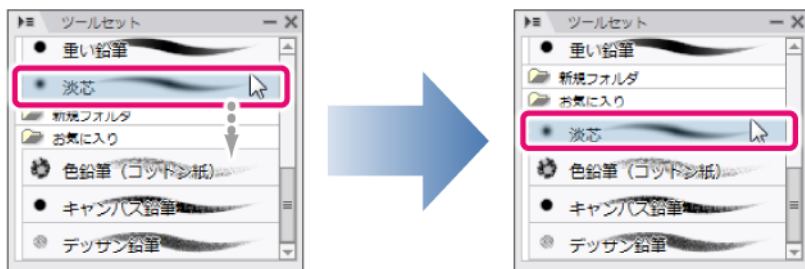
フォルダの並び替え

フォルダの順番を任意に設定できます。ドラッグすると並び替えができます。



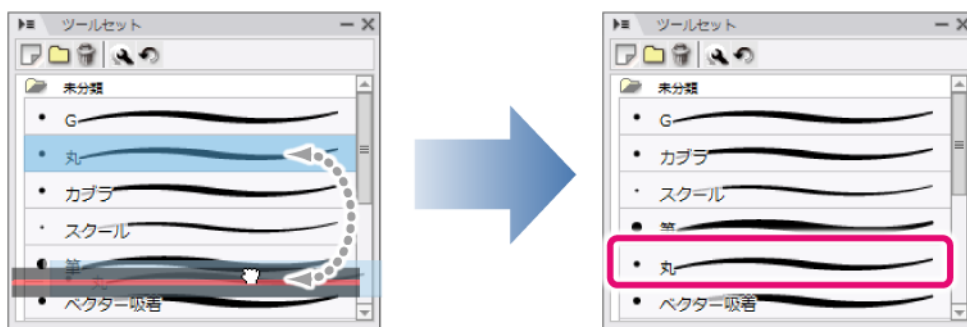
ツールセットをフォルダに移動

ツールセットを任意のフォルダに移動できます。ツールセットを移動先のフォルダ内にドラッグすると、移動します。



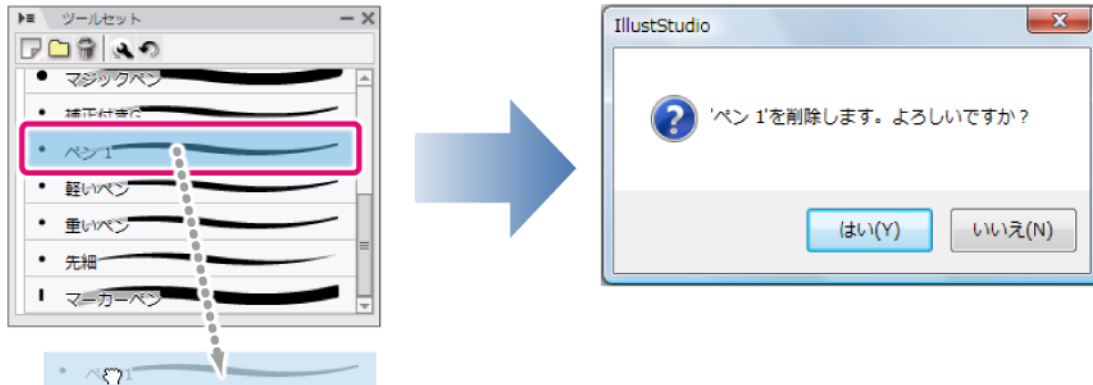
ツールセットの順番を入れ替え

ツールセットの順番を任意に設定できます。パレット内で [ツールセット] をドラッグすると並び替えができます。



ツールセットを削除

[Ctrl] キーを押しながら [ツールセット] パレットの外にドラッグすると、ツールセットを削除できます。



ツールオプション部分のカスタマイズ

ツールオプション部分の設定項目ごとに、表示・非表示を設定できます。

!重要

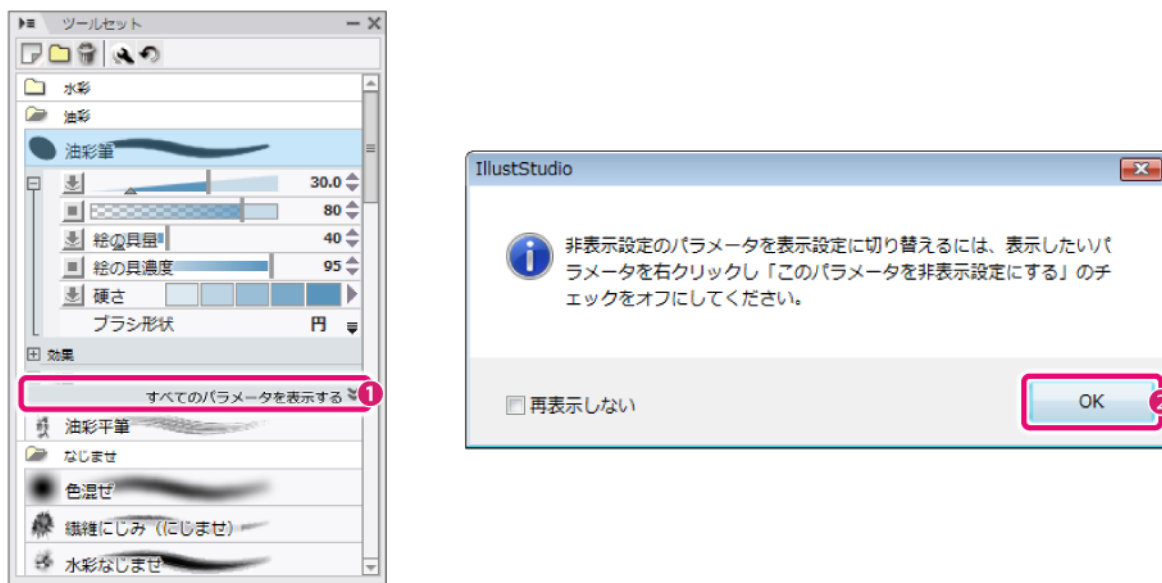
ツールオプションに、非表示に設定した項目がない場合は、[非表示設定のパラメータを隠す]・[すべてのパラメータを表示する]は表示されません。なお、1 つ以上の設定項目を非表示にすると、[非表示設定のパラメータを隠す]・[すべてのパラメータを表示する]が表示されます。

メモ

初期設定では、非表示のパラメータが隠れている状態になっています。

項目を表示状態にする

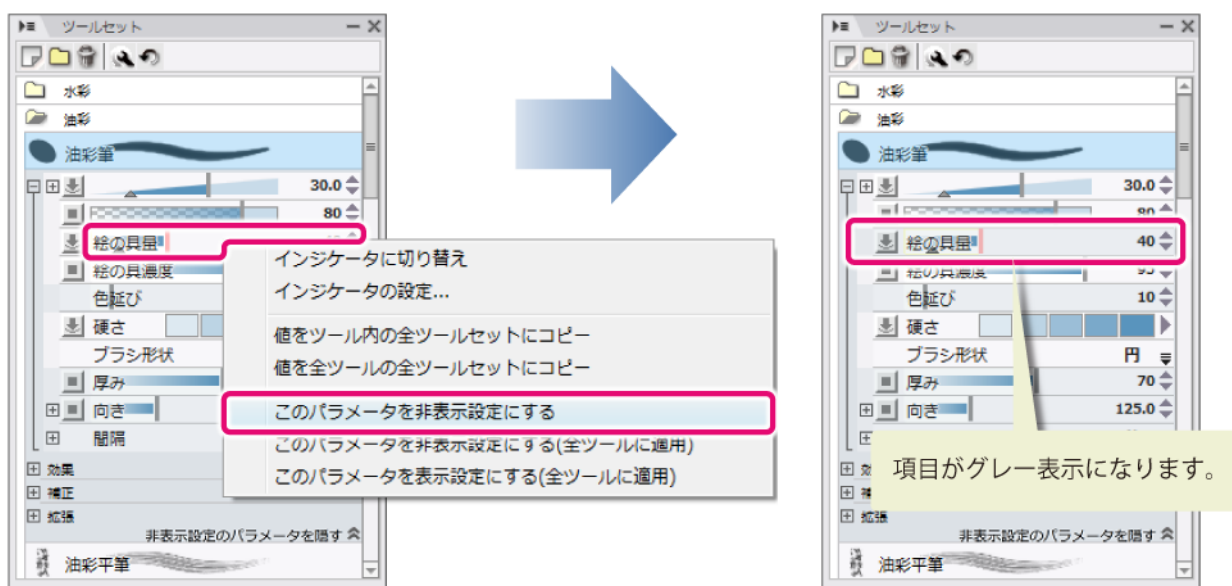
下記の手順で、すべての項目を表示します。



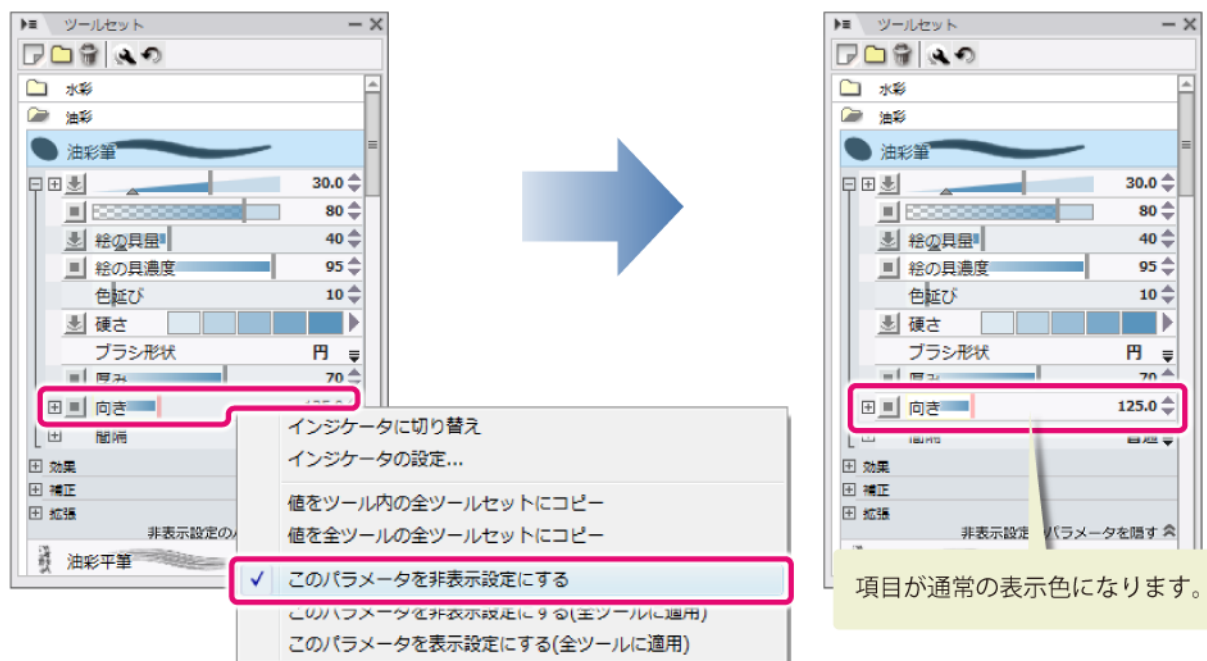
- ① ツールオプション部分の一番下にある [すべてのパラメータを表示する] をクリックします。
- ② メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。

項目の表示・非表示を設定する

下記の手順で、項目の表示・非表示を設定します。



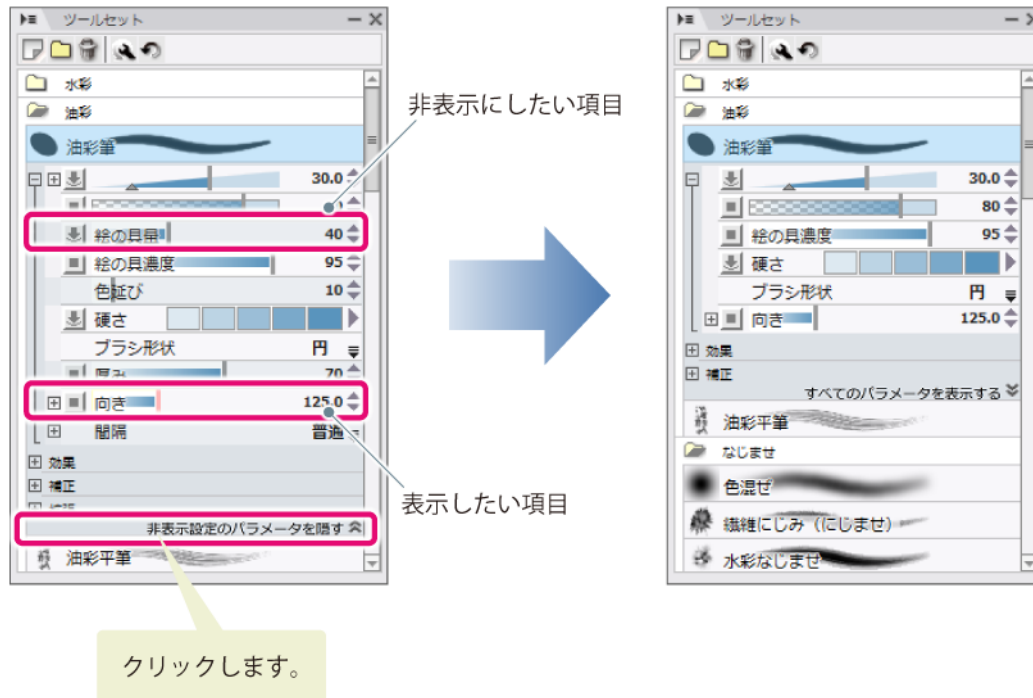
- ① 非表示に設定したい項目上で右クリックし、表示されたメニューから [このパラメータを非表示設定にする] を選択します。項目がグレー表示になります。



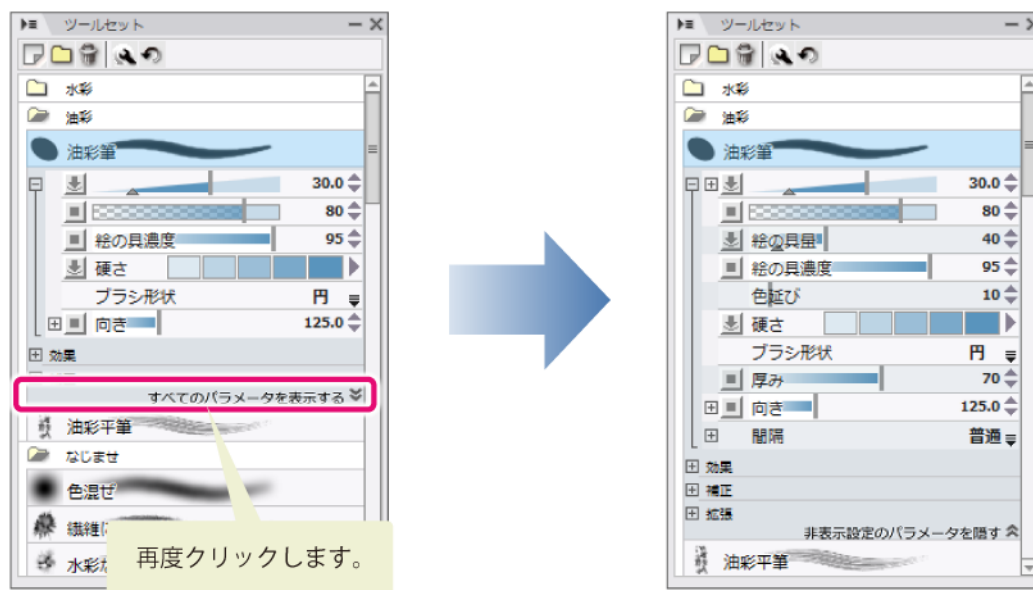
- ② 表示に設定したい項目上で右クリックし、表示されたメニューから「このパラメータを非表示設定にする」を選択し、チェックマークをはずします。項目が通常の表示色になります。
- ③ 表示を切り替えたい項目について、手順①～②を繰り返します。

項目の表示・非表示を切り替える

下記の手順で項目の表示・非表示を切り替えます。



ツールオプション部分の一番下にある「非表示設定のパラメータを隠す」をクリックすると、非表示に設定した項目が隠れます。



再度、ツールオプション部分の一番下にある [すべてのパラメータを表示する] をクリックし、メッセージが表示されたら [OK] をクリックすると、すべての項目が表示されます。



[すべてのパラメータを表示する] をクリックしたあとも、各項目の非表示の設定はクリアされません。非表示の設定を、表示の設定に変更したい場合は、手順 2 に従って非表示の項目を表示の設定に切り替えてください。

ツールセットの読み込み

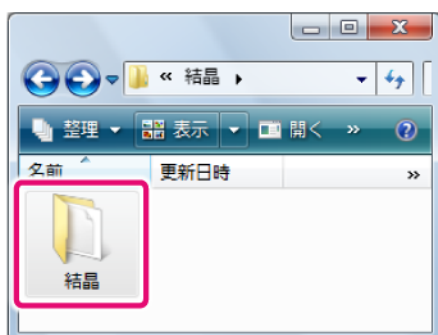
下記の操作でツールセットファイル (拡張子: tos) を [ツールセット] パレットに読み込みます。ここでは、パターンブラシ素材を例にして説明します。



- ツールセットファイルは、zip 形式で圧縮されているものやツールセットファイルを含むフォルダをドラッグ&ドロップしても、読み込みます。
- この方法では、複数のツールセットファイルをまとめて登録できません。1 つずつ登録してください。
- ツールセットは、最大 1000 個まで登録できます。

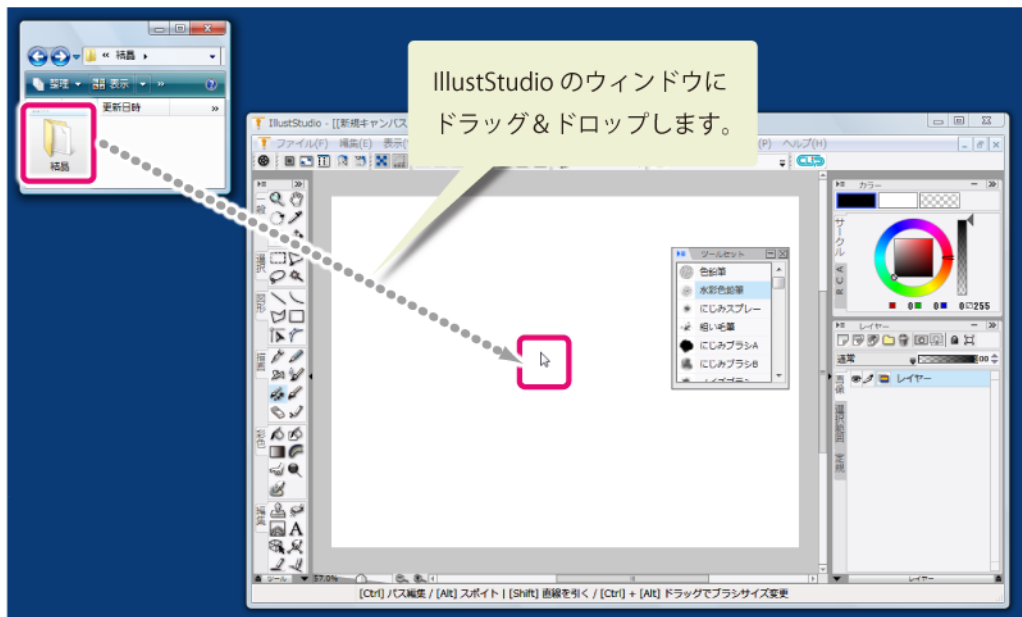
1 ツールセットファイルを用意する

ツールセットファイル (拡張子: tos) を用意します。ここでは、ツールセットファイルを含むフォルダ「結晶」を使用します。



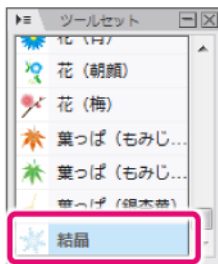
2 IllustStudio にツールセットファイルを登録する

ツールセットファイル（フォルダ）を、IllustStudio のウィンドウにドラッグ&ドロップします。確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



3 ツールセットが登録される

[ツールセット] パレットに、ドラッグ&ドロップしたツールセットファイルが登録されます。

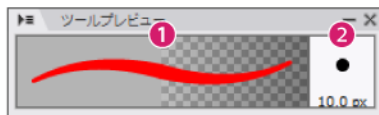


ツールプレビューパレット

[パレット]メニュー→[ツールプレビュー]を選択すると、表示されます。ペンやブラシなどを使用するツールの選択時に、ペンやブラシの形状をプレビュー表示します。また、ブラシのサイズ・向き・厚み・入り・抜きなどをプレビュー上で設定できます。

ツールプレビューパレットの機能

[ツールプレビュー]パレットの機能について紹介します。



① ストロークプレビュー

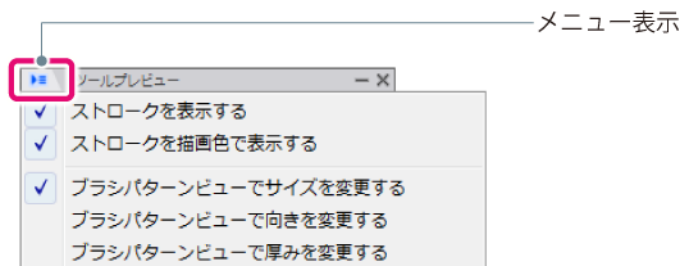
選択したツールのストロークをプレビュー表示します。

② ブラシパターンビュー

選択したツールのペン先やパターンの形状をプレビュー表示します。

ツールプレビューパレットのメニュー

[ツールプレビュー]パレットの左上にある[メニュー表示]をクリックすると、表示されるメニューです。[ツールプレビュー]パレットの表示内容や設定項目を設定できます。



ストロークを表示する

[ツールプレビュー]パレットにストロークプレビューを表示します。

ストロークを描画色で表示する

[ストロークプレビュー]を、現在選択中の描画色で表示します。また、背景の透明部分を市松模様で表示します。



[ツールプレビュー]パレットのメニューの[ストロークを描画色で表示する]がオンの場合は、ストロークプレビューの左半分がグレーで表示され、透明の部分が市松模様で表示されます。

ブラシパターンビューでサイズを変更する

[ブラシパターンビュー]をドラッグしてペンやブラシのサイズを変更できるようにします。設定方法については次の『[ペンやブラシを設定する](#)』を参照してください。

ブラシパターンビューで向きを変更する

[ブラシパターンビュー]をドラッグしてペンやブラシの向きを変更できるようにします。設定方法については次の『[ペンやブラシを設定する](#)』を参照してください。

ブラシパターンビューで厚みを変更する

[ブラシパターンビュー]をドラッグしてペンやブラシの厚みを変更できるようにします。設定方法については次の『[ペンやブラシを設定する](#)』を参照してください。

ペンやブラシを設定する

[ツールプレビュー] パレットで、ペンやブラシのサイズ・向き・厚み・入り・抜きなどを設定できます。

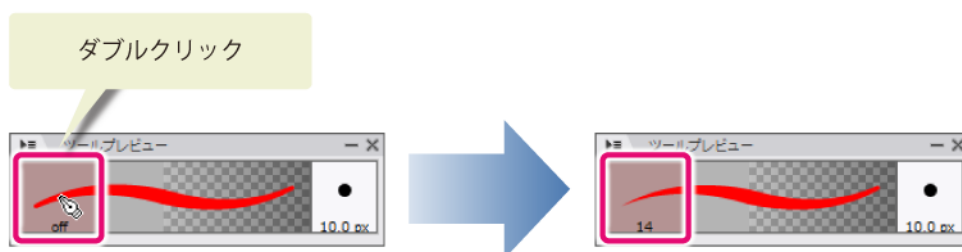
ストロークプレビューで入り抜きを設定する

[ツールプレビュー] パレットの [ストロークプレビュー] で入り抜きのオン・オフと効果の及ぶ範囲を設定します。

1 入り抜きのオン・オフを切り替える

[ストロークプレビュー] の左端または右端にマウスカーソルを合わせて、ダブルクリックします。オンの場合、数値が表示され、入り抜きを設定できます。オフの場合 [off] と表示されます。

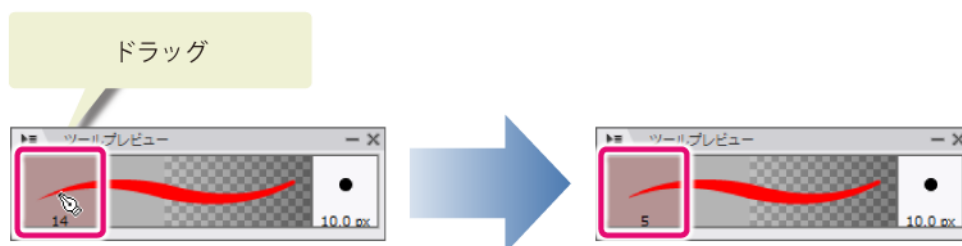
入りを設定したい場合は左端に、抜きを設定したい場合は右端にマウスカーソルを合わせます。再度ダブルクリックすると、元の設定に戻ります。



- 入り抜きをオンにする場合、[ストロークプレビュー] の左端または右端にマウスカーソルを合わせ、[ツールプレビュー] パレットの中央にむけてドラッグしても、切り替えられます。
- ツールによっては、入り抜きのオン・オフの結果が、[ツールプレビュー] パレットの [ストロークプレビュー] に反映されません。

2 入り抜きの効果範囲を設定する

[ストロークプレビュー] の左端または右端にマウスカーソルを合わせて、左右にドラッグします。入り抜きの効果が及ぶ範囲の数値を変更できます。

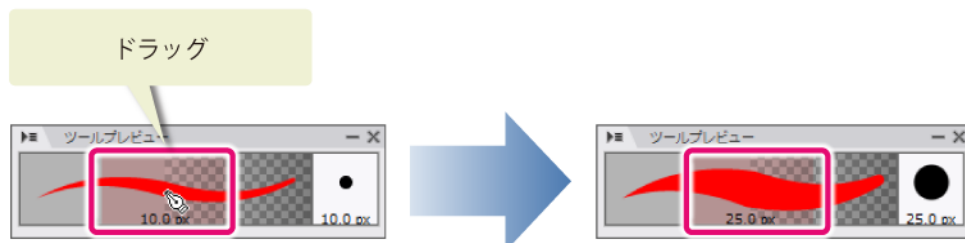


マウスホイールでも、入り抜きの効果が及ぶ範囲の数値を変更できます。

ストロークプレビューでサイズを設定する

[ツールプレビュー] パレットの [ストロークプレビュー] でペンやブラシのサイズを設定します。

[ストロークプレビュー] の中央にマウスカーソルを合わせ、左右にドラッグすると、ペンやブラシのサイズが変更されます。サイズを小さくしたい場合は左か下に、サイズを大きくしたい場合は右か上にドラッグします。[ストロークプレビュー] の下に設定したサイズの数値が表示されます。

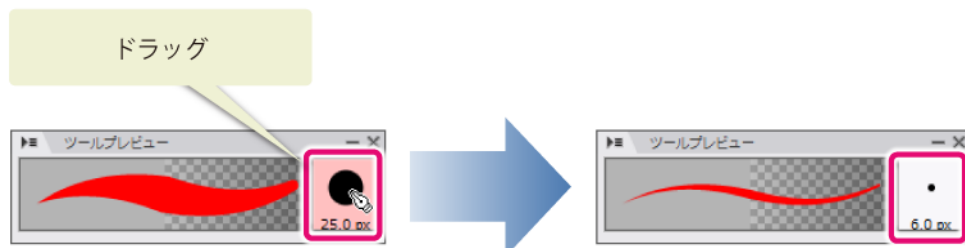


マウスホイールでも、ペンやブラシのサイズを変更できます。

ブラシパターンビューでサイズを設定する

[ツールプレビュー] パレットの [ブラシパターンビュー] でペンやブラシのサイズを設定します。この設定を行う前に、[メニュー表示] → [ブラシパターンビューでサイズを変更する] を選択し、チェックマークをつけてください。

[ブラシパターンビュー] にマウスカーソルを合わせてドラッグすると、ペンやブラシのサイズが変更されます。サイズを小さくしたい場合は [ブラシパターンビュー] の内側に、サイズを大きくしたい場合は [ブラシパターンビュー] の外側にドラッグします。[ブラシパターンビュー] の下に設定したサイズの数値が表示されます。

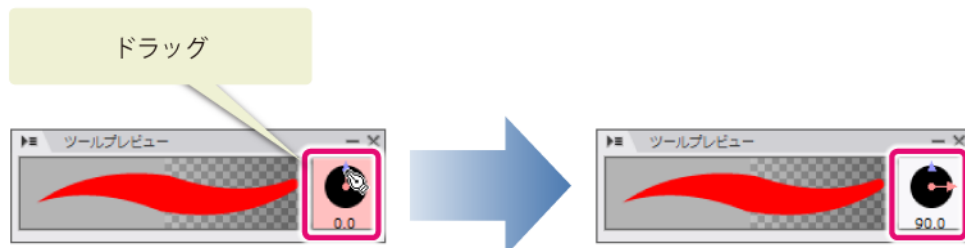


マウスホイールでも、ペンやブラシのサイズを変更できます。

ブラシパターンビューで向きを設定する

[ツールプレビュー] パレットの [ブラシパターンビュー] でペンやブラシの向きを設定します。この設定を行う前に、[メニュー表示] → [ブラシパターンビューで向きを変更する] を選択し、チェックマークをつけてください。

[ブラシパターンビュー] に表示された矢印をドラッグすると、ペンやブラシの向きが変更されます。

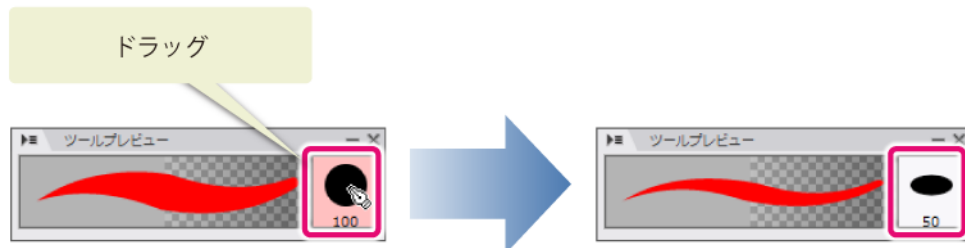


マウスホイールでも、ペンやブラシの向きを変更できます。

ブラシパターンビューで厚みを設定する

[ツールプレビュー] パレットの [ブラシパターンビュー] でペンやブラシの厚みを設定します。この設定を行う前に、[メニュー表示] → [ブラシパターンビューで厚みを変更する] を選択し、チェックマークをつけてください。

[ブラシパターンビュー] にマウスカーソルを合わせてドラッグすると、ペンやブラシの厚みが変更されます。厚みを小さくしたい場合は [ブラシパターンビュー] の内側に、厚みを大きくしたい場合は [ブラシパターンビュー] の外側にドラッグします。[ブラシパターンビュー] の下に設定したサイズの数値が表示されます。



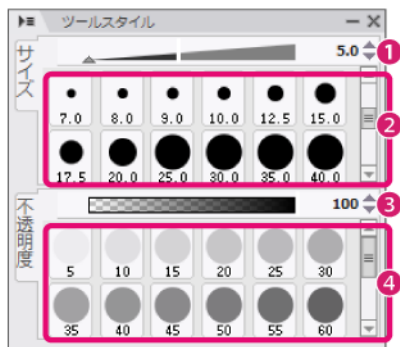
マウスホイールでも、ペンやブラシの厚みを変更できます。

ツールスタイルパレット

[パレット]メニュー→[ツールスタイル]を選択すると、表示されます。ツールのサイズまたは不透明度を、あらかじめ設定してある値から選択できます。また、使用中のツールのサイズまたは不透明度の値を、パレットに登録することもできます。

ツールスタイルパレットの機能

[ツールスタイル]パレットの機能について紹介します。



① サイズスライダー

ペンやブラシなどのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。



スライダーでブラシサイズの最小値を変更できますが、設定をプリセットに登録しても、プリセットを再選択するときに最小値は反映されません。

② サイズのプリセット

ツールサイズの設定の一覧です。アイコンをクリックすると、設定を適用できます。アイコンの下に数字は、ツールのサイズです。設定の登録方法や削除方法については、『ツール系パレット』→『ツールスタイルパレット』→『[プリセット](#)』を参照してください。

③ 不透明度スライダー

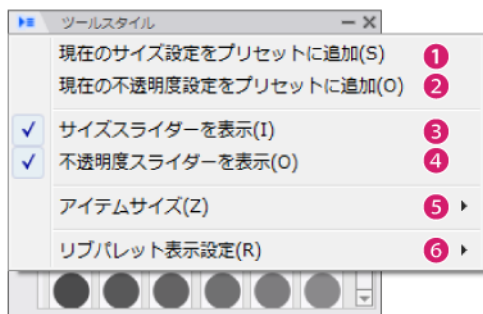
ペンやブラシなどの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

④ 不透明度のプリセット

ツール不透明度の設定の一覧です。アイコンをクリックすると、設定を適用できます。アイコンの下に数字は、ツールの不透明度です。設定の登録方法や削除方法については、『ツール系パレット』→『ツールスタイルパレット』→『[プリセット](#)』を参照してください。

ツールスタイルパレットのメニュー

[ツールスタイル] パレットの左上にある [メニュー表示] をクリックすると、表示されるメニューです。リブの表示方法、リセットへの設定の登録などを設定できます。



!重要

Ver.1.1.7 以前にあった [ツールセット依存]・[アプリケーション依存] のメニュー項目は、廃止されました。ツールセットの設定ごとに [ツールスタイル] パレットの設定が保存されるようになりました。このため、以前のバージョンで [アプリケーション依存] で使用していた場合でも、[ツールセット依存] の設定になります。

① 現在のサイズ設定をプリセットに追加

[ツールオプション] など設定中のブラシサイズを、[サイズ] リブに登録します。設定を登録すると、[ツールスタイル] パレットの [サイズ] リブにアイコンとして表示されます。クリックすると設定を適用できます。



[サイズ] リブ上で右クリックして、表示されるメニューから [現在の設定をプリセットに追加] を選択しても、ブラシサイズを [サイズ] リブに登録できます。

② 現在の不透明度設定をプリセットに追加

[ツールオプション] など設定中の不透明度を、[不透明度] リブに登録します。設定を登録すると、[ツールスタイル] パレットの [不透明度] リブにアイコンとして表示されます。クリックすると設定を適用できます。



[不透明度] リブ上で右クリックして、表示されるメニューから [現在の設定をプリセットに追加] を選択しても、不透明度を [不透明度] リブに登録できます。

③ サイズスライダーを表示

[サイズ] リブのスライダーの表示・非表示を切り替えます。

④ 不透明度スライダーを表示

[不透明度] リブのスライダーの表示・非表示を切り替えます。

⑤ アイテムサイズ

アイテムと数字の表示の重ね方を設定します。



「アイテムサイズ」は、「サイズ」リブと「不透明度」リブの共通設定項目です。片方を「小」で、片方を「標準」という設定はできません。

アイテムサイズ→小

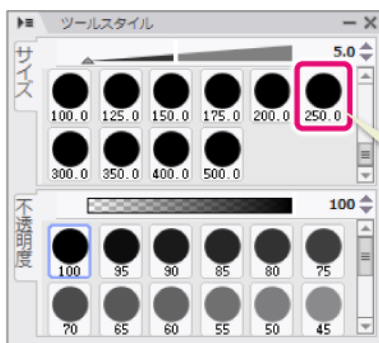
アイテムと数字を、重ねて表示します。パレットをコンパクトに表示できます。



数字を重ねて表示します。
パレットをコンパクトに表示できます。

アイテムサイズ→標準

アイテムと数字を、重ねずに表示します。サイズの数値が見やすくなります。



数字を重ねずに表示します。
サイズの数値が見やすくなります。

⑥ リブパレット表示設定

リブの表示方法を変更します。パレットのリブを調整することで、パレットの表示項目をカスタマイズできます。



設定方法の詳細については、『解説：パレットの操作』→『パレットのリブ操作』→『リブパレット表示設定』を参照してください。

プリセット

プリセットとは、[ツールスタイル]パレットの設定を登録したものです。他のツールの使用時や、別のイラストの作成時に、登録した設定をかんたんに適用できます。

プリセットを追加する

[ツールスタイル]パレットの設定を[プリセット]に登録すると、すぐに同じ設定を使用できます。ここでは、[不透明度]を[ツールスタイル]パレットに追加する方法を例に説明します。

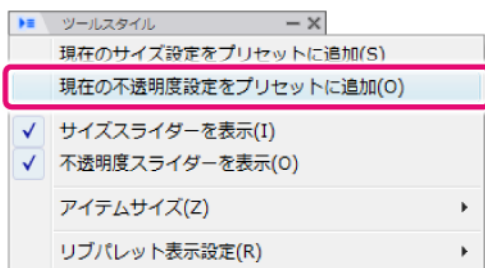
1 不透明度を設定する

[ツールスタイル]パレットまたは[ツールセット]パレットなどで、[不透明度]を使いやすい値に設定します。ここでは、[不透明度]を「17」に調整します。



2 プリセットに登録する

[ツールスタイル]パレットの[メニュー表示] → [現在の不透明度設定をプリセットに追加]を選択します。



[不透明度]リブ上で右クリックして、表示されるメニューから[現在の設定をプリセットに追加]を選択しても、不透明度を[不透明度]リブに登録できます。

3 プリセットの登録が完了する

[ツールスタイル]パレットの[不透明度]に設定が登録され、アイコンが作成されます。



プリセットを適用する

[ツールスタイル]パレットから[プリセット]に登録した設定を適用します。

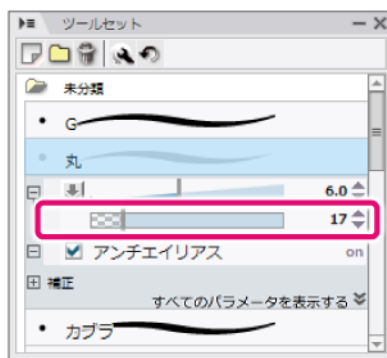
1 プリセットを適用する

[ツールスタイル]パレットの[プリセット]から適用したい設定のアイコンをクリックします。



2 設定が変更される

[ツールセット]パレットの項目が[プリセット]に登録した設定に変更されます。



プリセットは、ほとんどのツールで使用できますが、選択したツールで設定できない項目については、変更できません。

現在の設定でプリセットを更新

選択中のプリセットの値を、現在の設定値に更新します。ここでは、[不透明度]を「17」のプリセットを「22」に更新する方法を例に説明します。

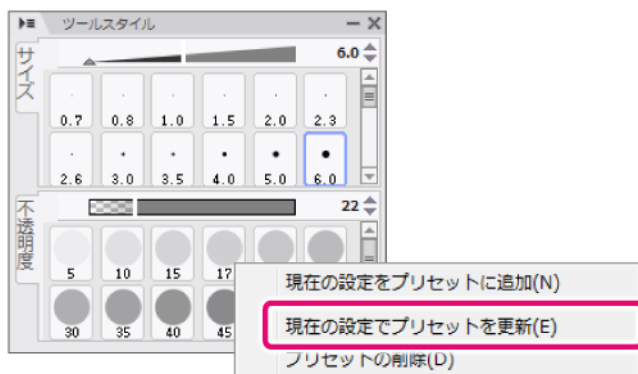
1 不透明度を設定する

[ツールスタイル]パレットの[不透明度]を使いやすい値に設定します。ここでは、[不透明度]を「22」に調整します。



2 プリセットを更新する

更新したいプリセットの上で右クリックし、表示されたメニューから[現在の設定でプリセットを更新]を選択します。



3 プリセットの更新が完了する

[ツールスタイル]パレットの[不透明度]の設定が更新されます。

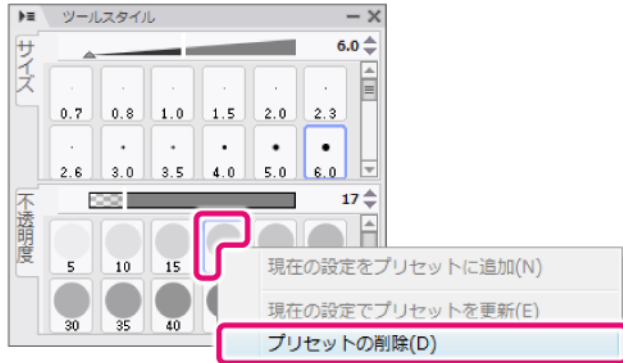


プリセットを削除する

登録したプリセットを削除します。

1 プリセットを選択する

[ツールスタイル] パレットの [プリセット] から削除したい設定のアイコンを右クリックし、[プリセットの削除] を選択します。



2 プリセットの削除が完了する

[ツールスタイル] パレットの [プリセット] から選択した設定が削除されます。



ツールオプションパレット

[パレット]メニュー→[ツールオプションの分離]を選択すると、[ツールオプション]をパレットとして使用できます。これを[ツールオプション]パレットと言います。各ツールの設定をするためのパレットです。

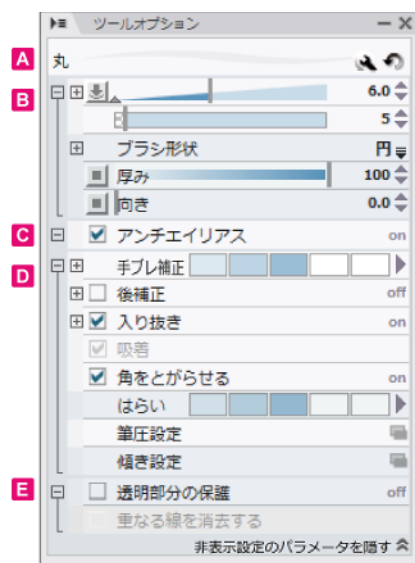


[ツールオプション]パレットの各設定項目は、[ツールセット]パレットの[ツールオプション]と同じです。

ツールオプションパレットの機能

[ツールオプション]パレットの機能について紹介します。設定項目は選択したツールに応じて異なります。

ツール固有の項目については、『[ツール一覧](#)』を参照してください。



A. ツールセットのプレビュー、コントロール

選択中の[ツールセット]がプレビュー表示されます。また、下記の[ツールオプション]パレット共通の項目を設定します。



① ロック

[ツールセット]パレットと[ツールオプション]パレットで設定中の値を、選択中のツールセットに保存します。ロック中は[ツールスタイル]パレットと[ツールオプション]パレットの設定を変更できますが、再度同じツールセットを選択すると、[ロック]に設定したときの状態に戻ります。

② 初期設定

[ツールスタイル]パレットや[ツールオプション]パレットの設定を解除して、選択中のツールセットの初期設定に戻します。

B. 基本

表示される項目は選択したツールにより異なります。

C. 補正

表示される項目は選択したツールにより異なります。

D. 効果

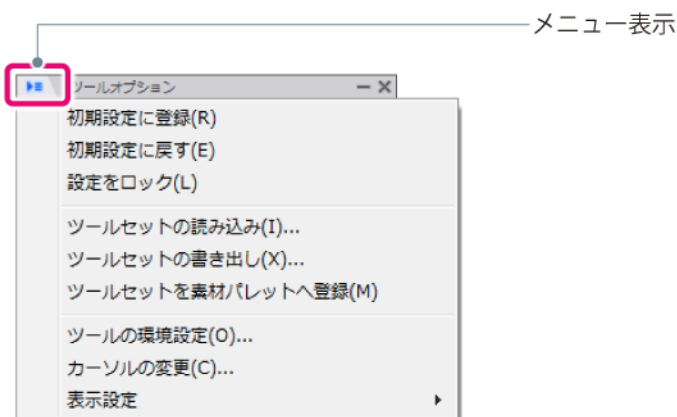
表示される項目は選択したツールにより異なります。

E. 拡張

表示される項目は選択したツールにより異なります。

ツールオプションパレットのメニュー

[ツールオプション] パレットの左上にある [メニュー表示] をクリックすると、表示されるメニューです。[ツールオプション] パレットの表示内容や設定項目を設定できます。



初期設定に登録

[ツールスタイル] パレットや [ツールオプション] パレットで設定中の値を、選択中のツールセットの初期設定として上書き登録します。

初期設定に戻す

[ツールスタイル] パレットや [ツールオプション] パレットの設定を解除して、選択中のツールセットの初期設定に戻します。

設定をロック

[ツールセット] パレットと [ツールオプション] パレットで設定中の値を、選択中のツールセットに保存します。ロック中は [ツールスタイル] パレットと [ツールオプション] パレットの設定は変更できますが、再度同じツールセットを選択すると、[設定をロック] に設定したときの状態に戻ります。

ツールセットの読み込み

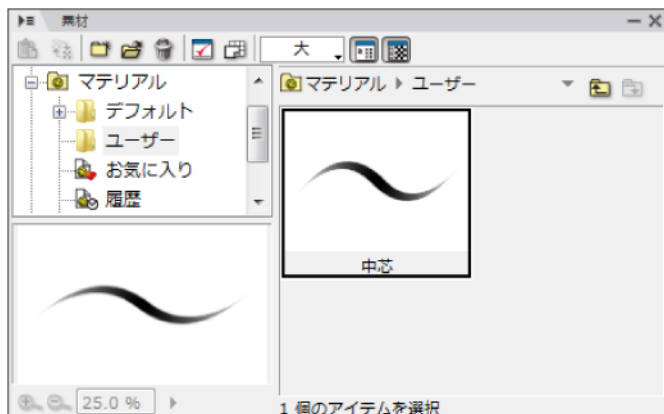
ツールセットファイル（拡張子 :tos）を読み込み、ツールセットを追加します。[ツールセットの読み込み] ダイアログで、[Shift] キーや [Ctrl] キーを押しながら複数のツールセットファイルを選択すると、複数のツールセットをまとめて読み込めます。

ツールセットの書き出し

選択中のツールセットをツールセットファイル（拡張子 :tos）として書き出します。

ツールセットを素材パレットへ登録

[ツールオプション] パレットの設定を [素材] パレットに登録します。設定は [素材] パレットの [マテリアル] → [ユーザー] に登録されます。[素材] パレットには、[ツールセット] パレットで選択中のツールセットの名称で設定が登録されます。



[素材] パレットに登録された設定を読み込むには、[素材] パレットのアイコンをダブルクリックし、[素材プロパティ] ダイアログの [設定の読み込み] ボタンをクリックすると、[ツールセット] パレットに登録されます。



[素材プロパティ] ダイアログについて、詳しくは『補助系パレット』→『素材パレット』→『[素材プロパティダイアログ：マテリアル](#)』を参照してください。

ツールの環境設定

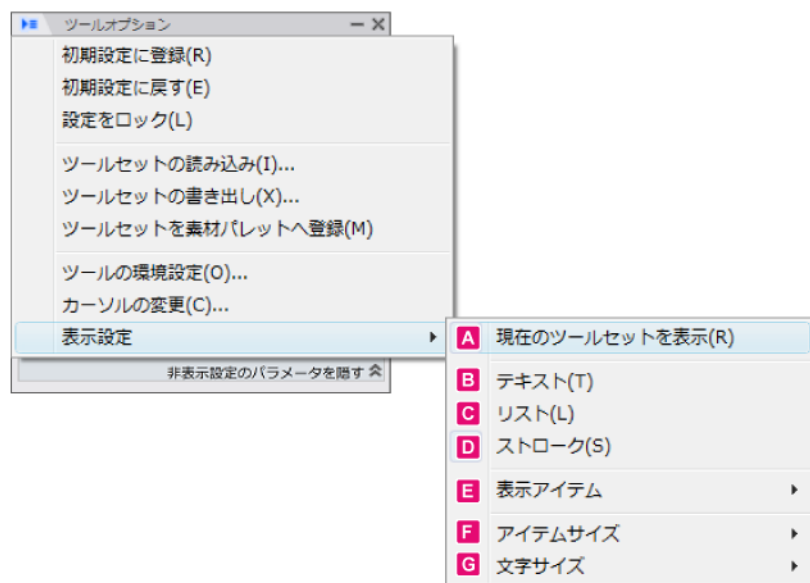
[環境設定] ダイアログが表示され、ツールの動作について設定できます。設定項目については『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『[ツール](#)』を参照してください。

カーソルの変更

[環境設定] ダイアログが表示され、カーソルの形状を設定できます。カーソルの形状が設定できないツールを選択している場合は、この項目は表示されません。設定項目については『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『[キャンバス→カーソル](#)』を参照してください。

表示設定

ツールセットのプレビュー表示に関する設定を行います。



A. 現在のツールセットを表示

ツールセットのプレビューの表示・非表示を切り替えます。

チェックをはずすと、ツールセットのプレビュー表示、[ロック] ボタン、[初期設定に戻す] ボタンが非表示になります。



B. テキスト

ツールセットのプレビューを、テキストで表示します。



C. リスト

ツールセットのプレビューを、ブラシサムネイルとテキストで表示します。



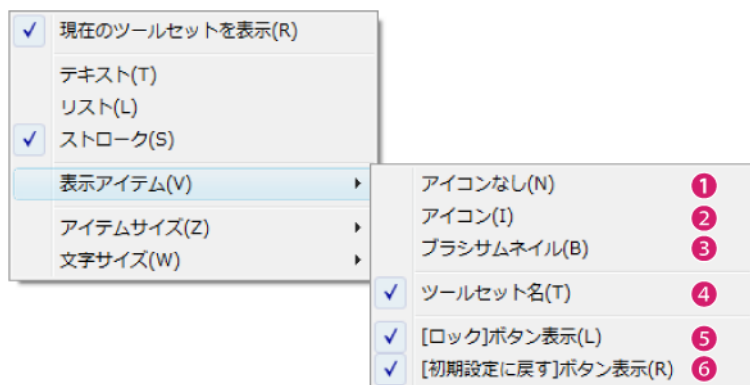
D. ストローク

ツールセットのプレビューを、ストロークで表示します。ストロークは、ペンやブラシのように描画するツールだけ表示できます。その他の場合は、テキストが表示されます。



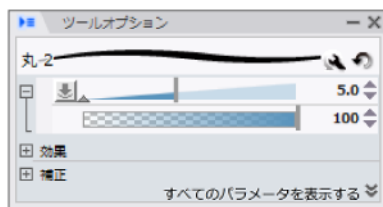
E. 表示アイテム

プレビュー表示の先頭部分の表示アイテムと、ツールセット名の表示などを設定します。



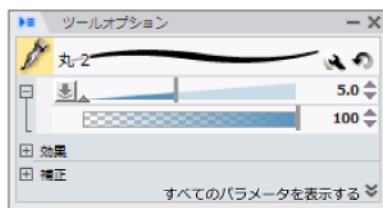
① アイコンなし

プレビュー表示の先頭部分にアイテムを表示しません。



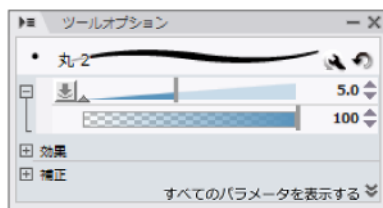
② アイコン

プレビュー表示の先頭部分にツールアイコンを表示します。



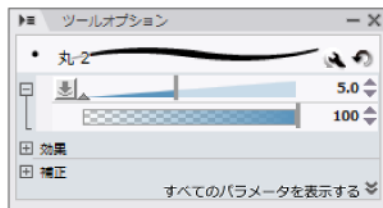
③ ブラシサムネイル

プレビュー表示の先頭部分にブラシサムネイルを表示します。

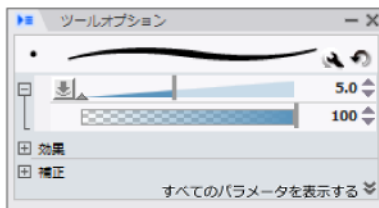


④ ツールセット名

ツールセット名の表示・非表示を切り替えます。



[ツールセット名] がオンの場合



[ツールセット名] がオフの場合

⑤ [ロック] ボタン表示

[ロック] ボタンの表示・非表示を切り替えます。

⑥ [初期設定に戻す] ボタン表示

[初期設定に戻す] ボタンの表示・非表示を切り替えます。

F. アイテムサイズ

ツールセットのプレビューの表示サイズを設定します。[小]・[標準]・[大]から選択できます。

G. 文字サイズ

ツールセット名の文字サイズを設定します。[小]・[標準]から選択できます。

描画に関するツールの共通設定

描画の手ブレ補正や、入り抜きなどの、描画関連のツールに共通する設定について、説明します。

補正

タブレット使用時に発生する「手ブレ」などを補正し、滑らかな線を描画できます。補正には[手ブレ補正]と[後補正]があります。

手ブレ補正

タブレットペンのブレの抑制について設定します。

[後補正]とは違い、タブレットに入力してから画面に表示するまでに描画した線を平均化します。

値を大きくすると線が全体的に丸みをおびるようになり、線が滑らかになります。ただし、実際に描画されるまでに時間がかかります。

値を小さくするほど入力に忠実になります。



設定 0



設定 10

後補正

線を描画したあとの補正を設定します。描画した後で線の形状を変えます。

値を大きくするほど描画された曲線をシンプルな曲線に置きかえますが、補正結果が思い通りにならない場合があります。



設定 0



設定 10



- [補正]の数値を大きくすると滑らかな線になりますが、タブレット上で実際に描かれた線とは若干異なる線が描画され、細かいニュアンスが失われる場合があります。
- [ベクター描画]の場合、[後補正]をオフにしたり、数値を下げすぎたりすると、タブレットからのデータをそのまま感知し、データ容量が大きくなる原因になります。

入り・抜き

一部の描画ツールでは、[入り]・[抜き]を設定できます。[入り]・[抜き]は、[ツールオプション]で設定します。



入り抜きの効果

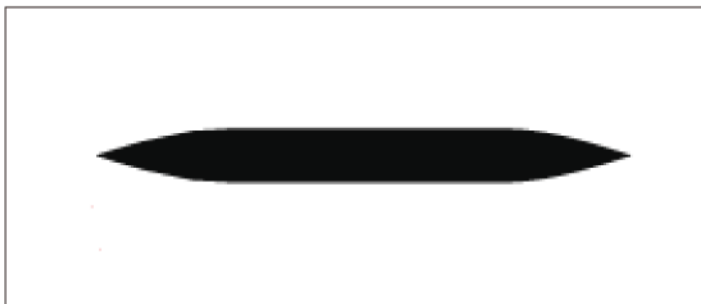
入り抜きの効果は、[影響元]が[ペンの筆圧]に設定されている項目に影響を与えます。



- [ペン]・[直線]・[曲線]・[折れ線]・[ベジェ曲線]ツールでは、[サイズ]にのみ影響を与えます。
- [ペン]ツールでは、[影響元]が[ペンの筆圧]に設定されていない場合でも、[サイズ]の入り抜きを設定できます。

例1：[サイズ]の[影響元]が[ペンの筆圧]に設定されている場合

入りのサイズは徐々に太く変化し、抜きのサイズは徐々に細く変化します。



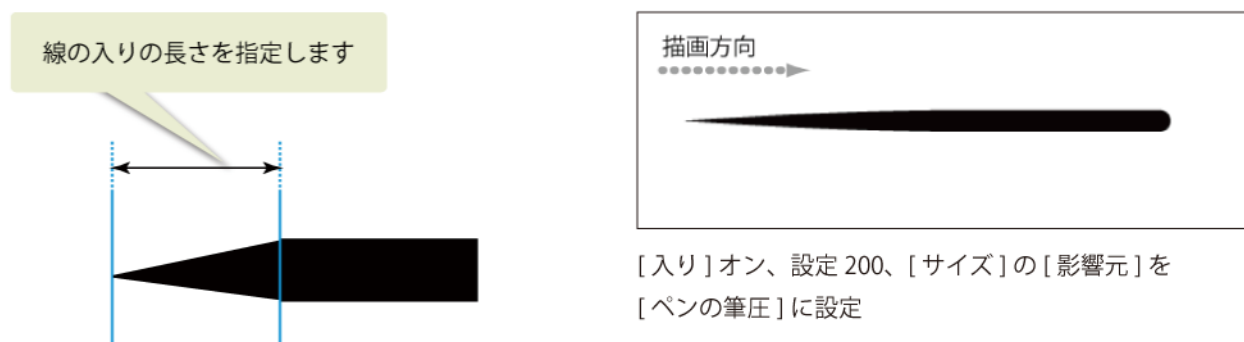
例2：[不透明度]の[影響元]が[ペンの筆圧]に設定されている場合

入りの描画は透明から不透明に変化し、抜きの描画は不透明から透明に変化します。



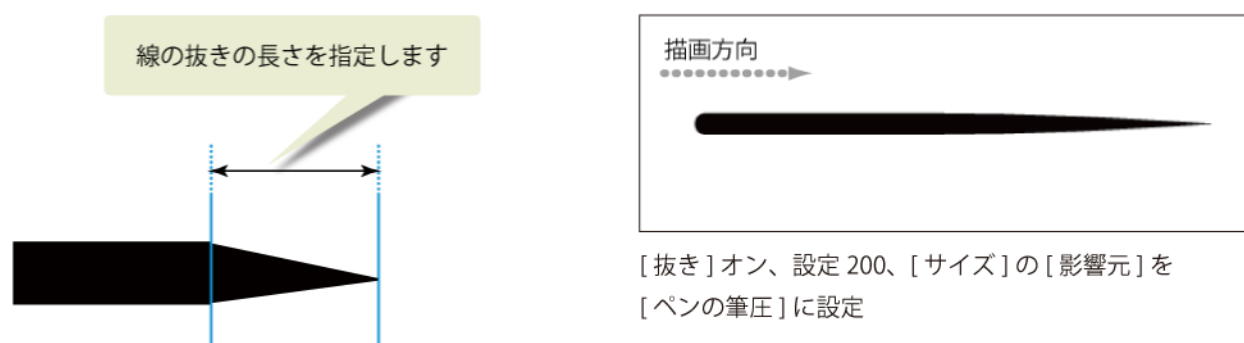
入り

描き始めの部分で、徐々に力を入れていく描画です。描き始めの状態を設定できます。



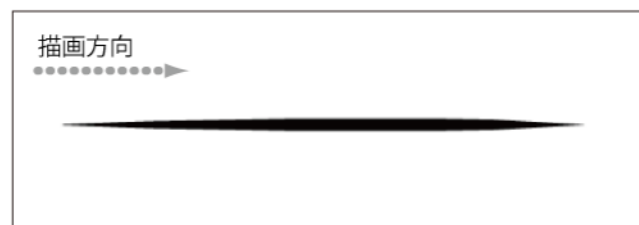
抜き

描き終わりの部分で、徐々に力を抜いていく描画です。描き終わりの状態を設定できます。



速度による入り・抜き

ペンを動かす速度によって、入り抜きの長さが変わります。ペンの動きを止めてからペンを離すと、ほとんど抜きのない線を描画できます。



[入り]・[抜き] オン、設定 200、[サイズ] の [影響元] を [ペンの筆圧] に設定

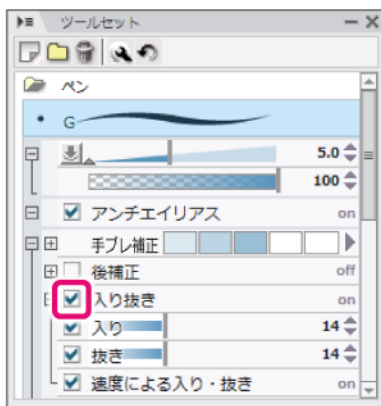
入り・抜きの強さを入力する

[ツールオプション]の[補正]グループ→[入り抜き]をオンにすると、値を変更できます。

[入り抜き]の項目名の左にある[+]をクリックすると、詳細な項目を設定できます。値を変更することで、[入り]・[抜き]の強さを変更できます。

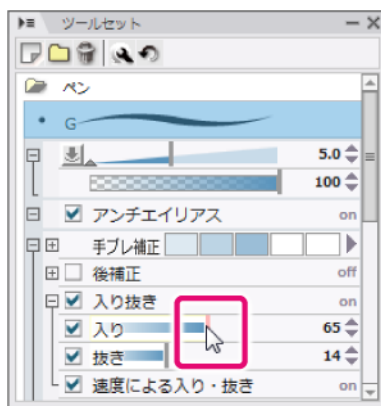
1 設定を有効にする

[入り抜き]のチェックをオンにします。



2 値を変更する

スライダーの縦線をドラッグして値を変更します。数値をクリックしても、入力欄の値を変更できます。



入力欄の横にある、上下の三角形のアイコンをクリックしても、入力欄の値を変更できます。上の三角形をクリックすると値が大きく、下の三角形をクリックすると値が小さくなります。

影響元

描画ツールの[ツールオプション]には、項目によっては「影響元」を設定できます。影響元とは、各項目に影響するタブレットの機能などの設定です。影響元は関連する項目の左横に、アイコンボタンで表示されます。

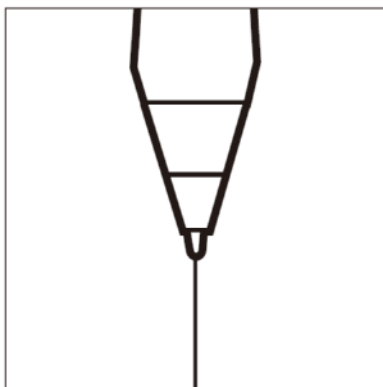
アイコンボタンをクリックすると、影響元の設定を選択できます。

!重要

影響元で選択できるタブレットの機能は、各機能に対応しているタブレットが必要です。一部のタブレットでは機能に対応していない場合があります。

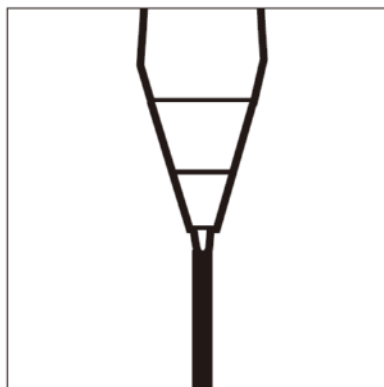
ペンの筆圧

対応する設定項目の値が、タブレットペンの筆圧の強弱に影響されます。ここでは、[ペン]ツールなどで[サイズ]の[影響元]を[ペンの筆圧]に設定した場合を例にして説明します。



筆圧が弱い場合

細い線が描画されます。



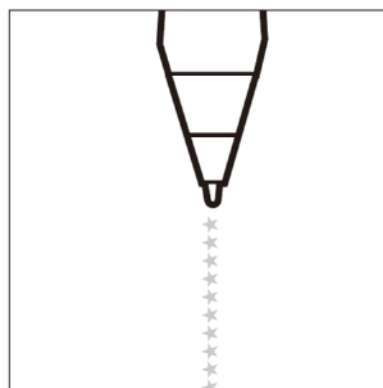
筆圧が強い場合

太い線が描画されます。

このほか、不透明度の場合は、筆圧が弱いほど薄く、筆圧が強いほど濃く描画できるなど、設定項目によって効果はさまざまです。

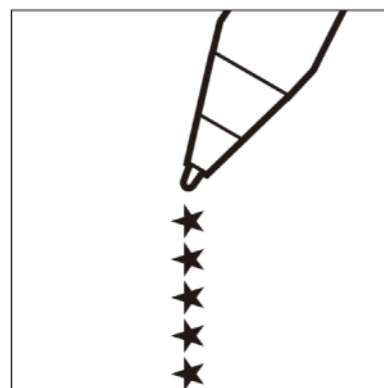
ペンの傾き

対応する設定項目の値が、タブレットペンの角度に影響されます。たとえば、タブレットペンを垂直にした場合と斜めにした場合で、描画結果が異なります。ここでは、[パターンブラシ]ツールなどで、[サイズ]の[影響元]と[不透明度]の[影響元]を、[ペンの傾き]に設定した場合を例にして説明します。



タブレットペンを垂直にした場合

細く、薄い線が描画されます。

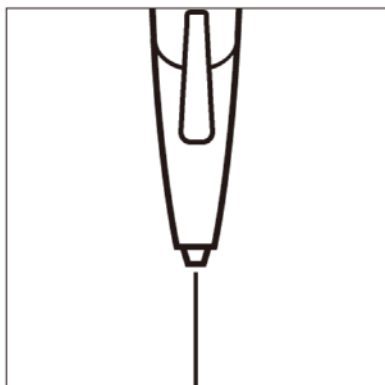


タブレットペンを斜めにした場合

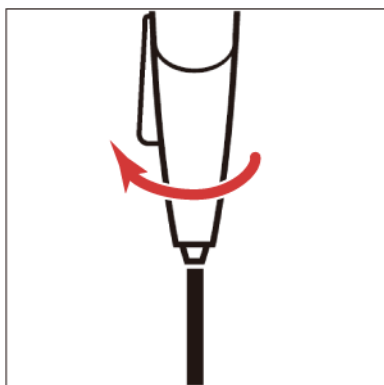
太く、濃い線が描画されます。

ペン軸の回転

対応する設定項目の値が、タブレットペンの回転（ひねり）に影響されます。たとえば、ストロークの途中でタブレットペンを正面から横に向けて回ると、描画結果が変わります。ここでは、[ペン] ツールなどで、[向き] の [影響元] を [ペン軸の回転] に設定した場合を例に説明します。



タブレットペンを正面にした場合
細い線が描画されます。



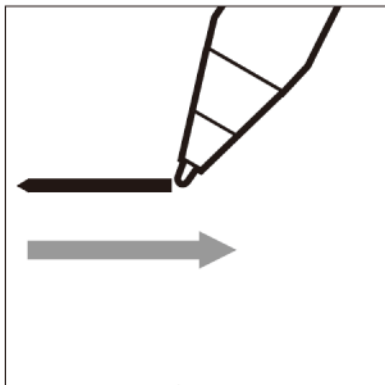
タブレットペンを回転して横向きにした場合
ペン軸の向きが変わり、太い線が描画されます。



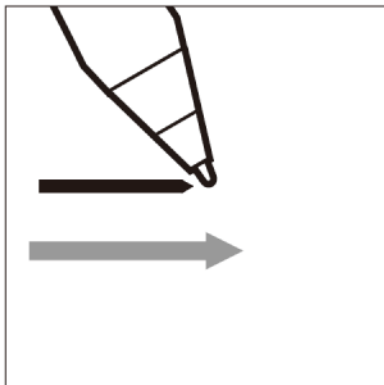
- この設定は、ワコム「Intuos」シリーズ・「Cintiq21UX」などペン軸の回転に対応するタブレットで使用できます。対応していないタブレットでは、設定が反映されない場合があります。
- [ペン軸の回転] は、縦横比が異なるペンやブラシの形状で使用すると効果的です。縦横比が同じ形状の場合は、効果がわかりにくい場合があります。

ペンの向き

対応する設定項目の値が、タブレットペンのペン先の向きに影響されます。ここでは、[ツールオプション] で [ブラシ形状] を [多角形] (三角形) にし、[ペン] ツールなどにある [向き] の [影響元] を [ペンの向き] に設定した場合を例に説明します。両方とも同じ方向に線を描画しています。



タブレットペンのペン先が左向きの場合
三角形の頂点が左に描画されます。



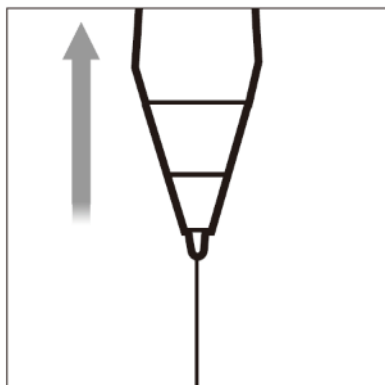
タブレットペンのペン先が右向きの場合
三角形の頂点が右に描画されます。



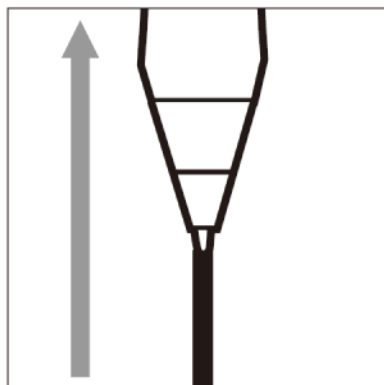
この設定は、ワコム「Intuos」シリーズ・「Cintiq21UX」などペン軸の回転に対応するタブレットで使用できます。対応していないタブレットでは、設定が反映されない場合があります。

ストロークの速度

対応する設定項目の値が、ストロークの速度に影響されます。たとえば、速く描いた場合とゆっくりと描いた場合で、描画結果が異なります。ここでは、[エアブラシ] ツールなどにある [サイズ] の [影響元] を [ストロークの速度] に設定した場合を例にして説明します。



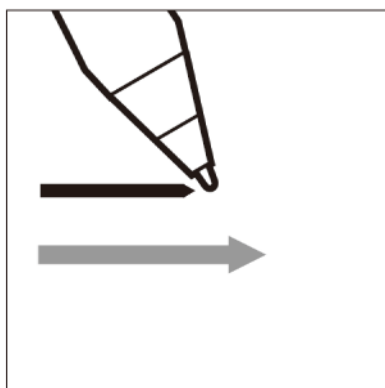
ストロークの速度が速い場合
細い線が描画されます。



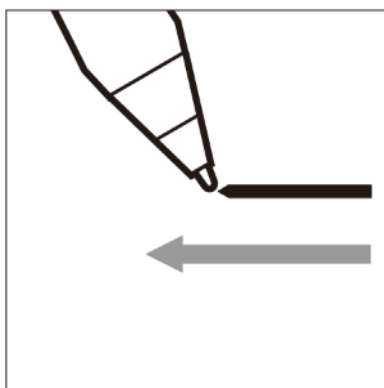
ストロークの速度が遅い場合
太い線が描画されます。

ストロークの方向

対応する設定項目の値が、ストロークの方向に影響されます。ここでは、[ツールオプション] で [ブラシ形状] を [多角形] (三角形) にし、[ペン] ツールなどにある [向き] の [影響元] を [ストロークの方向] に設定した場合を例に説明します。



左から右に描画した場合
三角形の頂点が右に描画されます。



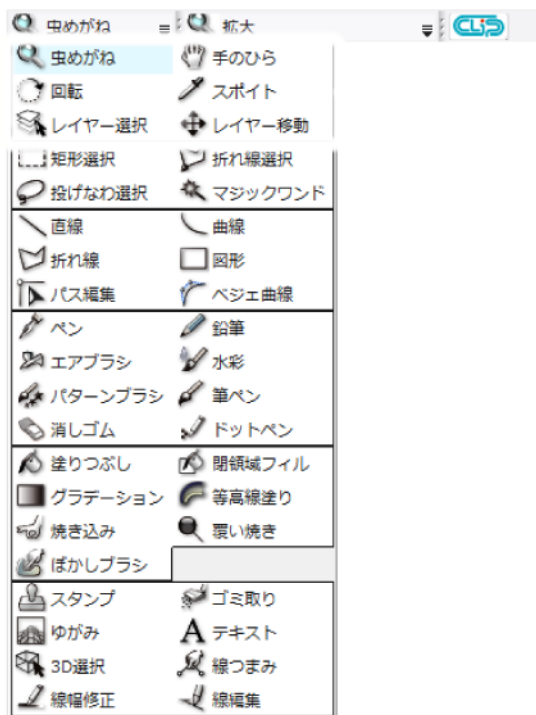
右から左に描画した場合
三角形の頂点が左に描画されます。

ツール一覧

本章では、[ツール] パレットの機能と設定について、ツールごとに紹介します。

一般系ツール（キャンバスの操作系）

ここでは、[ツールバー] の [ツール一覧] で表示されるツールから、キャンバスの操作に関連するツールについて紹介します。

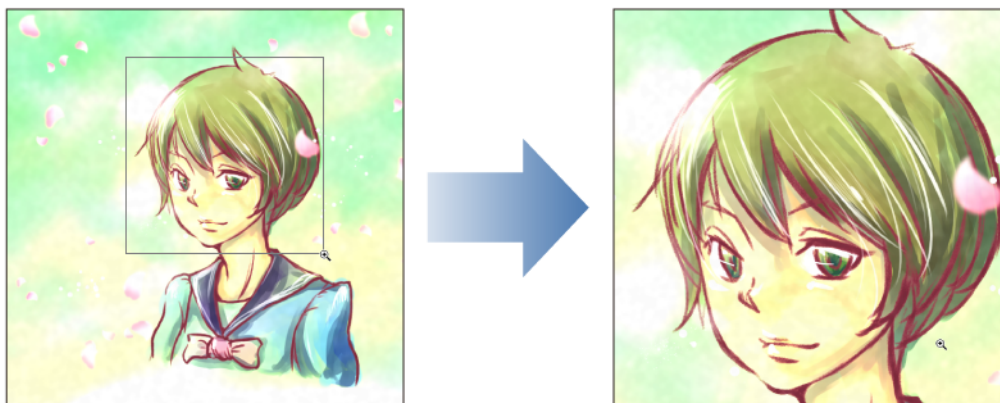


一般系ツール（キャンバスの操作系）には、下記のツールが含まれます。

- [虫めがね] ツール
- [手のひら] ツール
- [回転] ツール
- [スポイト] ツール
- [レイヤー選択] ツール
- [レイヤー移動] ツール

虫めがねツール

画面表示の拡大または縮小に使用します。キャンバス上をクリックまたはドラッグすると、拡大・縮小します。

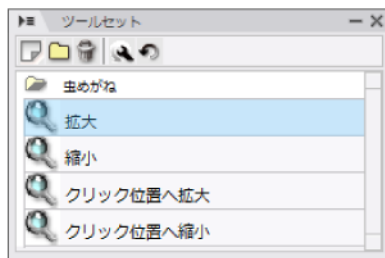




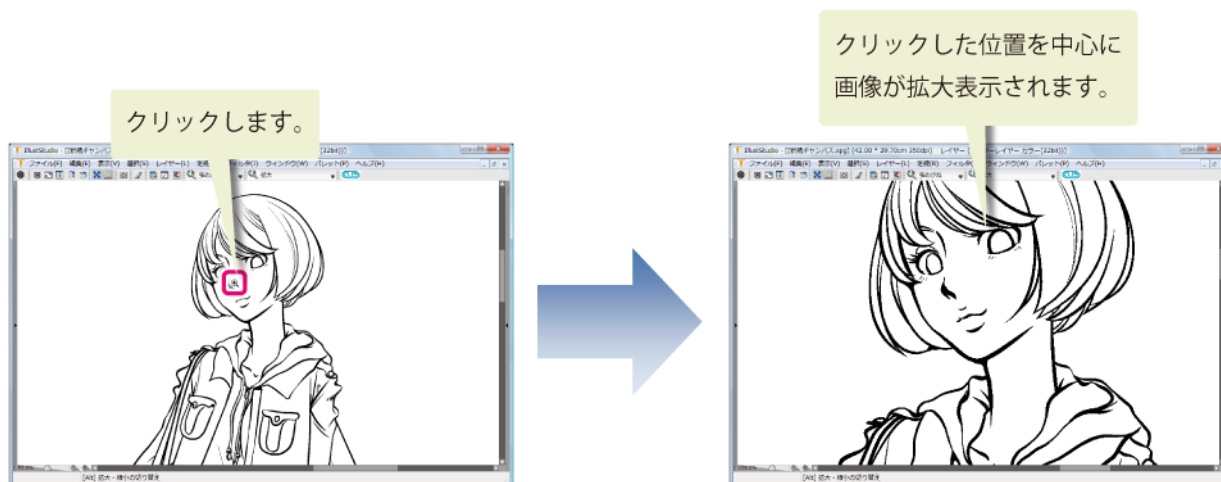
他のツールを使用中に、キャンパス上でマウスホイールを動かしても、キャンパスの表示倍率を拡大・縮小できます。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



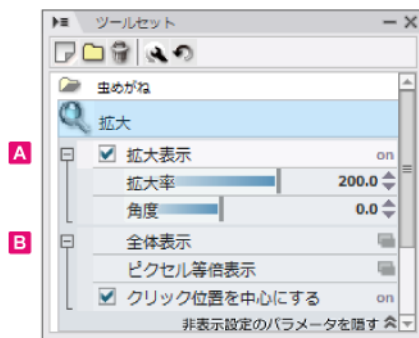
たとえば、[ツールセット]パレットの[クリック位置へ拡大]を選択した場合、クリックした位置をキャンパスの中心にして拡大表示します。



使用例：[クリック位置へ拡大]を使用

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

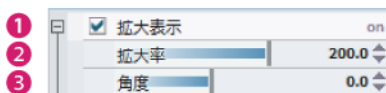


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

拡大率など、基本的な項目を設定できます。



① 拡大表示

オンのとき、拡大表示を実行できます。オフにすると縮小表示を実行できます。

② 拡大率

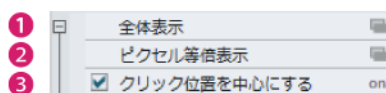
画像表示の拡大率を設定します。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。

③ 角度

画像表示の角度を設定します。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。

B. 拡張

画像表示に関する設定を行えます。



① 全体表示

画像をキャンバス全体に収まるサイズで表示します。

② ピクセル等倍表示

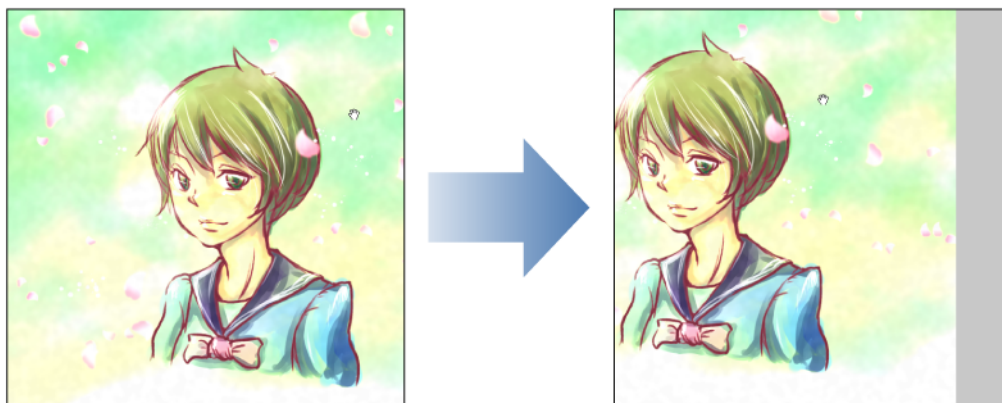
画像のピクセルと画面のピクセルを 1 対 1 のサイズで表示します。

③ クリック位置を中心にする

オンのとき、画像のクリックした位置をキャンバスの中心にして、拡大または縮小表示します。

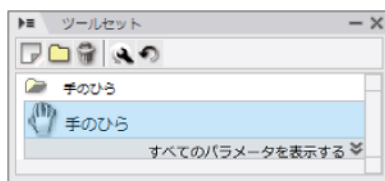
手のひらツール

画面表示のスクロールに使用します。キャンバス上をドラッグすると、スクロールします。



ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

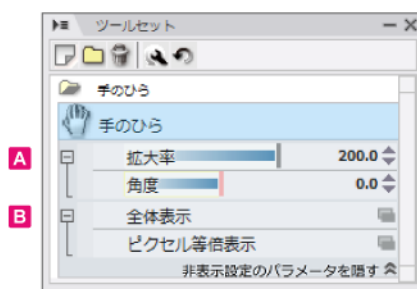


手のひら

[ツールセット]パレットの[手のひら]を選択した場合、画像をドラッグすると、キャンバスの表示位置を移動します。

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

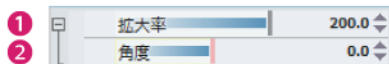


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

画像表示の拡大率など、基本的な項目を設定できます。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。



① 拡大率

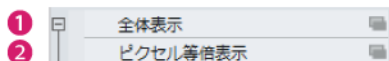
画像表示の拡大率を設定します。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。

② 角度

画像表示の角度を設定します。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。

B. 拡張

画像表示に関する設定を行えます。



① 全体表示

画像をキャンバス全体に収まるサイズで表示します。

② ピクセル等倍表示

画像のピクセルと画面のピクセルを1対1のサイズで表示します。

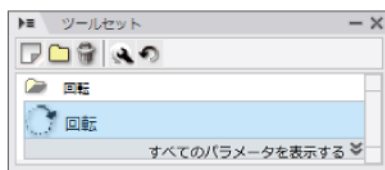
回転ツール

画面表示の回転に使用します。キャンバス上をドラッグすると、回転します。



ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

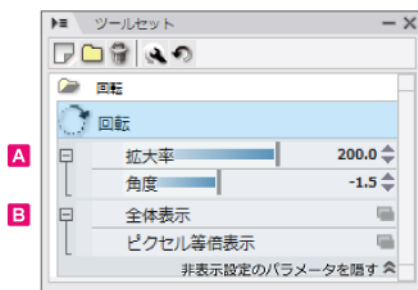


回転

[ツールセット]パレットの[回転]を選択した場合、画像をドラッグすると、キャンパスの表示が回転します。

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

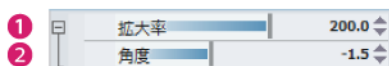


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

画像表示の角度など、基本的な項目を設定できます。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。



① 拡大率

画像表示の拡大率を設定します。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。

② 角度

画像表示の角度を設定します。スライダーを操作するか、数値入力で設定できます。

B. 拡張

画像表示に関する設定を行えます。



① 全体表示

画像をキャンバス全体に収まるサイズで表示します。

② ピクセル等倍表示

画像のピクセルと画面のピクセルを1対1のサイズで表示します。

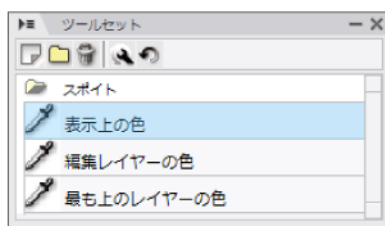
スポイトツール

画像から描画色を取得できます。キャンパス上をクリックすると、描画色を取得して[カラー]パレットに反映します。



ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



表示上の色

レイヤーに関係なく、画面に表示されている色をそのまま取得します。

編集レイヤーの色

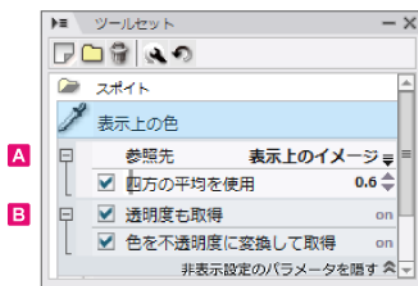
[レイヤー]パレットで編集対象となっているレイヤーを参照します。

最も上のレイヤーの色

クリックした位置が透明ではないレイヤーのうち、最も上にあるレイヤーを参照します。

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

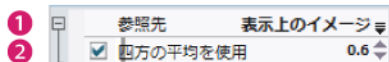


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールが参照するレイヤー、色を取得するときの方法を設定できます。



① 参照先

ツールがどのレイヤーを参照するかを設定できます。

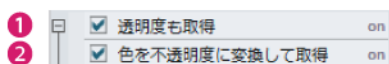
編集レイヤー		レイヤーに関係なく、画面に表示されている色をそのまま取得します。
最も上のレイヤー		[レイヤー]パレットで編集対象となっているレイヤーを参照します。
表示上のイメージ		クリックした位置が透明ではないレイヤーのうち、最も上のレイヤーを参照します。

② 四方の平均を使用

指定した領域の周囲を含めた平均値の色を取得します。含める周囲の領域の大きさは、スライダーで設定できます。

B. 拡張

取得した色の透明度を設定できます。



① 透明度も取得

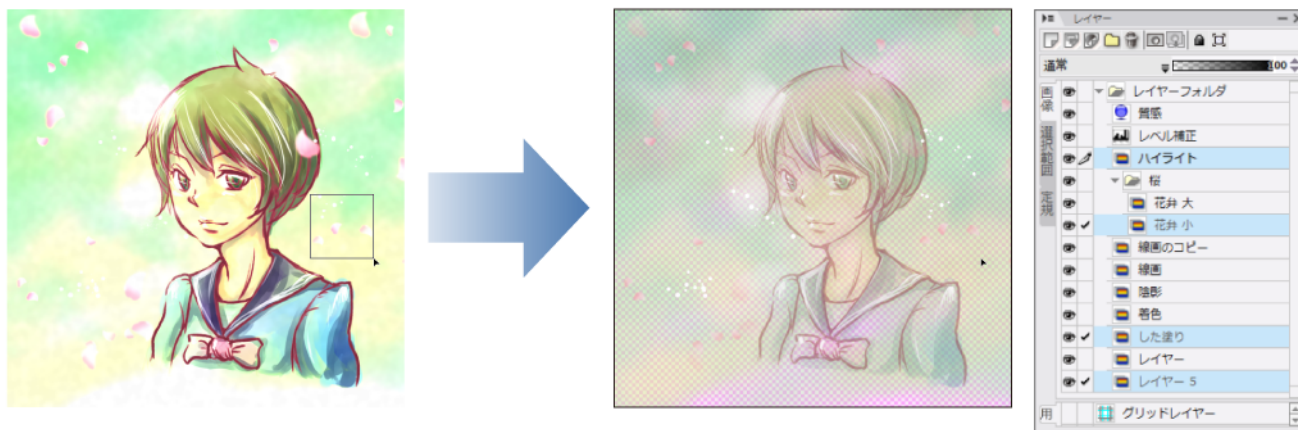
取得した色の透明度も、描画色に反映させます。

② 色を不透明度に変換して取得

グレイ（8bit）のレイヤーで、色を不透明度に変換して取得します。

レイヤー選択ツール

ページ上から複数のレイヤー画像を選択する場合に使用します。キャンバス上をドラッグすると、その範囲内に描画部分のあるレイヤーが選択されます。



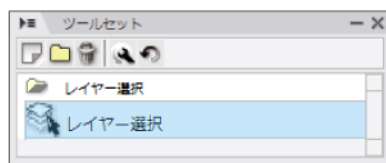
!重要

フィルタレイヤーは選択できません。

圧縮されたレイヤーフォルダに含まれるレイヤーは、レイヤーフォルダが閉じられている場合は選択対象に含まれなくなります。圧縮されたレイヤーフォルダそのものが選択対象になります。

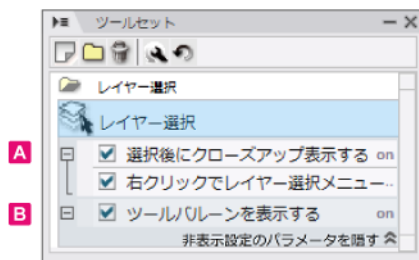
ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

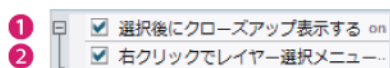


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

レイヤーを選択するときの選択方法を設定できます。



① 選択後にクローズアップ表示する

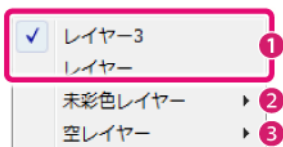
選択した範囲内のレイヤー以外の画像が、薄い色で表示（クローズアップ表示）されます。クローズアップ表示中は、カーソルキーの「上」「下」を押すと、[レイヤー] パレットで選択中のレイヤーの中から描画対象を切り替えられます。[Enter] キーや [Esc] キーを押す、または他のツールに切り替えると、クローズアップ表示を解除します。

② 右クリックでレイヤー選択メニュー

右クリックで描画対象を切り替えるメニューを表示できます。

レイヤー選択メニュー

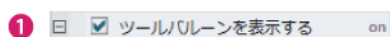
[レイヤー選択] メニューに表示されるレイヤー名をクリックすると、選択したレイヤーに切り替わります。



① 彩色済みレイヤー	マウスカーソルの位置に描画されているレイヤーがある場合、レイヤーの名称が表示されます。マウスカーソルの位置に描画されていないレイヤーがない場合は、「彩色済みレイヤーはありません」と表示されます。
② 未彩色レイヤー	マウスカーソルの位置に描画されていないレイヤーが表示されます。
③ 空レイヤー	描画のされていないレイヤーが表示されます。

B. 拡張

レイヤーを選択するときの拡張設定を行えます。



① ツールバルーンを表示する

オンにすると、マウスカーソルの下にあるレイヤーの名称と種類がツールバルーン表示されるようになります。



[ヘルプ] メニューの [ツールバルーン] をオフにしている場合、設定が反映されます。[ツールバルーン] がオンになっている場合、この項目の設定に関係なくツールバルーンが表示されます。

レイヤー移動ツール

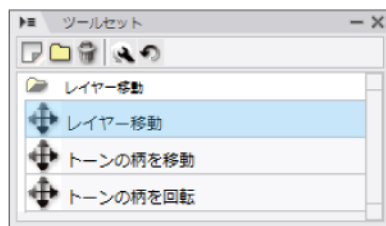
特定のレイヤー画像のみの移動に使用します。レイヤーパレットでレイヤーを選択し、キャンバス上をドラッグすると、選択したレイヤーが移動します。



【レイヤー移動】ツールで選択範囲内の画像を移動している途中で [Shift] キーを押すと、ドラッグ開始点から 45 度刻みに移動方向を制限できます。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



レイヤー移動

キャンバス上でレイヤーの位置を移動します。

トーンの柄を移動

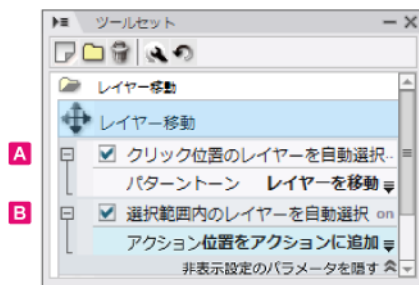
パターントーンの柄の位置を移動します。

トーンの柄を回転

パターントーンの柄の位置を回転します。

ツールオプション

「ツールセット」パレットで選択中の「ツールセット」をクリックすると、「ツールオプション」が表示されます。「ツールオプション」は、選択中のツールを詳細に設定できます。

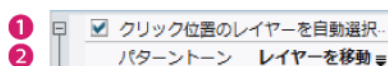


!重要

「ツールオプション」の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

クリックしたときの動作と、パターントーンの操作を設定できます。



① クリック位置のレイヤーを自動選択

クリックした位置に描画線が表示されているレイヤーを、自動的に選択します。

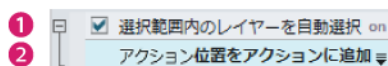
② パターントーン

「レイヤー移動」ツールをドラッグしたときの、レイヤーまたはパターントーンの操作について指定できます。

レイヤーを移動	「レイヤー移動」ツールをドラッグすると、レイヤー全体が移動します。
柄を移動	「レイヤー移動」ツールをドラッグすると、パターントーンの柄が移動します。 パターントーンの柄の移動は、[Shift] キーを押しながら「レイヤー移動」ツールでドラッグしても行えます。
柄を回転	「レイヤー移動」ツールをドラッグすると、パターントーンの柄が回転します。 パターントーンの柄の回転は、[Ctrl] キーを押しながら「レイヤー移動」ツールでドラッグしても行えます。
柄の中心を移動	パターントーンの柄を回転させるときの中心を設定します。

B. 拡張

アクション機能に追加するときの記録方法など、その他の設定ができます。



① 選択範囲内のレイヤーを自動選択

選択範囲内に描画線が表示されているレイヤーを、自動的に選択します。

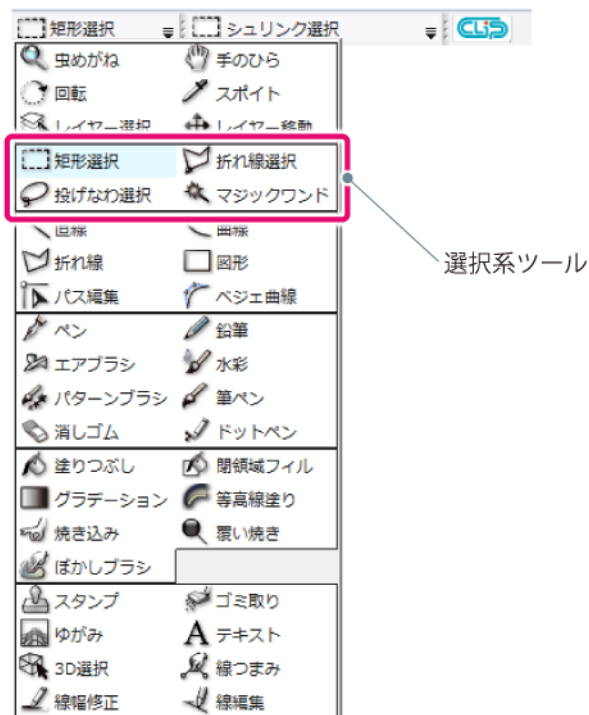
② アクション

アクション機能に追加するときの記録方法を、設定できます。

位置をアクションに追加	アクション機能での追加方法を、「位置」に設定します。
移動量をアクションに追加	アクション機能での追加方法を、「移動量」に設定します。

選択系ツール

ここでは、[ツールバー] の [ツール一覧] で表示されるツールから、選択系ツールについて紹介します。



選択系ツールには、下記のツールが含まれます。

- [矩形選択] ツール
- [投げなわ選択] ツール
- [折れ線選択] ツール
- [マジックワンド] ツール

解説：ツールオプションの共通項目

ここでは、選択ツールを使用した場合に [ツールオプション] で設定できる、様々な選択方法について説明します。



[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

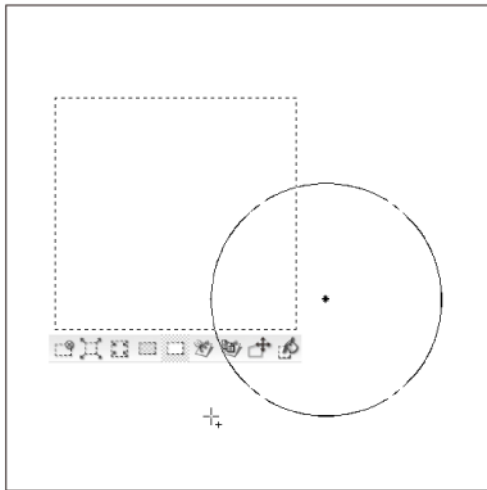


[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。[ツールセット] パレットで選択中のツールセットをクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] の表示方法の詳細は、『ツール系パレット』→『ツールセットパレット』→『[ツールセットパレットの機能](#)』を参照してください。

解説：基本：選択方法

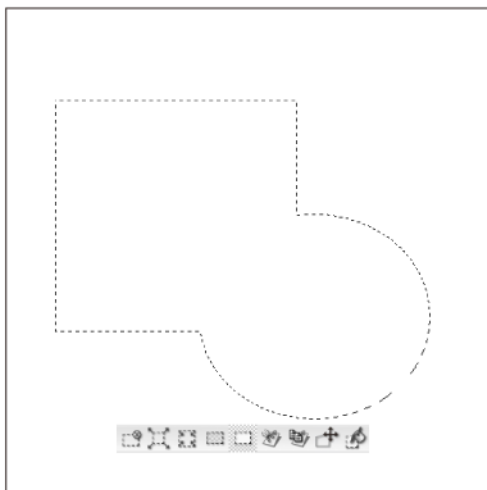
[基本] グループ→[選択方法]では、すでに作成した選択範囲に対して、選択範囲の追加・削除などができます。

ここでは、矩形の選択範囲を作成したあとに円の選択範囲を作成する場合を例にして説明します。



現在の選択に追加

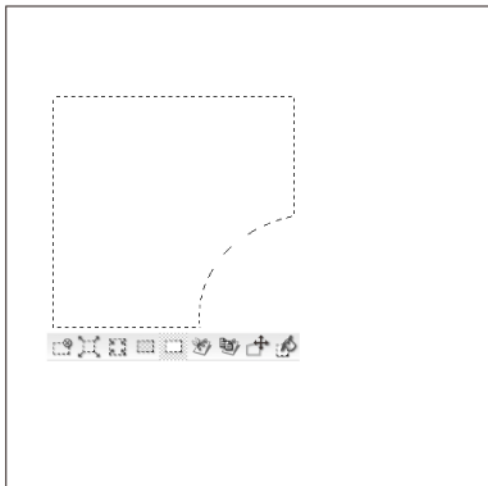
すでに選択されている部分に選択範囲を追加します。



[Shift] キーを押しながら選択ツールを使用しても、[現在の選択に追加]が行えます。

現在の選択から削除

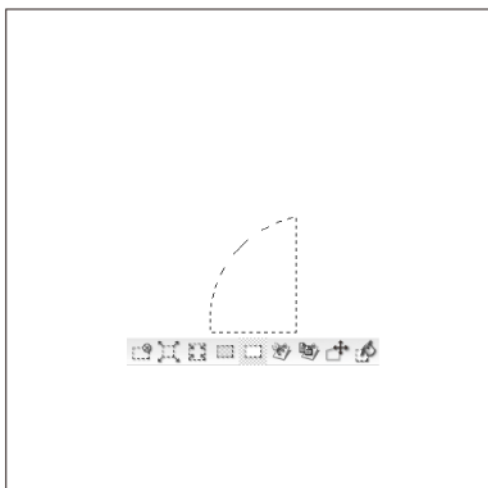
すでに選択されている部分から選択範囲を削除します。



[Alt] キーを押しながら選択ツールを使用しても、[現在の選択から削除] が行えます。

現在の選択から選択

すでに選択されている選択範囲と重なる部分のみを選択範囲にします。

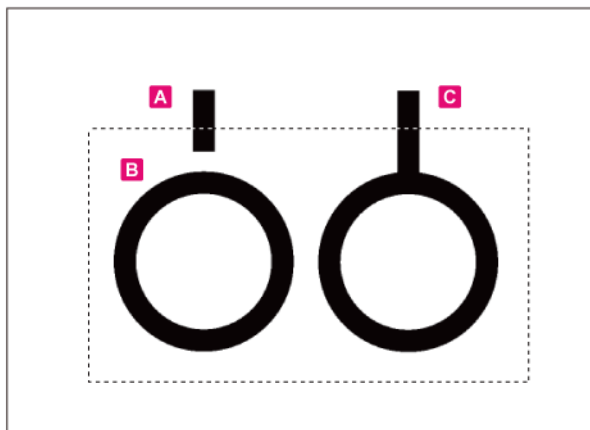


[Shift] + [Alt] キーを押しながら選択ツールを使用しても、[現在の選択から選択] が行えます。

解説：効果：シュリンク

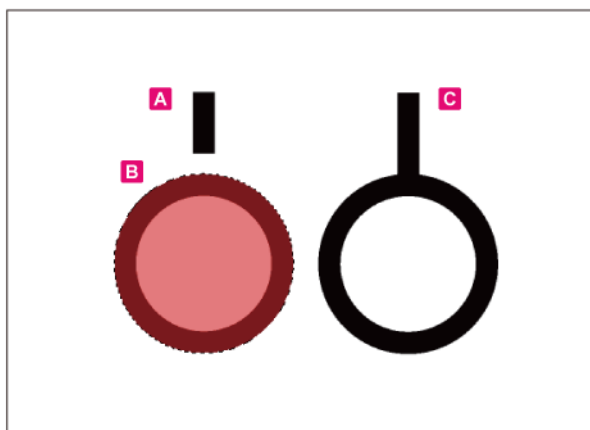
〔効果〕グループ→〔シュリンク〕では、選択ツールでドラッグした範囲内にすべて納まっている描線の、外周に密着した選択範囲を作成する場合の効果指定できます。

ここでは、下記の条件で選択範囲を作成した場合を例にして、その効果について説明します。



シュリンク選択

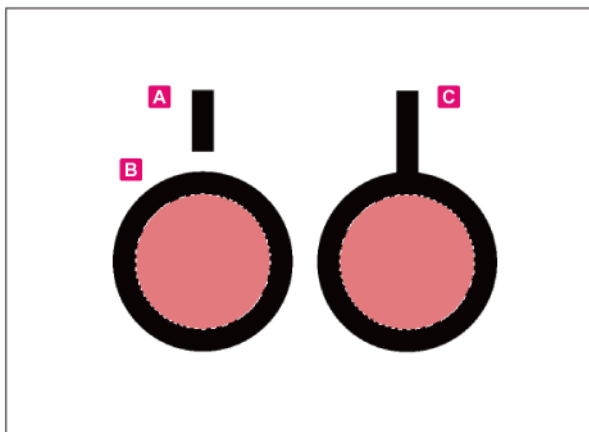
選択ツールでドラッグした範囲内にすべて納まっている描線の、外周に密着した選択範囲を作成します。



- A 選択範囲からはみ出した部分があるため、選択されません。
- B 選択範囲にすべて納まっているので、選択されます。
- C 選択範囲からはみ出した部分があるため、選択されません。

シュリンクして透明部を選択（内部選択）

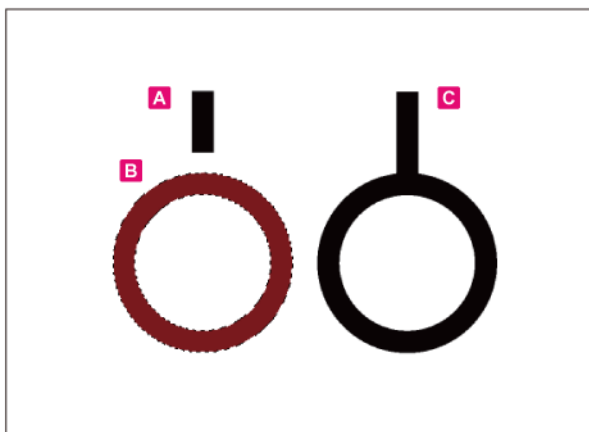
選択ツールでドラッグした範囲内にすべて納まっている、描線で閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。



- A 選択範囲からはみ出した部分があるため、選択されません。
- B 描線で閉じられた透明領域が、選択範囲にすべて納まっているので、選択されます。
- C 描線で閉じられた透明領域が、選択範囲にすべて納まっているので、選択されます。

シュリンクして透明以外を選択（形状選択）

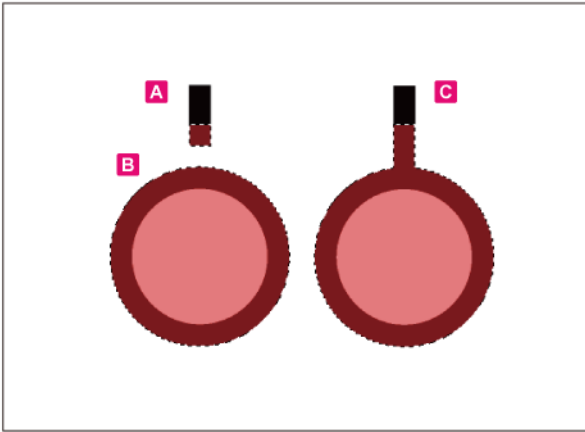
選択ツールでドラッグした範囲内にすべて納まっている、描線（ベタ）部分に選択範囲を作成します。



- A 選択範囲からはみ出した部分があるため、選択されません。
- B 選択範囲にすべて納まっているので、描線（ベタ）部分が選択されます。
- C 選択範囲からはみ出した部分があるため、選択されません。

外側透明以外を選択（境界選択）

選択ツールでドラッグした範囲内の、描線および描線で閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。



- A 選択範囲に納まっている部分のみが選択されます。選択範囲からはみ出した部分は選択されません。
- B 選択範囲にすべて納まっているので、選択されます。
- C 選択範囲に納まっている部分のみが選択されます。選択範囲からはみ出した部分は選択されません。

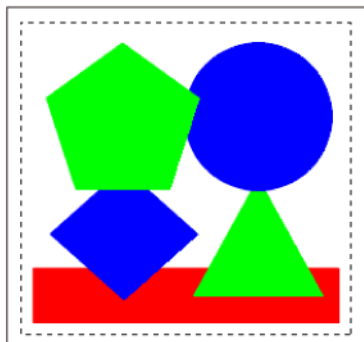
解説：効果：複数参照

[効果] グループ→[複数参照]では、シュリンク選択するときに、選択対象とするレイヤーを指定できます。



[マジックワンド] ツールでは、[基本] グループ→[複数参照]となります。
 なお、[マジックワンド] ツールの場合、シュリンク選択と無関係にこのオプションを使用できます。

ここでは、[矩形選択] ツールを使用して、表示されている画像全体を囲んで選択した場合の結果を説明します。下図の各図形は、それぞれ別のレイヤーに描かれています。

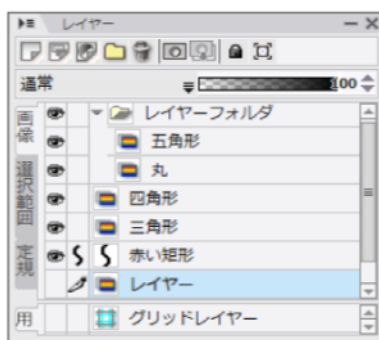
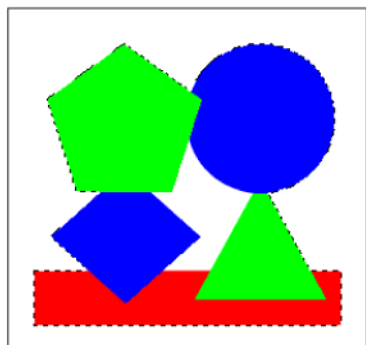


すべてのレイヤーを参照

キャンバス上に表示されているすべてのレイヤーを対象に選択範囲を作成します。非表示のレイヤーは無視します。

キャンバス上で表示されている、[五角形] レイヤー、[丸] レイヤー、[四角形] レイヤー、[三角形] レイヤー、[赤い矩形] レイヤーの画像が選択対象になっています。描画が重なっている場合は、つながった状態の外側で選択範囲が作成されます。

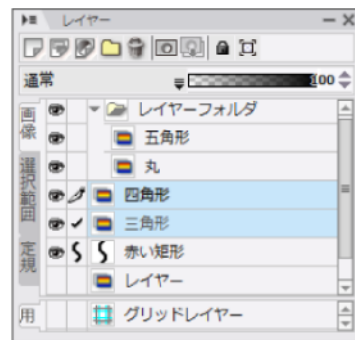
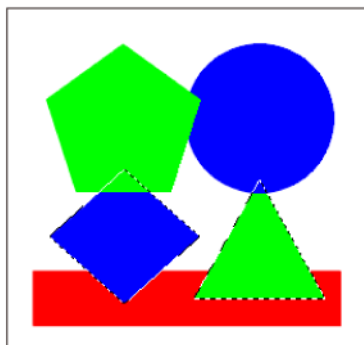
下図の[レイヤー]パレットで選択状態になっている[レイヤー]は非表示のため、選択の対象になりません。



選択状態レイヤーを参照

[レイヤー] パレットで選択されている複数のレイヤーを対象にして、選択範囲を作成します。

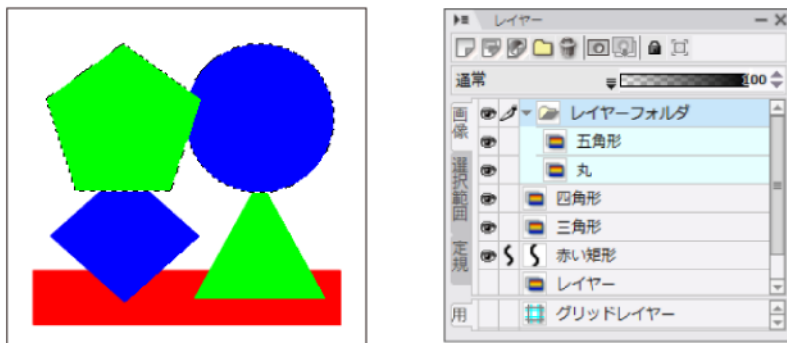
下図の[レイヤー]パレットで選択されている[四角形] レイヤーと[三角形] レイヤーの画像が選択対象になっています。



フォルダ内レイヤーを参照

「レイヤー」パレットで選択したレイヤーフォルダに格納されている複数のレイヤーを対象にして、選択範囲を作成します。

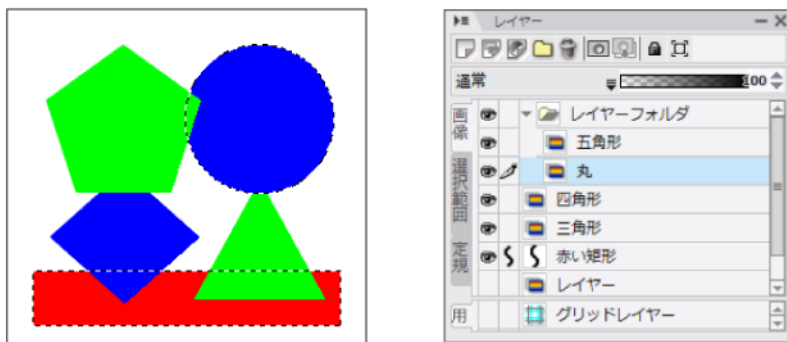
下図の「レイヤー」パレットでレイヤーフォルダに格納されている「五角形」レイヤーと「丸」レイヤーの画像が選択対象になっています。描画が重なっている場合は、つながった状態で選択範囲が作成されます。



参照レイヤーを参照

「レイヤー」パレットで選択したレイヤーと、参照レイヤーを対象にして、選択範囲を作成します。

下図の「レイヤー」パレットで選択されている「丸」レイヤーと、参照レイヤーの「赤い矩形」レイヤーの画像が選択対象になっています。



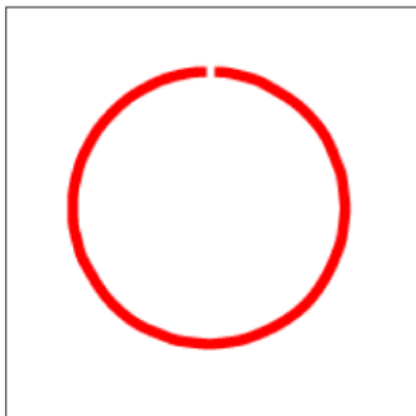
参照レイヤーは、編集中のレイヤーに対して塗りつぶしなどを行う際に参照先として認識するレイヤーやフォルダです。「レイヤー」パレットで参照先にしたいレイヤーを選択し、「レイヤー」メニュー→「参照レイヤーに設定」で設定します。

解説：効果：隙間を閉じる

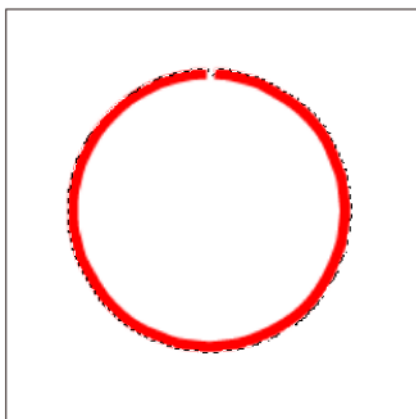
[効果] グループ→[隙間を閉じる]は、シュリンク選択を使用するときに、選択対象とする画像の指定サイズ分の隙間を閉じる設定を行います。



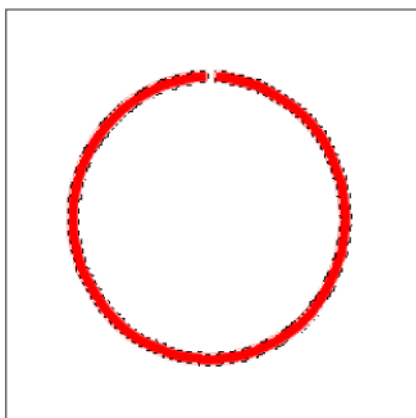
[マジックワンド] ツールでは、[基本] グループ→[隙間を閉じる]となります。
 なお、[マジックワンド] ツールの場合、シュリンク選択と無関係にこのオプションを使用できます。



元画像。赤い円の上部に隙間があります。



[隙間を閉じる] をオンにしてシュリンク選択を実行すると、円の外周で選択範囲が作成されます。



[隙間を閉じる] をオフにしてシュリンク選択を実行すると、赤い部分を感知して選択範囲が作成されます。

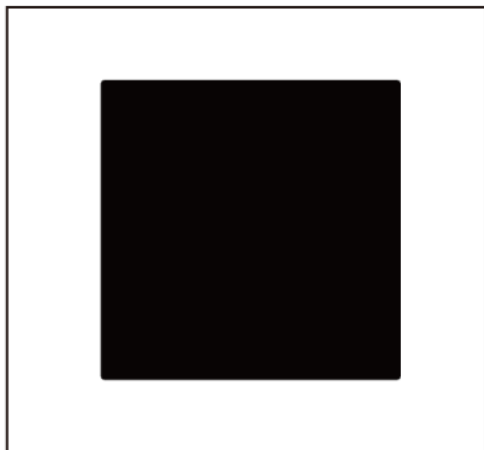
解説：効果：領域を拡縮

〔効果〕グループ→〔領域を拡縮〕は、シュリンク選択を使用するときに、指定したサイズ分だけ拡大・縮小した状態で選択範囲を作成します。

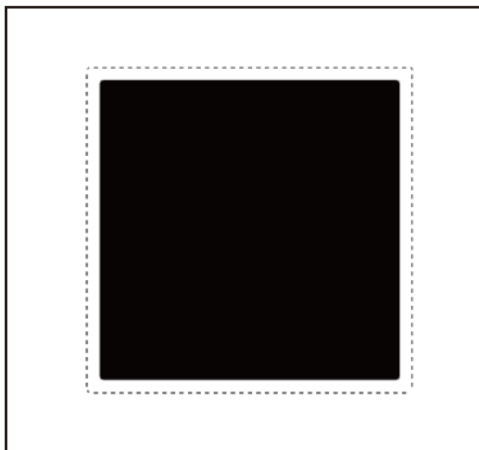


〔マジックワンド〕ツールでは、〔拡張〕グループ→〔領域を拡縮〕となります。

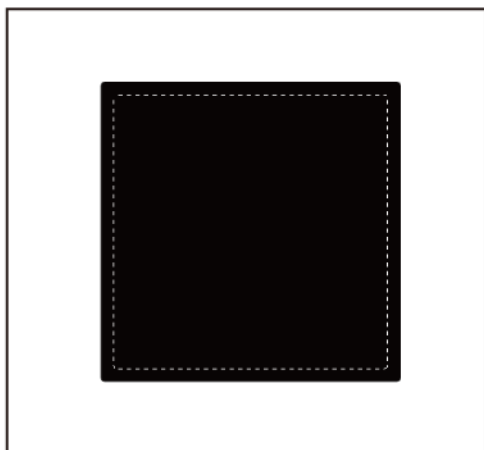
なお、〔マジックワンド〕ツールの場合、シュリンク選択と無関係にこのオプションを使用できます。



元画像



〔領域を拡縮〕をオン、プラスの値に設定してシュリンク選択



〔領域を拡縮〕をオン、マイナスの値に設定してシュリンク選択

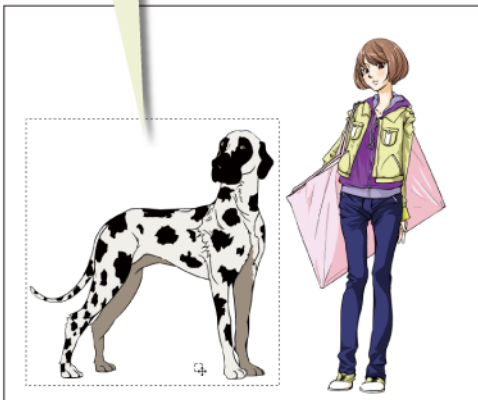
解説：レイヤーの移動

選択範囲を作成して、[Ctrl] キーを押しながらドラッグすると、選択範囲内の画像が移動します。



- 選択範囲がない場合は、レイヤー全体が移動します。
- [Ctrl] キーを押しながらカーソルキーを押しても、選択範囲の画像が移動します。
- 選択範囲をドラッグして移動している途中で [Shift] キーを押すと、ドラッグ開始点から 45 度刻みに移動方向を制限できます。

選択範囲を作成します。



[Ctrl] キーを押しながらドラッグすると、
選択範囲の画像が移動します。



矩形選択ツール

矩形や円の選択範囲を作成するツールです。



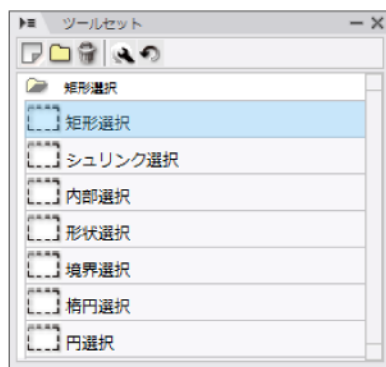
〔矩形選択〕ツールを使用した選択例



〔矩形選択〕ツールで選択範囲を作成するときは、一定量をドラッグしないと選択範囲が作成されません。小さな選択範囲を作成したい場合は、選択する範囲を大きめに囲むようにドラッグし、マウスのボタンを押したまま、選択範囲の大きさを調整します。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。〔ツールセット〕パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。〔ツールセット〕パレットは、〔パレット〕メニュー→〔ツールセット〕で表示できます。



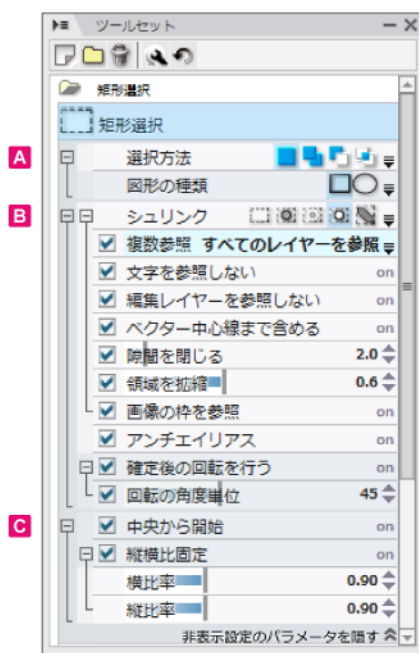
たとえば、[ツールセット]パレットの[円選択]を選択した場合、円形の選択範囲を作成できます。



[円選択]を選択した場合の選択範囲

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。



!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

選択範囲を作成する方法と、選択範囲の形状など、基本的な項目を設定できます。



① 選択方法

選択範囲を作成する方法を設定できます。

新規に選択		新規に選択範囲を作成します。
現在の選択に追加		すでに選択されている選択範囲に、選択した範囲を追加します。
現在の選択から削除		すでに選択されている選択範囲から、選択した範囲を削除します。
現在の選択から選択		すでに選択されている選択範囲と重なる部分のみを、選択範囲にします。

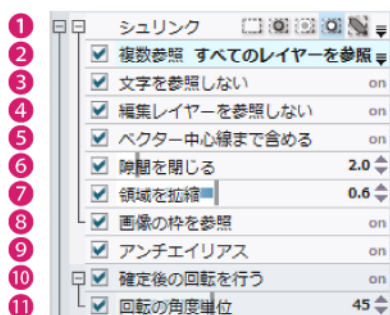
② 図形の種類

選択範囲の形状を設定できます。

矩形		選択範囲の形状を矩形にします。
楕円		選択範囲の形状を楕円にします。

B. 効果

シュリンク選択を行うときの詳細、アンチエイリアスなどの設定ができます。



① シュリンク

選択範囲の形状を設定できます。

シュリンクなし		シュリンク選択を無効にします。
シュリンク選択		ドラッグした範囲内にすべて納まっている描画部分の、外周に沿った選択範囲を作成します。
シュリンクして透明部を選択		ドラッグした範囲内にすべて納まっている描画部分の、閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。
シュリンクして透明以外を選択		ドラッグした範囲内にすべて納まっている描画部分の、透明領域以外を対象にして選択範囲を作成します。
外側透明以外を選択		ドラッグした範囲内の、描線および描線で閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。

② 複数参照

選択範囲を作成するときに、参照するレイヤーを設定できます。

すべてのレイヤーを参照		すべてのレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
選択状態レイヤーを参照		選択しているレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
フォルダ内レイヤーを参照		選択中のレイヤーと同じフォルダ内のすべてのレイヤーを参照します。フォルダ外のレイヤーや非表示に設定されているレイヤーは参照されません。
参照レイヤーを参照		現在選択中のレイヤーと、参照レイヤーに設定したすべてのレイヤーを参照します。ただし、非表示に設定された参照レイヤーは参照されません。参照レイヤーには複数のレイヤーや、レイヤーフォルダを設定できます。

③ 文字を参照しない

オンにすると、[テキストレイヤー]を参照先の対象から除外します。[複数参照]をオンにすると設定できます。

④ 編集レイヤーを参照しない

オンにすると、描画対象になっているレイヤーを参照先の対象から除外します。[複数参照]をオンにすると設定できます。

⑤ ベクター中心線まで含める

ベクターの中心線までの範囲を選択します。[ベクターレイヤー]のみ有効です。

⑥ 隙間を閉じる

指定のサイズ分の隙間を閉じて選択範囲にします。

⑦ **領域を拡張**

選択範囲を指定のサイズ分、拡大・縮小します。

⑧ **画像の枠を参照**

キャンバスの外周も境界線として参照します。

⑨ **アンチエイリアス**

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

⑩ **確定後の回転を行う**

選択範囲の作成時に、大きさが確定した後に選択範囲を回転します。

⑪ **回転の角度単位**

[確定後の回転を行う]を選択したときにオンにすると、選択範囲を回転する角度の単位を設定します。

C. 拡張

選択範囲の縦横比率など、その他の設定ができます。



① **中央から開始**

始点を中心に選択範囲を作成します。

② **縦横比固定**

選択範囲の作成時に、縦横比を固定します。

③ **横比率**

[縦横比固定]をオンにした場合、横比率を設定します。

④ **縦比率**

[縦横比固定]をオンにした場合、縦比率を設定します。

折れ線選択ツール

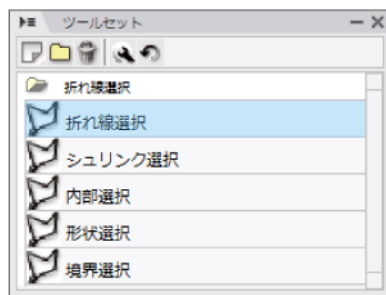
直線で構成された形の選択範囲を作成します。



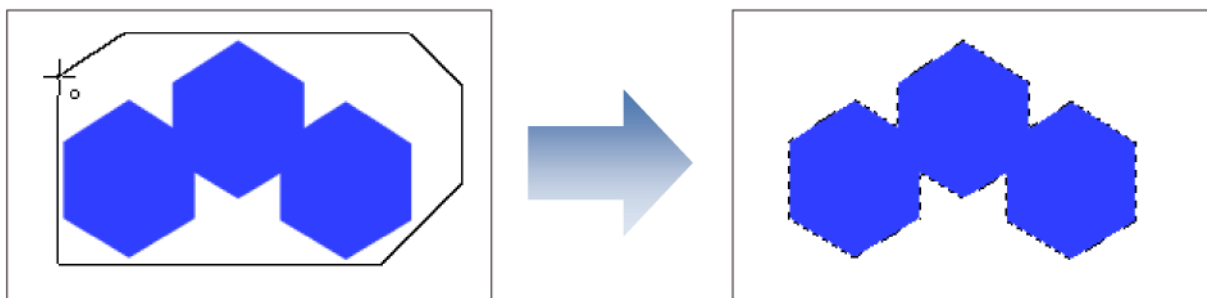
〔折れ線選択〕ツールを使用した選択例

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。〔ツールセット〕パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。〔ツールセット〕パレットは、〔パレット〕メニュー→〔ツールセット〕で表示できます。



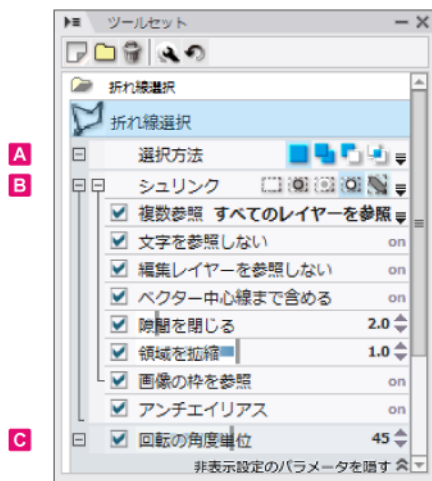
たとえば、〔ツールセット〕パレットの〔形状選択〕を選択した場合、選択した範囲内にすべて納まっている描画部分の、透明領域以外を対象にして選択範囲を作成します。



〔形状選択〕を選択した場合の選択範囲

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

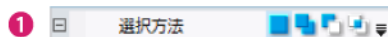


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

選択範囲を作成する方法を設定できます。



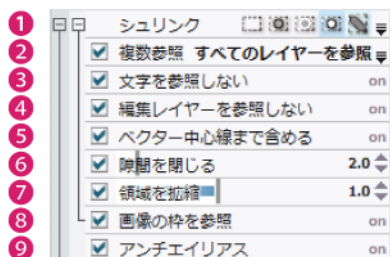
① 選択方法

選択範囲を作成する方法を設定できます。

新規に選択		新規に選択範囲を作成します。
現在の選択に追加		すでに選択されている選択範囲に、選択した範囲を追加します。
現在の選択から削除		すでに選択されている選択範囲から、選択した範囲を削除します。
現在の選択から選択		すでに選択されている選択範囲と重なる部分のみを、選択範囲にします。

B. 効果

シュリンク選択を行うときの詳細とアンチエイリアスの設定ができます。



① シュリンク

選択範囲の形状を設定できます。

シュリンクなし		シュリンク選択を無効にします。
シュリンク選択		クリックして囲んだ範囲内にすべて納まっている描画部分の、外周に沿った選択範囲を作成します。
シュリンクして透明部を選択		クリックして囲んだ範囲内にすべて納まっている描画部分の、閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。
シュリンクして透明以外を選択		クリックして囲んだ範囲内にすべて納まっている描画部分の、透明領域以外を対象にして選択範囲を作成します。
外側透明以外を選択		クリックして囲んだ範囲内の、描線および描線で閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。

② 複数参照

選択範囲を作成するときに、参照するレイヤーを設定できます。

すべてのレイヤーを参照		すべてのレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
選択状態レイヤーを参照		選択しているレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
フォルダ内レイヤーを参照		選択中のレイヤーと同じフォルダ内のすべてのレイヤーを参照します。フォルダ外のレイヤーや非表示に設定されているレイヤーは参照されません。
参照レイヤーを参照		現在選択中のレイヤーと、参照レイヤーに設定したすべてのレイヤーを参照します。ただし、非表示に設定された参照レイヤーは参照されません。参照レイヤーには複数のレイヤーや、レイヤーフォルダを設定できます。

③ 文字を参照しない

オンにすると、[テキストレイヤー] を参照先の対象から除外します。[複数参照] をオンにすると設定できます。

④ 編集レイヤーを参照しない

オンにすると、現在描画対象になっているレイヤーを参照先の対象から除外します。[複数参照] をオンにすると設定できます。

⑤ ベクター中心線まで含める

ベクターの中心線までの範囲を選択します。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

⑥ 隙間を閉じる

指定のサイズ分の隙間を閉じて選択範囲にします。

⑦ **領域を拡縮**

選択範囲を指定のサイズ分、拡大・縮小します。

⑧ **画像の枠を参照**

キャンバスの外周も境界線として参照します。

⑨ **アンチエイリアス**

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

C. 拡張

折れ線の角度の最小単位を設定できます。



① **回転の角度単位**

折れ線の角度の最小単位を設定します。オンにすると、設定した角度刻みで折れ線を作成します。

投げなわ選択ツール

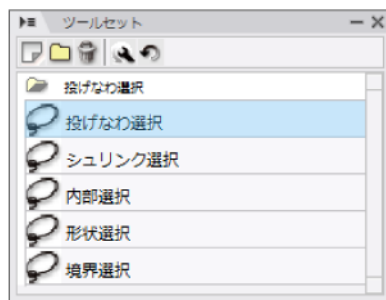
自由な形の選択範囲を作成します。



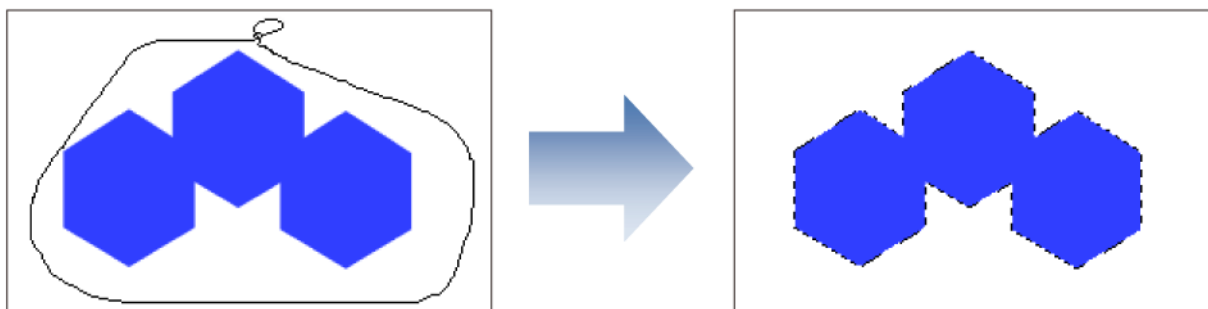
「投げなわ選択」ツールを使用した選択例

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



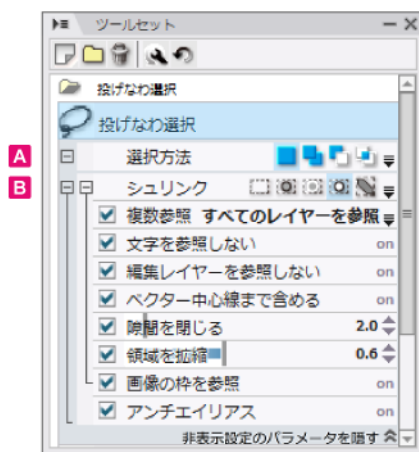
たとえば、[ツールセット]パレットの[シュリンク選択]を選択した場合、ドラッグした範囲内にすべて納まっている描画部分の、外周に沿った選択範囲を作成します。



「シュリンク選択」を選択した場合の選択範囲

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

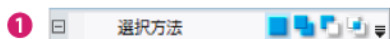


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

選択範囲を作成する方法を設定できます。



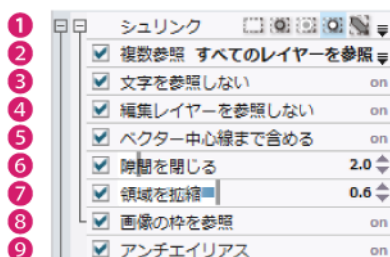
① 選択方法

選択範囲を作成する方法を選択します。

新規に選択		新規に選択範囲を作成します。
現在の選択に追加		すでに選択されている選択範囲に、選択した範囲を追加します。
現在の選択から削除		すでに選択されている選択範囲から、選択した範囲を削除します。
現在の選択から選択		すでに選択されている選択範囲と重なる部分のみを、選択範囲にします。

B. 効果

シュリンク選択を行うときの詳細とアンチエイリアスの設定ができます。



① シュリンク

選択範囲の形状を設定できます。

シュリンクなし		シュリンク選択を無効にします。
シュリンク選択		ドラッグした範囲内にすべて納まっている描画部分の、外周に沿った選択範囲を作成します。
シュリンクして透明部を選択		ドラッグした範囲内にすべて納まっている描画部分の、閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。
シュリンクして透明以外を選択		ドラッグした範囲内にすべて納まっている描画部分の、透明領域以外を対象にして選択範囲を作成します。
外側透明以外を選択		ドラッグした範囲内の、描線および描線で閉じられた透明領域に選択範囲を作成します。

② 複数参照

選択範囲を作成するときに、参照するレイヤーを設定できます。

すべてのレイヤーを参照		すべてのレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
選択状態レイヤーを参照		選択しているレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
フォルダ内レイヤーを参照		選択中のレイヤーと同じフォルダ内のすべてのレイヤーを参照します。フォルダ外のレイヤーや非表示に設定されているレイヤーは参照されません。
参照レイヤーを参照		現在選択中のレイヤーと、参照レイヤーに設定したすべてのレイヤーを参照します。ただし、非表示に設定された参照レイヤーは参照されません。参照レイヤーには複数のレイヤーや、レイヤーフォルダを設定できます。

③ 文字を参照しない

オンにすると、[テキストレイヤー] を参照先の対象から除外します。[複数参照] をオンにすると設定できます。

④ 編集レイヤーを参照しない

オンにすると、現在描画対象になっているレイヤーを参照先の対象から除外します。[複数参照] をオンにすると設定できます。

⑤ ベクター中心線まで含める

ベクターの中心線までの範囲を選択します。[ベクターレイヤー] のみ有効です。

⑥ 隙間を閉じる

指定のサイズ分の隙間を閉じて選択範囲にします。

⑦ **領域を拡縮**

選択範囲を指定のサイズ分、拡大・縮小します。

⑧ **画像の枠を参照**

キャンバスの外周も境界線として参照します。

⑨ **アンチエイリアス**

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

マジックワンドツール

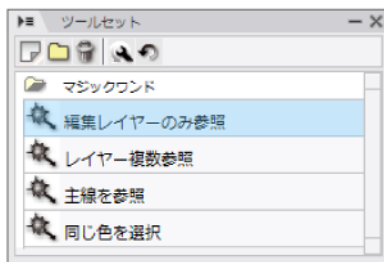
同色の連続部分を選択範囲として作成します。



[マジックワンド] ツールを使用した選択例

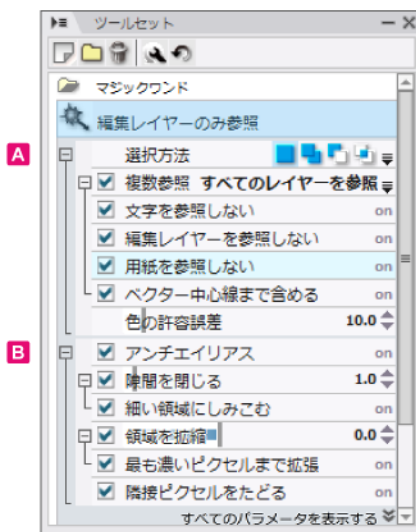
ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

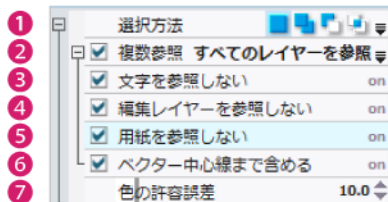




【ツールオプション】の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

選択範囲を作成する方法など、基本的な項目を設定できます。



① 選択方法

選択範囲を作成する方法を設定できます。

新規に選択		新規に選択範囲を作成します。
現在の選択に追加		すでに選択されている選択範囲に、選択した範囲を追加します。
現在の選択から削除		すでに選択されている選択範囲から、選択した範囲を削除します。
現在の選択から選択		すでに選択されている選択範囲と重なる部分のみを、選択範囲にします。

② 複数参照

選択範囲を作成するときに、参照するレイヤーを設定できます。

すべてのレイヤーを参照		すべてのレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
選択状態レイヤーを参照		選択しているレイヤーを、選択範囲を作成するときに参照します。
フォルダ内レイヤーを参照		選択中のレイヤーと同じフォルダ内のすべてのレイヤーを参照します。フォルダ外のレイヤーや非表示に設定されているレイヤーは参照されません。
参照レイヤーを参照		現在選択中のレイヤーと、参照レイヤーに設定したすべてのレイヤーを参照します。ただし、非表示に設定された参照レイヤーは参照されません。参照レイヤーには複数のレイヤーや、レイヤーフォルダを設定できます。

③ 文字を参照しない

オンにすると、[テキストレイヤー] を参照先の対象から除外します。[複数参照] をオンにすると設定できます。

④ 編集レイヤーを参照しない

オンにすると、現在描画対象になっているレイヤーを参照先の対象から除外します。[複数参照] をオンにすると設定できます。

⑤ 用紙を参照しない

チェックボックスがオンのときに、[用紙レイヤー] が参照先の対象から除外します。[用紙を参照しない] は [すべてのレイヤーを参照] が選択されているときに有効になります。

⑥ ベクター中心線まで含める

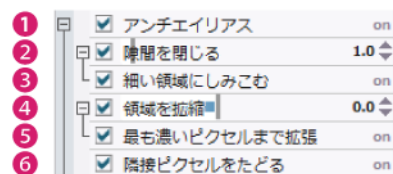
ベクターの中心線まで選択します。[ベクターレイヤー]のみ有効です。

⑦ 色の許容誤差

選択範囲を作成する場合の色の許容誤差を設定します。数値が大きいほど、クリックした位置の色とは違う色の領域も選択の対象に含めます。

B. 効果

アンチエイリアス、選択範囲の領域を拡大・縮小する場合の詳細などを設定できます。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

② 隙間を閉じる

設定した数値以下の隙間があった場合、隙間を閉じたものとみなして選択範囲にします。

③ 細い領域にしみこむ

設定した数値以下の隙間があった場合、その先が閉じた領域ならば選択範囲にします。[隙間を閉じる]をオンにした場合に選択できます。

④ 領域を拡張

選択範囲を作成するときに、指定したピクセル分だけ本来の領域よりも拡大または縮小した選択範囲を作成します。

⑤ 最も濃いピクセルまで拡張

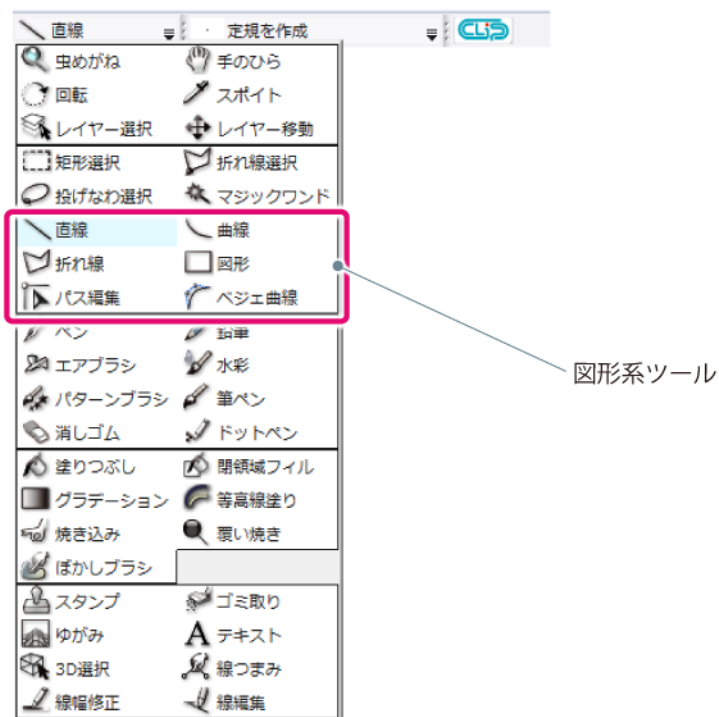
色が最も濃い部分（不透明度が高い部分）を認識して、その部分までを選択範囲にします。[領域を拡張]をオンにした場合に選択できます。

⑥ 隣接ピクセルをたどる

クリックした位置と同じ色をたどって選択範囲にします。オフにすると、ページ内の同じ色をすべて選択範囲にします。

図形系ツール

ここでは、[ツールバー] の [ツール一覧] で表示されるツールから、図形に関連するツールについて紹介します。

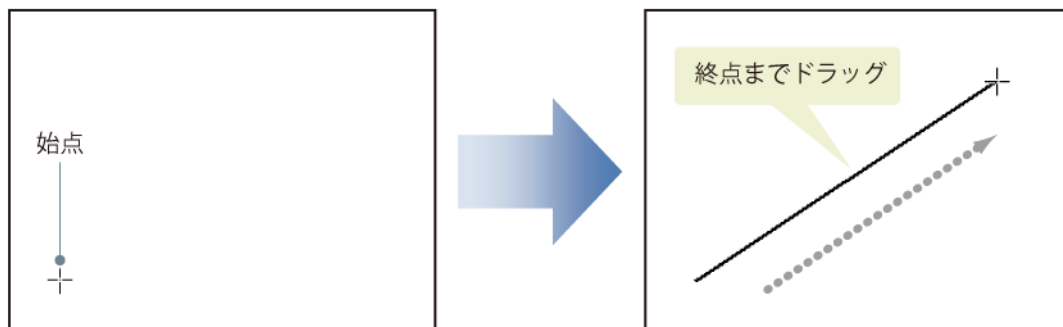


図形系ツールには、下記のツールが含まれます。

- [直線] ツール
- [曲線] ツール
- [折れ線] ツール
- [図形] ツール
- [パス編集] ツール
- [ベジエ曲線] ツール

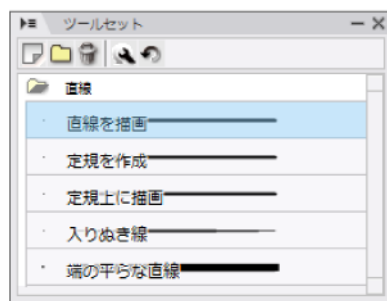
直線ツール

キャンバス上をドラッグして直線を描画します。

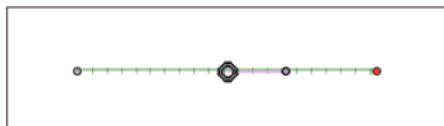


ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



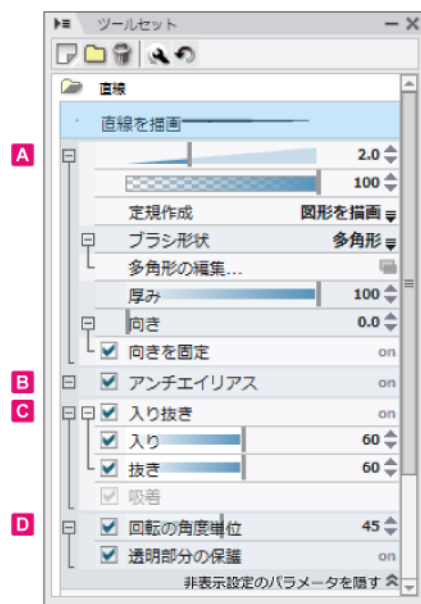
たとえば、[ツールセット]パレットの[定規を作成]を選択した場合、[サブ定規レイヤー]に直線の[サブ定規]を作成します。



[サブ定規レイヤー]については、『レイヤー系パレット』→『レイヤーパレット』→『[画像リブ](#)』を参照してください。

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

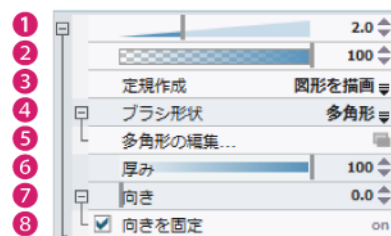


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

② 不透明度

線の不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

③ 定規作成

ツールの描画モードを選択します。

図形を描画		キャンバスをドラッグして直線または図形を描画します。
定規を作成		[サブ定規レイヤー] に [サブ定規] を作成します。
定規に沿った線を描画		線の描画と [サブ定規レイヤー] への [サブ定規] の作成を同時に行います。



「定規に沿った線を描画」をオンにして描画した場合は、作成した定規に対して、描画ツールの描線がスナップされません。

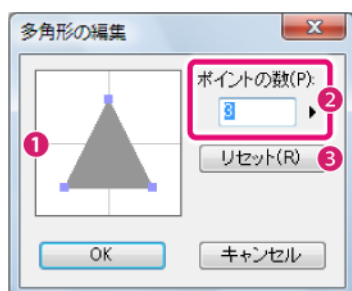
④ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形]から選択します。

⑤ 多角形の編集

[多角形の編集] ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。ブラシ形状で [多角形] を指定した時に選択できます。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集] ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑥ 厚み

ペン先の厚みを調整します。

⑦ 向き

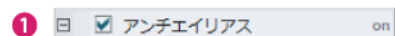
ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ブラシパターンが、上がとがった三角（▲）ならば、180 度設定すると下がとがった三角（▼）になります。

⑧ 向きを固定

設定したペン先の角度（向き）を固定します。

B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフを設定します。

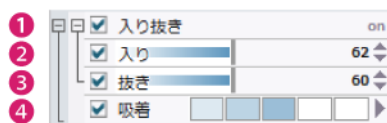


① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

C. 補正

線を描画したときの [入り] ・ [抜き] のオン・オフと強さを設定します。



① 入り抜き

[入り] ・ [抜き] 設定のオン・オフを設定できます。

② 入り

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

③ 抜き

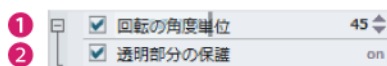
[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 吸着

[ベクターレイヤー] 選択時に、描画する線をすでに描かれている線に吸着させます。吸着の強さは、インジケータや数値で指定できます。

D. 拡張

描画する角度など、その他の設定ができます。



① 回転の角度単位

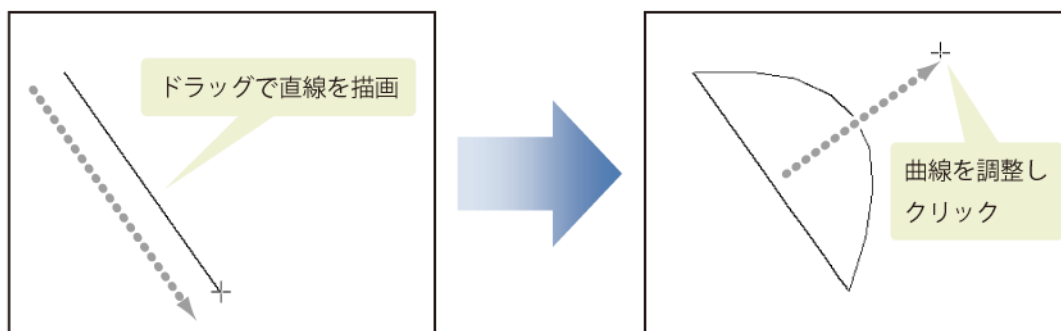
指定した角度ごとに直線を描画します。

② 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

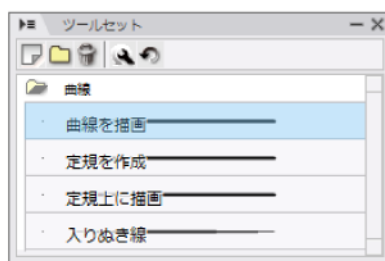
曲線ツール

曲線を描画するツールです。ドラッグで直線を描画して両端の位置を決定します。マウスカーソルを動かして曲線のカーブを調整し、クリックすると曲線が描画されます。

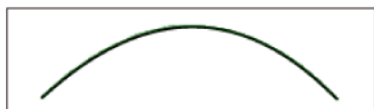


ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



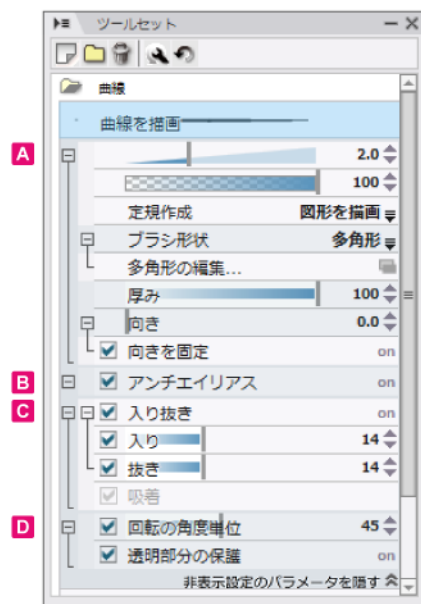
たとえば、[ツールセット]パレットの[定規上に描画]を選択した場合、線の描画と[サブ定規レイヤー]への[サブ定規]の作成を同時に行います。



[サブ定規レイヤー]については、『レイヤー系パレット』→『レイヤーパレット』→『[画像リブ](#)』を参照してください。

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

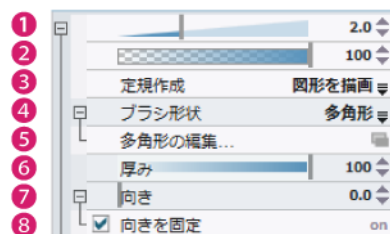


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

② 不透明度

線の不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

③ 定規作成

ツールの描画モードを選択します。

図形を描画		キャンバスをドラッグして曲線または図形を描画します。
定規を作成		[サブ定規レイヤー]に[サブ定規]を作成します。
定規に沿った線を描画		線の描画と[サブ定規レイヤー]への[サブ定規]の作成を同時に行います。



〔定規に沿った線を描画〕をオンにして描画した場合は、作成した定規に対して、描画ツールの描線がスナップされません。

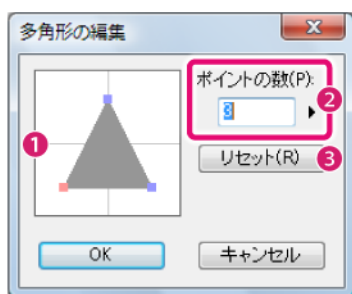
④ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。〔円〕・〔四角〕・〔多角形〕から選択します。

⑤ 多角形の編集

〔多角形の編集〕ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。ブラシ形状で〔多角形〕を指定した時に選択できます。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	〔多角形の編集〕ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑥ 厚み

ペン先の厚みを調整します。

⑦ 向き

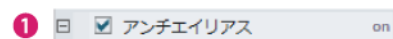
ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ブラシパターンが、上とがった三角（▲）ならば、180 度設定すると下とがった三角（▼）になります。

⑧ 向きを固定

設定したペン先の角度（向き）を固定します。

B. 効果

ペンに効果を付けます。ここでは、〔ベクターレイヤー〕に描画する線について設定します。

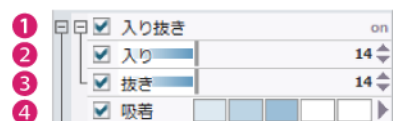


① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。〔アンチエイリアス〕をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

C. 補正

線を描画したときの〔入り〕・〔抜き〕のオン・オフと強さを設定します。〔ベクターレイヤー〕に描画する線についても設定します。



① 入り抜き

〔入り〕・〔抜き〕設定のオン・オフを設定できます。

② **入り**

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

③ **抜き**

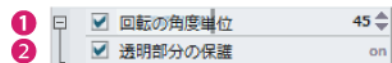
[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

④ **吸着**

[ベクターレイヤー] 選択時に、描画する線をすでに描かれている線に吸着させます。吸着の強さは、インジケータや数値で指定できます。

D. 拡張

描画する角度など、その他の設定ができます。



① **回転の角度単位**

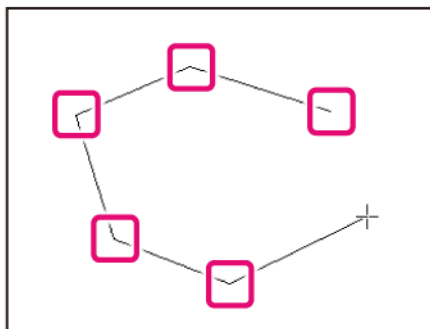
指定した角度ごとに曲線を描画します。

② **透明部分の保護**

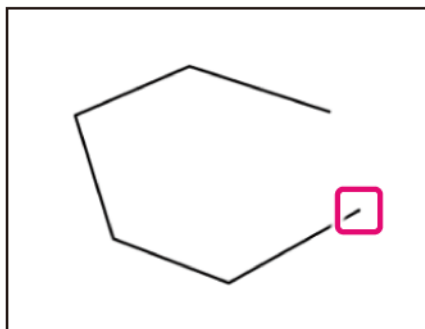
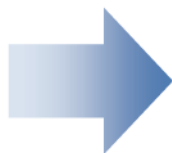
透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

折れ線ツール

折れ線を描画するツールです。クリックとマウскарソル移動の繰り返しで折れ線を描画します。



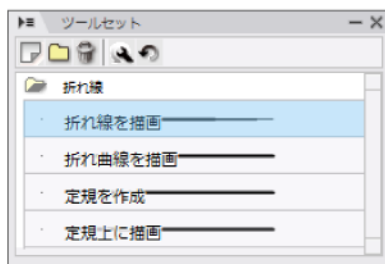
角をクリック



終点でダブルクリックし、折れ線を描画

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

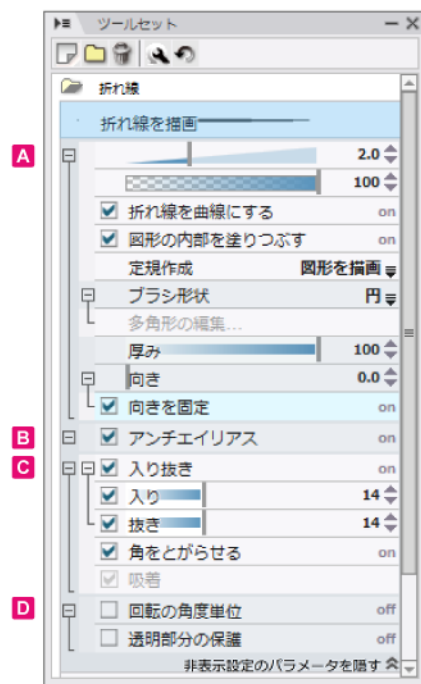


たとえば、[ツールセット]パレットの[折れ曲線を描画]を選択した場合、折れ線を描く操作で曲線を作成します。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

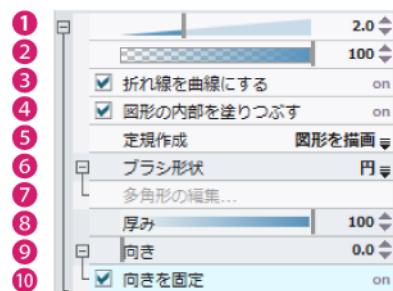


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定します。



① サイズ

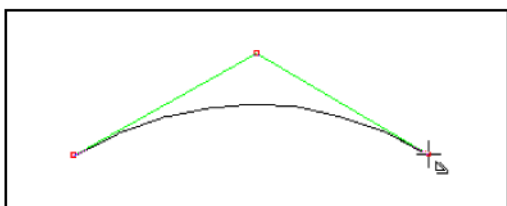
描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

② 不透明度

線の不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

③ 折れ線を曲線にする

折れ線を作成する動作で、曲線を作成します。






④ 図形の内部を塗りつぶす

作成する図形の閉じた領域を、描画色で塗りつぶします。

⑤ 定規作成

ツールの描画モードを選択します。

図形を描画		キャンバスをドラッグして折れ線または図形を描画します。
定規を作成		[サブ定規レイヤー]に[サブ定規]を作成します。
定規に沿った線を描画		線を描画と[サブ定規レイヤー]への[サブ定規]の作成を同時に行います。



[定規に沿った線を描画]をオンにして描画した場合は、作成した定規に対して、描画ツールの描線がスナップされません。

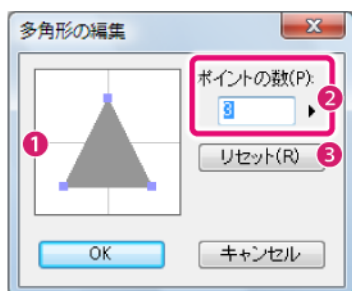
⑥ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形]から選択します。

⑦ 多角形の編集

[多角形の編集]ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。ブラシ形状で[多角形]を指定した時に選択できます。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集]ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑧ 厚み

ペン先の厚みを調整します。

⑨ 向き

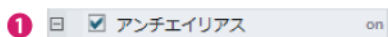
ペン先の向きを0から360までの角度で設定できます。ブラシパターンが、上がとがった三角(▲)ならば、180度設定すると下がとがった三角(▼)になります。

⑩ 向きを固定

設定したペン先の角度(向き)を固定します。

B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフを設定します。

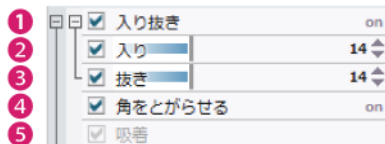


① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

C. 補正

線を描画したときの[入り]・[抜き]のオン・オフと強さを設定します。また、[ベクターレイヤー]に描画する線などについても設定します。



① 入り抜き

[入り]・[抜き]設定のオン・オフを設定できます。

② 入り

[入り]のオン・オフ、および強さを調整します。

③ 抜き

[抜き]のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 角をとがらせる

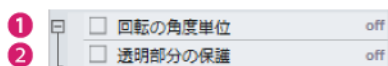
オンにして、折れ線または多角形を描画すると、角を鋭角にします。

⑤ 吸着

[ベクターレイヤー] 選択時に、描画する線をすでに描かれている線に吸着させます。吸着の強さは、インジケータや数値で指定できます。

D. 拡張

描画する線の角の状態や、図形が確定する前に回転する角度の単位など、その他の設定ができます。



① 回転の角度単位

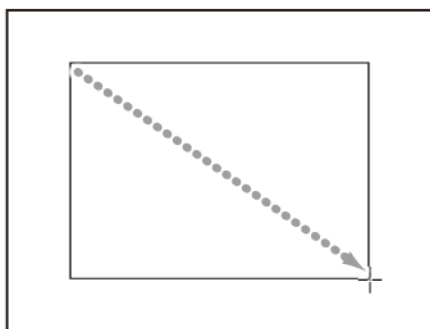
折れ線の角度の最小単位を設定します。設定した角度刻みで折れ線を作成します。

② 透明部分の保護

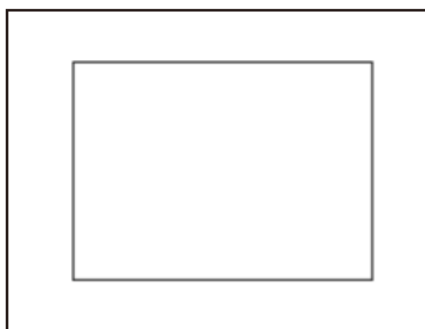
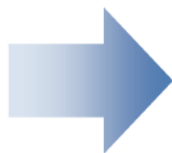
透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護]をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

図形ツール

矩形・楕円・多角形などの図形を描画するツールです。対角線上にドラッグすると、図形が描画されます。マウスボタンを離すと図形が確定します。



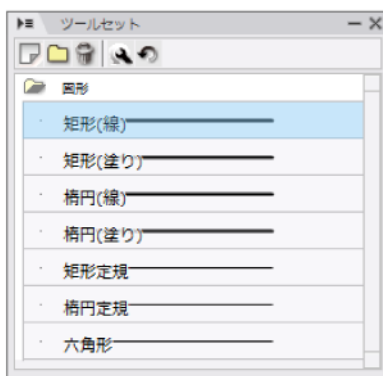
図形の対角線をドラッグ



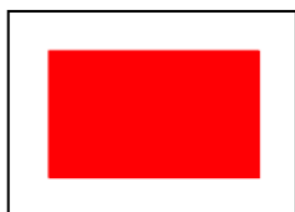
クリックして図形の描画を確定

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

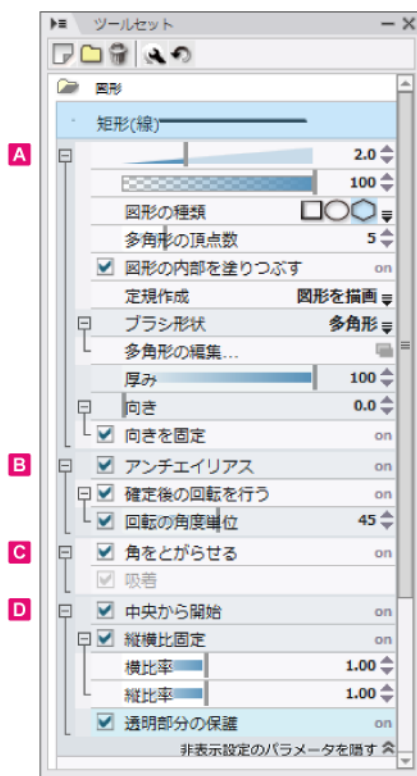


たとえば、[ツールセット]パレットの[矩形（塗り）]を選択した場合、ドラッグで矩形のサイズを決定し、描画した矩形に塗りつぶしを行います。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

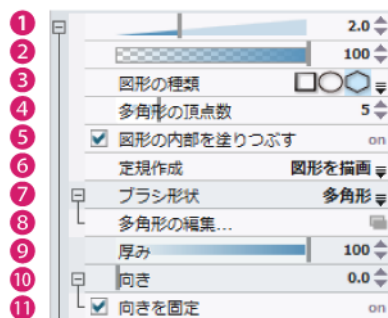


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定します。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

② 不透明度

線の不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

③ 図形の種類

作成する図形の形状を指定します。[矩形] ・ [楕円] ・ [多角形] から選択します。

④ 多角形の頂点数




多角形の角の数を指定します。

⑤ 図形の内部を塗りつぶす

作成する図形の閉じた領域を、描画色で塗りつぶします。

⑥ 定規作成

ツールの描画モードを選択します。

図形を描画		キャンバスをドラッグして曲線または図形を描画します。
定規を作成		[サブ定規レイヤー]に[サブ定規]を作成します。
定規に沿った線を描画		線を描画と[サブ定規レイヤー]への[サブ定規]の作成を同時に行います。



【定規に沿った線を描画】をオンにして描画した場合は、作成した定規に対して、描画ツールの描線がスナップされません。

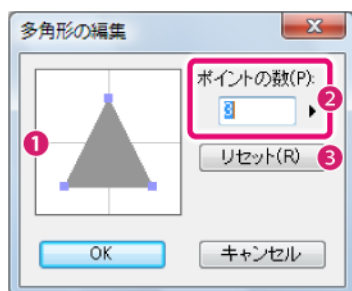
⑦ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形]から選択します。

⑧ 多角形の編集

[多角形の編集]ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。ブラシ形状で[多角形]を指定した時に選択できます。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集]ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑨ 厚み

ペン先の厚みを調整します。

⑩ 向き

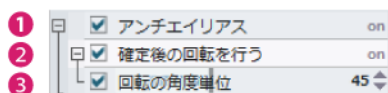
ペン先の向きを0から360までの角度で設定できます。ペン先の形状が、上がとがった三角(▲)ならば、180度に設定すると下がとがった三角(▼)になります。

⑪ 向きを固定

設定したペン先の角度を固定します。

B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフなど、ペンに効果を付けます。図形の回転する角度の単位なども設定します。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

② 確定後の回転を行う

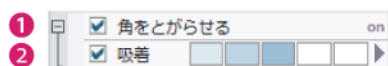
オンにして図形を描画すると、ドラッグして図形を描画したあとにマウスを動かすと、図形の角度を変更できます。クリックすると図形の角度が確定し、線が描画されます。

③ 回転の角度単位

図形が回転する角度の、刻み単位を指定します。

C. 補正

矩形または多角形を描画したときの角について設定します。また、[ベクターレイヤー] に描画する線などについても設定します。



① 角をとがらせる

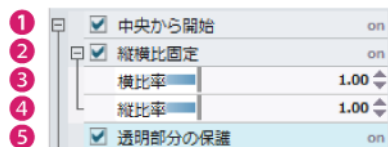
オンにして、矩形または多角形を描画すると、角を鋭角にします。

② 吸着

[ベクターレイヤー] 選択時に、描画する線をすでに描かれている線に吸着させます。吸着の強さは、インジケータや数値で指定できます。

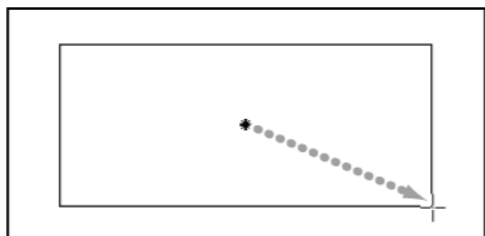
D. 拡張

描画の開始点、図形の縦横比など、その他の設定ができます。



① 中央から開始

オンにして図形を描画すると、始点を中心にして描画を開始します。



中央から図形を描画した場合の例

② 縦横比固定

図形を描画するときに、縦横比を固定します。

③ 横比率

[縦横比固定] を選択したときに、横比率を設定します。

④ **縦比率**

[縦横比固定] を選択したときに、縦比率を設定します。

⑤ **透明部分の保護**

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

パス編集ツール

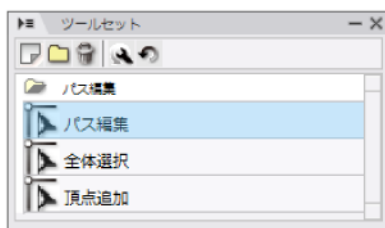
[定規レイヤー] や [サブ定規レイヤー] 上に作成した定規を選択して編集するツールです。定規の移動や編集をする場合に使用します。また、[ガイドレイヤー] 上に作成したガイド線の移動や編集もできます。



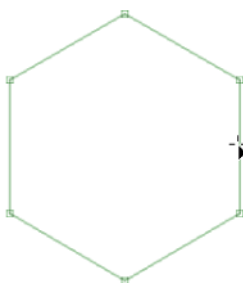
- [パス編集] ツールで定規を選択する方法については、『[定規の選択](#)』を、定規を編集する方法については『[定規の編集](#)』を参照してください。
- [定規レイヤー] と [サブ定規レイヤー] については、『レイヤー系パレット』→『レイヤーパレット』→『[画像リブ](#)』および『[定規リブ](#)』を参照してください。また、定規の種類や機能については『メニュー』→『[定規メニュー](#)』を参照してください。
- [ガイドレイヤー] については、『レイヤー系パレット』→『レイヤーパレット』→『[用紙リブ](#)』を参照してください。ガイド線については、『メニュー』→『定規メニュー』→『[ガイド](#)』および『[解説：ガイドの作成と編集](#)』を参照してください。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー→[ツールセット] で表示できます。

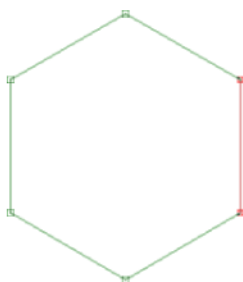


ここでは、下図マウスカursorの位置を各ツールセットでクリックした場合を例にします。選択されたポイントや辺は、赤く表示されます。



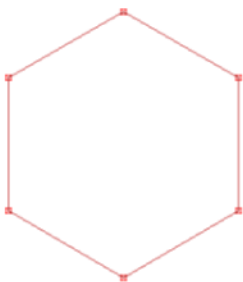
①パス編集

クリックした定規のポイントまたは辺を選択します。



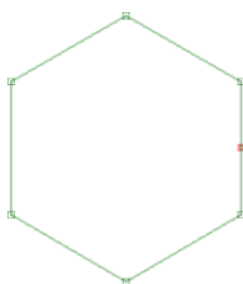
②全体選択

定規の一部をクリックすると、定規全体を選択対象にします。



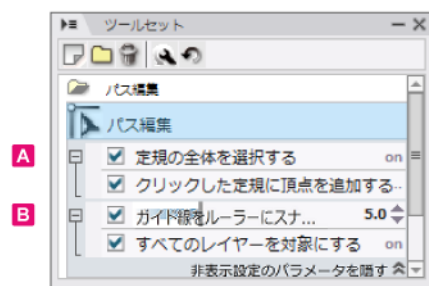
③頂点追加

辺のクリックした場所にポイント（頂点）を追加します。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。



!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

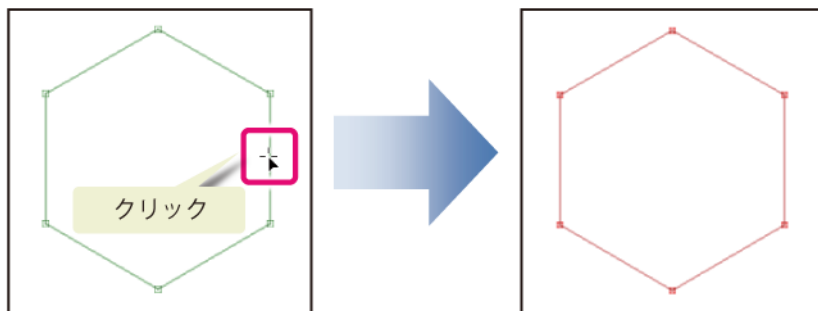
A. 基本

定規の選択方法と、ポイント（頂点）の追加について設定できます。

- 1 ☒ 定規の全体を選択する on
- 2 ☒ クリックした定規に頂点を追加する on

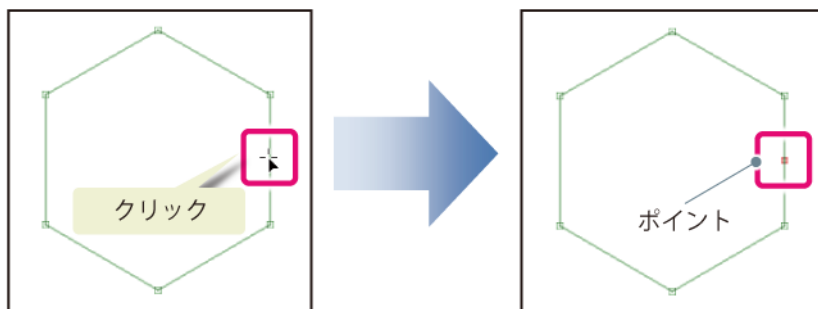
① 定規の全体を選択する

定規の一部を選択した場合に、定規全体を選択対象にします。



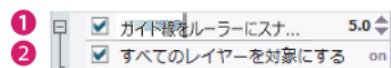
② クリックした定規に頂点を追加する

辺のクリックした場所に定規のポイント（頂点）を追加します。



B. 効果

ガイド線のスナップと、対象レイヤーについて設定できます。



① ガイド線をルーラーにスナップ

ガイド線を作成・移動する際に、マウスカースルからガイド線までの間隔を指定した距離でスナップします。

② すべてのレイヤーを対象にする

キャンバス上に作成されたすべての[サブ定規レイヤー]と[定規レイヤー]の定規を選択対象にします。

定規の右クリックメニュー

[パス編集] ツールの選択中に、キャンバス上で右クリックすると表示されるメニューです。



- パス定規を右クリックした場合は、表示されるメニューが異なります。
- パス定規のメニューの詳細は『メニュー』→『定規メニュー』→『パス定規』を参照してください。
- [パス編集] ツール使用中に、未選択の定規の頂点付近で右クリックしてメニューを表示した場合は、近くにある頂点が選択されます。

①	定規を閉じる(L)	
②	ポイントを鋭角化する(E)	
③	ポイントを結合する(N)	
④	ポイントを分離する(U)	
⑤	ポイントの角状態を変更(O)	
⑥	ポイントを削除(D)	Ctrl+Delete
⑦	定規から選択範囲の作成(R)	
⑧	定規の切り取り(T)	Ctrl+Alt+X
⑨	定規のコピー(C)	Ctrl+Alt+C
⑩	定規の貼り付け(P)	Ctrl+Alt+V

①定規を閉じる

選択した定規が線で囲まれていない場合、両端を線でつなぎます。[定規]メニュー→[定規の編集]→[定規を閉じる]と同様です。

詳しくは『メニュー』→『定規メニュー』→『定規の編集』→『① 定規を閉じる』を参照してください。

②ポイントを鋭角化する

曲線を構成しているコントロールポイントを選択している場合、選択中のコントロールポイントに沿って曲線を鋭角化します。[定規]メニュー→[定規の編集]→[ポイントを鋭角化する]と同様です。

詳しくは『メニュー』→『定規メニュー』→『定規の編集』→『② ポイントを鋭角化する』を参照してください。

③ポイントを結合する

定規の端のポイントを2つ選択している場合、選択中のポイントが線で結ばれ、定規が結合します。[定規]メニュー→[定規の編集]→[ポイントを結合する]と同様です。

詳しくは『メニュー』→『定規メニュー』→『定規の編集』→『③ ポイントを結合する』を参照してください。

④ポイントを分離する

辺を結ぶポイントを選択している場合、定規が分離します。辺を挟んだ2つのアンカーポイントを選択した場合は、挟まれた辺を削除します。[定規]メニュー→[定規の編集]→[ポイントを分離する]と同様です。

詳しくは『メニュー』→『定規メニュー』→『定規の編集』→『④ ポイントを分離する』を参照してください。

⑤ポイントの角状態を変更

[ベジェ曲線] ツールで作成した始点・終点以外のアンカーポイントを選択した状態で[ポイントの角状態を変更]を選択すると、指定したアンカーポイントの連続性がオフになり、[角]状態に変更されます。

逆に[角]状態になっているアンカーポイントに対しては、[角]状態がオフになり、滑らかな曲線になります。[定規]メニュー→[定規の編集]→[ポイントの角状態を変更]と同様です。

詳しくは『メニュー』→『定規メニュー』→『定規の編集』→『⑤ ポイントの角状態を変更』を参照してください。

⑥ポイントを削除

選択中のポイントを削除します。[定規]メニュー→[ポイントを削除]と同様です。

詳しくは『メニュー』→『定規メニュー』→『ポイントを削除』を参照してください。

⑦ 定規から選択範囲の作成

選択中の定規から選択範囲を作成します。[定規] メニュー → [定規から選択範囲の作成] と同様です。

詳しくは『メニュー』 → 『定規メニュー』 → 『定規から選択範囲の作成』を参照してください。

⑧ 定規の切り取り

選択中の定規を切り取り、クリップボードに保存します。[定規] メニュー → [定規の切り取り] と同様です。

詳しくは『メニュー』 → 『定規メニュー』 → 『定規の切り取り』を参照してください。

⑨ 定規のコピー

選択中の定規をコピーし、クリップボードに保存します。[定規] メニュー → [定規のコピー] と同様です。

詳しくは『メニュー』 → 『定規メニュー』 → 『定規のコピー』を参照してください。

⑩ 定規の貼り付け

切り取りやコピーした定規を貼り付けます。[定規] メニュー → [定規の貼り付け] と同様です。

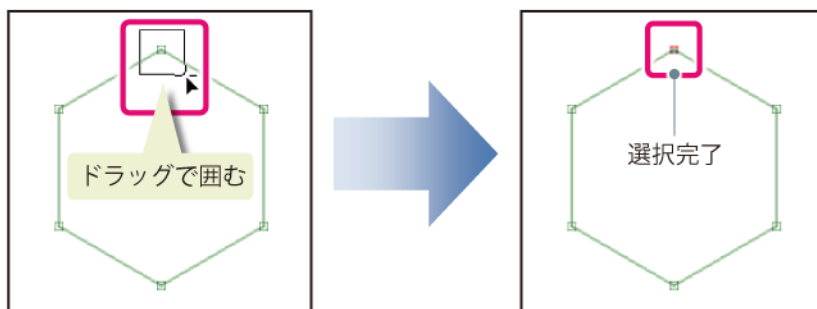
詳しくは『メニュー』 → 『定規メニュー』 → 『定規の貼り付け』を参照してください。

定規の選択

[パス編集] ツールを使用した、定規の選択方法について説明します。ここでは [ツールオプション] の [基本] グループの各項目をオフにした場合を例に説明します。また、定規の選択方法は各種特殊定規や [ベジェ曲線] ツールで作成した定規でも同様です。

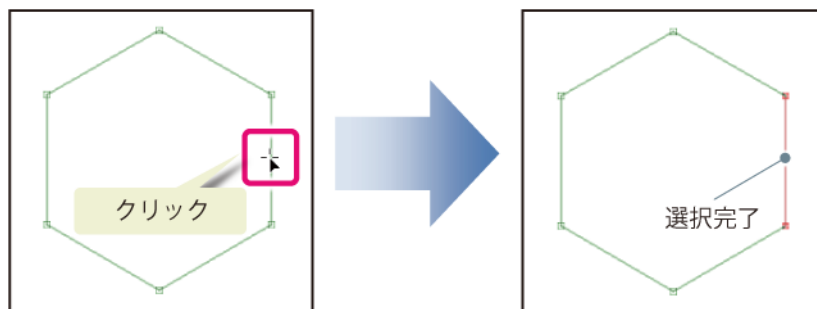
ポイントの選択

定規のポイントを選択したい場合、[パス編集] ツールで選択したい定規のポイントをクリックして囲みます。



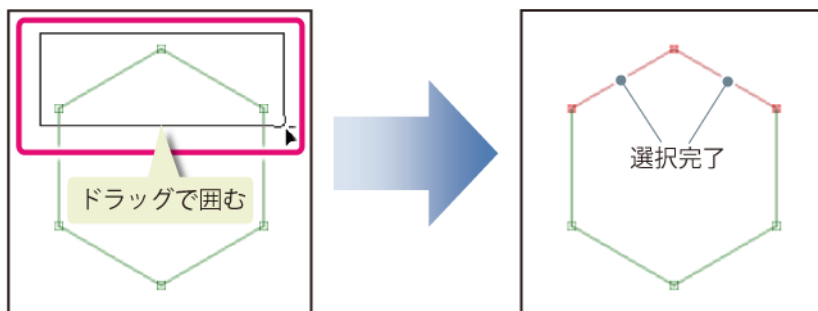
辺の選択

定規の辺を選択したい場合、[パス編集] ツールで選択したい定規の辺をクリックします。



複数の辺の選択

つながった定規の辺を複数選択したい場合、[パス編集] ツールで選択したい定規の辺をドラッグして囲みます。



定規の選択を解除

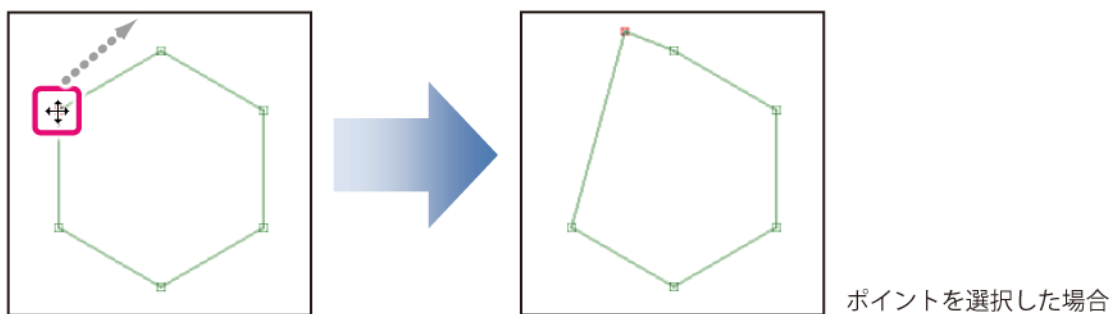
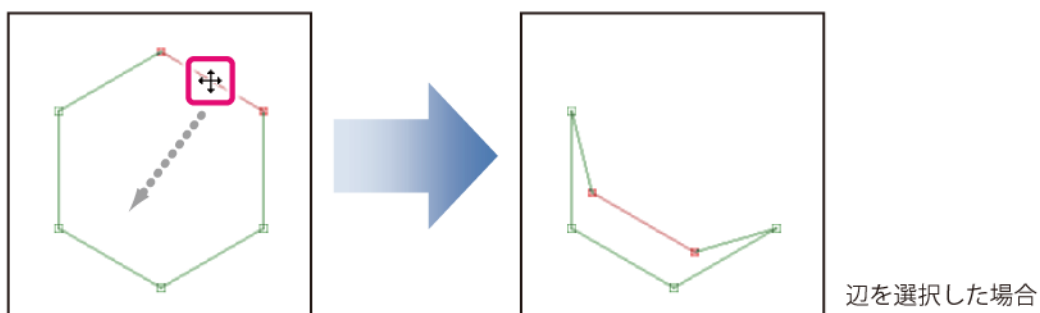
キャンバスの定規が描かれていない場所を [パス編集] ツールでクリックします。定規の選択が解除されます。

定規の編集

定規の編集方法について説明します。定規の選択方法や編集方法は各種特殊定規や [ベジェ曲線] ツールで作成した定規でも同様です。

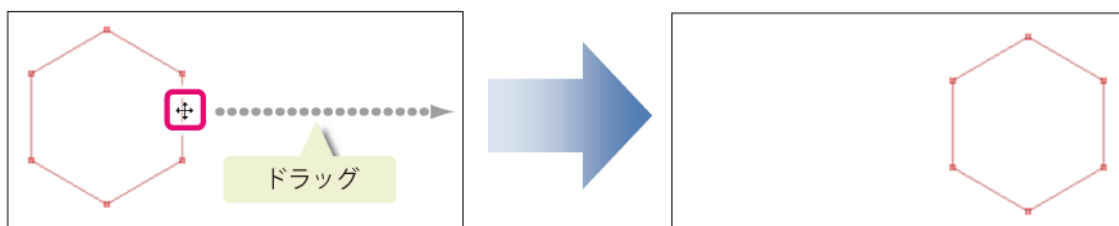
定規の変形

選択した定規のポイントや辺をドラッグすると、定規の形状を変形できます。



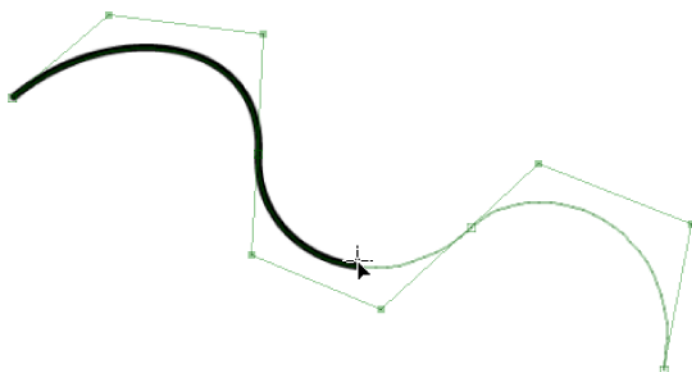
定規の移動

移動したい定規全体を選択したあと、定規の辺にマウスカースルを合わせてドラッグすると、定規を移動できます。



ベジエ曲線ツール

[サブ定規レイヤー]を作成し、曲線の定規を作成するツールです。フリーハンドでは難しいきれいな曲線を作成できます。コントロールポイントの角度やアンカーポイントの間隔によって曲線の形状を調整できます。



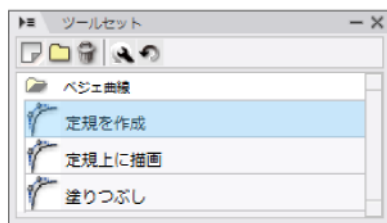
ベジエ曲線ツールで描画した例



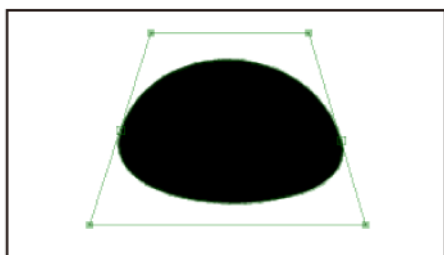
- [ベジエ曲線] ツールで曲線を描画する方法については、本項の『[クリックで指定して曲線を作成](#)』や『[ドラッグで指定して曲線を作成](#)』を参照してください。
- [サブ定規レイヤー]については、『レイヤー系パレット』→『レイヤーパレット』→『[画像リブ](#)』を参照してください。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

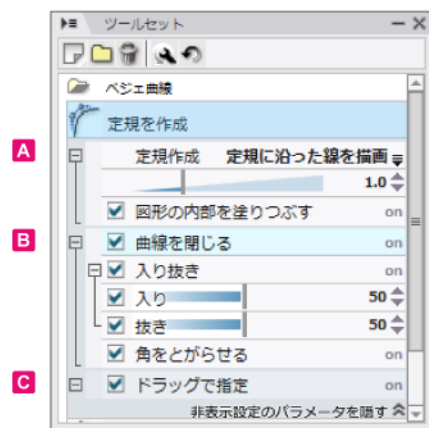


たとえば、[ツールセット]パレットの[塗りつぶし]を選択した場合、[ベジエ曲線]ツールで描画した閉じた領域を指定色で塗りつぶします。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

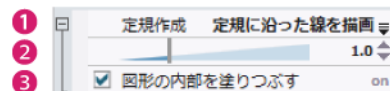


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールの描画モード、サイズなど、基本的な項目を設定します。



① 定規作成

ツールの描画モードを選択します。

定規を作成		[サブ定規レイヤー] に [サブ定規] を作成します。
定規に沿った線を描画		線の描画と [サブ定規レイヤー] への [サブ定規] の作成を同時に行います。

② サイズ

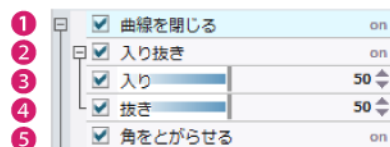
描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

③ 図形の内部を塗りつぶす

作成する図形の閉じた領域を、選択中の描画色で塗りつぶします。

B. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの [入り]・[抜き] のオン・オフと強さも設定できます。



① 曲線を閉じる

始点と終点を結び、閉じた曲線を作成します。

② 入り抜き

[入り]・[抜き] 設定のオン・オフを設定できます。

③ 入り

[入り]のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 抜き

[抜き]のオン・オフ、および強さを調整します。

⑤ 角をとがらせる

オンにして、矩形または多角形を描画すると、角を鋭角にします。[定規作成]で[定規に沿った線を描画]を選択したときに選択できます。



[Alt] キーを押しながらベジエ曲線を作成すると、角のある曲線を作成できます。

C. 拡張

ドラッグ操作でベジエ曲線を作成するための設定を行います。



① ドラッグで指定

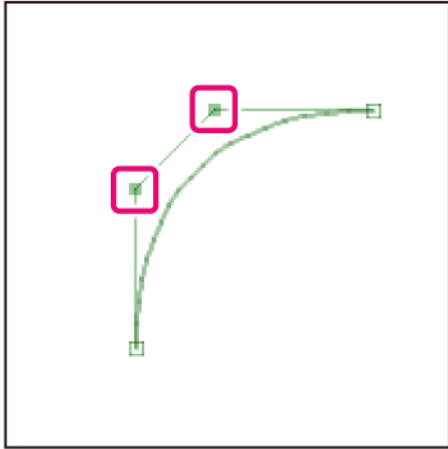
オンにすると、ドラッグ操作でベジエ曲線を作成できます。ドラッグ操作でベジエ曲線を作成する方法については、『[ドラッグで指定して曲線を作成](#)』を参照してください。

コントロールポイントとアンカーポイント

ベジエ曲線定規は、コントロールポイントとアンカーポイントを操作して調整します。

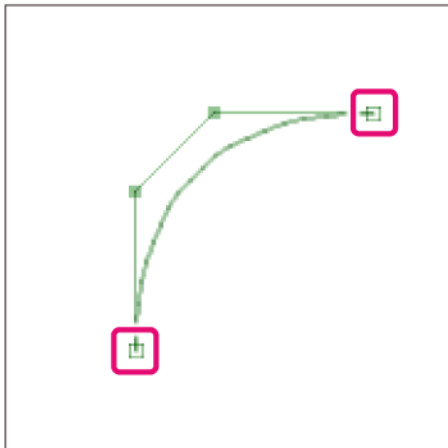
コントロールポイント

線の外部に張り出した曲線の曲がり进行调整する点を指します。



アンカーポイント

曲線の始点と終点およびその中間に生成される中間点を指します。



クリックで指定して曲線を作成

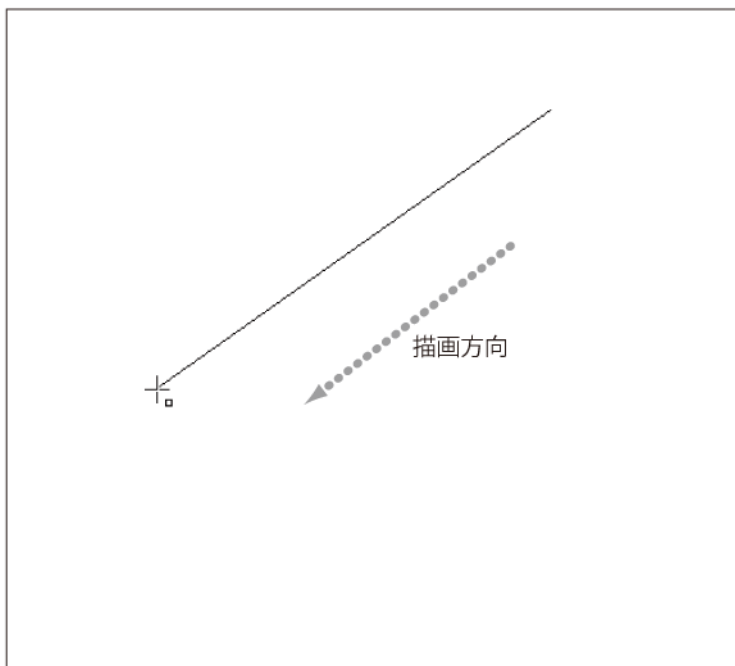
連続する複数の曲線の定規を描画します。[ツールオプション]の[拡張]グループの[ドラッグで指定]がオフになっている場合、次のようにクリック操作で曲線を描画します。



直前に指定したポイントをキャンセルするには、右クリックまたは [Esc] キーを押します。

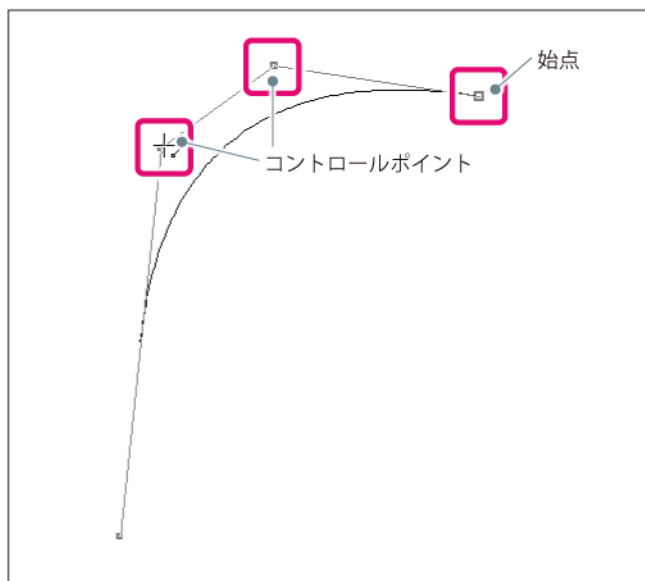
1 1 つ目の曲線を作成する

クリックして、始点を指定します。クリックして、終点を指定します。終点を指定すると直線が作成され、コントロールポイントを 2 つ指定できるようになります。



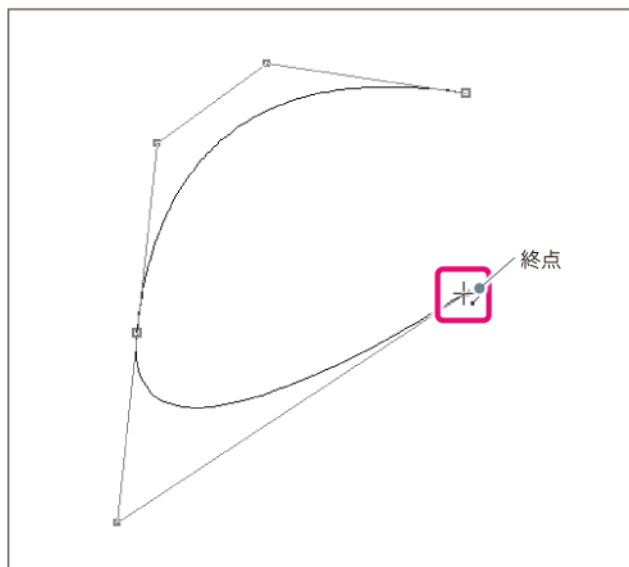
曲線を鋭角にしてつなぎたい場合は、終点を指定するときに [Alt] キーを押しながら作成します。

始点に近いコントロールポイントと始点から遠いコントロールポイントを、それぞれクリックして指定します。指定すると、ベジエ曲線が作成されます。

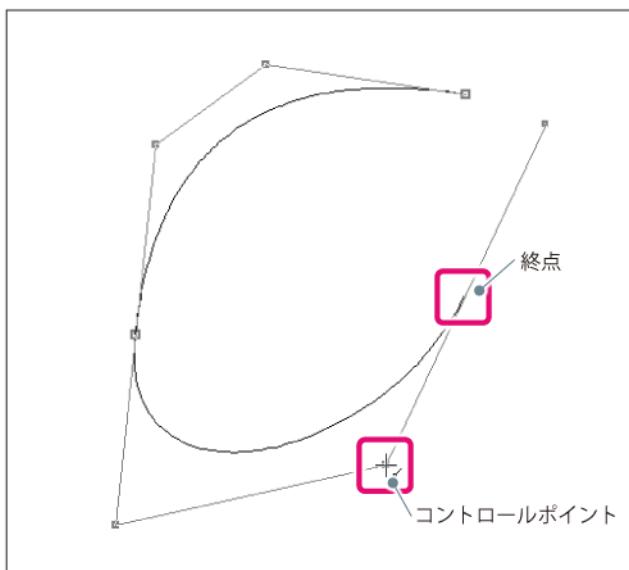


2 連続する2つ目の曲線を作成する

クリックして、2つ目の曲線の終点を指定します。終点を指定すると、直線が作成され、コントロールポイントを1つ指定できるようになります。



コントロールポイントをクリックして、指定します。そのままダブルクリックすると、ベジエ曲線定規が作成されます。



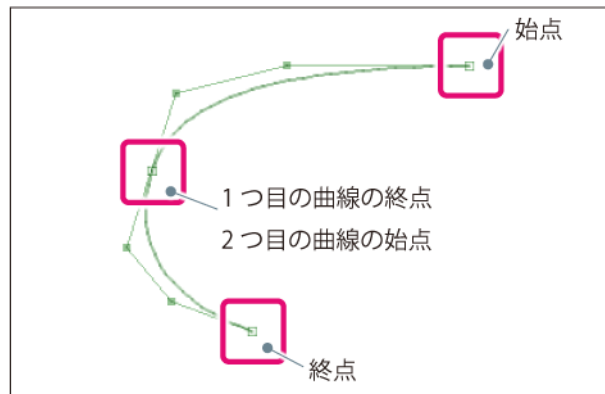
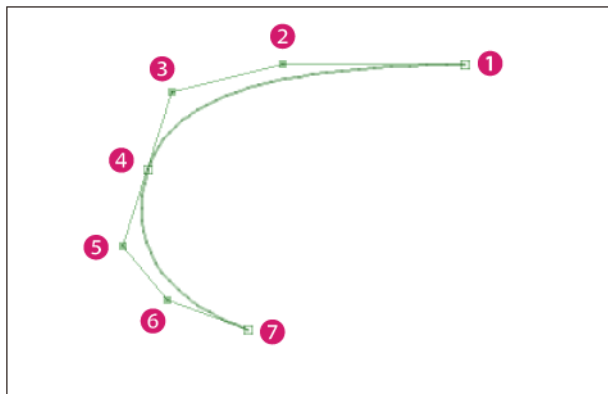
- 曲線を確定するとき、最後の指定ポイントで [Enter] キーを押して確定することもできます。
- 連続する2つ目の曲線では1つ目のコントロールポイントがすでに設定されているため、指定するポイントは1つになります。

ドラッグで指定して曲線を作成

連続する複数の曲線を描画します。[ツールオプション]の[拡張]グループの[ドラッグで指定]がオンになっている場合、次のようにドラッグ操作で曲線を描画します。

作例

ここでは、次の連続した2つの曲線を描く方法について説明します。



- ① 1つ目の曲線：アンカーポイント（始点）
- ② 1つ目の曲線：コントロールポイント（1）
- ③ 1つ目の曲線：コントロールポイント（2）
- ④ 1つ目の曲線：アンカーポイント（終点）・2つ目の曲線：アンカーポイント（始点）
- ⑤ 2つ目の曲線：コントロールポイント（1）
- ⑥ 2つ目の曲線：コントロールポイント（2）
- ⑦ 2つ目の曲線：アンカーポイント（終点）

作成方法

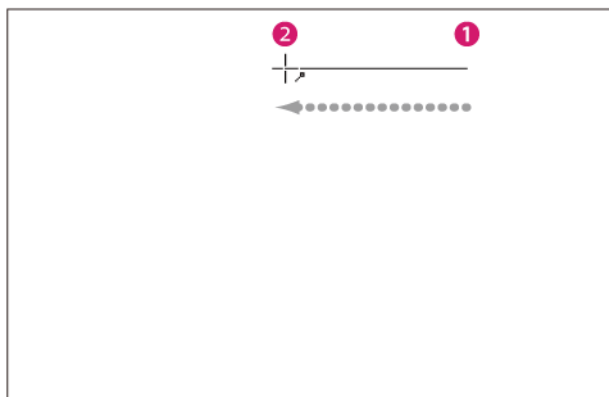
連続した2つの曲線の定規を作成します。図の数字については、上記『作例』を参考にしてください。



直前に指定したポイントをキャンセルするには、右クリックまたは [Esc] キーを押します。

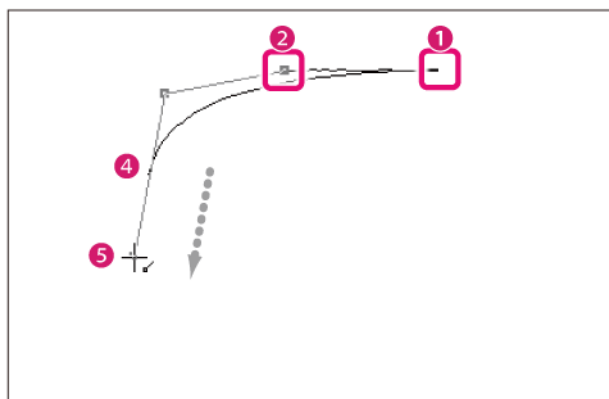
1 コントロールポイントを作成する

1 つ目の曲線の始点 (①) にマウスカースルを合わせ、コントロールポイント (②) にしたい位置までドラッグします。



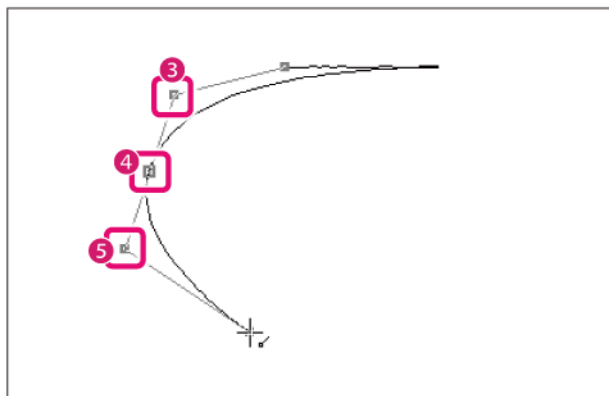
2 2 つめのアンカーポイントを作成する

ドラッグした部分にアンカーポイント (①) とコントロールポイント (②) が作成されたら、2 つ目のアンカーポイント (④) にしたい位置にマウスカースルを合わせてマウスボタンを押し、2 つ目の曲線のコントロールポイント (⑤) にしたい位置までドラッグします。



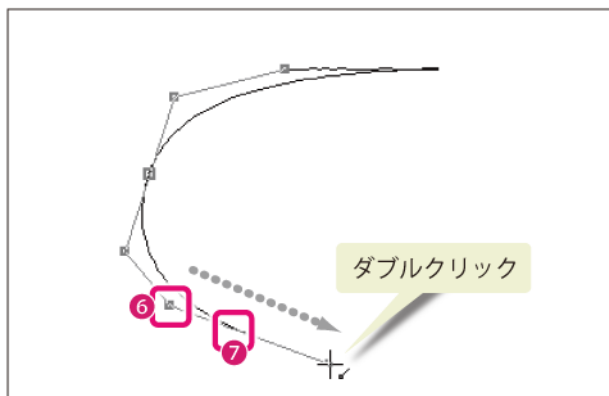
曲線を鋭角にしてつなぎたい場合は、2 つ目のアンカーポイントを作成するときに [Alt] キーを押しながら作成します。

ドラッグした部分の両端にアンカーポイント (④) とコントロールポイント (⑤) が作成され、反対側にコントロールポイント (③) が作成されます。

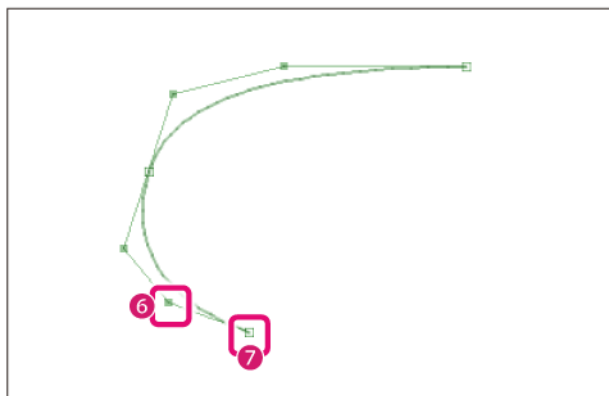


3 つめのアンカーポイントを作成する

アンカーポイント (⑦) にしたい位置にマウスカーソルを合わせてマウスボタンを押し、コントロールポイント (⑥) がアンカーポイント (⑦) をはさんで反対側にくるようにドラッグします。ドラッグの終了位置を決めたら、ダブルクリックします。



コントロールポイント (⑥) とアンカーポイント (⑦) が作成され、連続した 2 つの曲線が作成されます。



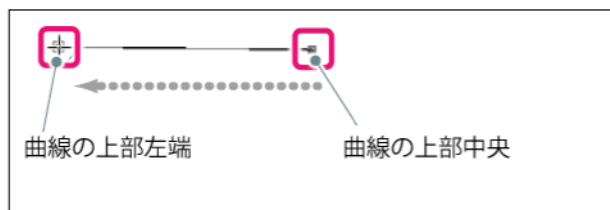
曲線を確定するとき、最後の指定ポイントで [Enter] キーを押して確定することもできます。

閉じた曲線を作成

線で閉じられた曲線の定規を描画します。[ツールオプション]の[拡張]グループの[曲線を閉じる]をオンにすると、描画できます。ここではドラッグ操作で曲線を描画します。

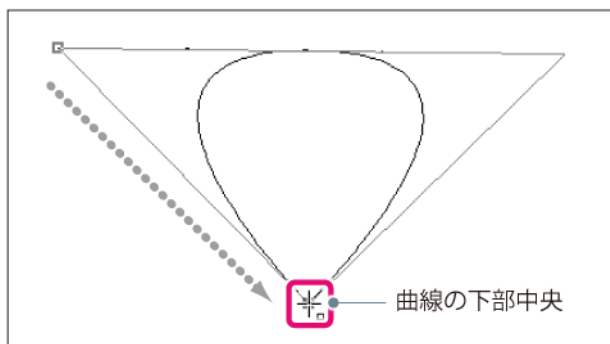
1 曲線の上部中央を指定する

曲線の上部中央にしたい位置から曲線の上部左端にしたい位置までドラッグします。



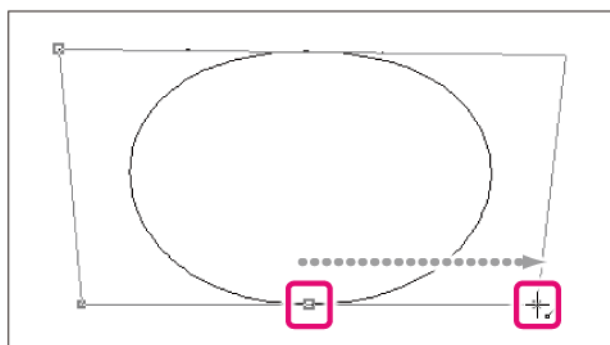
2 曲線の下部中央を指定する

曲線の下部中央にしたい位置までマウスカーソルを移動します。

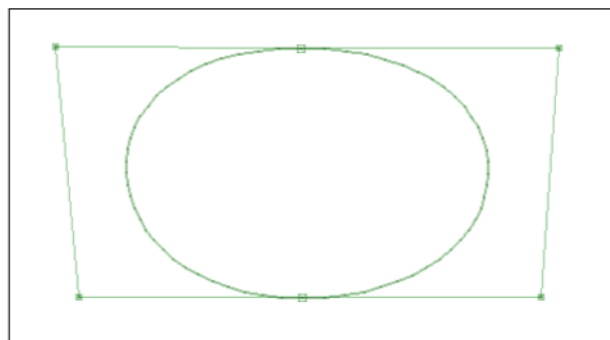


3 曲線の形状を指定する

曲線の下部中央にしたい位置から、曲線の形状を確定したい位置までドラッグします。ここではマウスカーソルを右に移動しています。

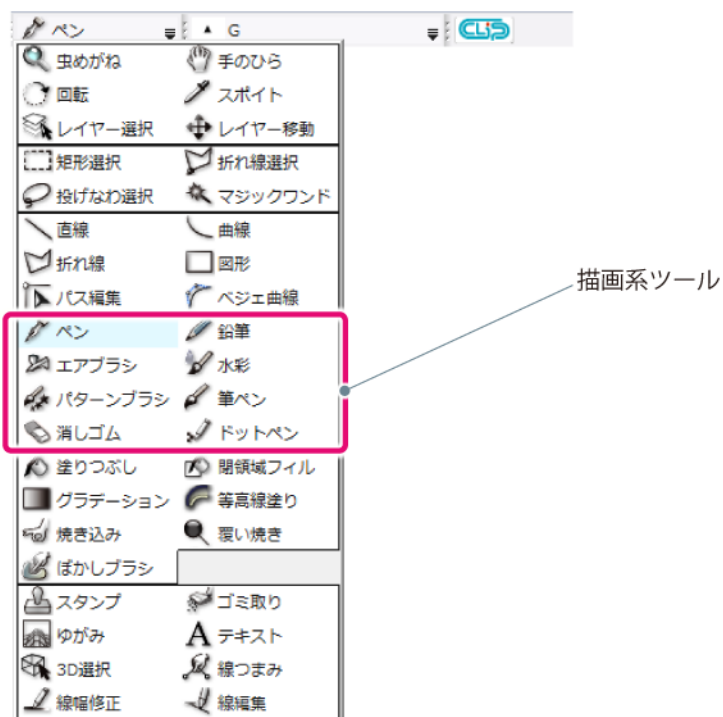


クリックすると、曲線の形状が確定し、閉じた曲線が描画されます。



描画系ツール

ここでは、[ツールバー]の[ツール一覧]で表示されるツールから、描画に関連するツールについて紹介します。



描画系ツールには、下記のツールが含まれます。

- [ペン] ツール
- [鉛筆] ツール
- [エアブラシ] ツール
- [水彩] ツール
- [パターンブラシ] ツール
- [筆ペン] ツール
- [消しゴム] ツール
- [ドットペン] ツール

ペンツール

線の描画に使用するツールです。キャンバス上をドラッグすると線を描画できます。



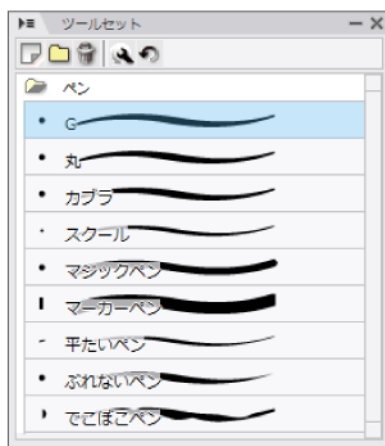
[ペン] ツールで描画した例



直線を引くには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



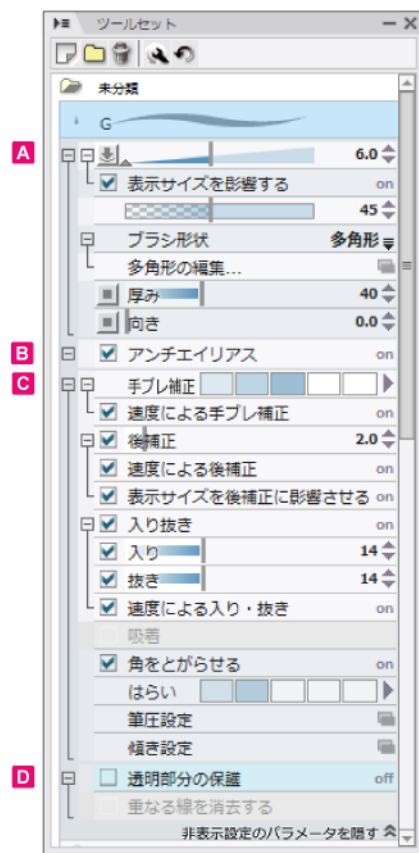
たとえば、[ツールセット]パレットの[G]を選択した場合、Gペンのようなタッチで強弱のある線を描画できます。



[G] を選択した場合の線

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

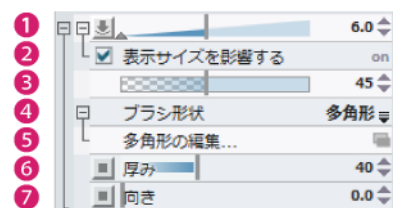


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。







① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズを影響する

キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

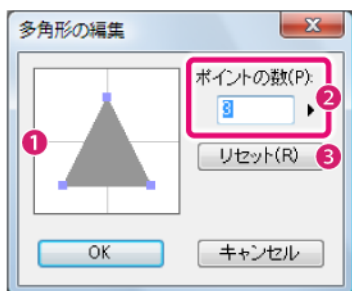
④ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形]から選択します。

⑤ 多角形の編集

[多角形の編集] ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。[ブラシ形状] で [多角形] を指定したときに選択できます。

多角形の編集ダイアログ







① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集] ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑥ 厚み

ペン先の厚みを調整します。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを設定できます。






変化なし		ツールの厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの厚みが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

⑦ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ブラシパターンが、上がとがった三角 (▲) ならば、180 度に設定すると下がとがった三角 (▼) になります。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の向きに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

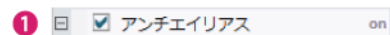
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを選択できます。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

B. 効果

ペンに効果を付けます。

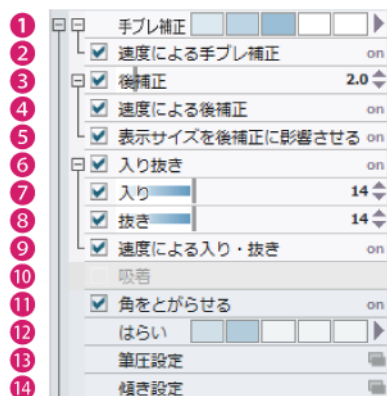


① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの[入り]・[抜き]のオン・オフと強さも設定できます。また、ベクターレイヤーに描画する線についても設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

後補正とは、線を描画したあとの補正です。手ブレなどを補正して線を滑らかにします。ここでは、後補正のオン・オフおよび強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって後補正の強さを調整します。

⑤ 表示サイズを後補正に影響させる

キャンバスの表示の拡大率に応じて後補正の強さが変化します。

⑥ 入り抜き

線を描画したときの[入り]・[抜き]のオン・オフを設定できます。

⑦ 入り

[入り]のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ 抜き

[抜き]のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ 速度による入り・抜き

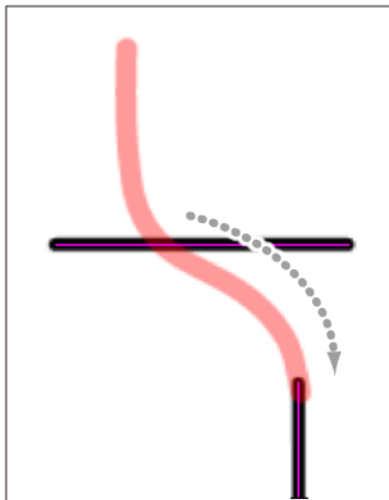
ストロークの速度によって[入り]・[抜き]の強さを調整します。

⑩ 吸着

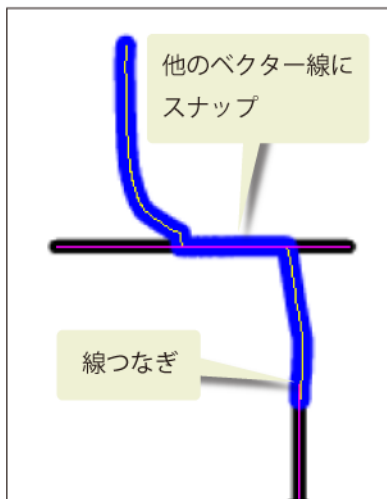
[ベクターレイヤー] 選択時に、描画する線をすでに描かれている線に吸着させます。吸着の強さは、インジケータや数値で指定できます。

[吸着]の数値が小さい場合

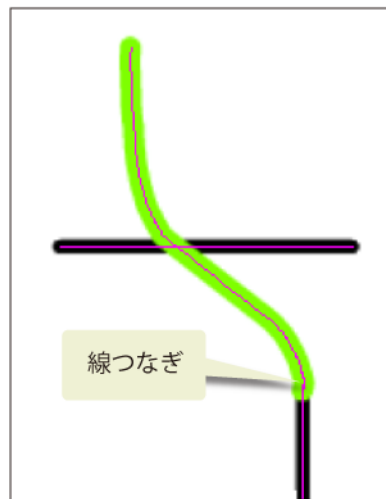
[吸着]の数値が小さいときは、ドラッグ後に線をつなぐ処理のみを行います。他の線にスナップする処理は行いません。



実際のストローク



[吸着]を40に設定



[吸着]を8に設定



吸着の数値を小さくすると、描画時に意図しない方向にスナップすることを防げます。

⑪ 角をとがらせる

オンにして、矩形または多角形を描画すると、角を鋭角にします。

⑫ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離したあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑬ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

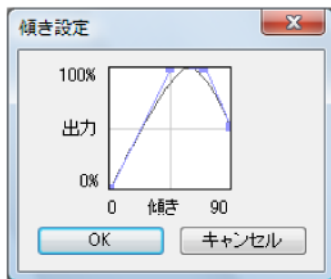


⑭ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

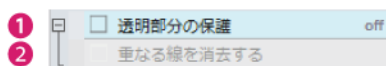
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを 8 つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

透明部分の保護、重なる線の処理など、その他の設定ができます。



① 透明部分の保護

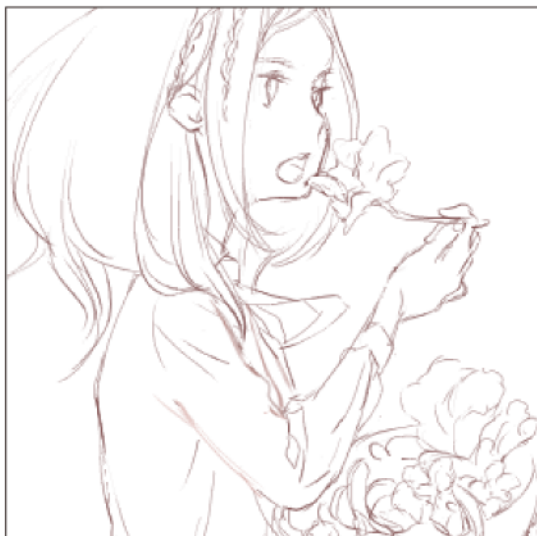
透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

② 重なる線を消去する

[ベクターレイヤー] 上で、すでに描かれている線のうち、新しく描かれた線に重なるものを消去します。

鉛筆ツール

鉛筆のようなタッチでやわらかい線を描画するツールです。キャンバス上でドラッグすると描画できます。



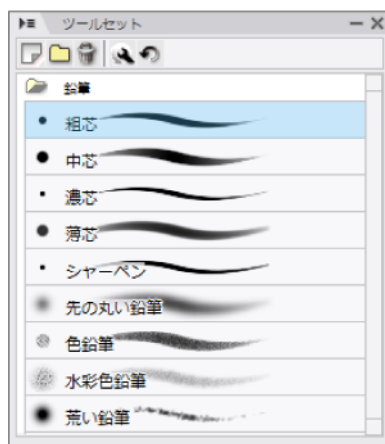
〔鉛筆〕ツールで描画した例



直線を引くには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

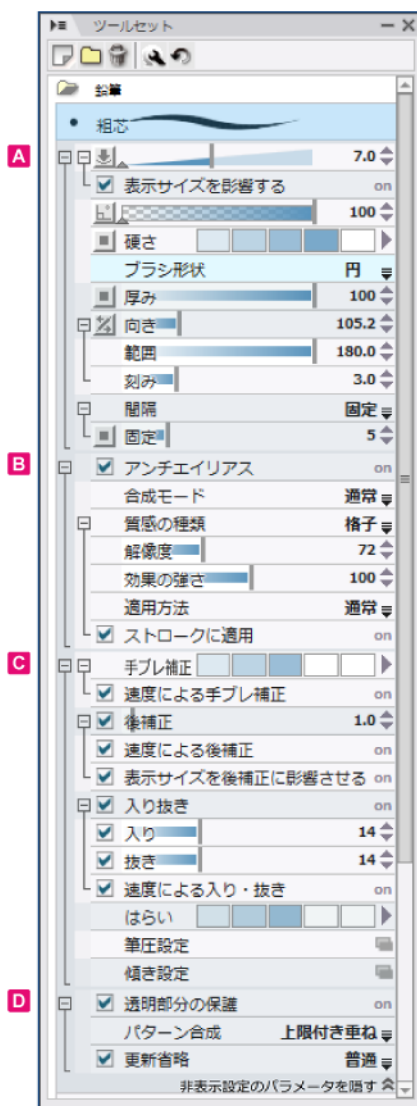
ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。〔ツールセット〕パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。〔ツールセット〕パレットは、〔パレット〕メニュー→〔ツールセット〕で表示できます。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

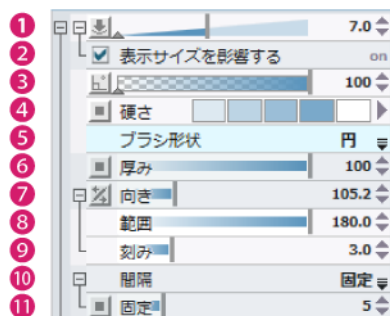


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する






キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 硬さ

硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。



- [硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤーで設定できます。
- [基本] グループ→[ブラシ形状] が [円] の場合のみ、[硬さ] を設定できます。








[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

⑤ ブラシ形状

円・四角・多角形などブラシパターンを選択できます。クリックすると [ブラシパターン変更メニュー] が表示され、ブラシパターンを指定できます。





[ブラシパターン変更メニュー] については『ツール一覧』→『描画系ツール』→『鉛筆ツール』→『[ブラシパターン変更メニュー](#)』を参照してください。

⑥ 厚み

ペン先の厚みを調整します。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを設定できます。






変化なし		ペン先形状の厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ランダム		ペン先形状の厚みがランダムに変化します。

⑦ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ペン先の形状が、上がとがった三角 (▲) ならば、180 度設定すると下がとがった三角 (▼) になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

⑧ 範囲

ペン先の向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもペン先の向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑨ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み (変化量) を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度・10 度・20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度・3 度・6 度・9 度のように変化します。

⑩ 間隔

間隔 (広い (高速)・普通・狭い (低速))

他の設定 (例: 硬さ) の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

[広い (高速)]・[普通]・[狭い (低速)] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑪ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

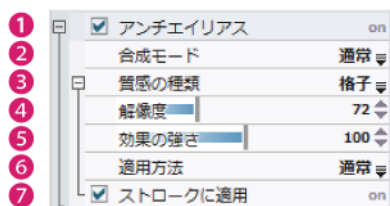
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの間隔が変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

B. 効果

ペンに効果を付けます。描画の合成方法も設定します。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

② 合成モード

同一レイヤー内の描画で、先に描いた色に対して後から描いた色をどのように影響させるか、その合成方法を下記の項目から選択できます。

通常	先に描いた色に対して、後から描いた色をそのまま重ねます。
比較（暗）	先に描いた色と後から描いた色を比較し、暗い方の色を採用して先に描いた色の部分に描画します。
乗算	先に描いた色と後から描いた色を乗算合成します。合成後は、元よりも暗い色になります。
焼き込みカラー	銀塩写真の「焼き込み」のように、下の画像の色を暗く、コントラストを強くします。
比較（明）	先に描いた色と後から描いた色を比較し、明るい方の色を採用して先に描いた色の部分に描画します。
スクリーン	先に描いた色を反転した状態と、後から描いた色を乗算合成します。合成後は、元よりも明るい色になります。
覆い焼きカラー	銀塩写真の「覆い焼き」のように、下の画像の色を明るく、コントラストを弱くします。
加算	先に描いた色と後から描いた色を加算合成します。合成後は、元よりも明るい色になります。
加算（発光）	半透明部分に対して [加算] よりも強い効果が得られます。
オーバーレイ	重ねた色に応じて [乗算] と [スクリーン] を判別して合成します。合成後は、明るい部分はより明るい色に、暗い部分はより暗い色になります。
ソフトライト	重ねた色の濃度に応じて、結果が異なります。濃度が 50% のグレーより明るい色を重ねた場合、覆い焼きしたときのように元の色より明るい色になります。 濃度が 50% のグレーより暗い色を重ねた場合、焼き込みしたときのように暗い色になります。50% のグレーを重ねた場合はレイヤーを重ねる前の状態となります。 色の部分に重ねずに描画した場合は白になります。
ハードライト	重ねた色の濃度に応じて、結果が異なります。濃度が 50% のグレーより明るい色を重ねた場合、[スクリーン] に近い状態で明るい色になります。 濃度が 50% のグレーより暗い色を重ねた場合、[乗算] に近い状態で暗い色になります。50% のグレーを重ねた場合はレイヤーを重ねる前の状態となります。 色の部分に重ねずに描画した場合、濃度が 50% のグレーより明るい色を選択すると白に、濃度が 50% のグレーより暗い色を選択するとその色になります。
差の絶対値	先に描いた色と後から描いた色を減算し、その絶対値を採用して先に描いた色の部分に描画します。

③ 質感の種類

下記の項目からブラシに設定する質感を選択します。選択した質感のタッチで描画できます。

- パターン読み込み
- キャンバス
- 格子
- まだら模様 1
- まだら模様 2
- 画用紙
- 壁
- 走査線（縦）
- 走査線（横）
- ブラインド



〔パターン読み込み〕を選択すると、〔素材〕パレットに登録されているパターントーンを、〔質感の種類〕に設定できます。設定方法の詳細は、『メニュー』→『レイヤーメニュー』→『新規フィルタレイヤー』→『質感』→『[パターントーンを質感に設定する](#)』を参照してください。

④ 解像度





質感の解像度を指定できます。目の粗さを変更したい場合、この値を調整します。

⑤ 効果の強さ

質感適用の強さを指定できます。

⑥ 適用方法

〔質感の種類〕で選択した質感と描画した線に合成する方法を選択します。合成結果は、選択した質感と描画色の組み合わせにより変わります。次の表では、〔質感〕に〔キャンバス〕を選択し、〔ストロークを適用〕をオフにして描画しています。

通常		質感の濃度とストロークの濃度をそのまま重ねます。
乗算		質感の濃度とストロークの濃度を乗算合成します。
減算		質感の濃度を減算合成します。
比較		質感の濃度とストロークの濃度を比較し、明るい方の色を優先して描画します。

⑦ ストロークに適用

オンにすると、1 回のストローク全体に対して質感が適用されます。オフにすると、描画ツールのブラシパターン（ペン先）に対して質感が適用されます。その場合、ストロークの中央部分はブラシパターンが重なるため、質感も重なって表示されます。



[ストロークに適用]: オン
ストロークに対して、質感が均等に適用されます。



[ストロークに適用]: オフ
ブラシパターンに対して、質感が適用されます。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの [入り] ・ [抜き] のオン・オフと強さも設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

線を描画したあとの補正のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって [後補正] の強さを調整します。

⑤ 表示サイズを後補正に影響させる

キャンバスの表示の拡大率に応じて [後補正] の強さが変化します。

⑥ 入り抜き

[入り] ・ [抜き] 設定のオン・オフを設定できます。

⑦ 入り

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ 抜き

[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ 速度による入り・抜き

ストロークの速度によって [入り] ・ [抜き] の強さを調整します。

⑩ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離したあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。



⑫ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

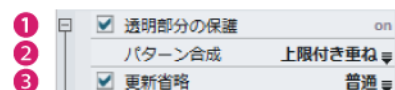
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

透明部分の保護、パターン合成など、その他の設定ができます。






① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

② パターン合成

描画の重ね方を設定できます。下記の項目からオプションを設定できます。

重ね	<p>1 回のストロークで不透明度 100%まで塗り重ねられます。</p> 
上限付き重ね	<p>1 回のストロークで不透明度の設定値まで塗り重ねられます。</p> 
比較暗	<p>描画先よりストロークの不透明度が高い場合にのみ描画します。</p> 

③ 更新省略

オンにすると、IllustStudio の処理速度を向上できます。

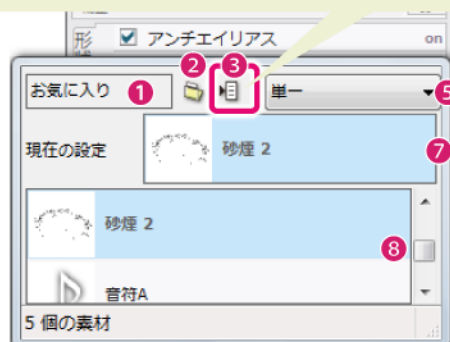
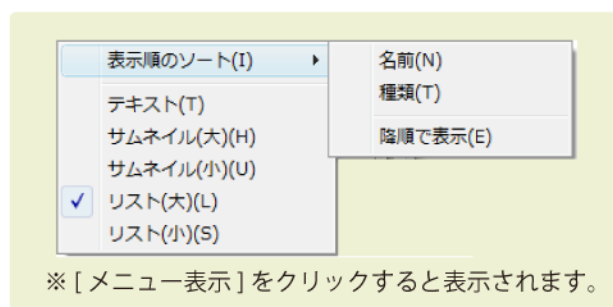
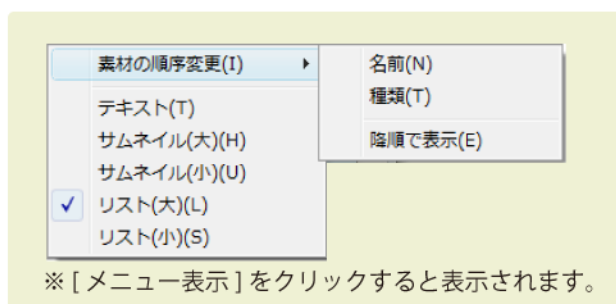
プルダウンメニューで [更新省略] の頻度を設定します。[高い]・[普通]・[低い] の 3 段階から選択します。[更新省略] の頻度が低いほど、描画の更新が少なくなり高速に動作します。



[更新省略] は、描画処理の負荷が大きくて入力処理が間に合わなくなったときに、描画処理よりも入力処理を優先する機能です。このため、チェックボックスをオンにしても、処理速度が向上しない場合があります。

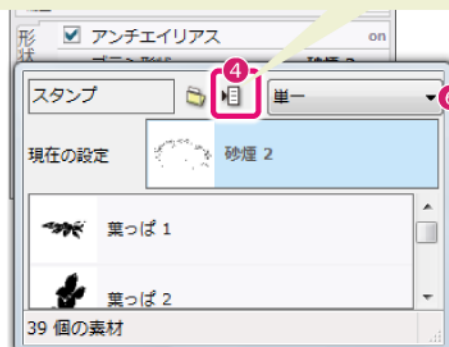
ブラシパターン変更メニュー

[基本] グループ→[ブラシ形状]をクリックすると、表示されるメニューです。ブラシパターンを選択できます。



〔ブラシパターン変更メニュー〕

([パターン素材の管理] ダイアログで作成したカテゴリを選択した場合)



〔ブラシパターン変更メニュー〕

(デフォルトの素材集のカテゴリを選択した場合)

① パターン素材集の一覧

ブラシパターン素材集のカテゴリを選択できます。

② パターン素材集の編集

[パターン素材の管理] ダイアログを表示し、ブラシパターンの素材集を編集できます。[パターン素材の管理] ダイアログについては、『ツール一覧』→『描画系ツール』→『鉛筆ツール』→『パターン素材の管理ダイアログ』を参照してください。

③ メニュー表示

[パターン素材集の一覧] で、[パターン素材の管理] ダイアログで作成したカテゴリを選択した場合に表示されます。パターン素材集のリストの表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

素材の順序変更	ブラシパターンの表示順序を [名前]・[種類] から選択できます。[降順で表示] を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	パターン素材集のリストをテキストで表示します。
サムネイル (大)	パターン素材集のリストを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	パターン素材集のリストを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	パターン素材集のリストを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	パターン素材集のリストを小さいサムネイルとテキストで表示します。



〔ブラシパターン変更メニュー〕を閉じると、表示順序の設定が保存されます。

④ メニュー表示

[パターン素材集の一覧]で、デフォルト素材集のカテゴリ（例：スタンプ）を選択した場合に表示されます。パターン素材集のリストの表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

表示順のソート	ブラシパターンの表示順序を[名前]・[種類]から選択できます。[降順で表示]を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	パターン素材集のリストをテキストで表示します。
サムネイル（大）	パターン素材集のリストを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル（小）	パターン素材集のリストを小さいサムネイルで表示します。
リスト（大）	パターン素材集のリストを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト（小）	パターン素材集のリストを小さいサムネイルとテキストで表示します。

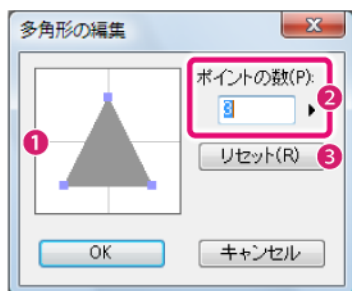


表示順序の設定は、[ブラシパターン変更メニュー]を閉じると、初期設定に戻ります。

⑤ 多角形の編集

[パターン素材集の一覧]で[定型]を選択した場合、表示されます。[多角形の編集]ダイアログを開き、ブラシパターンを指定します。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集]ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑥ 繰り返しタイプ

[パターン素材集の一覧]で[定型]以外を選択した場合、表示されます。ブラシパターンの繰り返しタイプを設定できます。

単一	選択中のブラシパターンだけを使用します。
複数（繰り返し）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンを繰り返して使用します。
複数（折り返し）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンを折り返して使用します。
複数（ランダム）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンをランダムに使用します。

⑦ 現在の設定

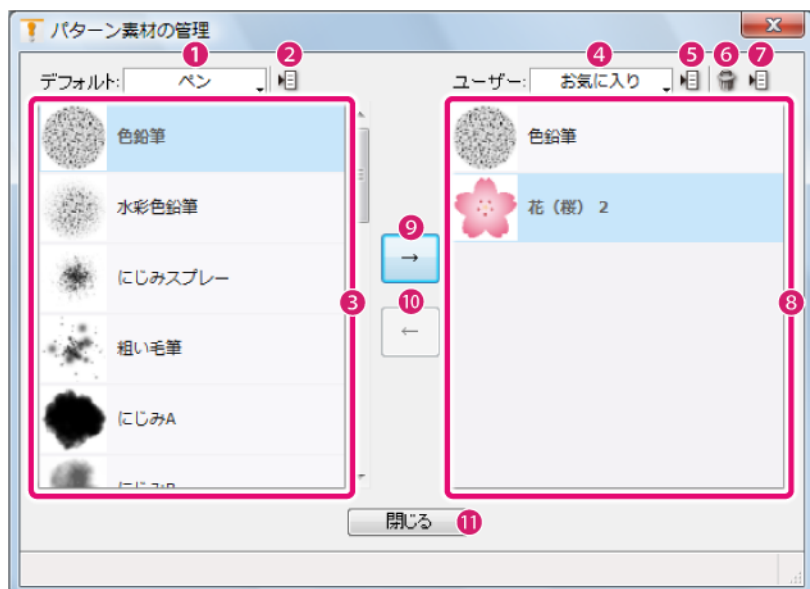
現在設定されているブラシパターンが表示されます。

⑧ パターン素材集のリスト

[パターン素材集の一覧] で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。ここからブラシパターンを指定できます。

パターン素材の管理ダイアログ

[ブラシパターン変更メニュー] の [パターン素材集の編集] をクリックすると表示されます。



① パターン素材集メニュー

登録済みのパターン素材集のカテゴリを選択できます。初期設定で登録されているカテゴリのほか、自作したカテゴリも選択できます。

② メニュー表示

[パターン素材集リスト] の表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

表示順のソート	ブラシパターンの表示順序を [名前] ・ [種類] から選択できます。[降順で表示] を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	[パターン素材集リスト] のブラシパターンをテキストで表示します。
サムネイル (大)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを小さいサムネイルとテキストで表示します。



表示順序の設定は、[パターン素材の管理] ダイアログを閉じると、初期設定に戻ります。

③ パターン素材集リスト

[パターン素材集メニュー] で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。

④ ユーザー素材集メニュー

ユーザーが作成したパターン素材集を選択できます。

⑤ メニュー表示

パターン素材集の新規作成・名前の変更・削除ができます。

新規素材集	新規のパターン素材集を作成します。
素材集の設定変更	[ユーザー素材集メニュー]で選択中のパターン素材集の名称を変更できます。 なお、[環境バックアップの対象にする]をオンにすると、編集中のアクションセットが、環境バックアップの対象になります。環境バックアップの詳細については、『メニュー』→『ファイルメニュー』→『環境バックアップ→環境のバックアップ』を参照してください。
素材集の削除	[ユーザー素材集メニュー]で選択中のパターン素材集を削除します。

⑥ 選択パターンの削除

[ユーザー素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを削除します。

⑦ メニュー表示

ブラシパターン名の変更や[ユーザー素材集リスト]の表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

名前の変更	[ユーザー素材集リスト]で選択中のブラシパターンの名前を変更できます。
素材の順序変更	ブラシパターンの表示順序を[名前]・[種類]・[降順で表示]から選択できます。
テキスト	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンをテキストで表示します。
サムネイル (大)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを小さいサムネイルとテキストで表示します。



- [パターン素材の管理] ダイアログを閉じると、表示順序の設定が保存されます。保存された設定は、[ブラシパターン変更メニュー]の表示順序に反映されます。
- [ユーザー素材集のリスト]のブラシパターンをドラッグ&ドロップしても、素材の順序を変更できます。

⑧ ユーザー素材集のリスト

[ユーザー素材集メニュー]で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。

⑨ ユーザー素材集に追加

左の[パターン素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを、右の[ユーザー素材集のリスト]に追加します。

⑩ パターン素材集に追加

左の[パターン素材集のリスト]でユーザーが作成したパターン素材集が表示されている場合、右の[ユーザー素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを、左の[パターン素材集のリスト]に追加します。

⑪ 閉じる

[パターン素材の管理] ダイアログを閉じます。

エアブラシツール

インクをスプレーで吹きかけたような効果を表現できるツールです。キャンバスをドラッグすると描画できます。



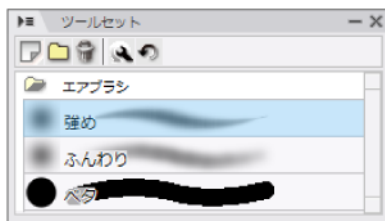
使用例：背景に [エアブラシ] ツールを使用



直線を引くには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー→[ツールセット] で表示できます。



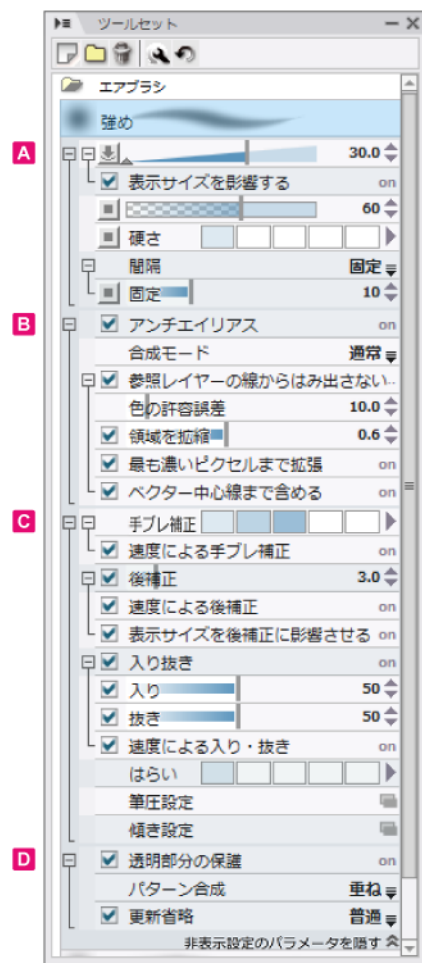
たとえば、[ツールセット] パレットの [筆圧ぼかし] を選択した場合、やわらかなタッチで、筆圧が色の濃さやぼけ足に反映されます。



[筆圧ぼかし] を選択した場合の描画

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

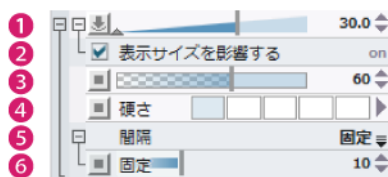


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定できます。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する

キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 硬さ

硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。



〔硬さ〕はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤーで設定できます。








〔硬さ〕を 100 に設定



〔硬さ〕を 1 に設定

影響元

〔影響元〕ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

⑤ 間隔

間隔（広い（高速）・普通・狭い（低速））

他の設定（例：硬さ）の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

〔広い（高速）〕・〔普通〕・〔狭い（低速）〕の 3 段階から間隔を選べます。

固定

描画の間隔を、下の〔固定〕から数値で指定できます。

⑥ 固定

〔間隔〕で〔固定〕を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



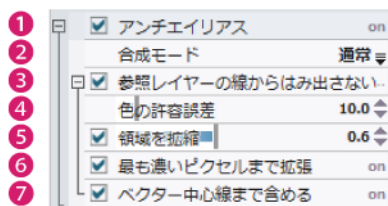
〔固定〕を 100 に設定



〔固定〕を 10 に設定

B. 効果

参照レイヤーの描画線からはみ出さないように描画できます。アンチエイリアスのオン・オフ、合成方法なども設定できます。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

② 合成モード

ブラシのストロークを描画先に合成する方法を設定できます。

通常	先に描いた色に対して、後から描いた色をそのまま重ねます。
比較（暗）	先に描いた色と後から描いた色を比較し、暗い方の色を採用して先に描いた色の部分に描画します。
乗算	先に描いた色と後から描いた色を乗算合成します。合成後は、元よりも暗い色になります。
焼き込みカラー	銀塩写真の「焼き込み」のように、下の画像の色を暗く、コントラストを強くします。
比較（明）	先に描いた色と後から描いた色を比較し、明るい方の色を採用して先に描いた色の部分に描画します。
スクリーン	先に描いた色を反転した状態と、後から描いた色を乗算合成します。合成後は、元よりも明るい色になります。
覆い焼きカラー	銀塩写真の「覆い焼き」のように、下の画像の色を明るく、コントラストを弱くします。
加算	先に描いた色と後から描いた色を加算合成します。合成後は、元よりも明るい色になります。
加算（発光）	半透明部分に対して [加算] よりも強い効果が得られます。
オーバーレイ	重ねた色に応じて [乗算] と [スクリーン] を判別して合成します。合成後は、明るい部分はより明るい色に、暗い部分はより暗い色になります。
ソフトライト	重ねた色の濃度に応じて、結果が異なります。濃度が 50% のグレーより明るい色を重ねた場合、覆い焼きしたときのように元の色より明るい色になります。 濃度が 50% のグレーより暗い色を重ねた場合、焼き込みしたときのように暗い色になります。50% のグレーを重ねた場合はレイヤーを重ねる前の状態となります。 色の部分に重ねずに描画した場合は白になります。
ハードライト	重ねた色の濃度に応じて、結果が異なります。濃度が 50% のグレーより明るい色を重ねた場合、[スクリーン] に近い状態で明るい色になります。 濃度が 50% のグレーより暗い色を重ねた場合、[乗算] に近い状態で暗い色になります。50% のグレーを重ねた場合はレイヤーを重ねる前の状態となります。 色の部分に重ねずに描画した場合、濃度が 50% のグレーより明るい色を選択すると白に、濃度が 50% のグレーより暗い色を選択するとその色になります。
差の絶対値	先に描いた色と後から描いた色を減算し、その絶対値を採用して先に描いた色の部分に描画します。

③ 参照レイヤーの線からはみ出さない

参照レイヤーの描画線からはみ出さないように描画するか、オン・オフで設定します。



オンに設定した場合



オフに設定した場合

④ 色の許容誤差

参照レイヤーの描画線と同じ色として許容する範囲（許容誤差値）を設定します。許容誤差以上の不透明度のピクセルを、塗り止まる線とみなします。

⑤ 領域を拡縮

ブラシの描画を指定のサイズ分、拡大・縮小します。

⑥ 最も濃いピクセルまで拡張

線の色が最も濃い色の部分を認識して、その部分まで塗りつぶします。[領域を拡縮]で領域を拡大するように設定しても、線を認識して塗りつぶします。

⑦ ベクター中心線まで含める

ベクターの中心線までの範囲を選択します。ベクターレイヤーを参照レイヤーにしているとき、アンチエイリアスの部分も塗れます。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの[入り]・[抜き]のオン・オフと強さも設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

線を描画したあとの補正のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって[後補正]の強さを調整します。

⑤ **表示サイズを後補正に影響させる**

キャンバスの表示の拡大率に応じて [後補正] の強さが変化します。

⑥ **入り抜き**

[入り] ・ [抜き] 設定のオン・オフを設定できます。

⑦ **入り**

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ **抜き**

[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ **速度による入り・抜き**

ストロークの速度によって [入り] ・ [抜き] の強さを調整します。

⑩ **はらい**

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

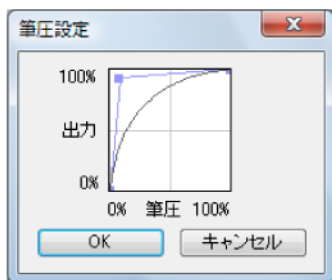
値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離れたあと線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ **筆圧設定**

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを 8 つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。



⑫ **傾き設定**

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

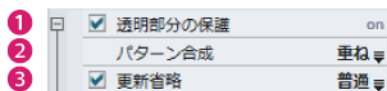
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを 8 つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

描画の重ね方など、その他の設定ができます。



① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護]をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

② パターン合成

描画の重ね方を設定します。下記の項目からオプションを設定できます。

重ね	1 回のストロークで不透明度 100%まで塗り重ねられます。
上限付き重ね	1 回のストロークで不透明度の設定値まで塗り重ねられます。
比較暗	新たに描いたパターンの不透明度が高い場合にのみ描画します。

③ 更新省略

オンにすると、IllustrStudio の処理速度を向上できます。

プルダウンメニューで [更新省略] の頻度を設定します。[高い]・[普通]・[低い] の 3 段階から選択します。[更新省略] の頻度が低いほど、描画の更新が少なくなり高速に動作します。



[更新省略] は、描画処理の負荷が大きくて入力処理が間に合わなくなったときに、描画処理よりも入力処理を優先する機能です。このため、チェックボックスをオンにしても、処理速度が向上しない場合があります。

水彩ツール

水彩絵の具のような、淡く微妙な色の変化が表現できるツールです。キャンバスをドラッグすると描画できます。



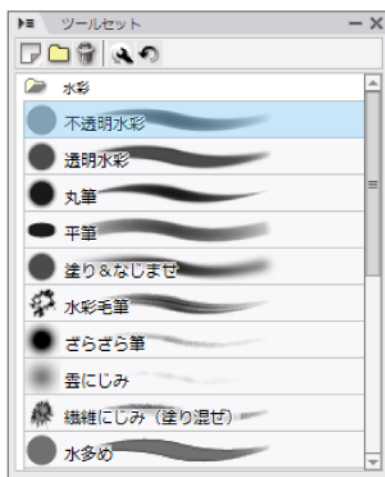
使用例：彩色に [水彩] ツールを使用



直線を引くには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー→[ツールセット] で表示できます。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

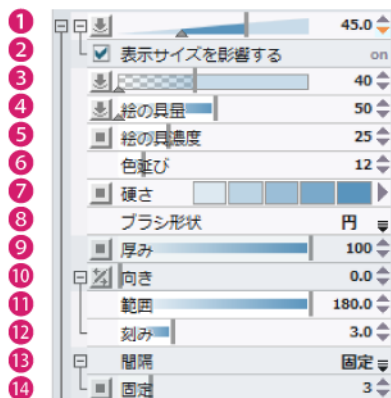


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する

キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。



③ 不透明度

ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

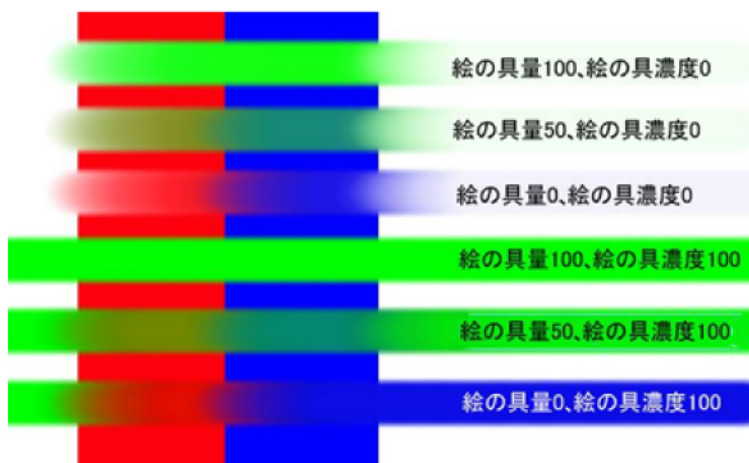
[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。

ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 絵の具量

描画色の絵の具量を設定します。絵の具量とは、下地色（レイヤーにすでに塗られている色）と描画色の RGB 成分を混合する割合です。値が大きいほど描画色の RGB 成分の割合が高くなります。三角形のスライダーでは、[影響元]に応じて変化する [絵の具量] の最小値を設定します。設定した [絵の具量] に近いほど変化の差がなくなります。



⑤ 絵の具濃度

描画色の絵の具濃度を設定します。絵の具濃度とは、下地色（レイヤーにすでに塗られている色）と描画色の透明成分の割合です。値が大きいほど描画色の透明成分の割合が高くなります。三角形のスライダーでは、[影響元]に応じて変化する [絵の具濃度] の最小値を設定します。設定した [絵の具濃度] に近いほど変化の差がなくなります。



[絵の具濃度] を 100 に設定しておけば、周囲の色と混合しつつ完全不透明に塗りつぶすことができます。また、[絵の具濃度] を筆圧に応じて変化するように設定しておけば、筆圧を強くすると濃くしっかり塗られ、筆圧を弱くすると淡くなじませる、という描き方ができます。

⑥ 色延び

ストローク開始地点の色を、どの程度保持したまま描画するかを調整します。

値が低いほど、周囲の色に溶け込むまでの距離が短くなります。

値が高いほど、周囲の色に溶け込むまでの距離が長くなります。



⑦ 硬さ

硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。

!重要

- [硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤーで設定できます。
- [基本] グループ→[ブラシ形状] が[円] の場合のみ、[硬さ] を設定できます。



[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

⑧ ブラシ形状

円・四角・多角形などブラシパターンを選択できます。クリックすると[ブラシパターン変更メニュー]が表示され、ブラシパターンを指定できます。

[ブラシパターン変更メニュー]については『ツール一覧』→『描画系ツール』→『水彩ツール』→『[ブラシパターン変更メニュー](#)』を参照してください。

⑨ 厚み

ペン先の厚みを調整します。左横の[影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ペン先形状の厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ランダム		ペン先形状の厚みがランダムに変化します。

⑩ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ペン先の形状が、上がとがった三角（▲）ならば、180 度設定すると下がとがった三角（▼）になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

⑪ 範囲

ペン先の向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもペン先の向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑫ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み（変化量）を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度・10 度・20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度・3 度・6 度・9 度のように変化します。

⑬ 間隔

間隔（広い（高速）・普通・狭い（低速））

他の設定（例：硬さ）の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

[広い（高速）] ・ [普通] ・ [狭い（低速）] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑭ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

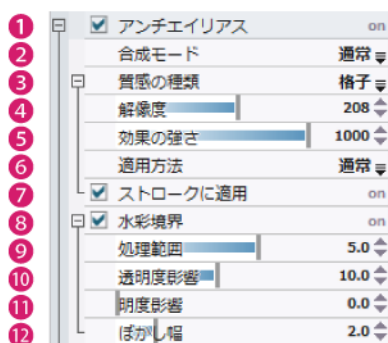
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

B. 効果

合成方法や、描画の境界部分に付ける効果など、描画の効果について設定できます。アンチエイリアスのオン・オフなども設定できます。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

② 合成モード

ブラシのストロークを描画先に合成する方法を設定できます。

通常	先に描いた色に対して、後から描いた色をそのまま重ねます。
乗算	先に描いた色と後から描いた色を乗算合成します。合成後は、元の色より暗い色になります。

③ 質感の種類

下記の項目からブラシに設定する質感を選択します。選択した質感のタッチで描画できます。

- パターン読み込み
- キャンバス
- 格子
- まだら模様 1
- まだら模様 2
- 画用紙
- 壁
- 走査線（縦）
- 走査線（横）
- ブラインド



[パターン読み込み]を選択すると、[素材]パレットに登録されているパターントーンを、[質感の種類]に設定できます。設定方法の詳細は、『メニュー』→『レイヤーメニュー』→『新規フィルタレイヤー』→『質感』→『[パターントーンを質感に設定する](#)』を参照してください。

④ 解像度




質感の解像度を指定できます。目の粗さを変更したい場合、この値を調整します。

⑤ 効果の強さ

質感適用の強さを指定できます。

⑥ 適用方法

[質感の種類] で選択した質感と描画した線に合成する方法を選択します。合成結果は、選択した質感と描画色の組み合わせにより変わります。次の表では、[質感] に [パターン読み込み] で [舗装] を選択し、[ストロークを適用] をオフにして描画しています。

通常		質感の濃度とストロークの濃度をそのまま重ねます。
乗算		質感の濃度とストロークの濃度を乗算合成します。
減算		質感の濃度を減算合成します。
比較		質感の濃度とストロークの濃度を比較し、明るい方の色を優先して描画します。

⑦ ストロークに適用

オンにすると、1 回のストローク全体に対して質感が適用されます。オフにすると、描画ツールのブラシパターン（ペン先）に対して質感が適用されます。その場合、ストロークの中央部分はブラシパターンが重なるため、質感も重なって表示されます。



[ストロークに適用] : オン
ストロークに対して、質感が均等に適用されます。



[ストロークに適用] : オフ
ブラシパターンに対して、質感が適用されます。

⑧ 水彩境界

描画の境界部分に付ける効果のオン・オフを設定します。

⑨ 処理範囲

線の内側の濃い部分を設定します。数値を大きくするほど、濃い部分のふちの幅が広く表示されます。

⑩ 透明度影響

線のふちの不透明度を設定します。数値を大きくするほど、線のふちが濃く表示されます。

⑪ 明度影響

線のふちを黒くする度合いを設定します。数値を大きくするほど、線のふちが黒く表示されます。

⑫ ぼかし幅

描画の境界部分をぼかす強さを設定します。数値を大きくするほど、境界部分がぼやけて表示されます。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの[入り]・[抜き]のオン・オフと強さなども設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

線を描画したあとの補正のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって[後補正]の強さを調整します。

⑤ 表示サイズを後補正に影響させる

キャンバスの表示の拡大率に応じて[後補正]の強さが変化します。

⑥ 入り抜き

[入り]・[抜き]設定のオン・オフを設定できます。

⑦ 入り

[入り]のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ 抜き

[抜き]のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ 速度による入り・抜き

ストロークの速度によって[入り]・[抜き]の強さを調整します。

⑩ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離れたあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

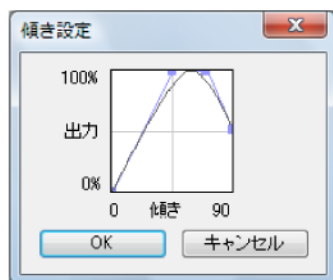


⑫ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

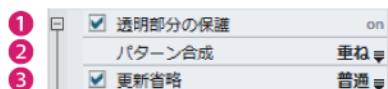
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

描画の重ね方など、その他の設定ができます。



① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

② パターン合成

描画の重ね方を設定できます。下記の項目からオプションを設定できます。

重ね	1 回のストロークで不透明度 100% まで塗り重ねられます。
上限付き重ね	1 回のストロークで不透明度の設定値まで塗り重ねられます。
比較暗	新たに描いたパターンの不透明度が高い場合にのみ描画します。

③ 更新省略

オンにすると、IllustStudio の処理速度を向上できます。

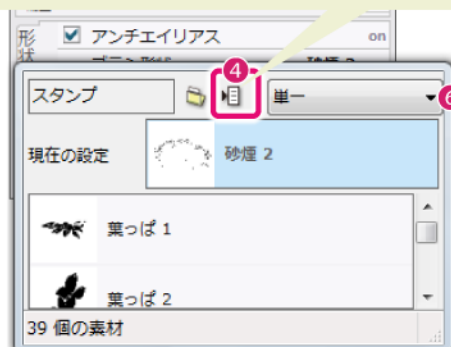
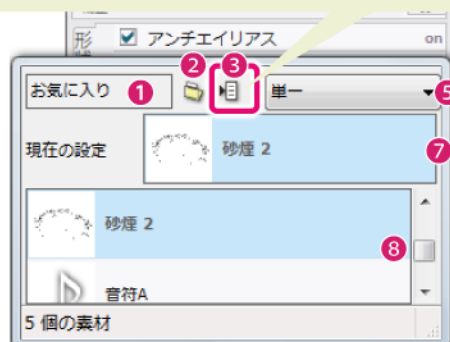
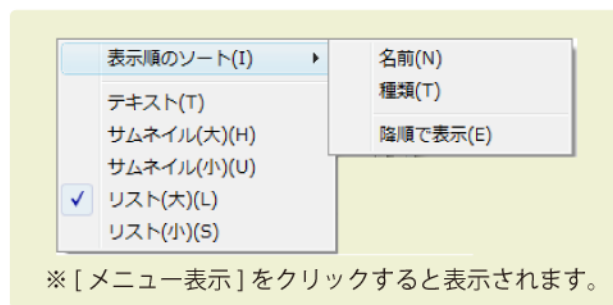
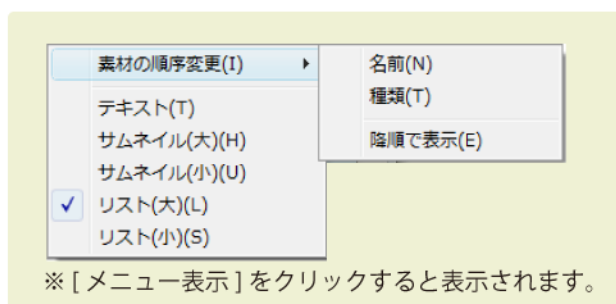
プルダウンメニューで [更新省略] の頻度を設定します。[高い]・[普通]・[低い] の 3 段階から選択します。[更新省略] の頻度が低いほど、描画の更新が少なくなり高速に動作します。



[更新省略] は、描画処理の負荷が大きくて入力処理が間に合わなくなったときに、描画処理よりも入力処理を優先する機能です。このため、チェックボックスをオンにしても、処理速度が向上しない場合があります。

ブラシパターン変更メニュー

[基本] グループ→[ブラシ形状]をクリックすると、表示されるメニューです。ブラシパターンを選択できます。



〔ブラシパターン変更メニュー〕

(〔パターン素材の管理〕ダイアログで作成したカテゴリを選択した場合)

〔ブラシパターン変更メニュー〕

(デフォルトの素材集のカテゴリを選択した場合)

① パターン素材集の一覧

ブラシパターン素材集のカテゴリを選択できます。

② パターン素材集の編集

〔パターン素材の管理〕ダイアログを表示し、ブラシパターンの素材集を編集できます。〔パターン素材の管理〕ダイアログについては、『ツール一覧』→『描画系ツール』→『水彩ツール』→『パターン素材の管理ダイアログ』を参照してください。

③ メニュー表示

〔パターン素材集の一覧〕で、〔パターン素材の管理〕ダイアログで作成したカテゴリを選択した場合に表示されます。パターン素材集のリストの表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

素材の順序変更	ブラシパターンの表示順序を [名前]・[種類] から選択できます。[降順で表示] を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	パターン素材集のリストをテキストで表示します。
サムネイル (大)	パターン素材集のリストを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	パターン素材集のリストを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	パターン素材集のリストを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	パターン素材集のリストを小さいサムネイルとテキストで表示します。



〔ブラシパターン変更メニュー〕を閉じると、表示順序の設定が保存されます。

④ メニュー表示

[パターン素材集の一覧]で、デフォルト素材集のカテゴリ（例：スタンプ）を選択した場合に表示されます。パターン素材集のリストの表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

表示順のソート	ブラシパターンの表示順序を[名前]・[種類]から選択できます。[降順で表示]を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	パターン素材集のリストをテキストで表示します。
サムネイル（大）	パターン素材集のリストを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル（小）	パターン素材集のリストを小さいサムネイルで表示します。
リスト（大）	パターン素材集のリストを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト（小）	パターン素材集のリストを小さいサムネイルとテキストで表示します。

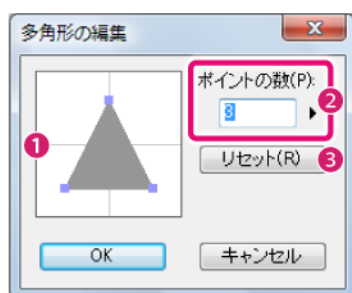


表示順序の設定は、[ブラシパターン変更メニュー]を閉じると、初期設定に戻ります。

⑤ 多角形の編集

[パターン素材集の一覧]で[定型]を選択した場合、表示されます。[多角形の編集]ダイアログを開き、ブラシパターンを指定します。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集]ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑥ 繰り返しタイプ

[パターン素材集の一覧]で[定型]以外を選択した場合、表示されます。ブラシパターンの繰り返しタイプを設定できます。

単一	選択中のブラシパターンだけを使用します。
複数（繰り返し）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンを繰り返して使用します。
複数（折り返し）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンを折り返して使用します。
複数（ランダム）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンをランダムに使用します。

⑦ 現在の設定

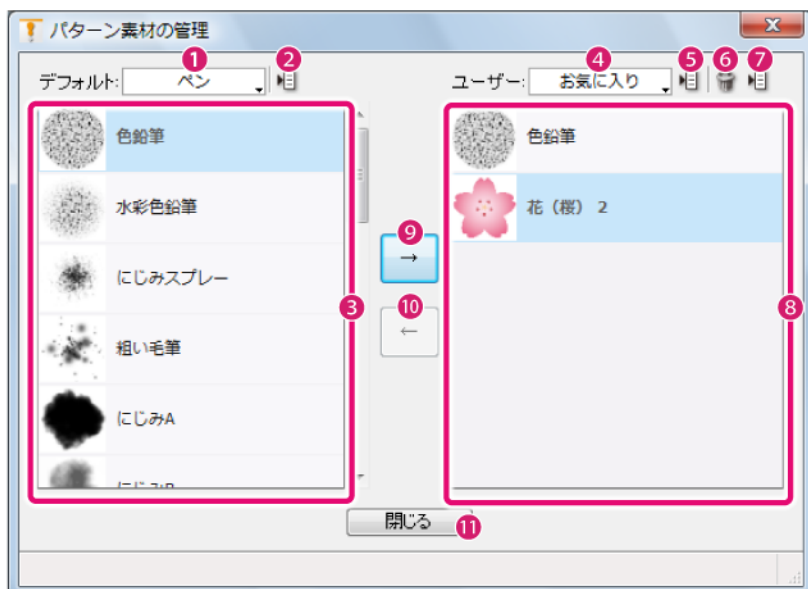
現在設定されているブラシパターンが表示されます。

⑧ パターン素材集のリスト

[パターン素材集の一覧] で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。ここからブラシパターンを指定できます。

パターン素材の管理ダイアログ

[ブラシパターン変更メニュー] の [パターン素材集の編集] をクリックすると表示されます。



① パターン素材集メニュー

登録済みのパターン素材集のカテゴリを選択できます。初期設定で登録されているカテゴリのほか、自作したカテゴリも選択できます。

② メニュー表示

[パターン素材集リスト] の表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

表示順のソート	ブラシパターンの表示順序を [名前] ・ [種類] から選択できます。[降順で表示] を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	[パターン素材集リスト] のブラシパターンをテキストで表示します。
サムネイル (大)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを小さいサムネイルとテキストで表示します。



表示順序の設定は、[パターン素材の管理] ダイアログを閉じると、初期設定に戻ります。

③ パターン素材集リスト

[パターン素材集メニュー] で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。

④ ユーザー素材集メニュー

ユーザーが作成したパターン素材集を選択できます。

⑤ メニュー表示

パターン素材集の新規作成・名前の変更・削除ができます。

新規素材集	新規のパターン素材集を作成します。
素材集の設定変更	[ユーザー素材集メニュー]で選択中のパターン素材集の名称を変更できます。 なお、[環境バックアップの対象にする]をオンにすると、編集中のアクションセットが、環境バックアップの対象になります。環境バックアップの詳細については、『メニュー』→『ファイルメニュー』→『環境バックアップ→環境のバックアップ』を参照してください。
素材集の削除	[ユーザー素材集メニュー]で選択中のパターン素材集を削除します。

⑥ 選択パターンの削除

[ユーザー素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを削除します。

⑦ メニュー表示

ブラシパターン名の変更や[ユーザー素材集リスト]の表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

名前の変更	[ユーザー素材集リスト]で選択中のブラシパターンの名前を変更できます。
素材の順序変更	ブラシパターンの表示順序を[名前]・[種類]・[降順で表示]から選択できます。
テキスト	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンをテキストで表示します。
サムネイル (大)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを小さいサムネイルとテキストで表示します。



- [パターン素材の管理] ダイアログを閉じると、表示順序の設定が保存されます。保存された設定は、[ブラシパターン変更メニュー]の表示順序に反映されます。
- [ユーザー素材集のリスト]のブラシパターンをドラッグ&ドロップしても、素材の順序を変更できます。

⑧ ユーザー素材集のリスト

[ユーザー素材集メニュー]で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。

⑨ ユーザー素材集に追加

左の[パターン素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを、右の[ユーザー素材集のリスト]に追加します。

⑩ パターン素材集に追加

左の[パターン素材集のリスト]でユーザーが作成したパターン素材集が表示されている場合、右の[ユーザー素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを、左の[パターン素材集のリスト]に追加します。

⑪ 閉じる

[パターン素材の管理] ダイアログを閉じます。

パターンブラシツール

さまざまな画像などのパターンを連続して描画できるツールです。



使用例：背景に [パターンブラシ] ツールを使用（花びら）

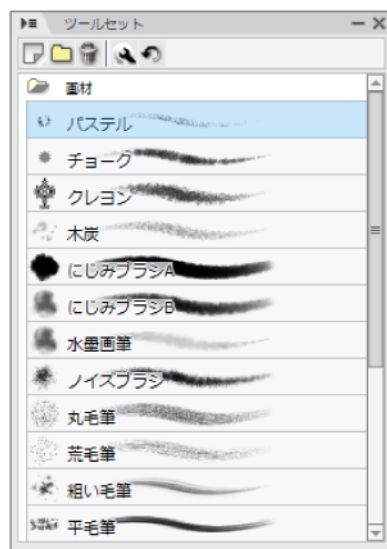


直線を引くには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

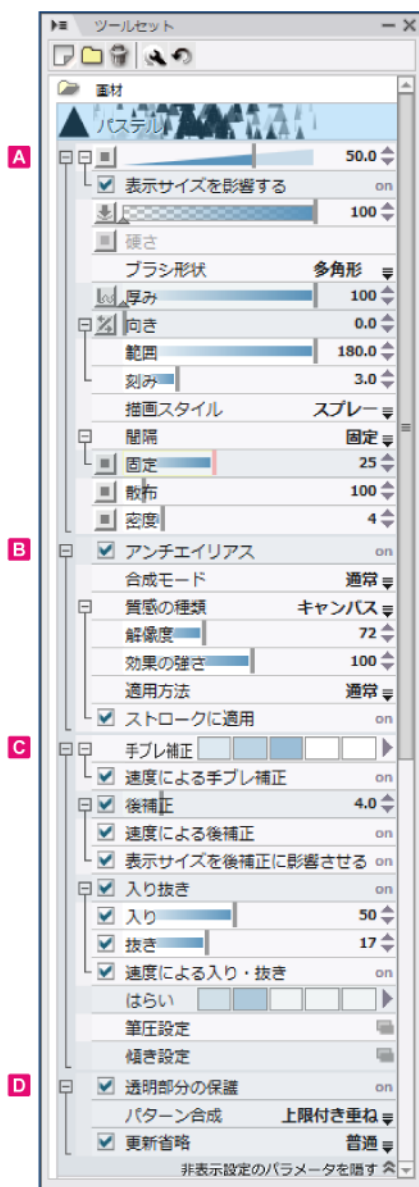
[ツールセット]パレットから、さまざまなブラシパターンを選択できます。



[パターンブラシ] ツールのブラシパターンの種類については、ツールオプションの [ブラシ形状] で確認できます。

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

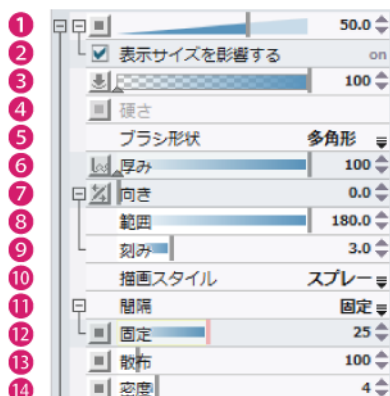


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する






キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 硬さ

硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。



- [硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤーで設定できます。
- [基本] グループ→[ブラシ形状] が [円] の場合のみ、[硬さ] を設定できます。








[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ランダムに、ツールの硬さが変化します。

⑤ ブラシ形状

色鉛筆・ブラシ・花などのブラシパターンを選択できます。クリックすると [ブラシパターン変更メニュー] が表示され、ブラシパターンを指定できます。





[ブラシパターン変更メニュー] については『ツール一覧』→『描画系ツール』→『パターンブラシツール』→『[ブラシパターン変更メニュー](#)』を参照してください。

⑥ 厚み

ブラシパターンの厚みを調整します。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ブラシパターンの厚みに影響する下記のオプションを設定できます。






変化なし		ブラシパターンの厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ブラシパターンの厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ブラシパターンの厚みが変化します。
ランダム		ブラシパターンの厚みがランダムに変化します。

⑦ 向き

ブラシの向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ブラシパターンの形状が、上がとがった三角 (▲) ならば、180 度に設定すると下がとがった三角 (▼) になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ブラシパターンの向きに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ブラシパターンの向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ブラシパターンの向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ブラシパターンの向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ブラシパターンの向きが変化します。
ランダム		ブラシパターンの向きがランダムに変化します。

⑧ 範囲



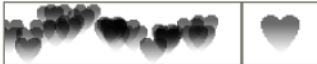

ブラシパターンの向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもブラシパターンの向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑨ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み (変化量) を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度・10 度・20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度・3 度・6 度・9 度のように変化します。

⑩ 描画スタイル

ブラシパターンの描画スタイルを設定できます。

ペン		ペンのストロークに従って、ブラシパターンがペンのようにつながった状態で描画できます。
スタンプ		ペンのストロークに従って、ブラシパターンがスタンプのように連続した模様として描画できます。
スプレー		ペンのストロークに従って、ブラシパターンがスプレーを散布するような状態で描画できます。
リボン		ペンのストロークに従って、ブラシパターンの形状が変化し、自然に連続した模様が描画できます。

⑪ 間隔

間隔 (広い (高速) ・ 普通 ・ 狭い (低速))

他の設定 (例: 硬さ) の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

[広い (高速)] ・ [普通] ・ [狭い (低速)] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑫ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。






100 に設定



10 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。




変化なし		ブラシパターンの間隔が変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ブラシパターンの間隔が変化します。
ランダム		ブラシパターンの間隔がランダムに変化します。

⑬ 散布

[描画スタイル] で [スプレー] を選択した場合に、ブラシパターンを散布する範囲を設定します。数値が大きいほど、広範囲に散布されます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、散布に影響する下記のオプションを設定できます。




変化なし		ブラシパターンを散布する範囲が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ブラシパターンを散布する範囲が変化します。
ランダム		ブラシパターンを散布する範囲がランダムに変化します。

⑭ 密度

[描画スタイル] で [スプレー] を選択した場合に、ブラシパターンを散布する密度を設定します。数値が大きいほど、ブラシパターンの密度が高くなります。

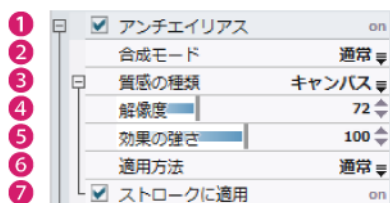
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、密度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ブラシパターンの密度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ブラシパターンの密度が変化します。
ランダム		ブラシパターンの密度がランダムに変化します。

B. 効果

合成方法など、描画の効果について設定できます。アンチエイリアスのオン・オフなども設定できます。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

② 合成モード

ブラシのストロークを描画先に合成する方法を設定できます。

通常	先に描いた色に対して、後から描いた色をそのまま重ねます。
比較（暗）	先に描いた色と後から描いた色を比較し、暗い方の色を採用して先に描いた色の部分に描画します。
乗算	先に描いた色と後から描いた色を乗算合成します。合成後は、元よりも暗い色になります。
焼き込みカラー	銀塩写真の「焼き込み」のように、下の画像の色を暗く、コントラストを強くします。
比較（明）	先に描いた色と後から描いた色を比較し、明るい方の色を採用して先に描いた色の部分に描画します。
スクリーン	先に描いた色を反転した状態と、後から描いた色を乗算合成します。合成後は、元よりも明るい色になります。
覆い焼きカラー	銀塩写真の「覆い焼き」のように、下の画像の色を明るく、コントラストを弱くします。
加算	先に描いた色と後から描いた色を加算合成します。合成後は、元よりも明るい色になります。
加算（発光）	半透明部分に対して [加算] よりも強い効果が得られます。
オーバーレイ	重ねた色に応じて [乗算] と [スクリーン] を判別して合成します。合成後は、明るい部分はより明るい色に、暗い部分はより暗い色になります。
ソフトライト	重ねた色の濃度に応じて、結果が異なります。濃度が 50% のグレーより明るい色を重ねた場合、覆い焼きしたときのように元の色より明るい色になります。 濃度が 50% のグレーより暗い色を重ねた場合、焼き込みしたときのように暗い色になります。50% のグレーを重ねた場合はレイヤーを重ねる前の状態となります。 色の部分に重ねずに描画した場合は白になります。
ハードライト	重ねた色の濃度に応じて、結果が異なります。濃度が 50% のグレーより明るい色を重ねた場合、[スクリーン] に近い状態で明るい色になります。 濃度が 50% のグレーより暗い色を重ねた場合、[乗算] に近い状態で暗い色になります。50% のグレーを重ねた場合はレイヤーを重ねる前の状態となります。 色の部分に重ねずに描画した場合、濃度が 50% のグレーより明るい色を選択すると白に、濃度が 50% のグレーより暗い色を選択するとその色になります。
差の絶対値	先に描いた色と後から描いた色を減算し、その絶対値を採用して先に描いた色の部分に描画します。

③ 質感の種類

下記の項目からブラシに設定する質感を選択します。選択した質感のタッチで描画できます。

- パターン読み込み
- キャンバス
- 格子
- まだら模様 1
- まだら模様 2
- 画用紙
- 壁
- 走査線（縦）
- 走査線（横）
- ブラインド



〔パターン読み込み〕を選択すると、〔素材〕パレットに登録されているパターントーンを、〔質感の種類〕に設定できます。設定方法の詳細は、『メニュー』→『レイヤーメニュー』→『新規フィルタレイヤー』→『質感』→『パターントーンを質感に設定する』を参照してください。

④ 解像度

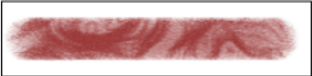



質感の解像度を指定できます。目の粗さを変更したい場合、この値を調整します。

⑤ 効果の強さ

質感適用の強さを指定できます。

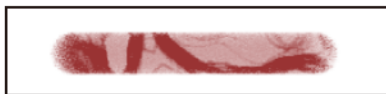
⑥ 適用方法

〔質感の種類〕で選択した質感と描画した線に合成する方法を選択します。合成結果は、選択した質感と描画色の組み合わせにより変わります。次の表では、〔ブラシ形状〕に〔色鉛筆〕、〔質感〕に〔パターン読み込み〕で〔うにようによ〕を選択し、〔ストロークを適用〕をオフにして描画しています。

通常		質感の濃度とストロークの濃度をそのまま重ねます。
乗算		質感の濃度とストロークの濃度を乗算合成します。
減算		質感の濃度を減算合成します。
比較		質感の濃度とストロークの濃度を比較し、明るい方の色を優先して描画します。

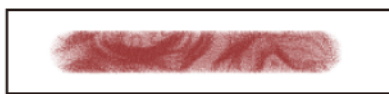
⑦ ストロークに適用

オンにすると、1 回のストローク全体に対して質感が適用されます。オフにすると、描画ツールのブラシパターン（ペン先）に対して質感が適用されます。その場合、ストロークの中央部分はブラシパターンが重なるため、質感も重なって表示されます。



[ストロークに適用]: オン

ストロークに対して、質感が均等に適用されます。



[ストロークに適用]: オフ

ブラシパターンに対して、質感が適用されます。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの[入り]・[抜き]のオン・オフと強さも設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

線を描画したあとの補正のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって[後補正]の強さを調整します。

⑤ 表示サイズを後補正に影響させる

キャンバスの表示の拡大率に応じて[後補正]の強さが変化します。

⑥ 入り抜き

[入り]・[抜き]設定のオン・オフを設定できます。

⑦ 入り

[入り]のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ 抜き

[抜き]のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ 速度による入り・抜き

ストロークの速度によって[入り]・[抜き]の強さを調整します。

⑩ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離したあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

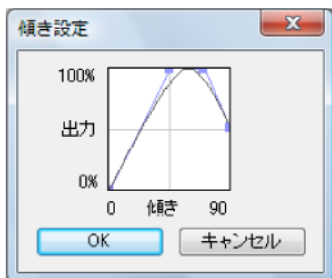


⑫ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

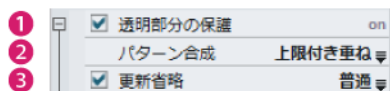
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

描画の重ね方など、その他の設定ができます。



① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

② パターン合成

描画の重ね方を設定します。下記の項目からオプションを設定できます。

重ね	1 回のストロークで不透明度 100%まで塗り重ねられます。
上限付き重ね	1 回のストロークで不透明度の設定値まで塗り重ねられます。
比較暗	新たに描いたパターンの不透明度が高い場合にのみ描画します。

③ 更新省略

オンにすると、IllustStudio の処理速度を向上できます。

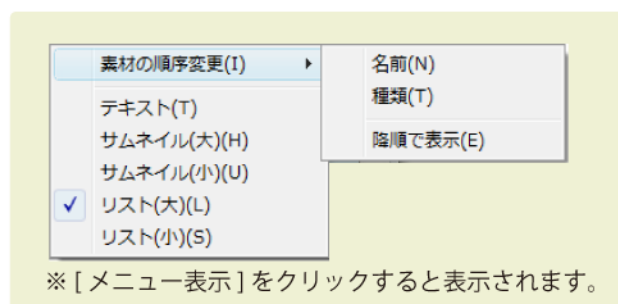
プルダウンメニューで [更新省略] の頻度を設定します。[高い]・[普通]・[低い] の 3 段階から選択します。[更新省略] の頻度が低いほど、描画の更新が少なくなり高速に動作します。



〔更新省略〕は、描画処理の負荷が大きくて入力処理が間に合わなくなったときに、描画処理よりも入力処理を優先する機能です。このため、チェックボックスをオンにしても、処理速度が向上しない場合があります。

ブラシパターン変更メニュー

[基本] グループ→[ブラシ形状]をクリックすると、表示されるメニューです。ブラシパターンを選択できます。

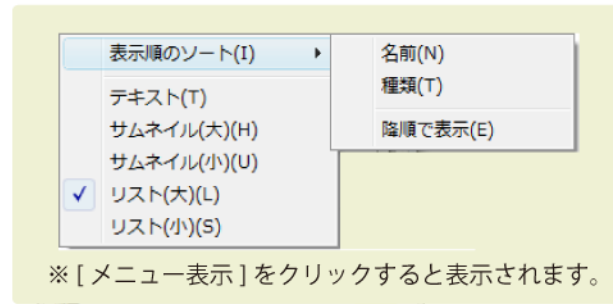


※ [メニュー表示] をクリックすると表示されます。

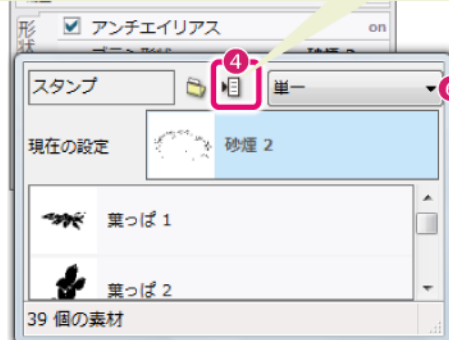


[ブラシパターン変更メニュー]

([パターン素材の管理] ダイアログで作成したカテゴリを選択した場合)



※ [メニュー表示] をクリックすると表示されます。



[ブラシパターン変更メニュー]

(デフォルトの素材集のカテゴリを選択した場合)

① パターン素材集の一覧

ブラシパターン素材集のカテゴリを選択できます。

② パターン素材集の編集

[パターン素材の管理] ダイアログを表示し、ブラシパターンの素材集を編集できます。[パターン素材の管理] ダイアログについては、『ツール一覧』→『描画系ツール』→『パターンブラシツール』→『[パターン素材の管理ダイアログ](#)』を参照してください。

③ メニュー表示

[パターン素材集の一覧] で、[パターン素材の管理] ダイアログで作成したカテゴリを選択した場合に表示されます。パターン素材集のリストの表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

素材の順序変更	ブラシパターンの表示順序を [名前]・[種類] から選択できます。[降順で表示] を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	パターン素材集のリストをテキストで表示します。
サムネイル (大)	パターン素材集のリストを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	パターン素材集のリストを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	パターン素材集のリストを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	パターン素材集のリストを小さいサムネイルとテキストで表示します。



[ブラシパターン変更メニュー] を閉じると、表示順序の設定が保存されます。

④ メニュー表示

[パターン素材集の一覧]で、デフォルト素材集のカテゴリ（例：スタンプ）を選択した場合に表示されます。パターン素材集のリストの表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

表示順のソート	ブラシパターンの表示順序を[名前]・[種類]から選択できます。[降順で表示]を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	パターン素材集のリストをテキストで表示します。
サムネイル（大）	パターン素材集のリストを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル（小）	パターン素材集のリストを小さいサムネイルで表示します。
リスト（大）	パターン素材集のリストを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト（小）	パターン素材集のリストを小さいサムネイルとテキストで表示します。

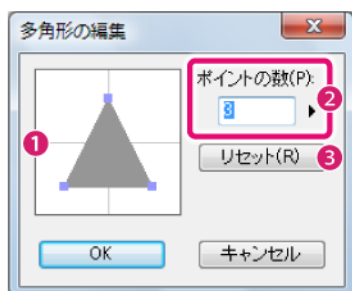


表示順序の設定は、[ブラシパターン変更メニュー]を閉じると、初期設定に戻ります。

⑤ 多角形の編集

[パターン素材集の一覧]で[定型]を選択した場合、表示されます。[多角形の編集]ダイアログを開き、ブラシパターンを指定します。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集]ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑥ 繰り返しタイプ

[パターン素材集の一覧]で[定型]以外を選択した場合、表示されます。ブラシパターンの繰り返しタイプを設定できます。

単一	選択中のブラシパターンだけを使用します。
複数（繰り返し）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンを繰り返して使用します。
複数（折り返し）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンを折り返して使用します。
複数（ランダム）	選択中のパターン素材集内の全ブラシパターンをランダムに使用します。

⑦ 現在の設定

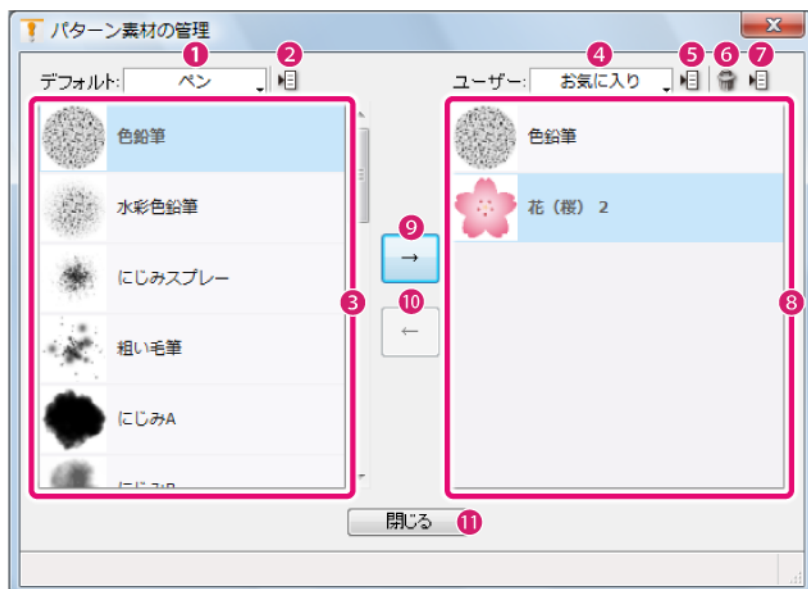
現在設定されているブラシパターンが表示されます。

⑧ パターン素材集のリスト

[パターン素材集の一覧] で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。ここからブラシパターンを指定できます。

パターン素材の管理ダイアログ

[ブラシパターン変更メニュー] の [パターン素材集の編集] をクリックすると表示されます。



① パターン素材集メニュー

登録済みのパターン素材集のカテゴリを選択できます。初期設定で登録されているカテゴリのほか、自作したカテゴリも選択できます。

② メニュー表示

[パターン素材集リスト] の表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

表示順のソート	ブラシパターンの表示順序を [名前] ・ [種類] から選択できます。[降順で表示] を選択すると表示順序を逆にできます。
テキスト	[パターン素材集リスト] のブラシパターンをテキストで表示します。
サムネイル (大)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル (小)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを小さいサムネイルで表示します。
リスト (大)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト (小)	[パターン素材集リスト] のブラシパターンを小さいサムネイルとテキストで表示します。



表示順序の設定は、[パターン素材の管理] ダイアログを閉じると、初期設定に戻ります。

③ パターン素材集リスト

[パターン素材集メニュー] で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。

④ ユーザー素材集メニュー

ユーザーが作成したパターン素材集を選択できます。

⑤ メニュー表示

パターン素材集の新規作成・名前の変更・削除ができます。

新規素材集	新規のパターン素材集を作成します。
素材集の設定変更	[ユーザー素材集メニュー]で選択中のパターン素材集の名称を変更できます。 なお、[環境バックアップの対象にする]をオンにすると、編集集中のアクションセットが、環境バックアップの対象になります。環境バックアップの詳細については、『メニュー』→『ファイルメニュー』→『環境バックアップ→環境のバックアップ』を参照してください。
素材集の削除	[ユーザー素材集メニュー]で選択中のパターン素材集を削除します。

⑥ 選択パターンの削除

[ユーザー素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを削除します。

⑦ メニュー表示

ブラシパターン名の変更や[ユーザー素材集リスト]の表示順序や表示方法を設定するメニューが表示されます。

名前の変更	[ユーザー素材集リスト]で選択中のブラシパターンの名前を変更できます。
素材の順序変更	ブラシパターンの表示順序を[名前]・[種類]・[降順で表示]から選択できます。
テキスト	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンをテキストで表示します。
サムネイル(大)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを大きいサムネイルで表示します。
サムネイル(小)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを小さいサムネイルで表示します。
リスト(大)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを大きいサムネイルとテキストで表示します。
リスト(小)	[ユーザー素材集リスト]のブラシパターンを小さいサムネイルとテキストで表示します。



- [パターン素材の管理]ダイアログを閉じると、表示順序の設定が保存されます。保存された設定は、[ブラシパターン変更メニュー]の表示順序に反映されます。
- [ユーザー素材集のリスト]のブラシパターンをドラッグ&ドロップしても、素材の順序を変更できます。

⑧ ユーザー素材集のリスト

[ユーザー素材集メニュー]で選択したパターン素材集に登録されているブラシパターンを一覧表示します。

⑨ ユーザー素材集に追加

左の[パターン素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを、右の[ユーザー素材集のリスト]に追加します。

⑩ パターン素材集に追加

左の[パターン素材集のリスト]でユーザーが作成したパターン素材集が表示されている場合、右の[ユーザー素材集のリスト]で選択中のブラシパターンを、左の[パターン素材集のリスト]に追加します。

⑪ 閉じる

[パターン素材の管理]ダイアログを閉じます。

筆ペンツール

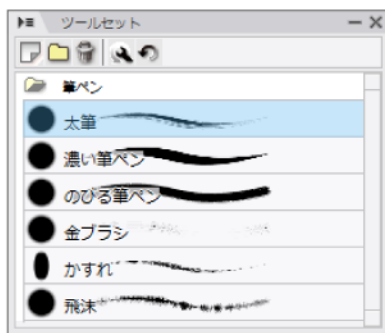
筆ペンのように、強弱やかすれのある線を描画できるツールです。



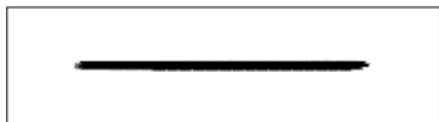
使用例：人物に [筆ペン] ツールを使用

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー→[ツールセット] で表示できます。



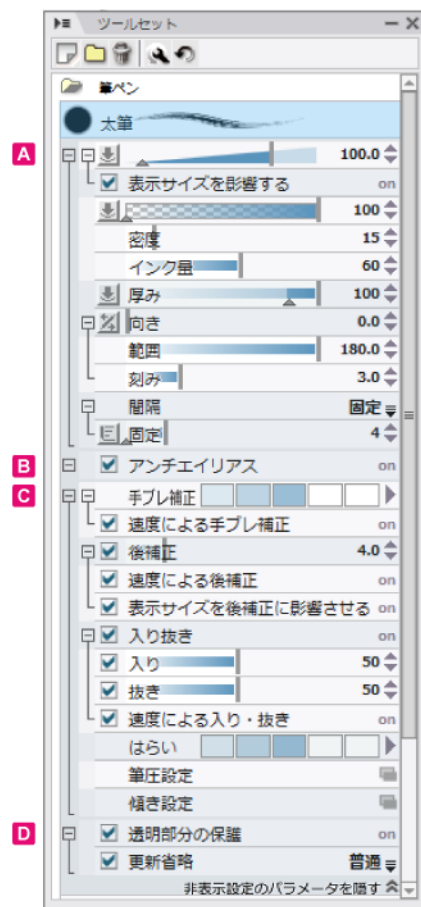
たとえば、[ツールセット] パレットの [かすれ] を選択した場合、かすれた筆ペンで描いたような表現ができます。



[かすれ] を選択した場合の描画

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

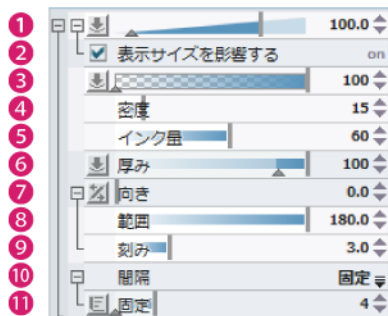


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。



① サイズ

描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズを影響する

キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 密度

筆の毛先の密度を設定します。数値が大きいほど、筆の毛の数が増え、筆の密度が高くなります。



1 にした場合



50 にした場合

⑤ インク量

筆の毛先一本あたりの太さを調整できます。数値が大きいほど、インクの量が増え、太くなります。



1 にした場合



50 にした場合

⑥ 厚み

ペン先の厚みを調整します。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを設定できます。






変化なし		ペン先形状の厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ランダム		ペン先形状の厚みがランダムに変化します。

⑦ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ペン先の形状が、上がとがった三角（▲）ならば、180 度設定すると下がとがった三角（▼）になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを選択します。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

⑧ 範囲

ペン先の向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもペン先の向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑨ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み（変化量）を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度・10 度・20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度・3 度・6 度・9 度のように変化します。

⑩ 間隔

間隔（広い（高速）・普通・狭い（低速））

他の設定（例：硬さ）の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

[広い（高速）] ・ [普通] ・ [狭い（低速）] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑪ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

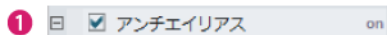
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの間隔が変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフを設定します。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの [入り] ・ [抜き] のオン・オフと強さも設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

線を描画したあとの補正のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって [後補正] の強さを調整します。

⑤ 表示サイズを後補正に影響させる

キャンバスの表示の拡大率に応じて [後補正] の強さが変化します。

⑥ 入り抜き

[入り] ・ [抜き] 設定のオン・オフを設定できます。

⑦ 入り

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ 抜き

[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ 速度による入り・抜き

ストロークの速度によって [入り] ・ [抜き] の強さを調整します。

⑩ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

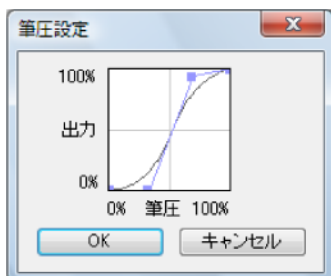
値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離したあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

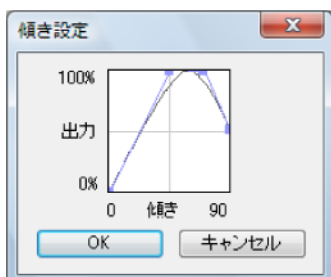


⑫ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

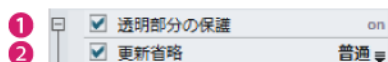
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

透明部分の描画のオン・オフなど、その他の設定ができます。



① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

② 更新省略

オンにすると、IllustStudio の処理速度を向上できます。

プルダウンメニューで [更新省略] の頻度を設定します。[高い]・[普通]・[低い] の 3 段階から選択します。[更新省略] の頻度が低いほど、描画の更新が少なくなり高速に動作します。



[更新省略] は、描画処理の負荷が大きくて入力処理が間に合わなくなったときに、描画処理よりも入力処理を優先する機能です。このため、チェックボックスをオンにしても、処理速度が向上しない場合があります。

消しゴムツール

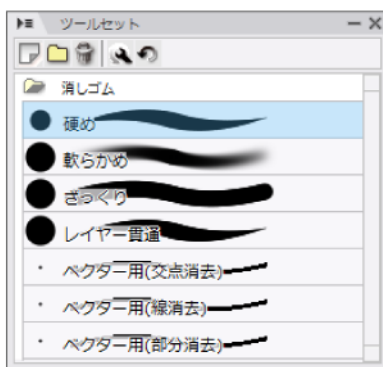
すでに描かれた線などの画像の消去に使用します。キャンバス上をドラッグすると、画像を消去します。



直線状に消去するには、[Shift] キーを押しながら終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



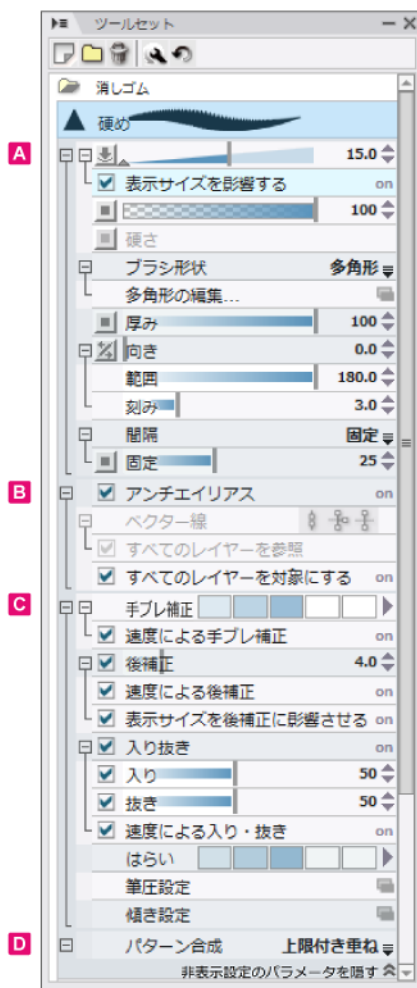
たとえば、[ツールセット]パレットの[軟らかめ]を選択した場合、筆圧を感知し、ぼかした感じで描画を消去します。



[軟らかめ]を選択した場合の使用例

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

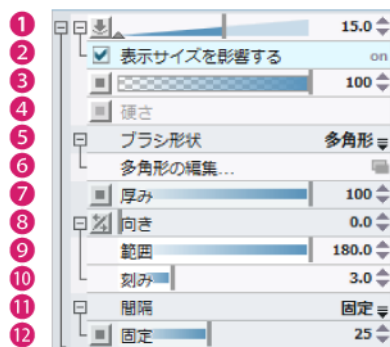


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールサイズなど、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。



① サイズ

ツールサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の[影響元]ボタンで、ツールサイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する






キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 硬さ

硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。



- [硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤー（グレイ 8bit）で設定できます。
- [基本] グループ→[ブラシ形状] が [円] の場合のみ、[硬さ] を設定できます。








[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

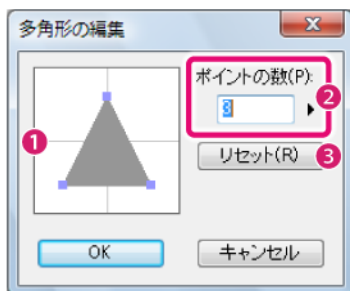
⑤ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形] から選択します。

⑥ 多角形の編集

[多角形の編集] ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。[ブラシ形状] で [多角形] を指定したときに選択できます。

多角形の編集ダイアログ



① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集] ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑦ 厚み

ペン先の厚みを調整します。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを設定できます。






変化なし		ペン先形状の厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ランダム		ペン先形状の厚みがランダムに変化します。

⑧ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ペン先の形状が、上がとがった三角（▲）ならば、180 度設定すると下がとがった三角（▼）になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを選択します。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

⑨ 範囲

ペン先の向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもペン先の向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑩ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み（変化量）を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度・10 度・20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度・3 度・6 度・9 度のように変化します。

⑪ 間隔

間隔（広い（高速）・普通・狭い（低速））

他の設定（例：硬さ）の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

[広い（高速）] ・ [普通] ・ [狭い（低速）] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑫ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。




[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

影響元

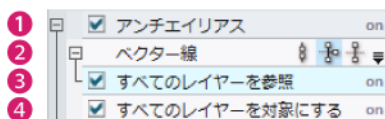
[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの間隔が変化しません。
------	-------------------------------------------------------------------------------------	----------------

ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

B. 効果

ペンに効果を付けられます。ここでは、ベクターレイヤーに描画する線について設定します。アンチエイリアスのオン・オフも設定できます。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭の線を描画できます。

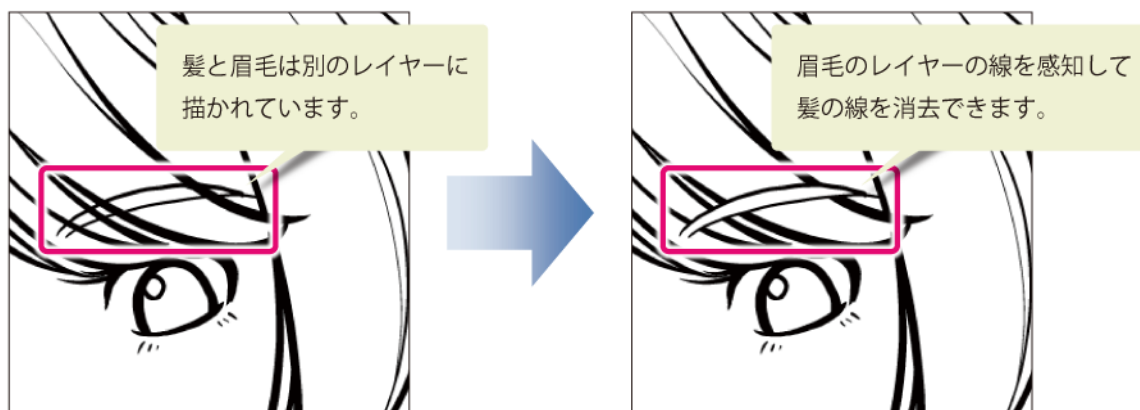
② ベクター線

[ベクターレイヤー]でのツールの効果を指定できます。

触れた部分を消去		消しゴムの触れた範囲のみ線を消します。
交点までを消去		消しゴムの触れた線は、他の線との交点まで消えます。
線を消去		消しゴムの触れた線は、すべて消えます。

③ すべてのレイヤーを参照

[交点までを消去]が選択されているときにチェックボックスをオンにすると、編集中のレイヤーの線を、他のベクターレイヤーに描かれた線との交点までで消去できます。



[すべてのレイヤーを参照]がオンの場合 ([交点までを消去]が選択されているとき)

④ すべてのレイヤーを対象にする

すべての描画系レイヤーと選択範囲レイヤーを、効果の対象にします。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの[入り]・[抜き]のオン・オフと強さも設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

線を描画したあとの補正のオン・オフ、および強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって [後補正] の強さを調整します。

⑤ 表示サイズを後補正に影響させる

キャンバスの表示の拡大率に応じて [後補正] の強さが変化します。

⑥ 入り抜き

[入り] ・ [抜き] 設定のオン・オフを設定できます。

⑦ 入り

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ 抜き

[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ 速度による入り・抜き

ストロークの速度によって [入り] ・ [抜き] の強さを調整します。

⑩ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離れたあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

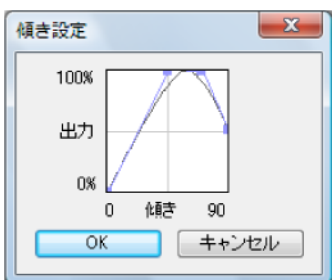


⑫ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

ツールの重ね方を設定できます。

① 日 パターン合成 上限付き重ね

① パターン合成

描画の重ね方を設定できます。下記の項目からオプションを設定できます。

重ね	<p>1 回のストロークで不透明度 100%まで塗り重ねられます。</p>
上限付き重ね	<p>1 回のストロークで不透明度の設定値まで塗り重ねられます。</p>

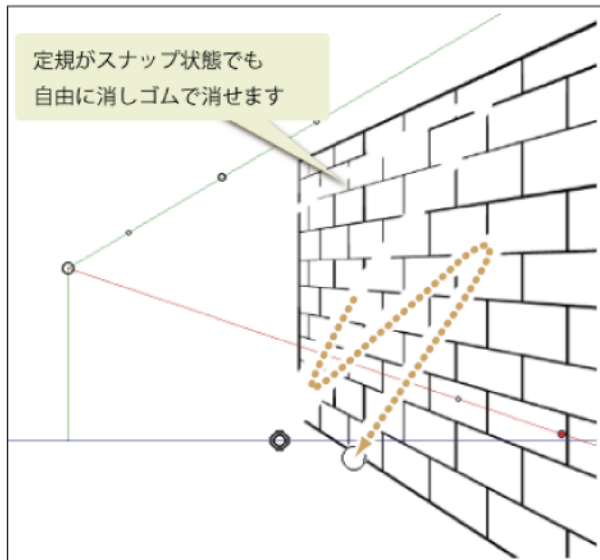
解説：消しゴムのスナップについて

定規を使って描画する場合に、[消しゴム]ツールを定規にスナップさせないで使えます。

[環境設定] ダイアログ→[キャンバス]→[定規]の[消しゴムもスナップする]をオフにすると、[消しゴム]ツールは定規にスナップしなくなり、スナップのオン・オフを切り替えなくても平行線定規やパース定規に関係なく線を消せます。



[環境設定] ダイアログについては、『環境設定』→『環境設定ダイアログ』→『[キャンバス→定規](#)』を参照してください。



ドットペンツール

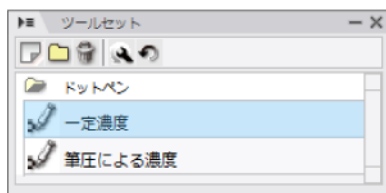
1 ピクセルの線を描画できます。1 ピクセル分だけ塗りつぶしを行いたい場合やドット絵などに使用できます。



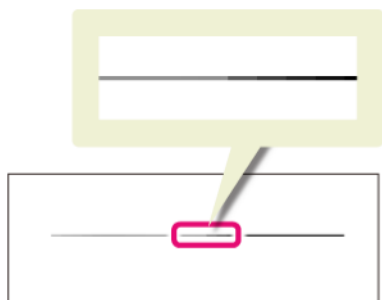
ドットペンで描画した例

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



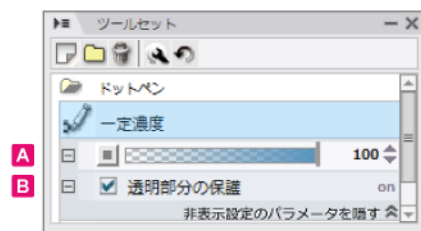
たとえば、[ツールセット]パレットの[筆圧による濃度]を選択した場合、ペンの筆圧を感知して、描画色の濃度が変化します。



[筆圧による濃度]を選択した場合の線

ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。



A. 基本

ツールの不透明度、透明部分の描画のオン・オフを設定できます。



① 不透明度

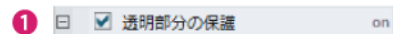
ペンの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元]ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。

B. 拡張

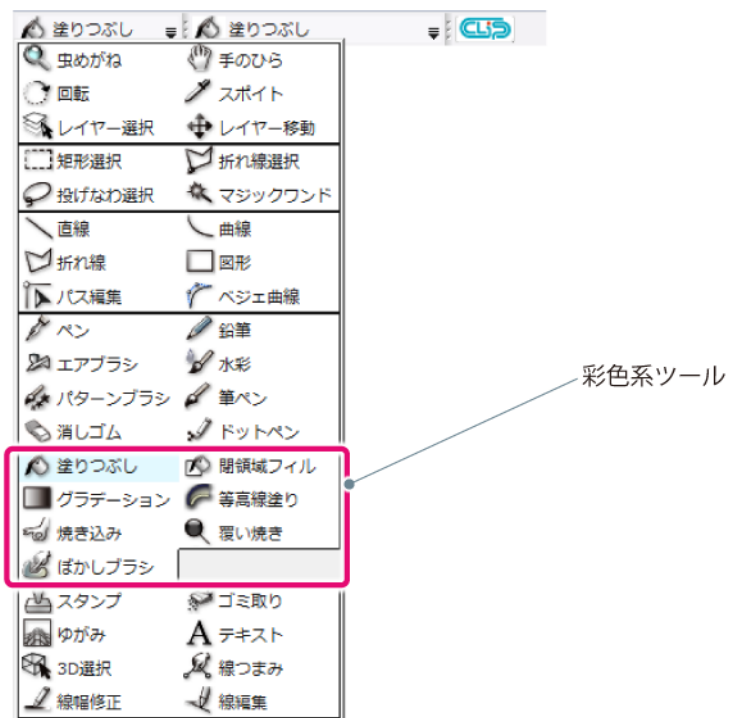


① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護]をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

彩色系ツール

ここでは、[ツールバー]の[ツール一覧]で表示されるツールから、彩色に関連するツールについて紹介します。



彩色系ツールには、下記のツールが含まれます。

- [塗りつぶし] ツール
- [閉領域フィル] ツール
- [グラデーション] ツール
- [等高線塗り] ツール
- [焼き込み] ツール
- [覆い焼き] ツール
- [ぼかしブラシ] ツール

塗りつぶしツール

線で閉じられた領域をクリックして、簡単に塗りつぶしできるツールです。



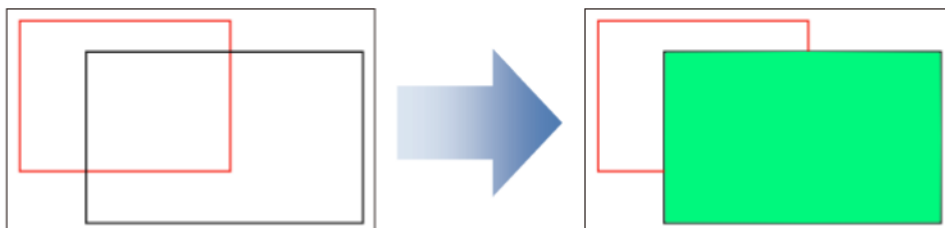
使用例：背景に [塗りつぶし] ツールを使用

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

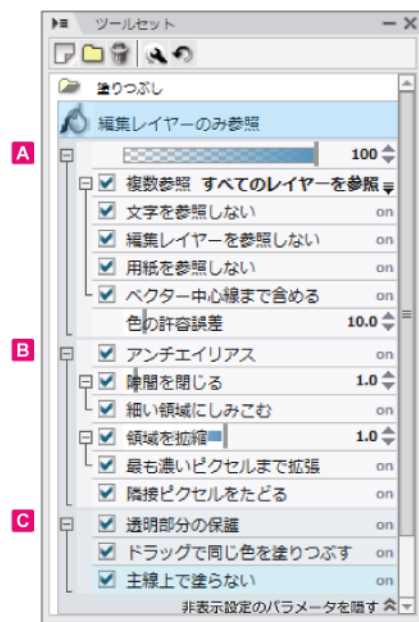


たとえば、[ツールセット]パレットの[主線を参照]を選択した場合、[参照レイヤー]に設定したレイヤーを参照して塗りつぶします。この図では、黒い線が参照レイヤー、赤い線がその他のレイヤーに描かれています。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

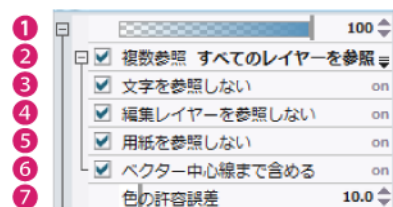


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

塗りつぶすときに、参照するレイヤーや線など、基本的な項目を設定します。



① 不透明度

塗りつぶしの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

② 複数参照

塗りつぶすときに参照するレイヤーを設定できます。

すべてのレイヤーを参照		すべてのレイヤーを参照して塗りつぶします。ただし、非表示に設定されているレイヤーは参照されません。
選択状態レイヤーを参照		[レイヤー] パレットで選択中のレイヤーを参照して塗りつぶします。
フォルダ内レイヤーを参照		レイヤーフォルダ内のレイヤーを参照して塗りつぶします。参照したいレイヤーが編集レイヤーと同じフォルダ内にない場合、参照できません。
参照レイヤーを参照		参照レイヤーに設定したレイヤーを参照して、塗りつぶします。

③ 文字を参照しない

[テキストレイヤー]を参照先の対象から除外します。

④ 編集レイヤーを参照しない

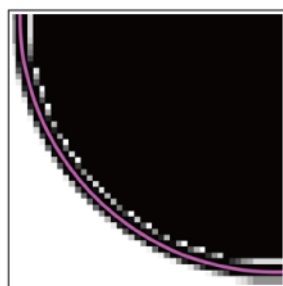
[レイヤー]パレットで編集するために選択中のレイヤーを参照先の対象から除外します。

⑤ 用紙を参照しない

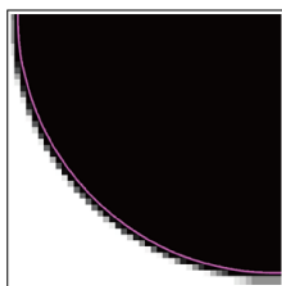
[用紙レイヤー]を参照先の対象から除外します。[用紙レイヤー]が表示されている場合でも、[用紙レイヤー]以外の透明部分に塗りつぶしを行えます。

⑥ ベクター中心線まで含める

[ベクターレイヤー]を参照して塗りつぶす場合に使用します。オンにすると、ベクターの中心線まで塗りつぶします。アンチエイリアス表示にしたときに発生する隙間を回避できます。



オフの場合



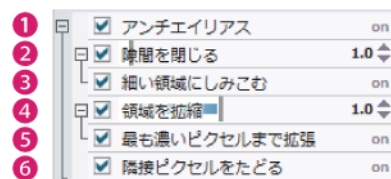
オンの場合

⑦ 色の許容誤差

塗りつぶす場合に、同じ領域として認識する色の許容誤差を指定します。

B. 効果

塗りつぶす領域の詳細、アンチエイリアスのオン・オフを設定します。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、塗りつぶし時の線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭になります。

② 隙間を閉じる

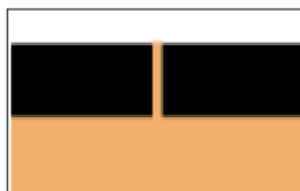
指定のピクセル分の隙間を閉じて塗りつぶします。

③ 細い領域にしみこむ

オンにすると、隙間を閉じて塗りつぶす場合に、細い隙間の部分まで塗りつぶします。



オフの場合



オンの場合

④ 領域を拡張

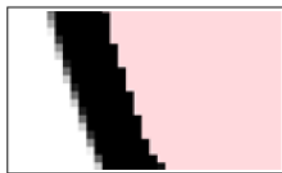
指定したピクセル分、塗りつぶす領域を拡大または縮小して塗りつぶします。

⑤ 最も濃いピクセルまで拡張

線の色が最も濃い色の部分を認識して、その部分まで塗りつぶします。[領域を拡張]で領域を拡大するように設定したとき、線の最も不透明度の高いピクセルより外側にはみ出さなくなります。



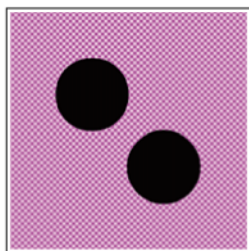
オフの場合



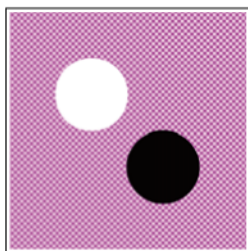
オンの場合

⑥ 隣接ピクセルをたどる

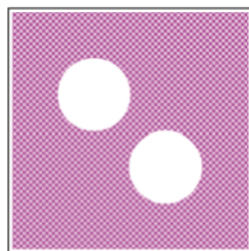
隣接ピクセルをたどって塗りつぶします。オフにすると、レイヤー内の同じ色をすべて塗りつぶします。



元画像



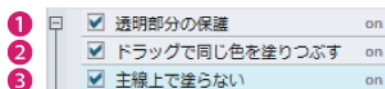
オンの場合



オフの場合

C. 拡張

塗りつぶす方法や領域など、その他の設定ができます。

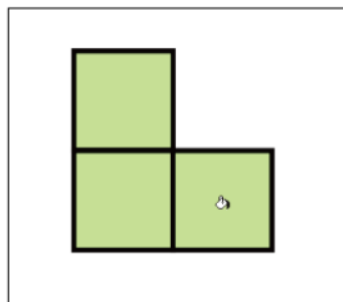
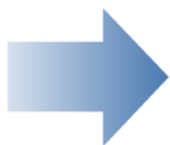
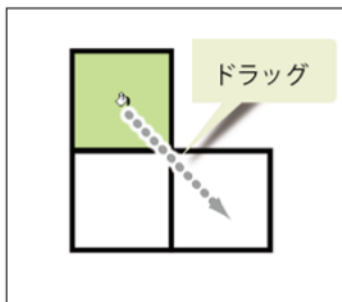


① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護]をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

② ドラッグで同じ色を塗りつぶす

ドラッグすると、クリックを開始した地点と同じ色の領域をそのまま連続して塗りつぶします。



③ 主線上で塗らない

[参照レイヤー]の描画部分をクリックしたときに、塗りつぶさないようにします。[参照レイヤー]の描画部分が黒でない場合や、アルファ値が低い場合は、認識されないことがあります。

閉領域フィルツール

多数の閉領域（閉じた領域）で構成されている絵を、1回の操作で塗りつぶしたいときに使用します。塗り止まりが起きてしまうような髪の毛の先や、1ドットの線など、小さく塗りにくい部分の彩色に最適です。



(1) 適用前



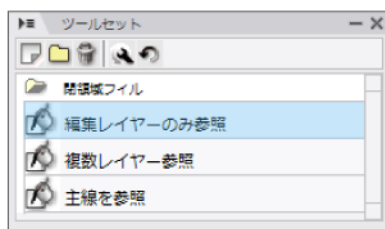
(1) 左側の髪を選択



(1) 適用後

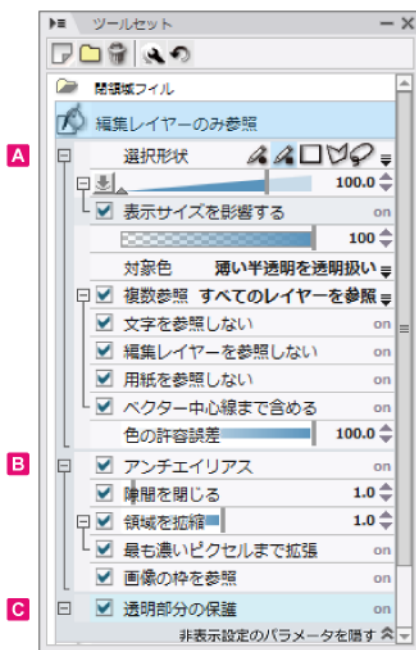
ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。



A

B

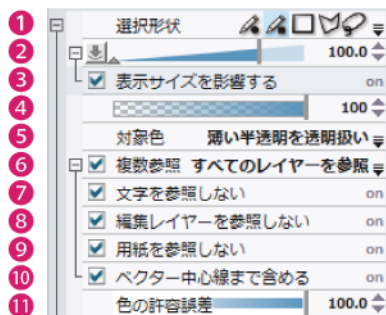
C

!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

塗りつぶす範囲を選択する方法や、参照するレイヤー・線など、基本的な項目を設定します。



① 選択形状

塗りつぶす領域を選択する方法を指定します。

ペン (●)		丸いペン状の選択ツールです。塗りつぶしたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
ペン (■)		四角いペン状の選択ツールです。塗りつぶしたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
矩形		矩形の選択ツールです。矩形で塗りつぶしたい場所を囲むようにドラッグして選択します。
折れ線		折れ線の選択ツールです。角ごとにクリックして折れ線を作成し、塗りつぶしたい場所を囲むように選択します。
投げなわ		投げなわの選択ツールです。塗りつぶしたい場所を囲むようにドラッグして選択します。

② サイズ

[選択形状]で[ペン (●)]・[ペン (■)]を選択した場合の描画サイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の[影響元]ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元]ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを選択できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。

③ 表示サイズに影響する

[選択形状]で[ペン (●)]・[ペン (■)]を選択した場合、設定できます。キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

④ 不透明度

塗りつぶしの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。





⑤ 対象色

指定した色を参照し、塗りつぶす対象とします。

すべての色を対象	すべての色を塗りつぶします。
透明部分のみに描画	透明部分を塗りつぶします。
透明部分以外に描画	透明部分以外を塗りつぶします。
透明度を変更しない	塗りつぶす範囲の透明度を変更しない状態で塗りつぶします。
黒部分のみに描画	黒で描画した部分を塗りつぶします。
黒部分以外に描画	黒で描画した部分以外を塗りつぶします。
白と透明のみに描画	白で描画した部分と透明部分を塗りつぶします。
薄い半透明を透明扱い	アンチエイリアスなどで作成された薄い半透明部分を、透明扱いにして塗りつぶします。

⑥ 複数参照

塗りつぶすときに参照するレイヤーを設定できます。

すべてのレイヤーを参照		すべてのレイヤーを参照して塗りつぶします。ただし、非表示に設定されているレイヤーは参照されません。
選択状態レイヤーを参照		[レイヤー]パレットで選択中のレイヤーを参照して塗りつぶします。
フォルダ内レイヤーを参照		レイヤーフォルダ内のレイヤーを参照して塗りつぶします。参照したいレイヤーが編集レイヤーと同じフォルダ内にない場合、参照できません。
参照レイヤーを参照		参照レイヤーに設定したレイヤーを参照して、塗りつぶします。

⑦ 文字を参照しない

[テキストレイヤー]を参照先の対象から除外します。

⑧ 編集レイヤーを参照しない

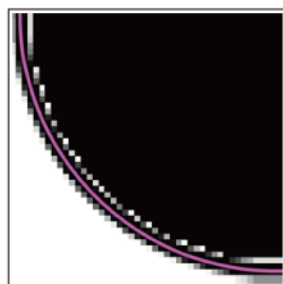
[レイヤー]パレットで編集するために選択中のレイヤーを参照先の対象から除外します。

⑨ 用紙を参照しない

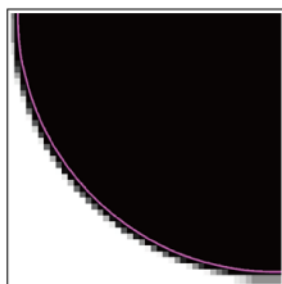
[用紙レイヤー]を参照先の対象から除外します。[用紙レイヤー]が表示されている場合でも、[用紙レイヤー]以外の透明部分に塗りつぶしを行えます。

⑩ ベクター中心線まで含める

[ベクターレイヤー]を参照して塗りつぶす場合に使用します。オンにすると、ベクターの中心線まで塗りつぶします。アンチエイリアス表示にしたときに発生する隙間を回避できます。



オフの場合



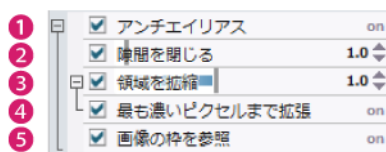
オンの場合

⑪ 色の許容誤差

塗りつぶす場合に、同じ領域として認識する色の許容誤差を指定します。

B. 効果

塗りつぶす方法や領域などを設定します。また、アンチエイリアスなども設定できます。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス]をオンにすると、塗りつぶし時の線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪廓になります。

② 隙間を閉じる

指定のピクセル分の隙間を閉じて塗りつぶします。

③ 領域を拡張

指定したピクセル分、塗りつぶす領域を拡大または縮小して塗りつぶします。

④ 最も濃いピクセルまで拡張

線の色が最も濃い色の部分を認識して、その部分まで塗りつぶします。[領域を拡張]で領域を拡大するように設定したとき、線の最も不透明度の高いピクセルより外側にはみ出さなくなります。



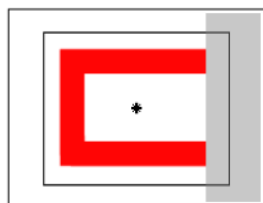
オフの場合



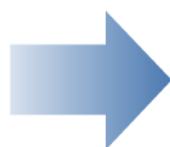
オンの場合

⑤ 画像の枠を参照

オンにすると、キャンバスの外枠を線と認識して塗りつぶします。



選択



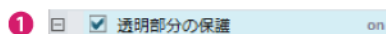
オンの場合



オフの場合

C. 拡張

透明部分の描画のオン・オフを設定できます。



① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護]をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

グラデーションツール

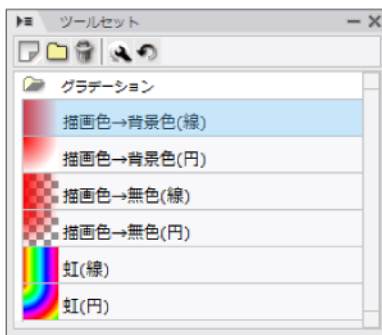
ラスターレイヤー上をドラッグすると、その位置や長さ、設定に合わせてグラデーションが描画できます。



背景に [グラデーション] ツールを使用

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー → [ツールセット] で表示できます。

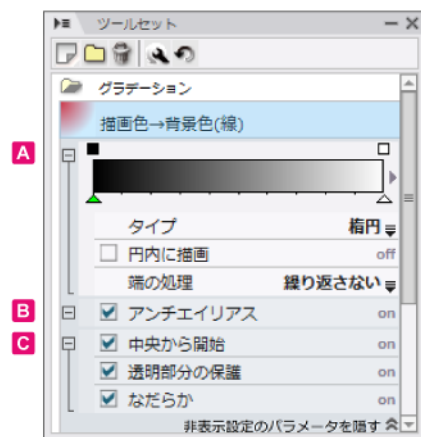


たとえば、[ツールセット] パレットの [虹 (円)] を選択した場合、下図のように、虹色の円状グラデーションで塗りつぶします。



ツールオプション

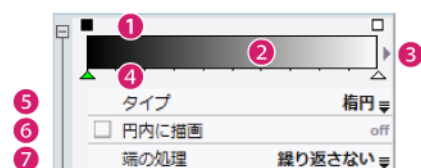
[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。



!重要 [ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

グラデーションの色・階調・形状など、基本的な項目を設定します。



① カラーボックス

ノードに設定されている色をプレビューします。クリックすると、選択中の描画色がグラデーションに反映されます。

② カラーバー

設定したグラデーションのプレビューを表示します。クリックすると、[カラーグラデーションの設定] ダイアログが表示され、詳細なグラデーションの設定が行えます。[カラーグラデーションの設定] ダイアログについては『ツール一覧』→『彩色系ツール』→『グラデーションツール』→『カラーグラデーションの設定ダイアログ』を参照してください。

③ カラーグラデーションの設定

クリックすると [カラーグラデーションの設定] ダイアログを表示します。

④ ノード

グラデーションに使用する色を設定します。必要に応じて複数作成でき、空欄をクリックすると [△] が追加できます。削除するには、[△] を外側にドラッグします。左右にドラッグすると、グラデーションの階調を調整できます。選択中のノードは [△] が緑で表示されます。

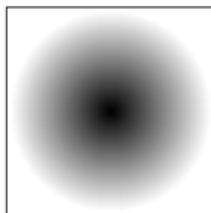
⑤ タイプ

グラデーションの形状を設定できます。

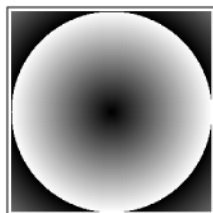
直線		ドラッグした距離に応じた、直線的なグラデーションを描画します。
楕円		ドラッグして作成した楕円の形状に沿ったグラデーションを描画します。
円		ドラッグして作成した円の形状に沿ったグラデーションを描画します。

⑥ 円内に描画

[タイプ] で [楕円] または [円] を選択した場合、オンにすると、ドラッグして作成した円内にグラデーションを描画します。



オンの場合



オフの場合

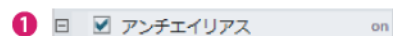
⑦ 端の処理

[グラデーション] ツール使用時に、始点と終点の外側の処理を設定できます。

繰り返し	同じ向きでグラデーションを繰り返します。
折り返し	交互に向きを変えながらグラデーションを繰り返します。
繰り返さない	ドラッグした距離にグラデーションが描画され、始点より外側はグラデーションの開始色に、終点より外側はグラデーションの終了色で塗りつぶされます。

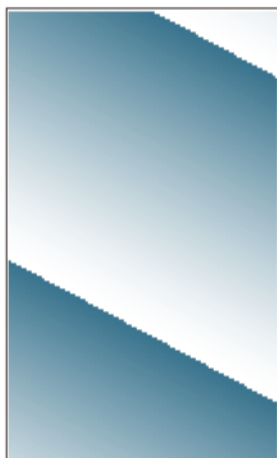
B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフを設定します。



① アンチエイリアス

オンにすると、[基本] グループ→[端の処理] を [繰り返し] に設定したときに、色の境界が滑らかになります。また、[基本] グループ→[円内に描画] がオンの場合は、円の外周などにアンチエイリアスがかかります。



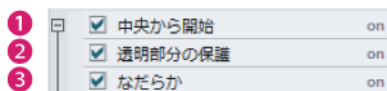
[アンチエイリアス] がオフの場合



[アンチエイリアス] がオンの場合

C. 拡張

始点と終点の外側の処理など、その他の設定ができます。



① 中央から開始

オンにしてラスターレイヤー上をドラッグすると、始点を中心にしてグラデーションの描画を開始します。[タイプ]が[円]または[楕円]のときに選択できます。

② 透明部分の保護

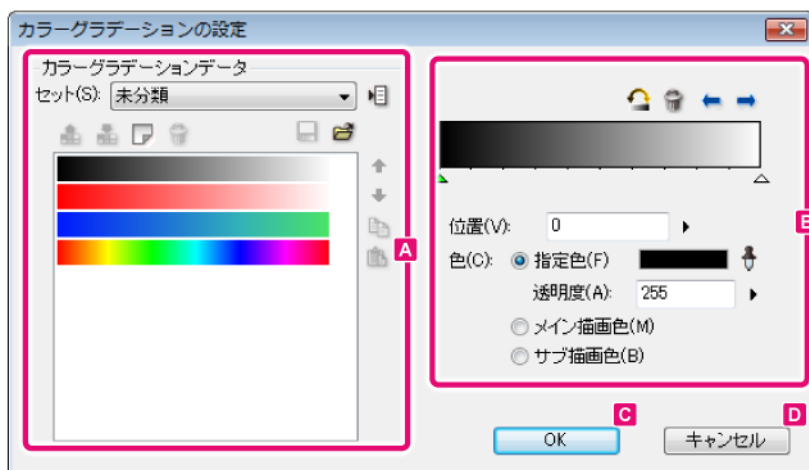
透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護]をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

③ なだらか

グラデーションの色がより緩やかに変化するようになります。

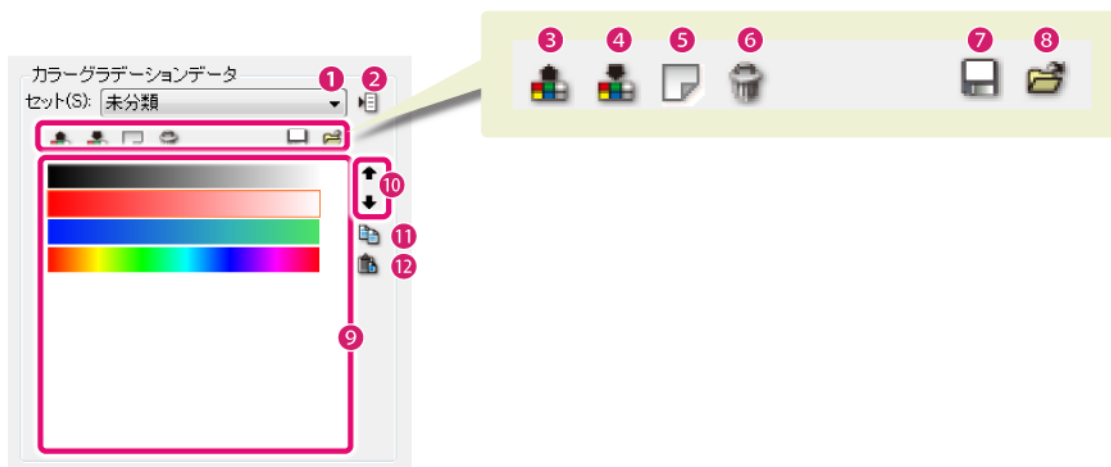
カラーグラデーションの設定ダイアログ

[ツールオプション]の[カラーバー]をクリックすると、[カラーグラデーションの設定]ダイアログが表示されます。



A. カラーグラデーションデータ

カラーグラデーションデータの管理を行います。



① セット

クリックすると、カラーグラデーションデータセットをリスト表示します。[グラデーションリスト]に表示するグラデーションセットを切り替えられます。最初は[未分類]というセットが用意されています。

② メニュー表示

カラーグラデーションセットに関するメニューを表示します。

セットの新規作成	カラーグラデーションデータセットを新規作成します。
セットの設定変更	選択したカラーグラデーションデータセットの名前を変更します。
セットの削除	選択したカラーグラデーションデータセットを削除します。
セットの複製	選択したカラーグラデーションデータセットを複製します。



各コマンドを選択して表示されるダイアログに、[環境バックアップの対象にする] の項目があります。チェックをオンにすると、環境バックアップを行うときに書き出す対象として設定されます。

③ カラーグラデーションの取得

[グラデーションリスト] から選択したグラデーション設定を、[カラーバー] に読み込みます。

④ カラーグラデーションの登録

[カラーバー] に表示しているグラデーションの設定を、[グラデーションリスト] で選択している設定に上書き保存します。

⑤ カラーグラデーションの追加

[カラーバー] に表示しているグラデーションの設定を、[グラデーションリスト] に登録します。登録したグラデーションは [グラデーションリスト] の一番下に追加されます。

⑥ カラーグラデーションの削除

[グラデーションリスト] から選択したグラデーション設定を削除します。

⑦ カラーグラデーションの書き出し

グラデーション設定をカラーグラデーションファイル（拡張子：cgs）として書き出します。[ツールオプション] で保存したツールセット設定（拡張子：tos）とは異なります。

⑧ カラーグラデーションの読み込み

カラーグラデーションファイル（拡張子：cgs）をリストに読み込みます。[ツールオプション] で保存したツールセット設定（拡張子：tos）は [カラーグラデーションの設定] ダイアログでは読み込めません。

⑨ グラデーションリスト

グラデーション設定の一覧です。[グラデ彩色] フィルタの [グラデ彩色] ダイアログや、[グラデーションマップ] フィルタレイヤーの [グラデーションマップ] ダイアログと同じ設定が表示されます。

⑩ 上に移動 / 下に移動

[グラデーションリスト] で選択中のグラデーション設定を、[グラデーションリスト] の上下に移動します。

⑪ カラーグラデーションのコピー

[グラデーションリスト] で選択中のグラデーション設定を、コピーします。

⑫ カラーグラデーションの貼りつけ

[カラーグラデーションのコピー] でコピーしたグラデーション設定を、[グラデーションリスト] に貼りつけます。



グラデーション設定は、他のセットの [グラデーションリスト] にも貼りつけできます。

B. カラーグラデーション設定

ノードを動かして、カラーグラデーションを作成します。



① グラデーション反転

カラーグラデーションの設定を反転させます。

② ノードを削除

選択中のノードを削除します。

③ 前のノード

選択中のノードの左隣のノードを選択するよう切り替えます。

④ 次のノード

選択中のノードの右隣のノードを選択するよう切り替えます。

⑤ カラーバー

グラデーションの設定をプレビュー表示します。

⑥ ノード

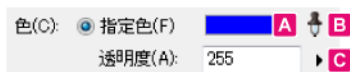
グラデーションに使用する色を設定できます。必要に応じて複数作成でき、空欄をクリックすると [△] が追加できます。左右にドラッグすると、グラデーションの階調を調整できます。選択中のノードは [△] が緑色で表示されます。

⑦ 位置

[カラーバー] は 256 段階の色でグラデーションを表現しています。選択中のノードが 256 段階中のどの地点にあるのかを表示、設定できます。

⑧ 指定色

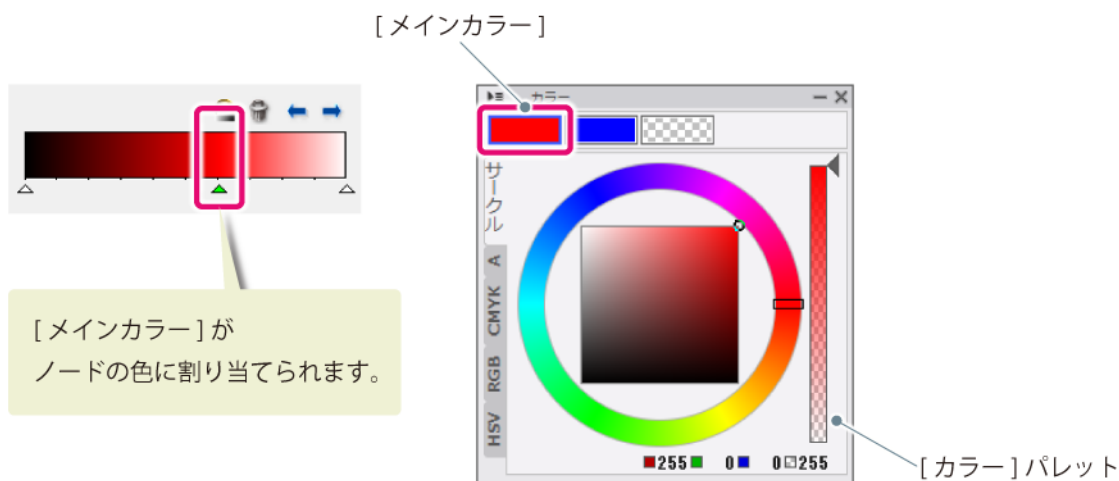
[色] と [透明度] を指定して、ノードの色を割り当てます。



A. 色	選択中のノードの色を表示します。クリックすると [色の設定] ダイアログが開き、色を変更できます。
B. 画面の色を拾う	[スポイト] ツールに切り替わり、デスクトップ上から色を取得できます。
C. 透明度	選択中のノードの透明度を設定できます。

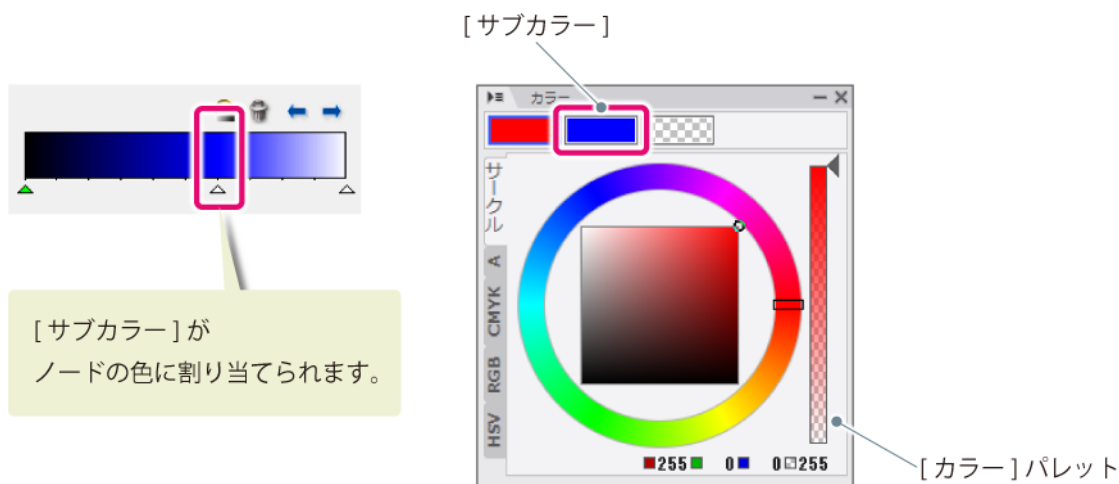
⑨ メイン描画色

[カラー]パレットの[メインカラー]がノードの色に割り当てられます。



⑩ サブ描画色

[カラー]パレットの[サブカラー]がノードの色に割り当てられます。



[メイン描画色]・[サブ描画色]を選択すると、[カラーグラデーションの設定]ダイアログの設定を変更しなくても、[カラー]パレットなどで色を変更するだけで、異なる色のグラデーションを作成できるようになります。

C. OK

[カラーグラデーションの設定]ダイアログの設定を、[ツールオプション]に反映し、ダイアログを閉じます。

D. キャンセル

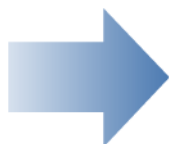
設定をキャンセルし、ダイアログを閉じます。

等高線塗りツール

2色の線に挟まれた領域をクリックすると、滑らかなグラデーションを作成できます。



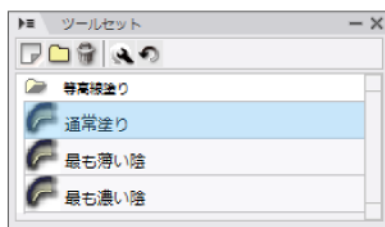
適用前



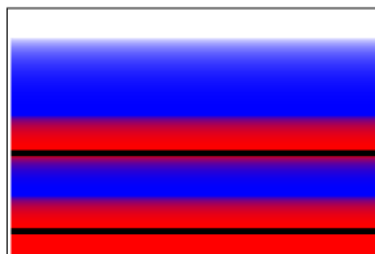
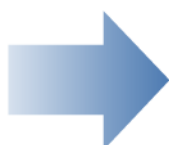
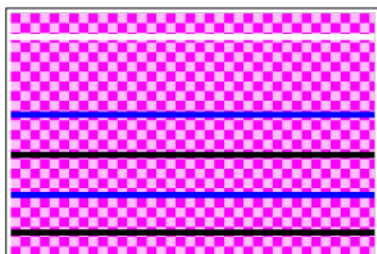
適用後

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

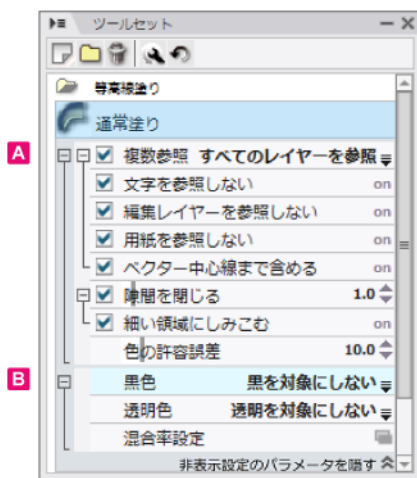


たとえば、[ツールセット]パレットの[最も濃い陰]を選択した場合、黒と透明が選択中の描画色（この例では赤）に置き換えられて、グラデーションが作成されます。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

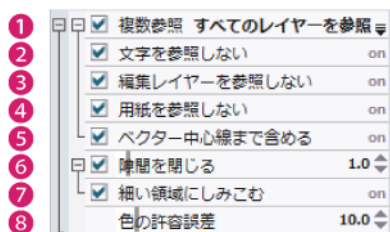


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

塗りつぶすときに参照するレイヤーや線など、基本的な項目を設定します。



① 複数参照

塗りつぶすときに参照するレイヤーを設定できます。

すべてのレイヤーを参照		すべてのレイヤーを参照して塗りつぶします。ただし、非表示に設定されているレイヤーは参照されません。
選択状態レイヤーを参照		[レイヤー] パレットで選択中のレイヤーを参照して塗りつぶします。
フォルダ内レイヤーを参照		レイヤーフォルダ内のレイヤーを参照して塗りつぶします。参照したいレイヤーが編集レイヤーと同じフォルダ内にない場合、参照できません。
参照レイヤーを参照		参照レイヤーに設定したレイヤーを参照して、塗りつぶします。

② 文字を参照しない

[テキストレイヤー] を参照先の対象から除外します。

③ 編集レイヤーを参照しない

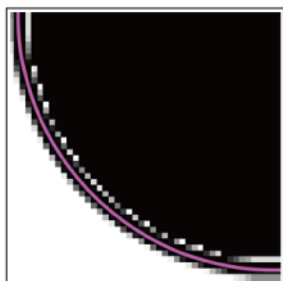
[レイヤー] パレットで編集するために選択中のレイヤーを参照先の対象から除外します。

④ 用紙を参照しない

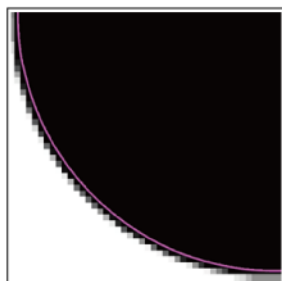
[用紙レイヤー]を参照先の対象から除外します。[用紙レイヤー]が表示されている場合でも、[用紙レイヤー]以外の透明部分に塗りつぶしを行えます。

⑤ ベクター中心線まで含める

[ベクターレイヤー]を参照して塗りつぶす場合に使用します。オンにすると、ベクターの中心線まで塗りつぶします。アンチエイリアス表示にしたときに発生する隙間を回避できます。



オフの場合



オンの場合

⑥ 隙間を閉じる

指定のピクセル分の隙間を閉じて塗りつぶします。

⑦ 細い領域にしみこむ

オンにすると、隙間を閉じて塗りつぶす場合に、細い隙間の部分まで塗りつぶします。



オフの場合



オンの場合

⑧ 色の許容誤差

等高線塗りを行う場合に、同じ色の領域として認識する色の許容誤差を指定します。主線にアンチエイリアスがある場合などに、[色の許容誤差]を大きくすれば隙間なく塗りを実行できます。



元画像
(黒線にアンチエイリアスあり)



色の許容誤差：0



色の許容誤差：100

B. 効果

グラデーションの濃度変化など、その他の設定ができます。



① 黒色

塗りを行うレイヤーに描かれた黒い線の処理方法を設定します。

黒を対象にしない	黒い線は領域として認識しますが、色として認識しません。
黒を対象にする	黒を描画色として認識します。黒を含めたグラデーションを作成します。
黒を描画色で置き換える	黒い線は領域として認識しますが、作成するグラデーション上では、選択中の描画色に置き換えられます。黒い線に近づくほど描画色に近くなります。

② 透明色

1 色で塗りつぶされている部分に塗りを行う場合、その周囲に存在する透明な部分の処理を設定します。他のレイヤーを参照している場合、他のレイヤーに線が描かれている部分でも、塗りを行うレイヤーに何も描かれていなければ透明と扱われます。

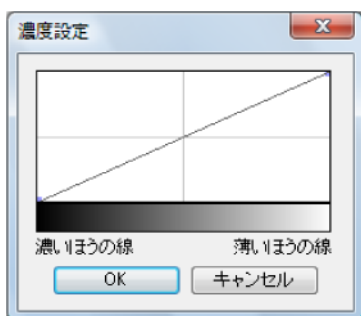
透明を対象にしない	透明部分は領域として認識しますが、色として認識しません。
透明を対象にする	透明部分を描画色として認識します。透明を含めたグラデーションを作成します。
透明を描画色で置き換える	透明部分は領域として認識しますが、作成するグラデーションは、選択中の描画色に置き換えられます。透明部分に近づくほど描画色に近くなります。

③ 混合率設定

[濃度設定] ダイアログが表示され、グラデーションの濃度変化を設定できます。

濃度設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを 32 個まで設定でき、ポイントをドラッグするとグラデーションの濃度を調整できます。ポイントを上にすると色が薄くなり、下にすると色が濃くなります。またポイントを左右にドラッグすることで、グラデーションの間隔を調整できます。ポイントを削除するには、グラフの外にポイントをドラッグします。



焼き込みツール

キャンバス上をドラッグして指定した部分を暗くし、写真の露出不足の効果を付けます。



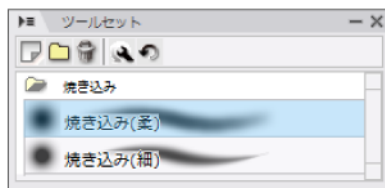
使用例：髪の毛の影に [焼き込み] ツールを使用



直線状に描画するには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー → [ツールセット] で表示できます。



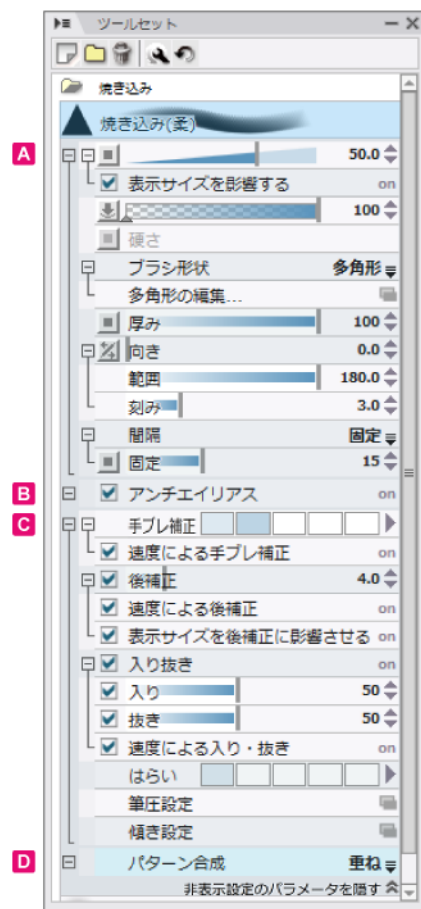
たとえば、[ツールセット] パレットの [焼き込み (柔)] を選択した場合、焼き込みを適用する範囲をボケ足のついた柔らかい線にできます。



[焼き込み (柔)] を選択した場合の使用例

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

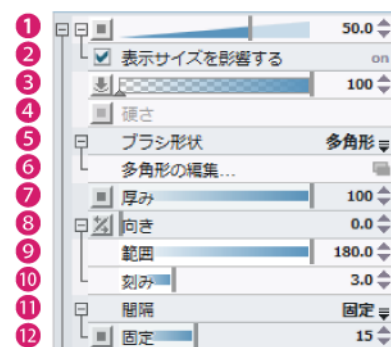


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。








① サイズ

ツールのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の[影響元]ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する






キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ツールの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 硬さ

硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。

!重要

- [硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤーで設定できます。
- [基本] グループ→[ブラシ形状] が [円] の場合のみ、[硬さ] を設定できます。



[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

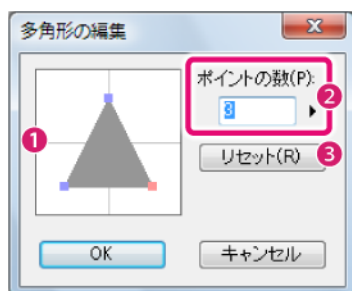
⑤ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形]から選択します。

⑥ 多角形の編集

[多角形の編集] ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。ブラシ形状で [多角形] を指定したときに設定できます。

多角形の編集ダイアログ







① プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
② ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③ リセット	[多角形の編集] ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑦ 厚み

ペン先の厚みを調整します。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を設定できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを選択できます。






変化なし		ペン先形状の厚みが変化しません。23
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ランダム		ペン先形状の厚みがランダムに変化します。

⑧ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ブラシパターンが、上がとがった三角 (▲) ならば、180 度設定すると下がとがった三角 (▼) になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

⑨ 範囲

ペン先の向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもペン先の向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑩ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み (変化量) を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度、10 度、20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度、3 度、6 度、9 度のように変化します。

⑪ 間隔

間隔 (広い (高速) ・ 普通 ・ 狭い (低速))

他の設定 (例: 硬さ) の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

[広い (高速)] ・ [普通] ・ [狭い (低速)] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑫ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

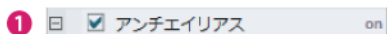
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの間隔が変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフを設定します。

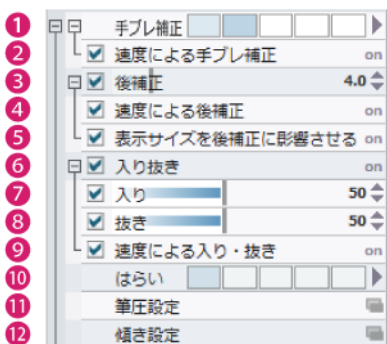


① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭になります。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの [入り] ・ [抜き] のオン・オフと強さも設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

後補正のオン・オフおよび強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって後補正の強さを調整します。

⑤ **表示サイズを後補正に影響させる**

キャンバスの表示の拡大率に応じて後補正の強さが変化します。

⑥ **入り抜き**

[入り]・[抜き] 設定のオン・オフを設定します。

⑦ **入り**

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ **抜き**

[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ **速度による入り・抜き**

ストロークの速度によって [入り]・[抜き] の強さを調整します。

⑩ **はらい**

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離れたあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ **筆圧設定**

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを 8 つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

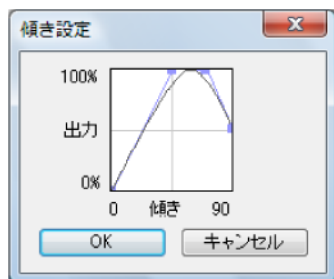


⑫ **傾き設定**

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを 8 つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

描画の重ね方を設定できます。



① パターン合成

描画の重ね方を設定できます。下記の項目からオプションを設定します。

重ね	<p>1 回のストロークで不透明度 100%まで塗り重ねられます。</p>
上限付き重ね	<p>1 回のストロークで不透明度の設定値まで塗り重ねられます。</p>
比較暗	<p>新たに描いたパターンの不透明度が高い場合にのみ描画します。</p>

覆い焼きツール

キャンバス上をドラッグして指定した部分を明るくし、写真の露出過多の効果を付けます。



使用例：髪の毛の光に [覆い焼き] ツールを使用



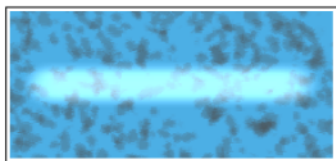
直線状に描画するには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



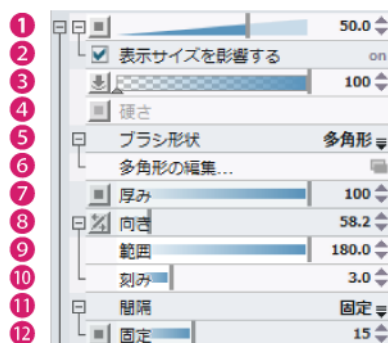
たとえば、[ツールセット]パレットの [覆い焼き（柔）] を選択した場合、覆い焼きを適用する範囲をボケ足のついた柔らかい線に適用できます。



[覆い焼き（柔）] を選択した場合の使用例

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定できます。



① サイズ

ツールのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する






キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ツールの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 硬さ

硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。

!重要

- [硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤーで設定できます。
- [基本] グループ→ [ブラシ形状] が [円] の場合のみ、[硬さ] を設定できます。








[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

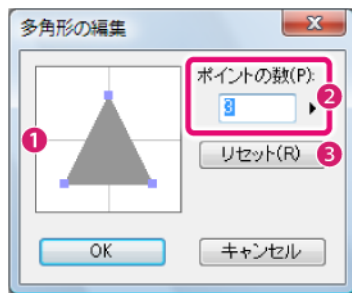
⑤ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形] から選択します。

⑥ 多角形の編集

[多角形の編集] ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。ブラシ形状で [多角形] を指定したときに設定できます。

多角形の編集ダイアログ



①プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
②ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③リセット	[多角形の編集] ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑦ 厚み

ペン先の厚みを調整します。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を設定できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ペン先形状の厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ランダム		ペン先形状の厚みがランダムに変化します。

⑧ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ペン先が、上がとがった三角（▲）ならば、180 度にと下がとがった三角（▼）になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

⑨ 範囲

ペン先の向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもペン先の向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑩ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み（変化量）を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度、10 度、20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度、3 度、6 度、9 度のように変化します。

⑪ 間隔

間隔（広い（高速）・普通・狭い（低速））

他の設定（例：硬さ）の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

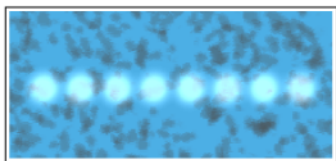
[広い（高速）] ・ [普通] ・ [狭い（低速）] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

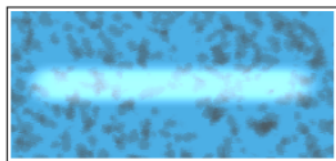
描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑫ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

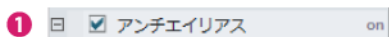
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを選択できます。

変化なし		ツールの間隔が変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフを設定します。



① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭になります。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。また、描画したときの [入り] ・ [抜き] のオン・オフと強さも設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ 後補正

後補正のオン・オフおよび強さを調整します。

④ 速度による後補正

ストロークの速度によって後補正の強さを調整します。

⑤ 表示サイズを後補正に影響させる

キャンバスの表示の拡大率に応じて後補正の強さが変化します。

⑥ 入り抜き

[入り] ・ [抜き] 設定のオン・オフを設定します。

⑦ 入り

[入り] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑧ 抜き

[抜き] のオン・オフ、および強さを調整します。

⑨ 速度による入り・抜き

ストロークの速度によって [入り] ・ [抜き] の強さを調整します。

⑩ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

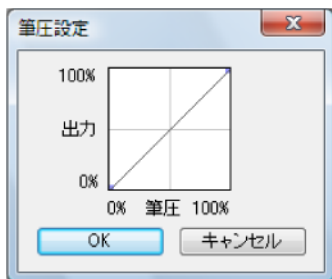
値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離れたあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

⑪ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

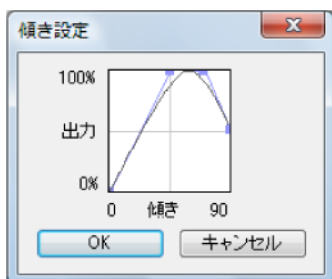


⑫ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。






D. 拡張

描画の重ね方を設定できます。



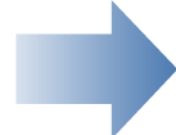
① パターン合成

描画の重ね方を設定できます。下記の項目からオプションを選択します。

重ね	<p>1 回のストロークで不透明度 100%まで塗り重ねられます。</p> 
上限付き重ね	<p>1 回のストロークで不透明度の設定値まで塗り重ねられます。</p> 
比較暗	<p>新たに描いたパターンの不透明度が高い場合にのみ描画します。</p> 

ぼかしブラシツール

色の境界をなぞるようにドラッグし、ぼかし効果をつけます。

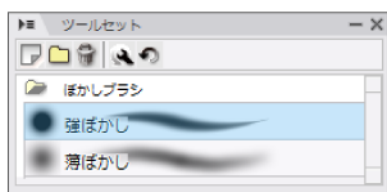


元画像

肌の影に使用

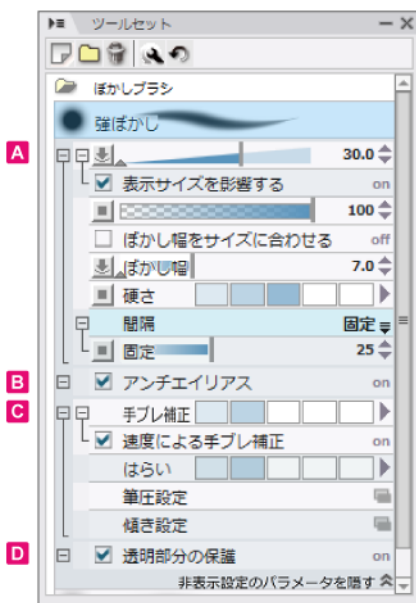
ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

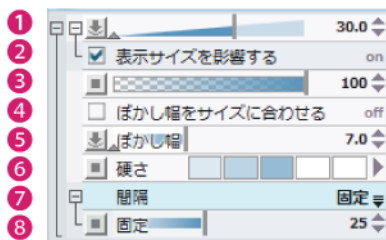


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールサイズなど、基本的な項目を設定できます。








① サイズ

ツールのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の[影響元]ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを選択できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズを影響する






キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ツールの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ ぼかし幅をサイズに合わせる

オンにすると、[ブラシサイズ] の値に連動してぼかしの効果が変わります。



オフにすると [ぼかし幅] の項目が有効になります。[ぼかし幅] で指定した量だけ、ぼかしの効果がかかります。

⑤ ぼかし幅

ぼかしの強さを設定します。値が大きいほど、ぼかしの効果が強くなります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ぼかしの強さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ぼかしの強さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ぼかしの強さが変化します。

⑥ 硬さ

硬さの効果を設定します。



[硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤーで設定できます。

数値が低いほど線が柔らかくなるため、ぼかしの効果は弱めになります。








[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

⑦ 間隔

間隔 (広い (高速) ・ 普通 ・ 狭い (低速))

他の設定 (例 : 硬さ) の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

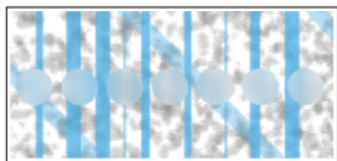
[広い (高速)] ・ [普通] ・ [狭い (低速)] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

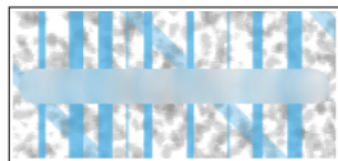
描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑧ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

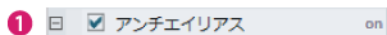
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの間隔が変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

B. 効果

アンチエイリアスのオン・オフを設定できます。

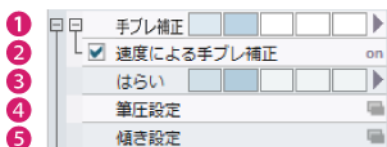


① アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭になります。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離れたあと線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

④ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。

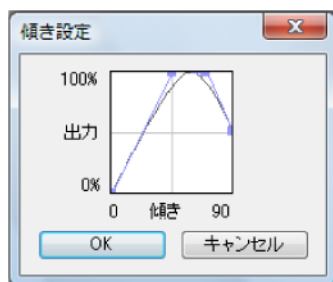


⑤ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

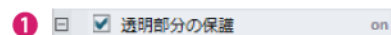
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

透明部分の描画のオン・オフを設定できます。

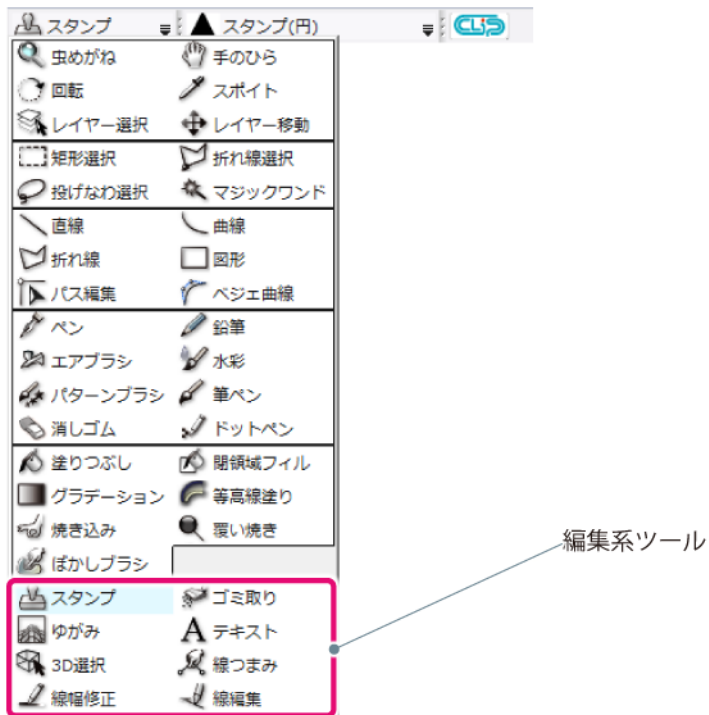


① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

編集系ツール

ここでは、[ツールバー]の[ツール一覧]で表示されるツールから、描画に対する編集ツールについて紹介します。

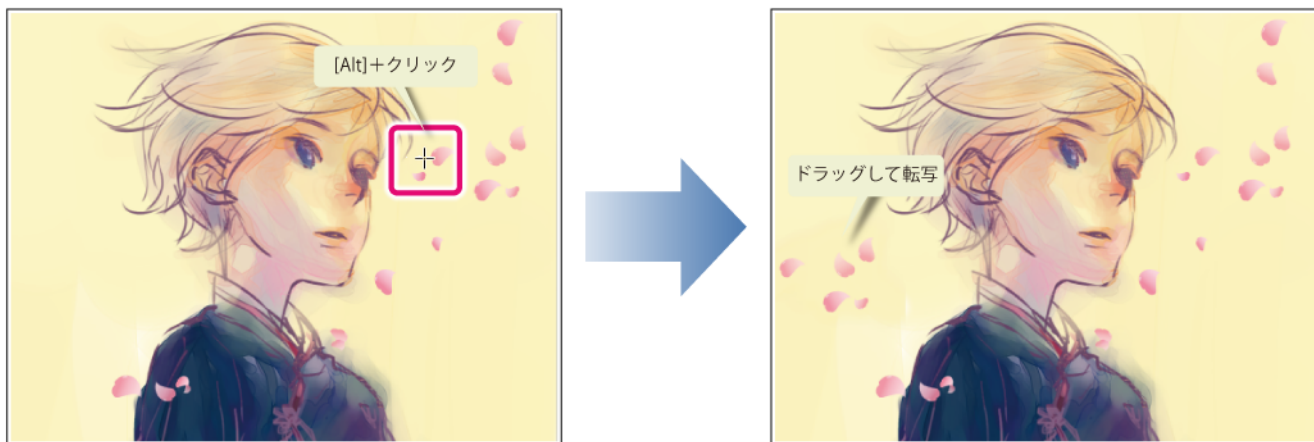


その他の選択系ツールには、下記のツールが含まれます。

- [スタンプ] ツール
- [ゴミ取り] ツール
- [ゆがみ] ツール
- [テキスト] ツール
- [3D 選択] ツール
- [線つまみ] ツール
- [線幅修正] ツール
- [線編集] ツール

スタンプツール

描画の一部を選択し、離れた場所にペンで描くように転写します。キャンバス上で [Alt] キー+クリックすると、転写元を設定できます。



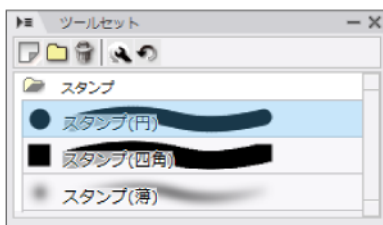
「スタンプツール」の使用例



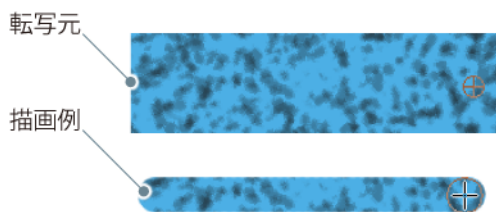
直線状に描画するには、[Shift] キーを押しながら、線の終了地点をクリックします。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー→[ツールセット] で表示できます。



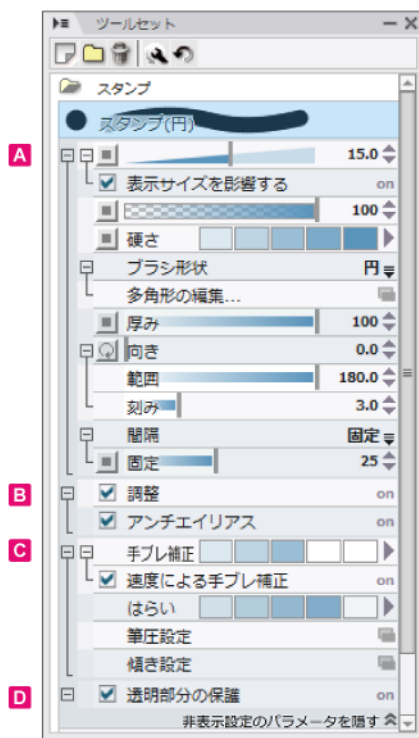
たとえば、[ツールセット] パレットの [スタンプ (円)] を選択した場合、円形のペン先で転写できます。



「スタンプ (円)」を選択した場合の描画例

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

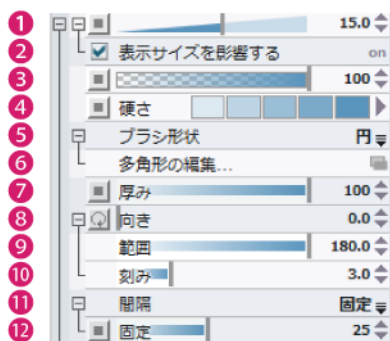


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズ、ペン先の形状など、基本的な項目を設定できます。また、ペンの傾きや向きによって、ペンの形状をどう変化させるかも設定できます。








① サイズ

ツールのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールのサイズが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールのサイズが変化します。
ランダム		ツールのサイズがランダムに変化します。

② 表示サイズに影響する






キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 不透明度

ツールの不透明度を設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、不透明度に影響する下記のオプションを設定できます。

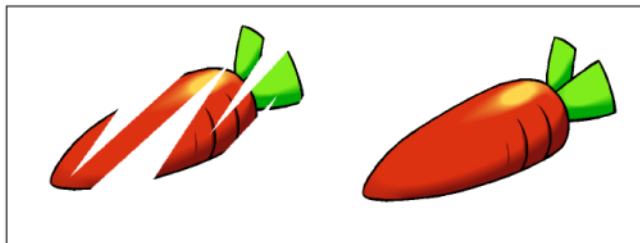
変化なし		ツールの不透明度が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの不透明度が変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの不透明度が変化します。
ランダム		ツールの不透明度がランダムに変化します。

④ 硬さ

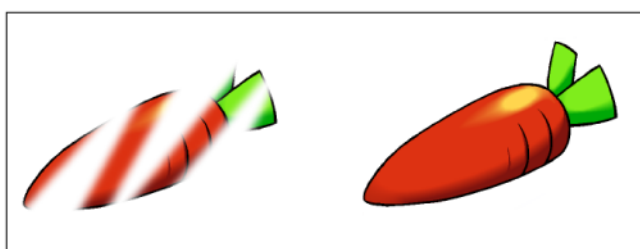
硬さの効果を設定します。数値が低いほど、線がぼやけます。

!重要

- [硬さ] はラスターレイヤーまたは選択範囲レイヤー (8bit) で設定できます。
- [基本] グループ→[ブラシ形状] が[円] の場合のみ、[硬さ] を設定できます。



[硬さ] を 100 に設定



[硬さ] を 1 に設定

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、硬さに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの硬さが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールの硬さが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ツールの硬さが変化します。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの硬さが変化します。
ランダム		ツールの硬さがランダムに変化します。

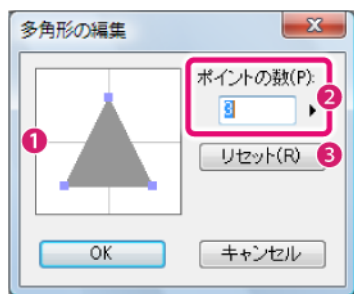
⑤ ブラシ形状

ペン先の形状を指定できます。[円]・[四角]・[多角形] から選択します。

⑥ 多角形の編集

[多角形の編集] ダイアログを開き、ペン先の形状を指定します。ブラシ形状で [多角形] を指定したときに設定できます。

多角形の編集ダイアログ



①プレビュー	ツールのペン先の形状を表示します。プレビュー上のポイントをドラッグすると、形状を調整できます。
②ポイントの数	多角形の角の数を指定します。
③リセット	[多角形の編集] ダイアログで設定をする前の状態に戻ります。

⑦ 厚み

ペン先の厚みを調整します。左横の [影響元] ボタンで、ペン先の厚みに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の厚みに影響する下記のオプションを設定できます。






変化なし		ペン先形状の厚みが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ペンの傾き		ペンの傾きを感知して、ペン先形状の厚みが変化します。
ランダム		ペン先形状の厚みがランダムに変化します。

⑧ 向き

ペン先の向きを 0 から 360 までの角度で設定できます。ペン先が、上がとがった三角（▲）ならば、180 度にと下がとがった三角（▼）になります。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ペン先の向きに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ペン先の向きが変化しません。
ペンの向き		ペン軸の向きによって、ペン先の向きが変化します。
ペン軸の回転		ペン軸の回転によって、ペン先の向きが変化します。
ストロークの方向		ストロークの方向によって、ペン先の向きが変化します。
ランダム		ペン先の向きがランダムに変化します。

⑨ 範囲

ペン先の向きが変化する範囲を固定します。たとえば [180] に設定するとストロークをどの方向に向けてもペン先の向きがストロークの向きに追従しますが、これを [45] にすると左右 45 度の範囲までしか追従しなくなります。

⑩ 刻み

[範囲] で設定した変化する角度の刻み（変化量）を設定します。たとえば [10] に設定すると、0 度、10 度、20 度のように変化します。[3] に設定すると、0 度、3 度、6 度、9 度のように変化します。

⑪ 間隔

間隔（広い（高速）・普通・狭い（低速））

他の設定（例：硬さ）の影響を受けて、間隔を自動的に調整します。

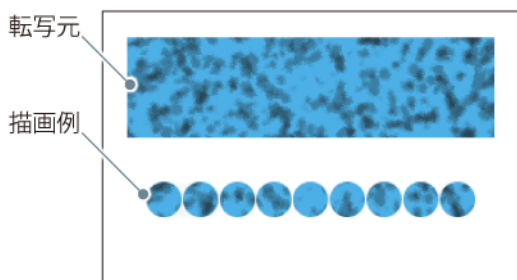
[広い（高速）] ・ [普通] ・ [狭い（低速）] の 3 段階から間隔を選べます。

固定

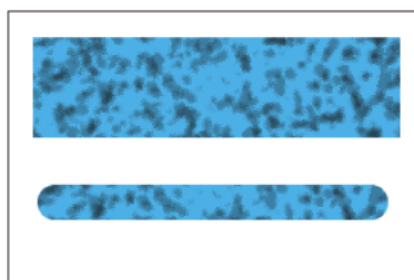
描画の間隔を、下の [固定] から数値で指定できます。

⑫ 固定

[間隔] で [固定] を指定したときに、描画の間隔を数値で指定できます。数値が大きいほど、点ごとの間隔が離れて表示されます。



[固定] を 100 に設定



[固定] を 10 に設定

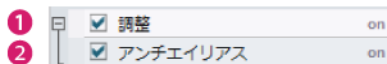
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、間隔に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールの間隔が変化しません。
ストロークの速度		ペンのストロークの速度を感知して、ツールの間隔が変化します。
ランダム		ツールの間隔がランダムに変化します。

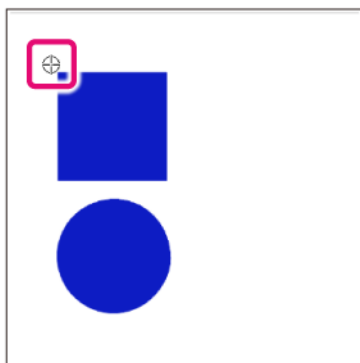
B. 効果

描画開始位置、アンチエイリアスのオン・オフを設定できます。

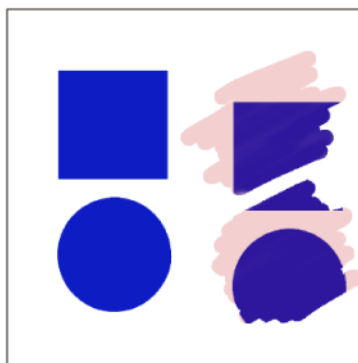


① 調整

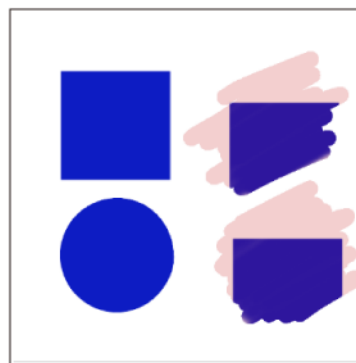
オンにすると、画像のコピー元になる位置から相対的な位置を保った状態で描画します。ストロークを変えても、位置が保たれたままになります。オフにすると、ストロークを変えるごとに画像のコピー元になる位置から描画します。



転写元



オンの場合



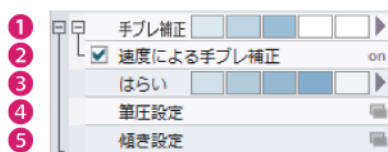
オフの場合

② アンチエイリアス

アンチエイリアスのオン・オフを切り替えます。[アンチエイリアス] をオンにすると、塗りつぶし時の線のギザギザが目立たなくなり、滑らかな輪郭になります。

C. 補正

ペンタッチを補正する方法について設定できます。



① 手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。値が大きいほど線が滑らかになり、値が小さいほど入力に忠実になります。

② 速度による手ブレ補正

タブレットのブレの抑制について設定します。オンにすると、ペンを速く動かすほど線の補正が大きくなります。オフにすると、ペンを速く動かしても線がついてくるのが遅れないようになり、ペンをゆっくり動かしたときの細かなブレだけを重点的に補正します。

③ はらい

筆圧を抜きながら線をひいたときに、線が追従する量を変更します。

値を大きくすると、筆先が長い筆のように、タブレットからペンを離れたあとも線が徐々に細くなりながらペンについていきます。

④ 筆圧設定

[筆圧設定] ダイアログを表示し、ツールの筆圧感知レベルを調整できます。

筆圧設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると筆圧曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。上限値と下限値の差が大きいほど描画ツールの筆圧は柔らかくなり、小さいほど硬くなります。



⑤ 傾き設定

[傾き設定] ダイアログを表示し、ツールの傾き感知レベルを調整できます。

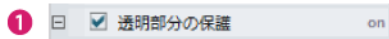
傾き設定ダイアログ

グラフ上をクリックするとポイントを8つまで設定でき、ポイントをドラッグすると傾き曲線を調整できます。ダイアログの外にポイントをドラッグすると、ポイントを削除できます。



D. 拡張

透明部分の描画のオン・オフを設定できます。



① 透明部分の保護

透明部分の描画のオン・オフを切り替えます。[透明部分の保護] をオンにすると、透明部分には描画できなくなります。選択したレイヤーに描かれた画像の濃度に合わせて、濃度が変わります。

ゴミ取りツール

キャンバス上の細かいゴミを自動的に検知して消去します。指定したサイズ以下のゴミを消去したり、周囲の色で塗りつぶしたりできます。



(1) 元画像



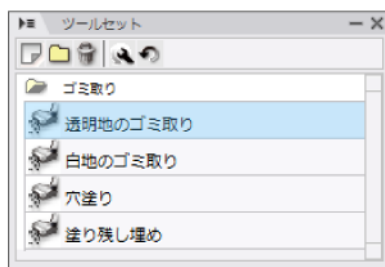
(2) ゴミ取りツール適用中



(3) 適用後

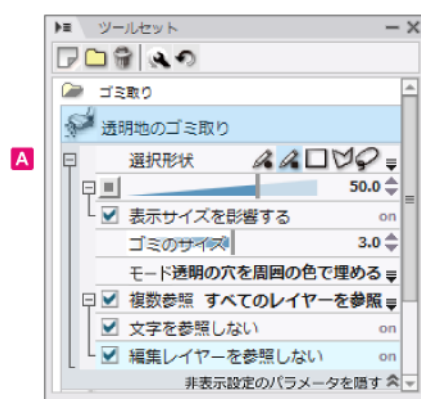
ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



ツールオプション

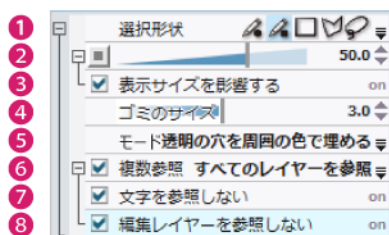
[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。



[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定できます。



① 選択形状

効果範囲を選択する場合のツールの形状を設定できます。

ペン (●)		ペン先が丸いペン状の選択ツールです。効果をつけたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
ペン (■)		ペン先が四角いペン状の選択ツールです。効果をつけたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
矩形		[矩形] の選択ツールです。効果をつけたい場所に対して矩形で囲むようにドラッグして選択します。
折れ線		[折れ線] の選択ツールです。効果をつけたい場所に対して角ごとにクリックして折れ線を作成して選択します。
投げなわ		[投げなわ] の選択ツールです。効果をつけたい場所を囲むようにドラッグして選択します。

② サイズ

[ペン (●)] と [ペン (■)] を使用する場合、選択用のペンのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。

③ 表示サイズに影響する

[ペン (●)] と [ペン (■)] を使用する場合、画面を拡大・縮小表示した際のツールの大きさが、100%表示時の見た目のサイズと同じ大きさになります。

④ ゴミのサイズ

ゴミとして認識する最大サイズを設定します。

⑤ モード

[ゴミ取り] ツールでは、ゴミを取るときの処理方法を以下の 4 つのモードから選択します。

- 不透明の点を消す
- 白地の中の点を消す
- 透明の穴を周囲の色で埋める
- 透明の穴を描画色で埋める



各モードの詳しい動作は『ツール一覧』→『編集系ツール』→『解説：ゴミ取りツールのモード』を参照してください。

⑥ 複数参照

ゴミ取りの対象にするレイヤーを選択します。[モード]で[透明の穴を周囲の色で埋める]・[透明の穴を描画色で埋める]を選択すると、これらの項目を設定できます。

すべてのレイヤーを参照		キャンバス上に表示されているすべてのレイヤーをゴミ取りの対象にします。非表示のレイヤーは無視します。
選択状態レイヤーを参照		[レイヤー]パレットで選択されている複数のレイヤーを、ゴミ取りの対象にします。
フォルダ内レイヤーを参照		レイヤーフォルダ内のレイヤーをゴミ取りの対象にします。ゴミ取りの対象にしたいレイヤーが編集レイヤーと同じフォルダ内にない場合、参照できません。
参照レイヤーを参照		参照レイヤーに設定したレイヤーをゴミ取りの対象にします。

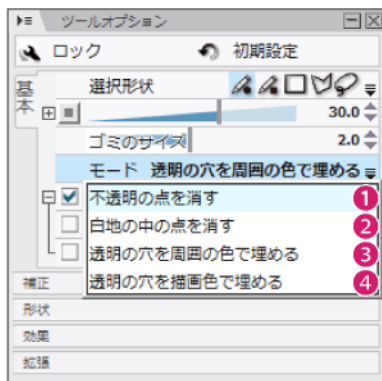
⑦ 文字を参照しない

オンにすると、[ゴミ取り]ツールの実行時に、[テキストレイヤー]をゴミ取りの対象から除外します。[複数参照]をオンにすると設定できます。

⑧ 編集レイヤーを参照しない

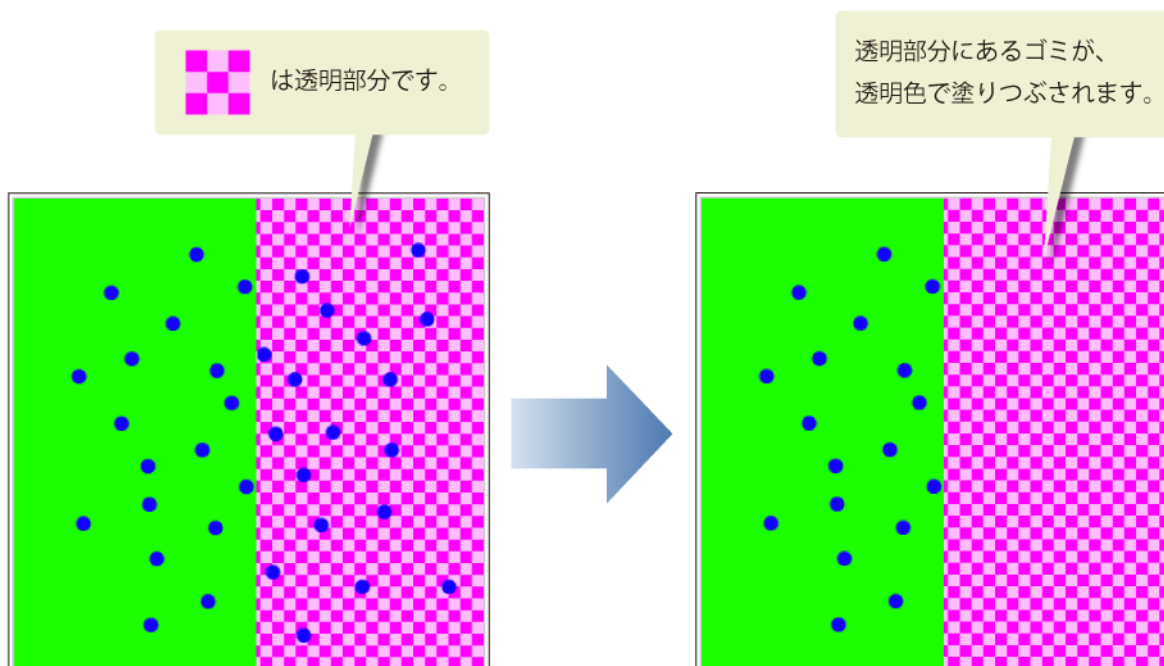
オンにすると、[ゴミ取り]ツールの実行時に、現在[レイヤー]パレットで選択されているレイヤーをゴミ取りの対象から除外します。[複数参照]をオンにすると設定できます。

解説：ゴミ取りツールのモード



① 不透明の点を消す

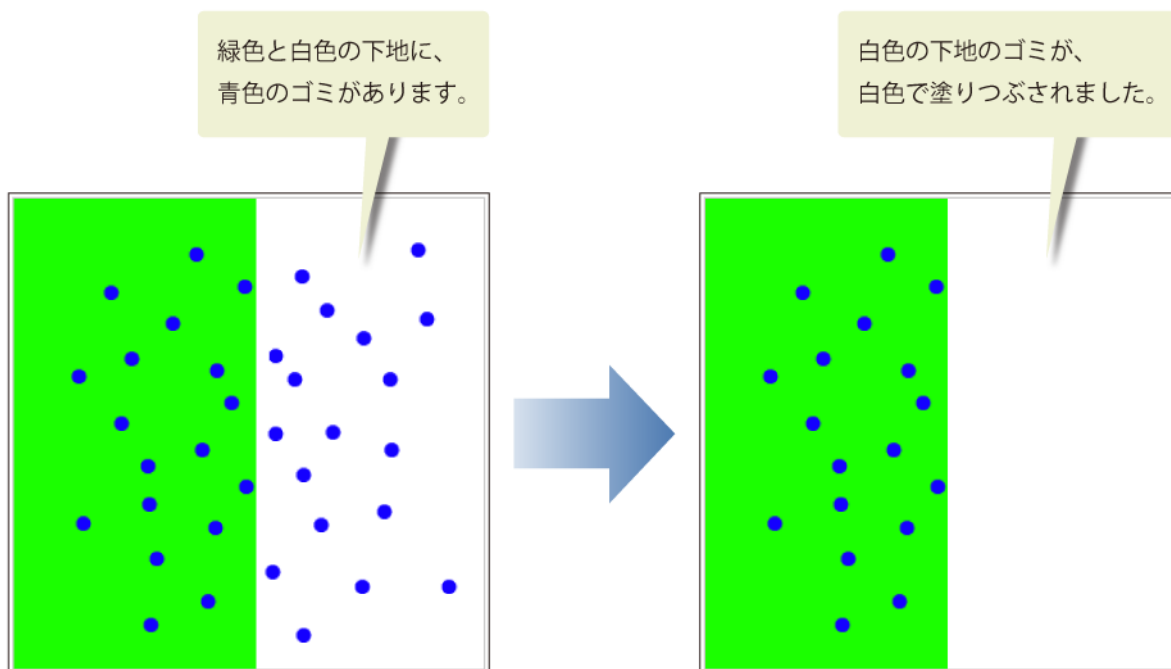
透明部分にある、不透明や半透明の小さな領域が、ゴミとして認識されます。ゴミは透明色で塗りつぶされます。



【不透明の点を消す】は、スキャンした 1bit や 8bit の画像のゴミを取り除く場合に向いています。

② 白地の中の点を消す

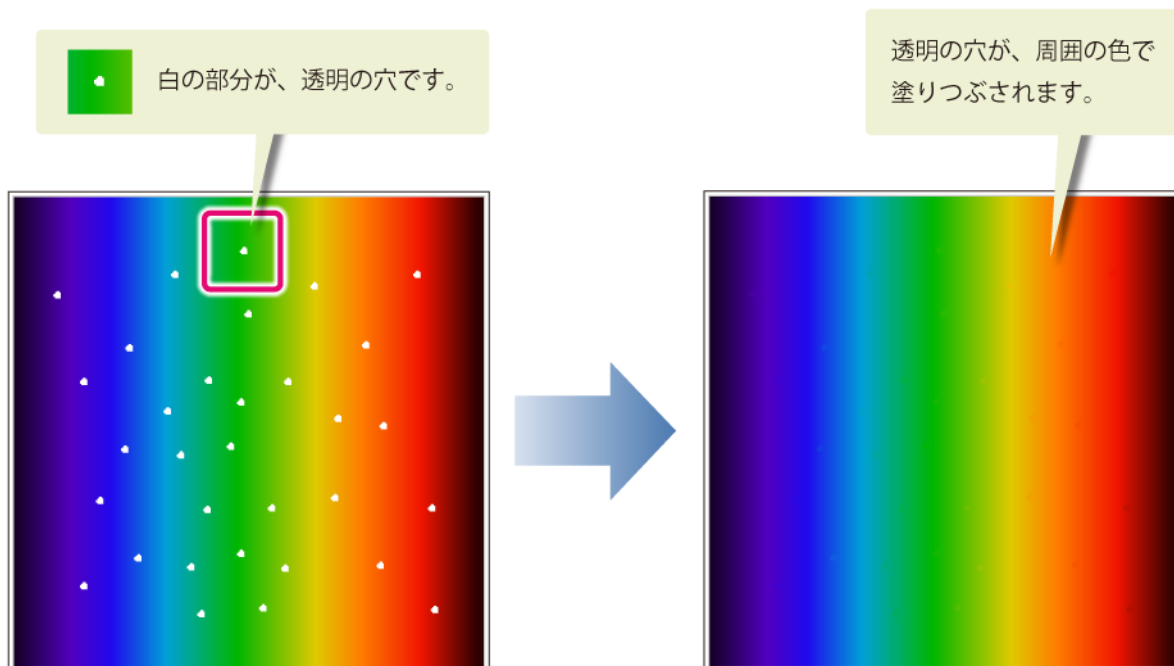
完全な白色で塗られた部分にある、白色ではない小さな領域が、ゴミとして認識されます。ゴミは白色で塗りつぶされます。



【白地の中の点を消す】は、スキャンした 2bit や 32bit の画像のゴミを取り除く場合に向いています。

③ 透明の穴を周囲の色で埋める

不透明部分にある、透明や半透明の小さな領域が、ゴミとして認識されます。ゴミの周囲に多く存在する色で、ゴミが塗りつぶされます。



!重要

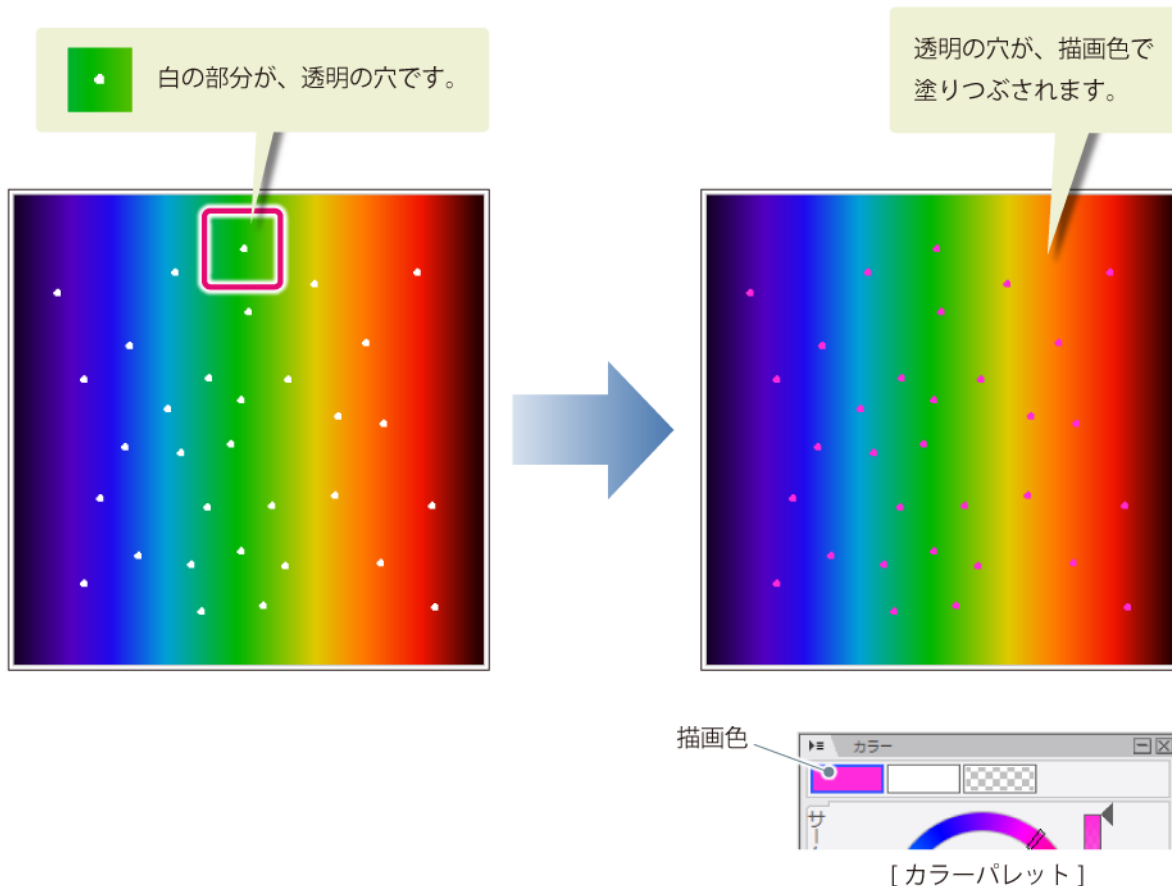
- ここで言う不透明部分とは、[カラー]パレットの[不透明度]が255の部分を示します。
- 塗りつぶしは、編集中のレイヤーに行われます。透明の穴が開いているレイヤーを選択してから、フィルタを実行することをお勧めします。

メモ

[透明の穴を周囲の色で埋める]は、点在する塗り残しを、まとめて修正する場合に向いています。

④ 透明の穴を描画色で埋める

不透明部分にある、透明や半透明の小さな領域が、ゴミとして認識されます。ゴミは描画色で塗りつぶされます。



!重要

- ここで言う不透明部分とは、[カラー]パレットの[不透明度]が255の部分を示します。
- 塗りつぶしは、編集中のレイヤーに行われます。透明の穴が開いているレイヤーを選択してから、フィルタを実行することをお勧めします。

メモ

[透明の穴を描画色で埋める]は、1色塗るごとに塗り残しを修正する場合に向いています。

ゆがみツール

キャンバスをドラッグし、描画をずらしたようなゆがみ効果をつけます。



(1) 元画像



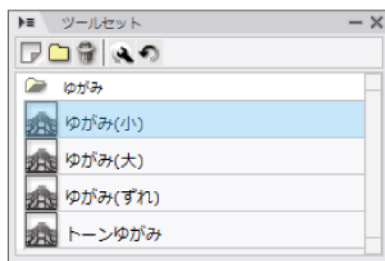
(2) ゆがみツール適用中



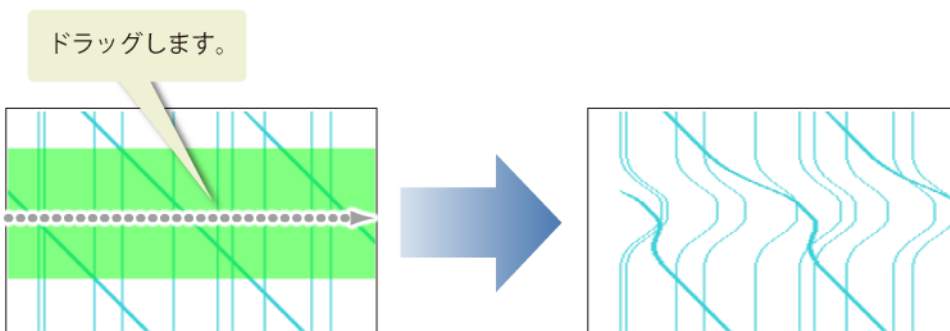
(3) 適用後

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



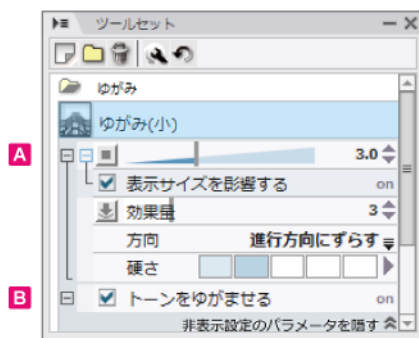
たとえば、[ツールセット]パレットの[ゆがみ(ずれ)]を選択した場合、ゆがみの効果範囲が進行方向にずれて変形します。



[ゆがみ(ずれ)]を選択した場合の使用例

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

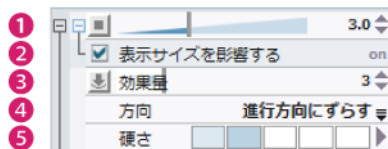


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定できます。



① サイズ

ツールのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

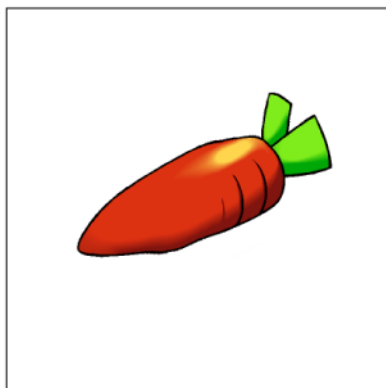
変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。

② 表示サイズに影響する

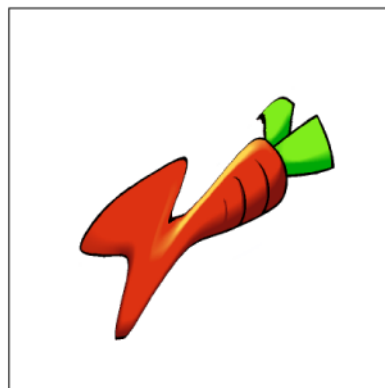
キャンバスの表示を拡大・縮小表示した場合のツールのサイズが、100%表示時の見た目のサイズと同じになります。

③ 効果量

ゆがみの効果量を設定します。値が大きいほど、効果が強くなります。





10 に設定した場合



200 に設定した場合

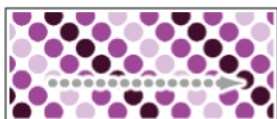
影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、ゆがみの効果量に影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ゆがみの効果量が変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ゆがみの効果量が変化します。筆圧が高いほど、効果が強くなります。

④ 方向

ゆがみの種類を設定します。下記の項目からオプションを選択できます。作例は次のように効果を適用した場合です。



左から右へドラッグ

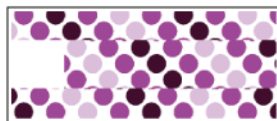
進行方向にずらす		ペンのストロークの進行方向に向けて、描画をずらします。
左にずらす		ペンのストロークの進行方向に向かって左側に描画をずらします。
右にずらす		ペンのストロークの進行方向に向かって右側に描画をずらします。
中心を広げる		ペンのストロークの中心を広げるように描画をずらします。
中心を縮める		ペンのストロークの中心を縮めるように描画をずらします。
左に圧縮する		ペンのストロークの進行方向に向かって左側の描画を圧縮するようにずらします。
右に圧縮する		ペンのストロークの進行方向に向かって右側の描画を圧縮するようにずらします。
左に伸ばす		ペンのストロークの進行方向に向かって左側に描画を伸ばします。
右に伸ばす		ペンのストロークの進行方向に向かって右側に描画を伸ばします。

⑤ 硬さ

ペン周辺部での効果の強さを設定します。値が低いほど効果をぼかし、値が高いほど効果をくっきりさせます。



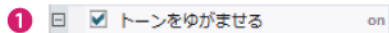
1 に設定した場合



100 に設定した場合

B. 効果

トーンレイヤーに [ゆがみ] ツールを適用できます。



① トーンをゆがませる

トーンレイヤーに [ゆがみ] ツールを適用します。[レイヤー] パレットでトーンレイヤー選択時に設定できます。

テキストツール

キャンバス上にテキストを入力できます。入力方法については、『[解説：テキスト機能](#)』を参照してください。

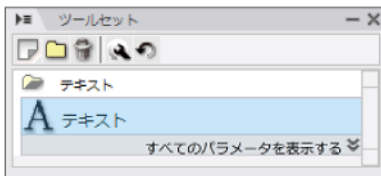


使用例：ロゴに[テキスト]ツールを使用

ツールオプション

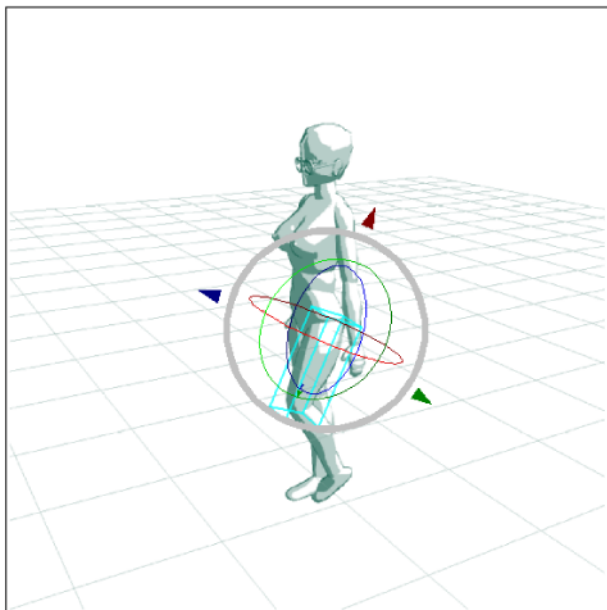
[パレット]メニュー→[ツールオプション]を選択すると、[ツールオプション]が表示されます。

[テキスト]ツールには、[ツールオプション]で設定する項目はありません。



3D 選択ツール

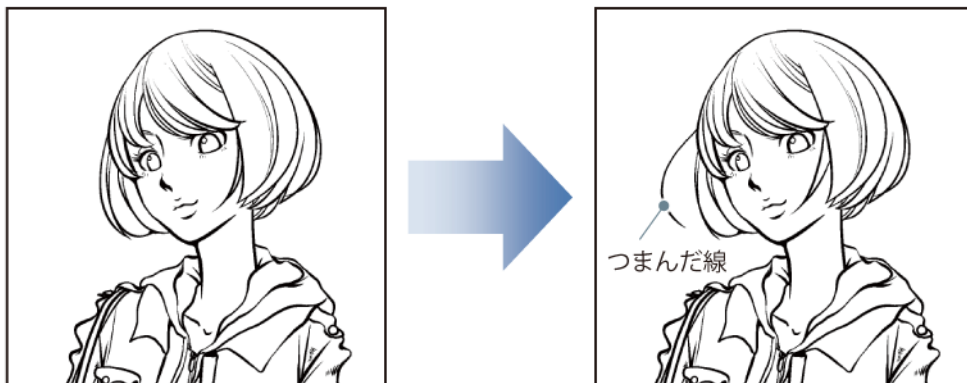
読み込んだ 3D 素材を選択し、操作するためのツールです。[3D 選択] ツールの使用方法について、詳しくは『解説：3D 機能』→『3D 機能・詳細』→『[ツールパレット：編集：3D 選択ツール](#)』を参照してください。



[3D 選択] ツールを使用した例

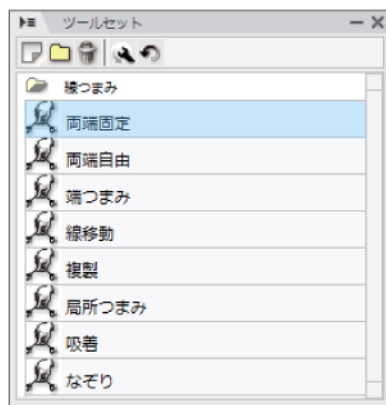
線つまみツール

[ベクターレイヤー] に描かれた線の、カーブや位置を変更できます。

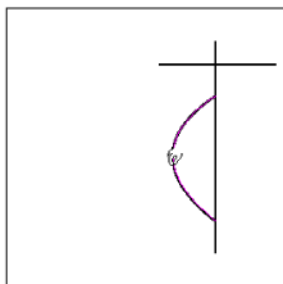


ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット] パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット] パレットは、[パレット] メニュー→[ツールセット] で表示できます。

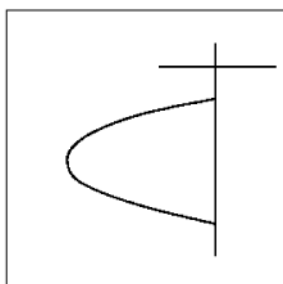


ここでは、下図マウスカソルの位置を各ツールセットでドラッグした場合を例にします。



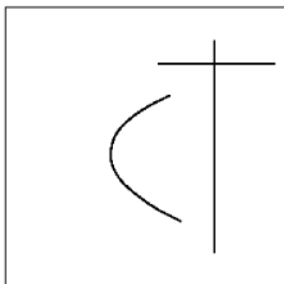
① 両端固定

線の始点と終点を固定します。線をつまんでも、始点と終点の位置は移動しません。



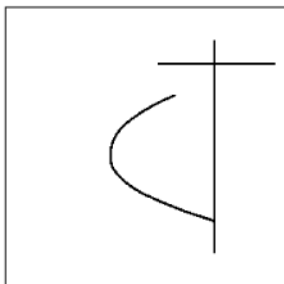
② 両端自由

線の始点と終点を移動できるようにします。[つまみ加減]の値によっては、線をつまんだときに始点と終点が移動します。



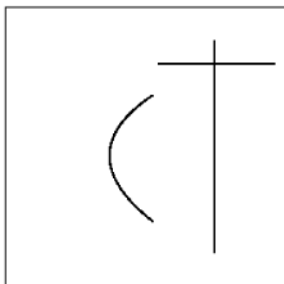
③ 端つまみ

線の変更を加える位置から遠い方の端を固定します。線をつまんでも、固定されている側の端は移動しません。



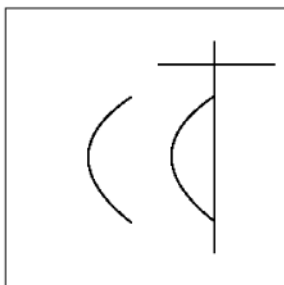
④ 線移動

選択した線全体を移動します。上下左右に移動できます。



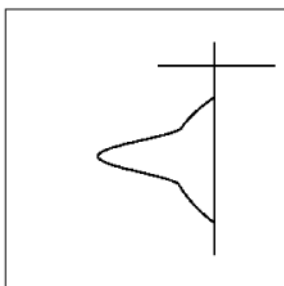
⑤ 複製

選択した線をドラッグすると、線が複製されます。



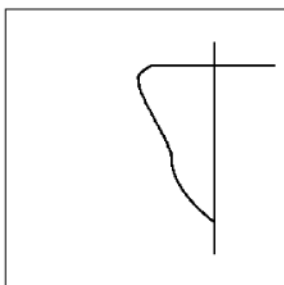
⑥ 局所つまみ

狭い範囲で線をつまみます。



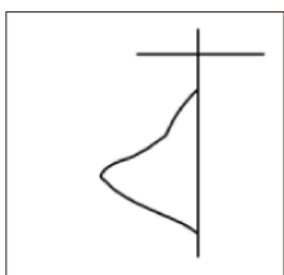
⑦ 吸着

線の端を、同じレイヤー上の他の線に吸着させて 1 本の線にします。同一の線の両端同士をつなぐことはできません。この例だけ、マウスカースルを曲線の上端に合わせてドラッグしています。



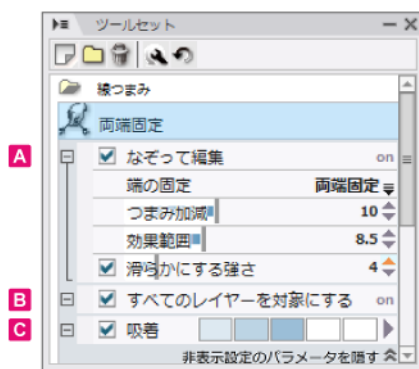
⑧ 吸着

選択した線をマウスカースルの軌跡にそって変形させます。



ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

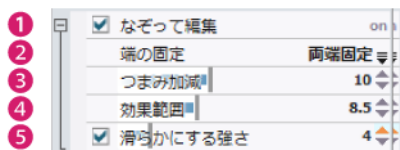


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

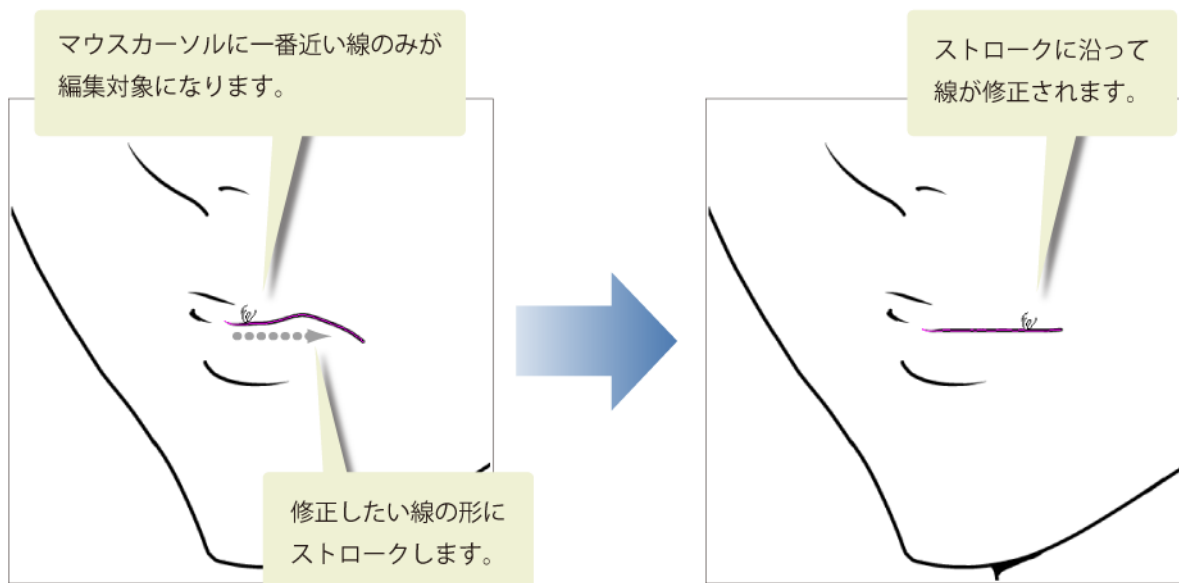
線の編集方法や固定方法など、基本的な項目を設定できます。



① なぞって編集

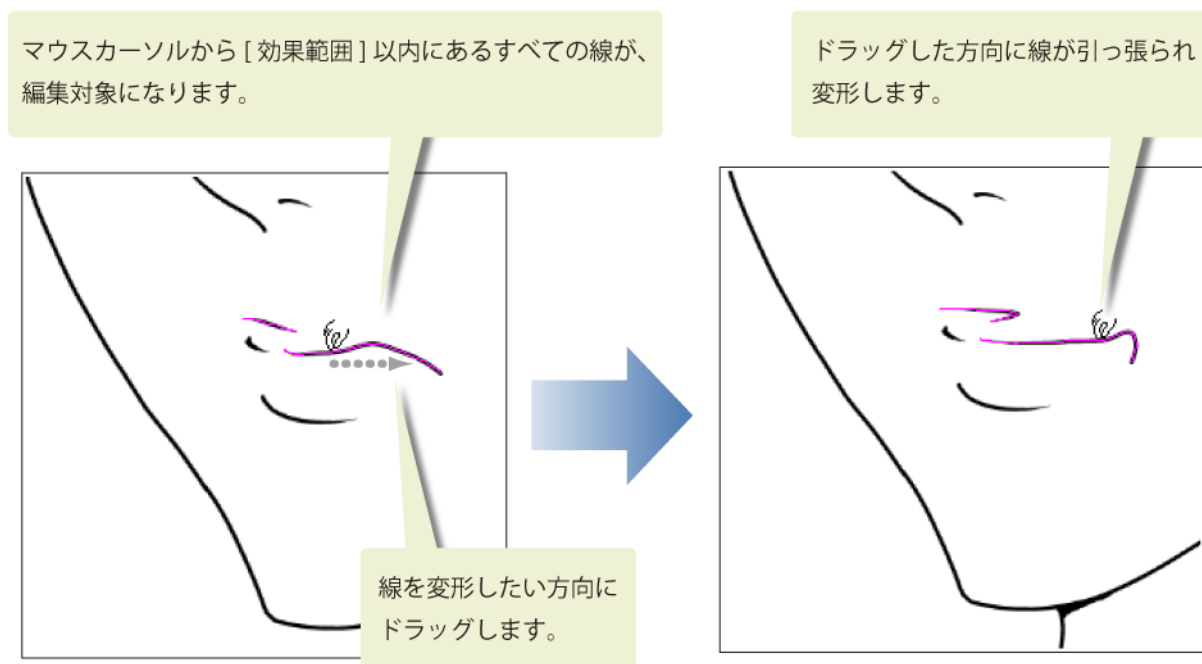
オンにしてストロークすると、ストロークに沿って線が編集されます。

マウスカースルに一番近い線のみが編集対象になります。








オフにすると、ドラッグした方向に線が引っ張られ変形します。

マウスカースルから [効果範囲] 以内にあるすべての線が、編集対象になります。



② 端の固定

編集する線の固定方法を設定できます。

両端固定		線の始点と終点を固定します。線をつまんでも、始点と終点の位置は移動しません。
一方の端を固定		線に変更を加える位置から遠い方の端を固定します。線をつまんでも、固定されている側の端は移動しません。
両端自由		線の始点と終点を移動できるようにします。[つまみ加減]の値によっては、線をつまんだときに始点と終点が移動します。
線全体を平行移動		選択した線全体を移動します。上下左右に移動できます。
線を複製		選択した線をドラッグすると、線が複製されます。

③ つまみ加減

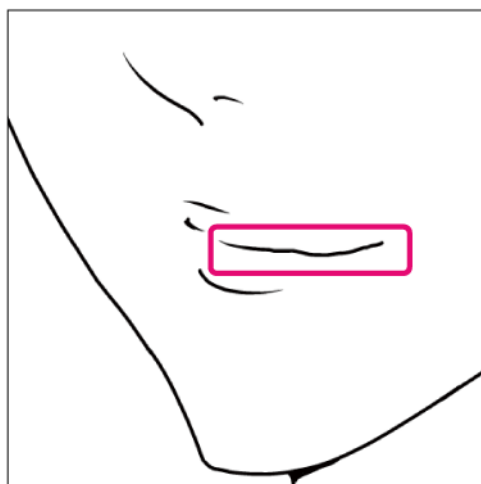
線に対して効果のかかる部分の長さを設定します。数値が小さいと線の一部だけをゆがませ、数値が大きいと線を全体的にゆがませます。

④ 効果範囲

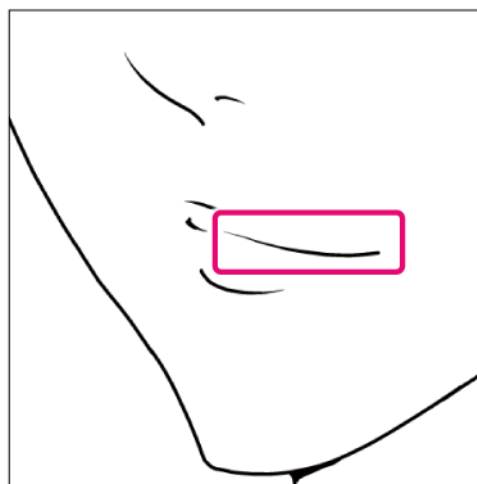
ドラッグ開始時に、ここで設定した範囲内にある線に効果をつけます。数値が大きいほど、遠くにある線も効果の対象になります。

⑤ 滑らかにする強さ

オンにすると、線のブレを滑らかに修正します。数値が大きいほど効果が強くなりますが、実際に描いた線のタッチが失われる場合があります。



[滑らかにする強さ: オフ]



[滑らかにする強さ: オン]

B. 効果

編集対象のレイヤーを設定できます。

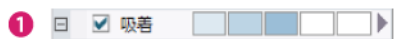
① すべてのレイヤーを対象にする on

① すべてのレイヤーを対象にする

オンにすると、表示されているすべてのベクターレイヤー上の描線进行操作でき、自動的に編集レイヤーを切り替えます。オフにすると、編集中のベクターレイヤー上の描線に対してのみ、操作が有効になります。

C. 補正

線端の吸着効果の強さについて設定できます。

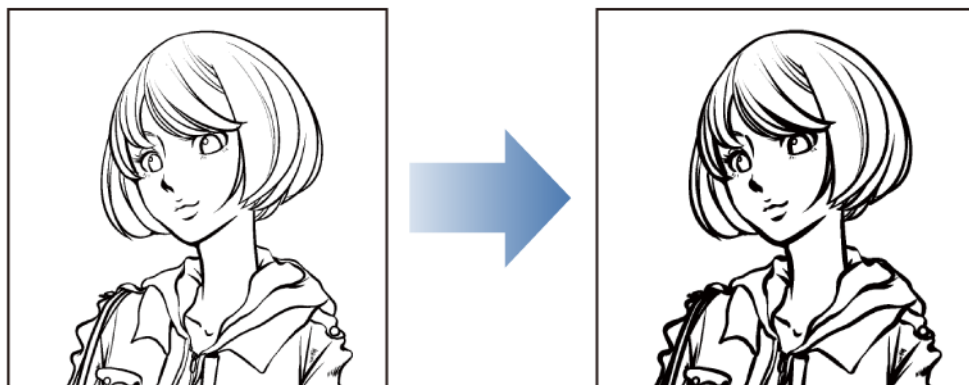


① 吸着

線の端を、同じレイヤー上の他の線に吸着させて 1 本の線にします。同じ線の両端同士をつなぐことはできません。吸着の強さは、インジケータや数値で指定できます。

線幅修正ツール

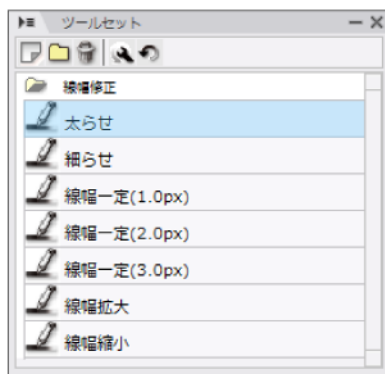
キャンバスに描かれた線の太さを変更できます。



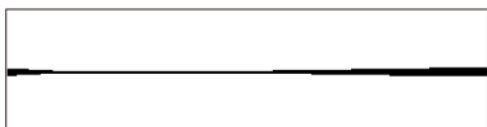
使用例：[線幅修正]ツールを使用して線を太くする。

ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。



たとえば、[ツールセット]パレットの[細らせ]を選択した場合、ツールを適用するごとに、選択した範囲の線幅を指定した数値分だけ細くできます。



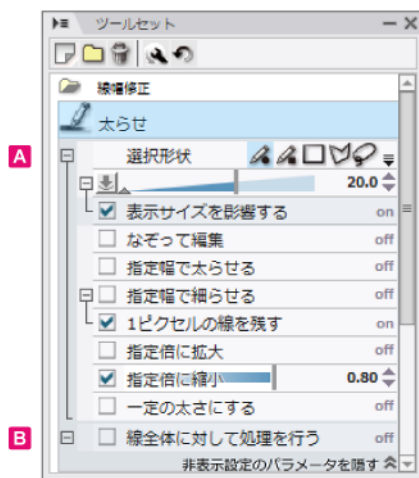
[細らせ]を選択した場合の描画例



[線幅一定 (1.0px)]・[線幅一定 (2.0px)]・[線幅一定 (3.0px)]・[線幅拡大]・[線幅縮小]は、[ベクターレイヤー]選択時のみ使用できます。

ツールオプション

[ツールセット] パレットで選択中の [ツールセット] をクリックすると、[ツールオプション] が表示されます。[ツールオプション] は、選択中のツールを詳細に設定できます。

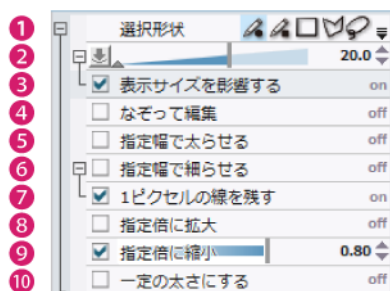


!重要

[ツールオプション] の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールの形状やサイズなど、基本的な項目を設定できます。



① 選択形状

効果範囲を選択する場合のツールの形状を設定できます。



ペン (●)		ペン先が丸いペン状の選択ツールです。効果をつけたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
ペン (■)		ペン先が四角いペン状の選択ツールです。効果をつけたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
矩形		[矩形] の選択ツールです。効果をつけたい場所に対して矩形で囲むようにドラッグして選択します。
折れ線		[折れ線] の選択ツールです。効果をつけたい場所に対して角ごとにクリックして折れ線を作成して選択します。
投げなわ		[投げなわ] の選択ツールです。効果をつけたい場所を囲むようにドラッグして選択します。

② サイズ

[ペン(●)]と[ペン(■)]を使用する場合、選択用のペンのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の[影響元]ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。

③ 表示サイズに影響する

[ペン(●)]と[ペン(■)]を使用する場合、画面を拡大・縮小表示した際のツールの大きさが、100%表示時の見た目のサイズと同じ大きさになります。

④ なぞって編集

[ペン(●)]と[ペン(■)]を使用する場合、線をなぞるとタブレットの筆圧に応じて線幅が変化します。編集する線幅の最小値・最大値は、[サイズ]で指定します。

⑤ 指定幅で太らせる

ツールを適用することにより、選択した範囲を指定した線幅分だけ太くします。

⑥ 指定幅で細らせる

ツールを適用することにより、選択した範囲を指定した線幅分だけ細くします。

⑦ 1 ピクセルの線を残す

[ラスターレイヤー]に[指定幅で細らせる]を適用した場合に、中心の1ピクセルだけを消さずに残せます。オンにした状態でぼかしかかった線を細くすると、中心の1ピクセルだけが濃く残るようになります。

⑧ 指定倍に拡大

ツールを適用することにより、選択した範囲を指定した割合で線幅を太くします。[ベクターレイヤー]選択時のみ使用できません。

⑨ 指定倍に縮小

ツールを適用することにより、選択した範囲を指定した割合で線幅を細くします。[ベクターレイヤー]選択時のみ使用できません。

⑩ 一定の太さにする

元の太さに関係なく、選択した範囲を指定した線幅に変更します。[ベクターレイヤー]選択時のみ使用できます。

B. 拡張

選択した線の全体に修正を適用できます。

① ☐ 線全体に対して処理を行う off

① 線全体に対して処理を行う

選択した部分だけでなく、選択した線の全体に修正が適用されます。[ベクターレイヤー]選択時のみ使用できます。

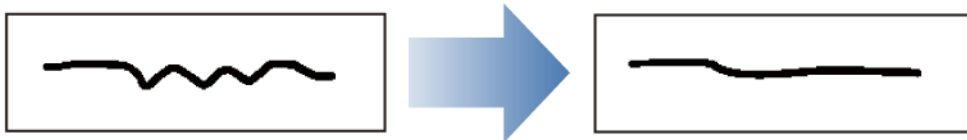
線編集ツール

[ベクターレイヤー]に描かれた線を編集します。

主に、次の3つの機能に使用できます

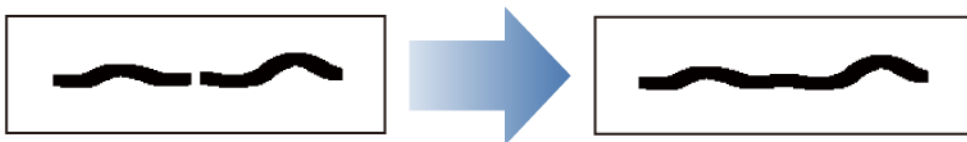
線をなめらかにする

線のブレを滑らかに修正します。ただし、実際に描いたタッチが失われる場合があります。



線をつなぐ

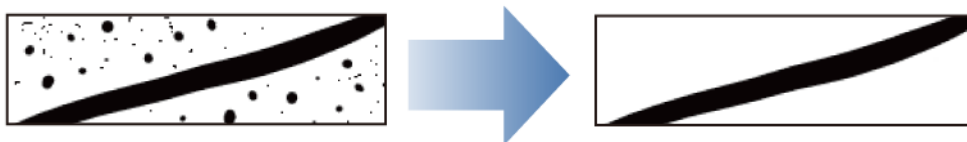
ペン先の形状、厚み、角度の設定が同一の線の端が隣接している場合、線を1本につなぎます。たとえば、長い線を描いた場合、途中で1回ペンを離してから再び描きはじめると、[ベクターレイヤー]上では2本の線として認識されます。そのような線を1本につなぐ場合に向いています。



[編集]メニューの[移動と変形]で画像を回転した場合、ペン先の向きが変わり、線の太さが変わります。そのため、[線編集]ツールの[線をつなぐ]の効果が適用されない場合があります。

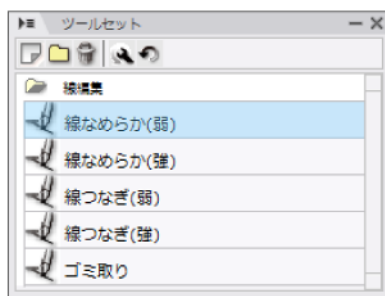
ゴミを取る

選択した範囲のゴミを除去します。数値を入力して、ゴミとして認識される最大値を設定します。



ツールセット

各ツールにあらかじめ用意されている設定を「ツールセット」といいます。[ツールセット]パレットの各ボタンにツールセットが割り当てられており、クリックすると設定が切り替わります。[ツールセット]パレットは、[パレット]メニュー→[ツールセット]で表示できます。

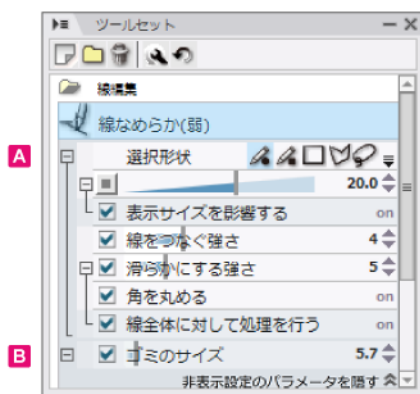


たとえば、[ツールセット]パレットの[線つなぎ(強)]を選択した場合、途切れている線を1本につなぎます。



ツールオプション

[ツールセット]パレットで選択中の[ツールセット]をクリックすると、[ツールオプション]が表示されます。[ツールオプション]は、選択中のツールを詳細に設定できます。

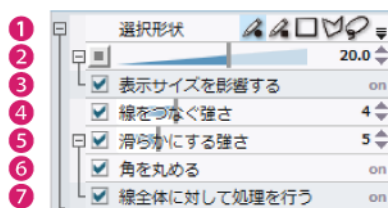


!重要

[ツールオプション]の各項目は、選択しているレイヤーや他の設定などの影響により、設定できない場合があります。

A. 基本

ツールのサイズなど、基本的な項目を設定できます。



① 選択形状

効果範囲を選択する場合のツールの形状を設定できます。

ペン (●)		ペン先が丸いペン状の選択ツールです。効果をつけたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
ペン (■)		ペン先が四角いペン状の選択ツールです。効果をつけたい場所をなぞるようにドラッグして選択します。
矩形		[矩形] の選択ツールです。効果をつけたい場所に対して矩形で囲むようにドラッグして選択します。
折れ線		[折れ線] の選択ツールです。効果をつけたい場所に対して角ごとにクリックして折れ線を作成して選択します。
投げなわ		[投げなわ] の選択ツールです。効果をつけたい場所を囲むようにドラッグして選択します。

② サイズ

[ペン (●)] と [ペン (■)] を使用する場合、選択用のペンのサイズを設定します。スライダーや数値の入力で、設定を変更できます。左横の [影響元] ボタンで、描画サイズに影響するタブレットなどの設定を選択できます。

影響元

[影響元] ボタンをクリックすると、サイズに影響する下記のオプションを設定できます。

変化なし		ツールのサイズが変化しません。
ペンの筆圧		ペンの筆圧を感知して、ツールのサイズが変化します。

③ 表示サイズに影響する

[ペン (●)] と [ペン (■)] を使用する場合、画面を拡大・縮小表示した際のツールの大きさが、100%表示時の見た目のサイズと同じ大きさになります。

④ 線をつなぐ強さ

分けて描いた線を 1 本につなぎます。スライダーで効果量を設定できます。

⑤ 滑らかにする強さ

線のブレを滑らかに修正します。数値が大きいほど効果が強くなりますが、実際に描いた線のタッチが失われる場合があります。

⑥ 角を丸める

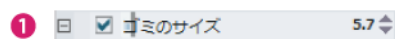
描いた線の角を丸めます。[滑らかにする強さ] をオンにすると設定できます。

⑦ 線全体に対して処理を行う

選択した部分だけでなく、選択した線の全体に効果が適用されます。[滑らかにする強さ] をオンにすると設定できます。

B. 拡張

ゴミとして認識される最大値を設定できます。



① ゴミのサイズ

選択した範囲のゴミを除去します。スライダーでゴミとして認識される最大値を設定します。